TOSHIBA
Leading Innovation

# REGZA
## レグザサーバー

東芝レグザサーバー取扱説明書

形名 **DBR-M3007**
**DBR-M1007**



**お客様登録サービス「Room1048（ルームトウシバ）」に登録をお願いします！**

Room1048は東芝デジタル商品のお客様登録サービス※です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※ お客様登録は、Web限定のサービスです。

>>>ご登録はこちらから！ <<<
**http://toshibadirect.jp/room1048/**

キャンペーン情報も
こちらをご覧ください。

- **電源を「入」にしたとき**
  電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- **リモコンが正しく操作ができないときは…**
  **「症状に合わせて解決法を調べる」307をご覧ください。**
- **本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…**
  **「困ったときは」291、「仕様と総合さくいん・用語解説」322をご覧ください。**
- **必ず最初に「安全上のご注意」18～21をご覧ください。**

- このたびは東芝レグザサーバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  お求めのレグザサーバーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
  お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。


ご使用前に必ずお読みください
はじめに： 2

接続と設定
レコーダーを準備する： 25

タイムシフトマシン
タイムシフトマシン機能で録る・見る・残す： 65

時短機能をつかう
時短で録る： 86
時短で見る： 89
時短で残す： 92

視聴する： 93
録画する： 99
再生する： 129
削除する： 149
編集する： 153
ダビングする： 169
外部機器をつかう： 191
各種設定： 215
さまざまな情報： 247
ご注意と参考資料： 308
仕様と総合さくいん・用語解説： 320

# 本機の機能について



## 録る

### タイムシフトマシン機能

■ 同一時間帯の多チャンネルの番組を、自動でまるごと録画します。65
（自動的に録画された番組は視聴したり保存したりすることができます。）※

※ 自動的に番組が録画されるため、HDDやタイムシフトマシン録画用USB-HDDの容量がいっぱいになると、古い番組から自動的に削除されます。

### おまかせ自動録画

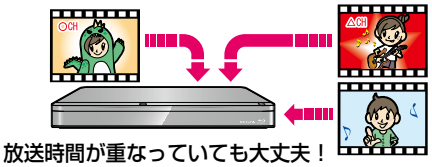
■ 設定したカテゴリーに該当する番組を本機が自動で録画します。122

時短機能

### 3番組を同時に録画

■ ハイビジョン画質のままで、
3つの番組を同時に録画できます。※ 100

※【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべて【通常録画用】に登録しているとき。
その他の条件について、詳しくは 66 をご覧ください。




放送時間が重なっていても大丈夫！

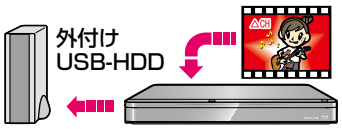
### 「番組表」で録画予約

■ お好きな番組を選んで、
簡単に予約できます。107




### USB-HDDに録画

■ 本機背面端子に通常録画用USB-HDDをつなぐと、
USB-HDDにも録画したり、ダビングしたりできます。
196




### ネットdeレック機能

■ スカパー！プレミアムサービスチューナーまたは
CATV（ケーブルテレビ）チューナーの番組を
ハイビジョン画質で録画やダビングできます。124




## つなぐ

### ネットワーク環境につないで本機を使いこなす

■ ネットワーク環境につなぐと、さまざまな機能をお楽しみいただけます。228

- 本機に録画した番組を、スマートフォンやタブレット、メディアプレーヤーなどのDLNA対応機器で視聴できます。（ネットワーク連携機能）202
- 本機に録画した映像を、別の部屋のテレビなどで視聴できます。（ネットdeサーバー HD）
- 東芝のレグザサーバー（またはレコーダー）との間でダビングできます。
- 宅外配信／宅外予約の概要は、以下のホームページをご覧ください。
  **http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/**

### HDMIケーブルやネットワークでREGZAとつなぐ

■ 対応する東芝テレビ「REGZA」シリーズと接続すると、以下の機能などをお使いいただけます。

- リモコン1つで、テレビと本機を操作できます。241
- テレビに録画した番組を、HDDにダビングできます。192
- レグザリンク・コントローラ／レグザリンク・ダビング対応のREGZAシリーズ機種については、当社ホームページでご確認ください。**http://www.toshiba.co.jp/regza/link/**

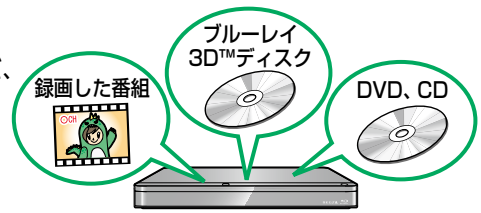
# 見る

## 「時短で見る」機能で効率よく再生

■ HDDや通常録画用USB-HDDに録画した番組、タイムシフトマシン録画した番組またはタイムシフトマシン連携機器でタイムシフトマシン録画した番組を、お好みの再生コースで効率よく再生できます。89

## ブルーレイなどの再生

■ 録画した番組や、3D映像のブルーレイディスクなど、さまざまな映像を再生できます。130 137




# 残す

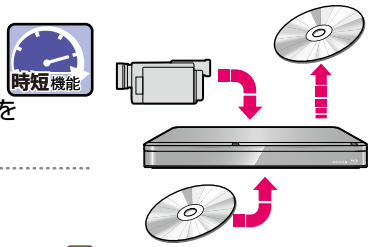
## さまざまな方法でダビング・保存

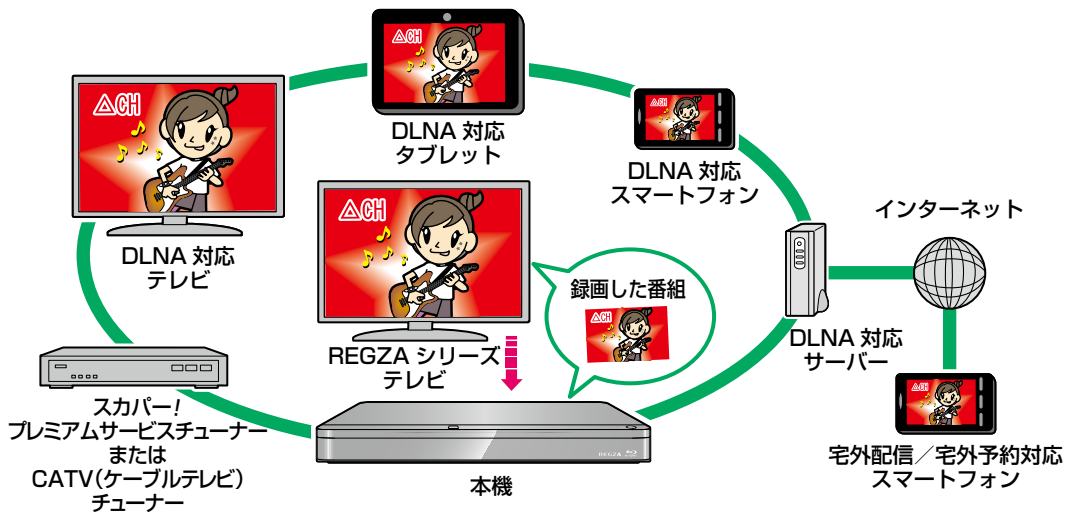
■ らく見の再生部分を自動的に選んでダビング（おまかせダビング）できます。92

■ タイムシフトマシン録画した番組でらく見再生される部分を自動的に選び、保存（おまかせ保存）ができます。81

■ ディスクにダビングした映像やビデオカメラの映像を、HDDにダビングできます。170

■ ディスクの容量に合わせてダビング（ぴったりダビング）できます。178





# ご使用の前に



## 付属品の確認

□の中に、チェックマーク(✔)を付けてご確認ください。欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- □ リモコン(SE-R0468)／1個
- □ 単四形乾電池(R03)／2本
- □ miniB-CASカード／2枚
  (台紙に貼り付けてあります。)
- □ 同軸ケーブル(0.9m)／1本
  (地上デジタル放送専用)





動作確認用



BS・110度CS／地上デジタル共用



- □ かんたんガイド／1枚
- □ 取扱説明書／1冊
- □ BS・110度CSデジタル放送
  受信契約申込書／一式
- □ 無線LAN機能をご使用に
  なるときのご注意／1枚

ご注意

- リモコンが正しく操作できないときは、「症状に合わせて解決法を調べる」307をご覧ください。

## 本書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 本機や本機の操作画面などで「ブルーレイディスク」を「BD」と表現していることがあります。
- 本書では、録画(●録画)(ふたの中)を押した録画)、ワンタッチタイマー録画、予約録画を総称して「通常録画」、タイムシフトマシン機能を使った録画のことを「タイムシフトマシン録画」と記載しています。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書では、「アプリケーション」を省略して「アプリ」と表現している場合があります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 本書の説明には専門的な用語を使用している場合があります。用語については、「総合さくいん・用語解説」322をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
- インターネットによるお客様登録サービスにご協力ください。**http://toshibadirect.jp/room1048/**
- 本機に付属しているminiB-CASカード(2枚)は、通常録画用およびタイムシフトマシン録画用に使用します。
  (miniB-CASカード1枚につき3チャンネル分の録画が可能です。)
  タイムシフトマシン機能を用いた録画については、以下の相関図より録画先のUSB-HDDで対応(録画)可能な番号をご理解いただいたうえで、本機背面に接続したUSB-HDDに対する録画チャンネル、録画先の設定、変更などを行ってください。

| 番号 | 放送局名※1 | miniB-CASカード挿入口 | HDD | USB-HDD | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 録画先 | | 接続先 |
| 1 | | タイムシフト用(1～3) 挿入口1 | HDD | USB-HDD1 | HDD専用 タイムシフト録画 タイムシフト録画用USB端子 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | RMP※2 | | | |
| 5 | | 視聴、予約録画、タイムシフト用(5～7) 挿入口2 ※3 | | USB-HDD2 | HDD専用 通常録画／タイムシフト録画 通常録画／タイムシフト録画用USB端子 |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

※1 放送局名欄に登録した放送局をご記入ください。確認に便利です。

※2 番号4はminiB-CASカードを使用しない、コンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)を採用しています。地上デジタル放送のみタイムシフトマシン録画ができます。

※3 NHKへのBS受信機設置の連絡はminiB-CASカード挿入口2のminiB-CASカードのカードIDでご連絡ください。

# はじめに

本章では、ご使用前に確認しておきたい内容を説明しています。

本機の機能について ..... 2
ご使用の前に ..... 4
もくじ ..... 6
マークについて ..... 17
安全上のご注意 ..... 18
各部のなまえとはたらき ..... 22

# もくじ



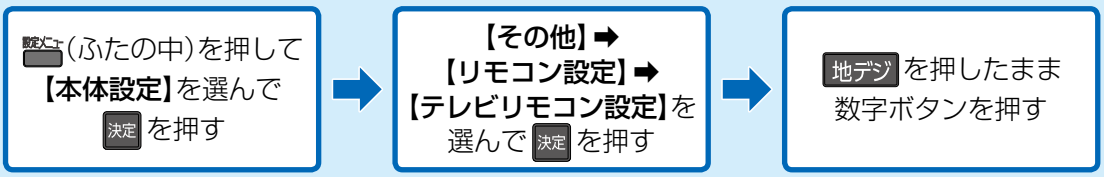
## はじめに　2ページ


**本機の機能について**.....2
**ご使用の前に**.....4
付属品の確認.....4
本書について.....4
**マークについて**.....17
本書で使用するマークの意味.....17
**安全上のご注意**.....18
**各部のなまえとはたらき**.....22
本機前面.....22
本機背面.....23
リモコン.....24


## レコーダーを準備する　25ページ


**テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ**.....26
BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ.....32
CATVチューナーをつなぐ.....36
スカパー！専用チューナーをつなぐ.....36
**はじめての設定をする**.....37
【はじめての設定】を開始する.....37
【はじめての設定】をやり直す.....49

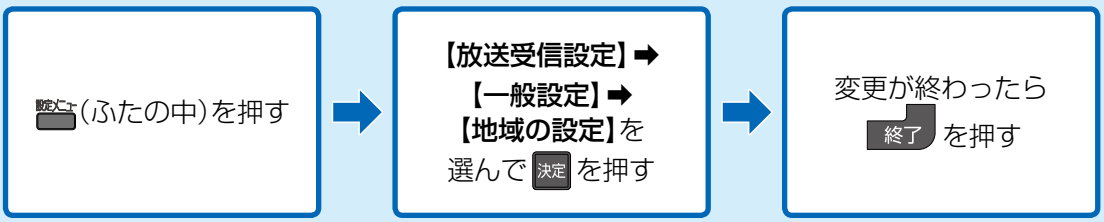

### リモコンを設定する.....50ページ





本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する.....50
本機のリモコンが他の東芝レグザサーバー(またはレコーダー)を操作しないようにする.....51
**チャンネルの設定を変更する**.....52
リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる.....52
チャンネルをスキップする.....52
**映りが悪いチャンネルを調整する**.....53
地上デジタル放送のアンテナを調整する.....53
BS・110度CSデジタル放送のアンテナを調整する.....54


### 地域設定を変更する.....55ページ





**視聴可能年齢を設定する**.....56
**メディアを用意する**.....57
ディスクの入れかた.....57
ビデオデッキやビデオカメラと接続する.....57
SDカードを入れる／USB機器と接続する.....58
**画面表示の見かた**.....59
**画面に表示されるアイコンについて**.....60
**スタートメニューについて**.....61
**スタートメニュー「簡単モード」について**.....62
「簡単モード」に切り換える.....62
「簡単モード」をつかう.....62

## タイムシフトマシン機能で録る・見る・残す　65 ページ

**タイムシフトマシン機能を設定する**.....66
【本体設定】から設定する.....66
タイムシフトマシン機能を開始／停止する.....67
録画モードを変更する.....68
録画する曜日と時間帯を設定する.....68
タイムシフトマシン録画に使用するHDDの容量を変更する.....69
BS・CSデジタル放送の放送局名を取得する.....69
タイムシフトマシン設定の状態を確認する.....69
タイムシフトマシン連携設定.....70
タイムシフトマシン機能についての補足説明.....72
タイムシフトマシン録画の視聴可能日数一覧表.....73

### タイムシフトマシン録画番組を見る.....75ページ

過去番組表 を押す → **見たい番組**を選ぶ → 再生 を押す

番組情報やタイムバーを表示させる.....78
タイムシフトマシン過去番組表を便利につかう.....79
**タイムシフトマシン録画番組を保存する**.....81

## 時短機能をつかう　85 ページ

**時短で録る**.....86
「時短で見る」初回設定について.....86

### 時短で見る.....89ページ

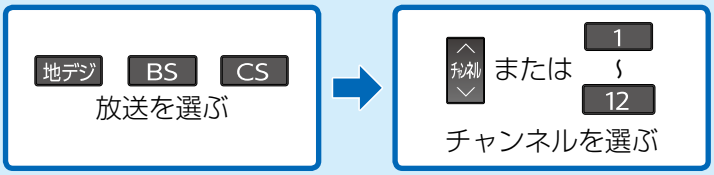
時短 を押す → **再生したい番組**と**お好みの再生コース**を選ぶ → 再生 または 決定 を押す

「時短で見る」画面について.....89
**時短で残す**.....92

## 視聴する　93ページ

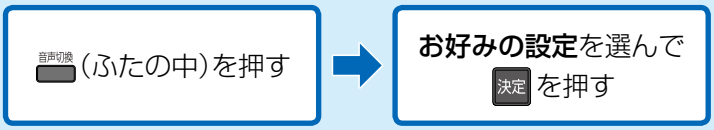
**テレビ番組を見る**.....**94**
放送中の番組を見る.....94

### チャンネルを選ぶ.....94ページ

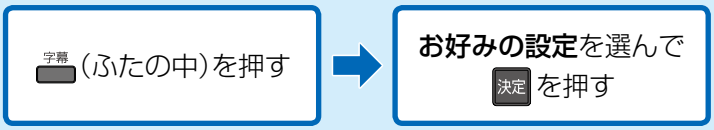



選局ガイドからチャンネルを選ぶ.....94
番組表からチャンネルを選ぶ.....94
テレビ放送に連動したデータ放送を見る.....95
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ.....95

### 視聴中の番組の音声を切り換える.....96ページ




### 視聴中の番組の字幕を切り換える.....96ページ



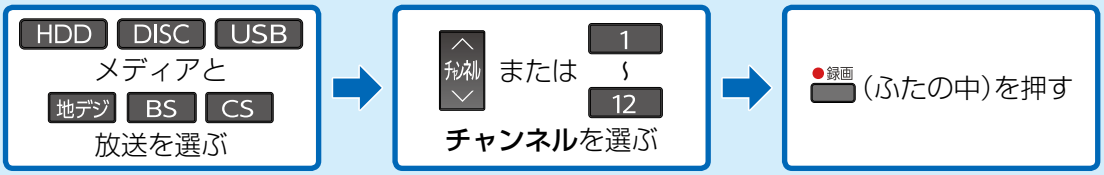

視聴中の番組のアングルを切り換える.....96
マルチ番組の映像、音声などを切り換える.....96
視聴中の番組の画質を切り換える.....97
視聴中の放送のアンテナレベルを確認する.....97
録画モードを変更する.....97
デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する.....97
**外部入力の映像を見る**.....**98**
ビデオデッキやビデオカメラの映像を見る.....98
CATV(ケーブルテレビ)やスカパー！SD(標準画質)で受信している映像を見る.....98

# 録画する

99 ページ

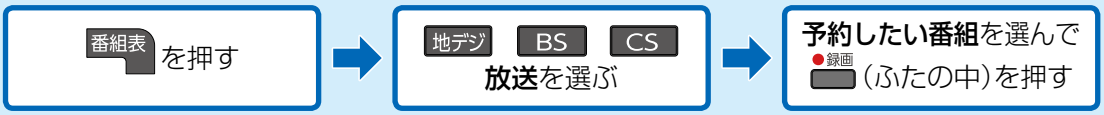
**録画の前に** ..... **100**
録画するメディアについて ..... 100
録画モードについて ..... 100

## 放送中の番組を録画する ..... 101 ページ



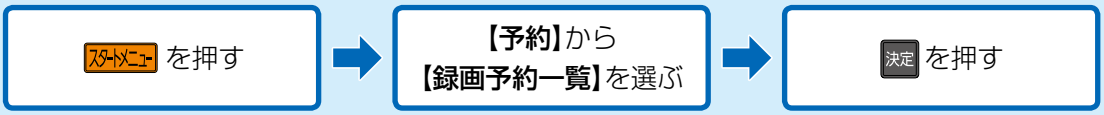

**番組表について** ..... **103**
番組表を表示する ..... 103
番組表の表示を切り換える ..... 105
番組のジャンルを色分けして表示する ..... 106
予約一覧を確認する ..... 106
番組の詳細内容を確認する ..... 106
指定した日時の番組表を表示させる ..... 106

## 番組表からワンタッチで録画予約する(一発予約) ..... 107ページ




番組表から録画モードを変更する ..... 107
**番組を検索して予約する** ..... **108**
同じ番組名を検索して予約する ..... 109
**番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)** ..... **110**
ディスクの容量に合わせて録画する ..... 112
**番組表から保存予約する** ..... **113**
**手動で入力して予約する(日時指定予約)** ..... **116**

## 予約を確認・変更・削除する ..... 118ページ




設定済みの予約を確認する ..... 118
設定済みの予約の内容を変更する ..... 118
一時的に毎週／毎日録画をやめる ..... 120
不要な予約を取り消す ..... 120
**番組表から日時指定予約する** ..... **121**

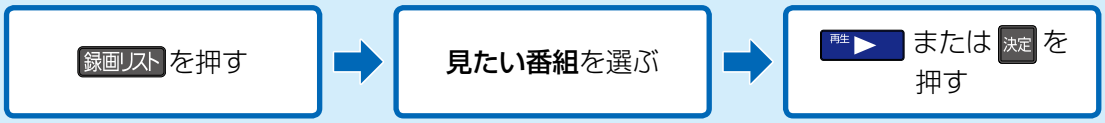
## 録画を一時停止・停止する ..... 121 ページ




**自動で録画する(おまかせ自動録画)** ..... **122**
**ネットdeレック機能で録画する** ..... **124**
**外部入力の映像を録画する** ..... **125**
CATV(ケーブルテレビ)やスカパー！ SD(標準画質)から録画する ..... 125
**録画についての補足説明** ..... **126**

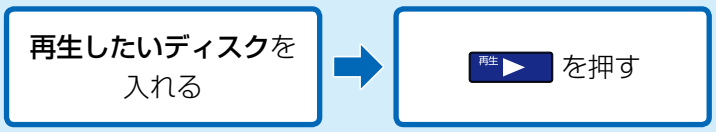
## 再生する　129 ページ

### 録画した番組を再生する……130ページ




レジューム機能（再生開始位置）について……131
録画した番組の一覧（録画リスト画面）について……133
簡単シーン検索で番組のシーンを頭出しする……136

### ディスクを再生する……137ページ




ブルーレイディスクやDVDを再生する……137
ブルーレイ3D™ディスクを再生する……137
AVCHD方式の動画が記録されたディスクを再生する……138
番号を指定してから再生する……138
音楽用CDを再生する……139
ディスク情報を確認する……139
**再生するときの操作……140**
速度を変えて再生する……140
見たい番組や場面までとばす（頭出し）……141
繰り返して見る……142
再生コースを切り換える……142
プレイリストを再生する……142
録画中の番組を最初から見る……143
**再生するときに便利な機能……144**
音声（言語）、字幕（言語）、カメラアングル（映像）を切り換える……144
再生映像のノイズを低減する……145
再生映像の画質を鮮明な画質に補正する……145
おまかせプレイ機能を切り換える……145
BD-Videoの子画面を切り換える……145
BD-Videoのバーチャル・パッケージを利用する……146
PINコードを入力する……146
**写真を再生する（スライドショー）……147**
写真リスト画面について……147
**再生についての補足説明……148**

## 削除する　149 ページ




**番組を削除する……150**
番組やプレイリストを削除する……150
フォルダから全番組を削除する……151
フォルダ内の全番組を削除する……151
ディスクの番組を削除する……152

# 編集する

153 ページ

**編集の前に** ..... 154
本機でできる編集について ..... 154
**チャプターを編集する** ..... 155
チャプターを分割する ..... 155
チャプターを結合する ..... 155
チャプターを削除する ..... 156
チャプター表示からチャプターを編集する ..... 157
**番組を分割・結合する** ..... 158
番組を分割する ..... 158
番組を結合する ..... 158

## 気に入った場面だけを集める(プレイリスト作成) ..... 159ページ

録画リスト を押して、**番組**を選んで サブメニュー を押す → **【プレイリスト作成】**を選んで 決定 を押す → **【おまかせプレイリスト作成】**を選んで 決定 を押す

プレイリストを自動で作る ..... 159
偶数または奇数番号のチャプターでプレイリストを作る ..... 159
お好みのプレイリストを作る ..... 160
**番組名を変更する・番組を保護する** ..... 161
番組名を変更する ..... 161
番組を保護する ..... 161

## 番組をフォルダで管理する ..... 162ページ

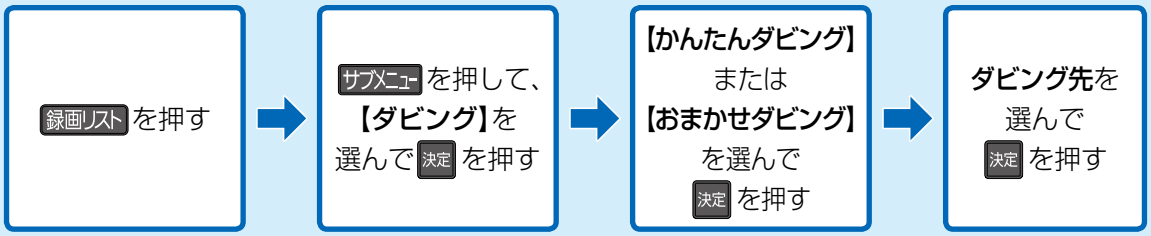
録画リスト を押す → **フォルダー一覧**を表示して サブメニュー を押す → **【フォルダ作成】**を選んで 決定 を押す

【未分類】フォルダについて ..... 162
【ジャンル】フォルダについて ..... 162
フォルダを作る ..... 162
フォルダの名前を変更する ..... 163
番組を他のフォルダに追加する ..... 163
フォルダの順番を変更する ..... 164
フォルダに入っている番組について ..... 164
フォルダを解体する ..... 165
**文字入力のしかた** ..... 166
**HDD／USB-HDDの空き容量を増やす(録画モード変換)** ..... 168

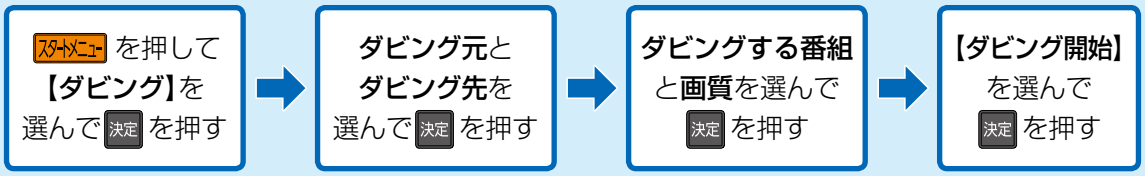
## ダビングする　169 ページ

目的別ダビングガイド.....170

### 番組を１つだけダビングする(かんたんダビング・おまかせダビング)....172ページ




### 複数の番組をまとめてダビングする.....174ページ




複数の番組をまとめてディスクにダビングする .....177
VRフォーマットのDVDへ高速ダビングする.....179
ダビングについての補足説明 .....181
ダビング制限について.....181
画質(録画モード)とダビング速度について .....183
ダビング速度について.....188
「コピー」と「移動」について.....188

# 外部機器をつかう　191 ページ

東芝テレビ「REGZA」からダビングする（レグザリンク・ダビング）.....192
テレビから本機へダビングする.....192

## 本機からネットワーク上の機器にダビングする（ネットdeダビングHD）....193ページ

スタートメニュー を押して【ダビング】を選んで 決定 を押す → ダビング元に【HDD】または【USB-HDD】を選んで 決定 を押す → ダビング先に【LAN】とダビング先の機器を選んで 決定 を押す → 【ダビング開始】を選んで 決定 を押す

AVCHD方式の動画を取り込む（ダビングする）.....194
ビデオデッキやビデオカメラなどからダビングする....195
通常録画用USB-HDDをつかう.....196
通常録画用USB-HDDに切り換える.....196
通常録画用USB-HDDに録画する.....196
通常録画用USB-HDDに録画予約する.....196
通常録画用USB-HDDに録画した番組を再生する....197
通常録画用USB-HDDにダビングする.....197
SeeQVault対応USB-HDDをつかう .....198
SeeQVault対応USB-HDDに切り換える.....198
SeeQVault対応USB-HDDに自動バックアップする ....198
SeeQVault対応USB-HDDに他機で記録された番組を再生する .....198
SeeQVault対応USB-HDDに全番組を引っ越し・バックアップする.....199
SeeQVault対応SDカードをつかう .....200
SeeQVault対応SDカード転送の詳細を確認する....200
SeeQVault対応SDカードに自動転送する .....200
SeeQVault対応SDカードに手動でダビングする....201
SeeQVault対応SDカードに他機で記録された番組を再生する .....201
スマートフォンやタブレットで視聴する .....202
本機で録画した番組を視聴する .....203
現在放送中の番組を配信する .....203
録画した番組を持ち出す .....203
スマホ持ち出し番組を作成する .....204
ホームネットワークをつかう .....206
ホームネットワークを使って再生する.....206
ネットdeナビの機能をつかう.....207
ネットdeナビを設定する .....207
eメールで録画予約する .....210
宅外配信をつかう.....213
宅外配信でできること.....213
宅外配信する前に.....213
外出先から番組を見る.....214

## 各種設定 215ページ

**タイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続・設定する……216**
タイムシフトマシン録画用USB-HDD（外付けHDD）で何ができるのか？……216
タイムシフトマシン録画用USB-HDD（外付けHDD）をつなぐ前に……216
タイムシフトマシン録画用USB-HDDをつなぐ……217
タイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録する……218

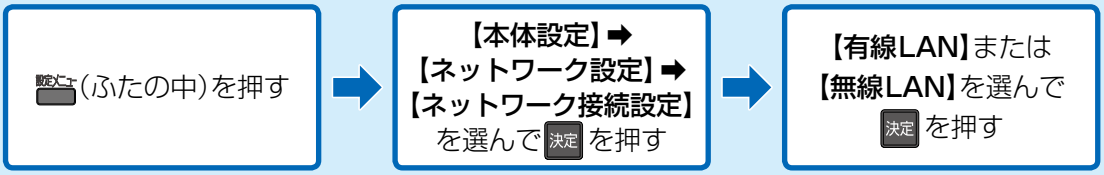
**通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDを接続・設定する……219**
通常録画用USB-HDDで何ができるのか？……219
SeeQVault対応USB-HDDで何ができるのか？……219
USB-HDD（外付けHDD）をつなぐ前に……219
USB-HDDをつなぐ……220
USB-HDDを登録する……221
SeeQVault対応USB-HDDを初期化する……222

**SeeQVault対応SDカードを挿入・接続する……224**
SeeQVault対応SDカードで何ができるのか？……224
SeeQVault対応SDカードを挿入する／接続する……224
SeeQVault対応SDカードを初期化する……225

**専用のTransferJet™転送対応機を接続する……226**
専用のTransferJet™転送対応機で何ができるのか？……226
専用のTransferJet™転送対応機を本機と接続する……226
専用のTransferJet™転送対応機を初期化する……226

**AVアンプとつなぐ……227**
HDMIケーブルを使って接続する……227

## ネットワークを接続・設定する……228ページ




LANケーブルを使って接続する……228
無線LANを使って接続する……229
ネットワーク接続設定……232
ネットワーク連携設定……236
アクセス制限を設定する……237
メール予約設定……238
ネットdeナビを設定する……239
宅外配信の設定をする……240

**レグザリンク機能について……241**
レグザリンク機能とは？……241
レグザリンク・ダビングとは？……241

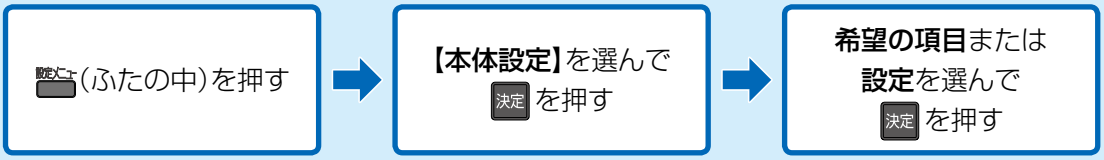
**診断モードについて……242**
【診断モード】をつかう……242
【診断モード】の項目と診断内容……242

**ソフトウェア情報と更新について……245**
ソフトウェアのバージョンを確認する……245
デジタル放送電波を使って更新する……245
サーバーを使って更新する……246

## さまざまな情報　247ページ


**本機や放送局からのお知らせを確認する**.....248
お知らせメールについて.....248
**視聴制限を設定する**.....249
パスワードを変更する.....249

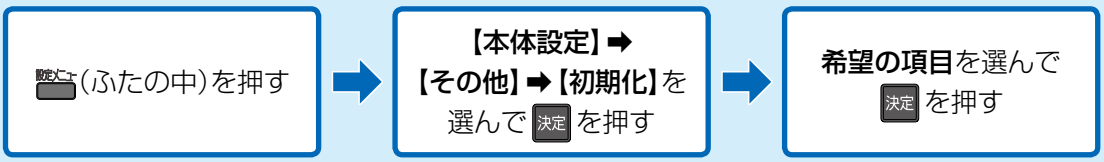

## いろいろな設定を変える(本体設定).....250ページ





【本体設定】をつかう.....250
【本体設定】の項目と設定内容.....250
言語コード一覧.....255
**放送関連の設定を変える(放送受信設定)**.....256
【放送受信設定】をつかう.....256
【放送受信設定】の項目と設定内容.....256
**本機で使えるメディアについて**.....258


## 本機を初期化する.....261ページ





**ディスクを初期化する**.....262
新品のブルーレイディスクを
初期化(フォーマット)する.....262
新品のDVDを初期化(フォーマット)する.....262
**メディアを管理する**.....264
ディスク/USB-HDD/SeeQVault対応SDカードの
名前を変更する.....264
ディスクを保護する・保護を解除する.....265
本機で記録したディスクをファイナライズする.....266
ファイナライズを解除する.....266
HDD/USB-HDD/SDカードの記録内容を全部
消去する.....267
HDDのスマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し
(VR)番組を全部消去する.....267
ディスクを初期化(フォーマット)し直す.....268
**同時にできること**.....269
**二カ国語・マルチ番組・字幕について**.....280
**本機で受信できる放送の種類**.....281
**各メディアに関するその他のお知らせ**.....282
HDDについて.....282
USB-HDDについて.....282
ディスクについて.....283
SDカードについて.....284
USB機器について.....284
本機で再生できるJPEGファイルについて.....284
番組・チャプター・トラック・ファイル・
フォルダについて.....285
**記録時間一覧表**.....286
**テレビ画面に表示されるメッセージ**.....288
**困ったときは**.....291
よくあるご質問.....291
**症状に合わせて解決法を調べる**.....295
おかしいな?と思ったときの調べかた.....295

# もくじ・つづき



## ご注意と参考資料　308 ページ

使用上のお願い.....308
参考資料.....316
アスペクト比(画面比)について .....316
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報 .....317
商品の保証とアフターサービス .....318

## 仕様と総合さくいん・用語解説　320 ページ

仕様.....320
総合さくいん・用語解説.....322
商品のお問い合わせに関して .....裏表紙

# マークについて



## 本書で使用するマークの意味

お知らせ　機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

ご注意　取扱上のご注意を記載しています。

関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。

## メディアやフォーマットを表すマーク

**HDD**　内蔵ハードディスク

**USB-HDD**　外付けハードディスク

- 通常録画用 USB-HDD　通常録画用として登録された外付けハードディスク
- SeeQVault対応 USB-HDD　引っ越し・バックアップ用として登録されたSeeQVault対応外付けハードディスク
- タイムシフトマシン用 USB-HDD1　タイムシフト録画用USB端子で、タイムシフトマシン録画用として登録された外付けハードディスク
- タイムシフトマシン用 USB-HDD2　通常録画／タイムシフト録画用USB端子で、タイムシフトマシン録画用として登録された外付けハードディスク

**BD**　BDAV方式のBD-RE／BD-Rディスク

**BD-Video**　映画など、市販のBD-Videoディスク

**DVD-Video**　映画など、市販のDVD-Videoディスク

**CD**　音楽用CD

SeeQVault対応 SDカード　本機前面のSDカードスロットに挿入した東芝の対応機器で番組が記録されたSeeQVault対応SDカード

SeeQVault対応 SDカード(USB接続)　本機前面のメモリ専用USB端子とSeeQVault対応SDカードリーダーを介してUSB接続した東芝の対応機器で番組が記録されたSeeQVault対応SDカード(専用のTransferJet™転送対応機を含みます。)

**AVCフォーマット**　AVCREC™方式のDVD-RW／DVD-Rディスク

**VRフォーマット**　VR方式のDVD-RW／DVD-R／DVD-RAMディスク

**Videoフォーマット**　Video方式のDVD-RW／DVD-Rディスク

**AVCHDフォーマット**　AVCHD方式の映像が記録された以下のメディア

- DVD-RW／DVD-Rディスク
- DVD-RAMディスク
- USB機器※1、2
- SDカード／SeeQVault対応SDカード※1

**JPEGフォーマット**　JPEGが記録された以下のメディア

- BD-RE／BD-Rディスク
- DVD-RW／DVD-Rディスク
- CD-RW／CD-Rディスク
- USB機器※2
- SDカード／SeeQVault対応SDカード

※1　USB機器またはSDカード／SeeQVault対応SDカードに記録されたAVCHD形式の映像は、本機の内蔵ハードディスクにダビングしてから再生してください。USB機器またはSDカード／SeeQVault対応SDカードから直接再生することはできません。詳しくは、194をご覧ください。

※2　USB機器について詳しくは、284をご覧ください。

# 安全上のご注意



製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## ■ 表示の説明

| 表　　示 | 表示の意味 |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 「取扱いを誤った場合は、人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること」を示します。 |
| ⚠ 注意 | 「取扱いを誤った場合は、人が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること」を示します。 |

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が出るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## ■ 図記号の例

| 図　記　号 | 図記号の意味 |
|---|---|
|  禁　止 | 「⃠」は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。<br>具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
|  指　示 | 「●」は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。<br>具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
|  注　意 | 「△」は、**注意**を示します。<br>具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |

# ⚠ 警告

## 異常や故障のとき

**次のときは、直ちに電源プラグを抜く**

- **煙が出ていたり、変なにおいがしたりするとき**
- **内部に水や異物がはいったとき**
- **落としたり、キャビネットを破損したとき**
- **電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがの恐れがあります。


プラグを抜け

## 設置するとき

**電源プラグは交流100Vのコンセントに接続する**

交流100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。


指　示

**本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する**

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。


指　示

**ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない**

本機が落ちて、けがの原因となります。


禁　止

**屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない**

火災・感電の原因となります。


風呂、シャワー室での使用禁止

**上にものを置かない**

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合は、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合は、けがの原因となります。


上載せ禁止

# ⚠警告

## 使用するとき

**電源コードは**
- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。




**可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない**

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生する恐れがあります。




**雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない**

感電の原因となります。




**修理・改造・分解はしない**

火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。




**電池は乳幼児の手の届かないところに保管する**

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。




**ディスクトレイなどから異物を入れない**

金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合は、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。




**miniB-CASカードを取りはずしておく場合は、乳幼児の手の届かないところに保管する**

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。




**ディスクトレイ開閉口の前にものを置かない**

ディスクトレイが開いたときに、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。




**無線LAN機能を使用する場合に心臓ペースメーカーを装着している人は、心臓ペースメーカーの装着部位から本機を22cm以上離す**

本機の無線LANの電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。




**無線LAN機能は、病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない**

本機の無線LANの電波が医療用電気機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。




**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

たこ足配線などにより定格を超えると、火災の原因となります。




## お手入れ

**ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの差込口にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する**

電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。また、接触不良による故障の原因となります。
（電源プラグを抜く際は、リモコンの停止ボタン 停止 を押しながら本機上面の 電源 を押して、電源ボタンのランプが消灯したことを確認してから、電源プラグを抜いてください。）



# 安全上のご注意・つづき



## ⚠注意

### 設置するとき

**風通しの悪い場所に置かない**
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。




**湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない**
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。




**背面の内部冷却用ファンの通風孔をふさがない**
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
これら通風孔とラックとの間は10cm以上離してください。




**温度の高い場所に置かない**
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。




**高い場所に設置しない**
本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。




**本機に接続するケーブルは正しく接続する**
正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。




### 使用するとき

**移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずす**
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、ひっかかるなどして、けがの原因となることがあります。




**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。




**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となることがあります。




**旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。




**電源を入れる前には音量を最小にする**
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。




**テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない**
音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。




**ディスクトレイに手を入れない**
指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様がいるときにはご注意ください。




**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない**
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。




**リモコンに使用している乾電池は、**
- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性［(＋)と(－)］を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



# ⚠注意

本機で3D映像を楽しむときには、以下の注意事項をお守りください。
3D映像視聴の際には、3D対応テレビ(ディスプレイ)および3D対応メガネに付属の取扱説明書などに記載の説明事項・注意事項も十分ご確認のうえ、これらの事項を守って視聴してください。

## 3D映像を見るとき

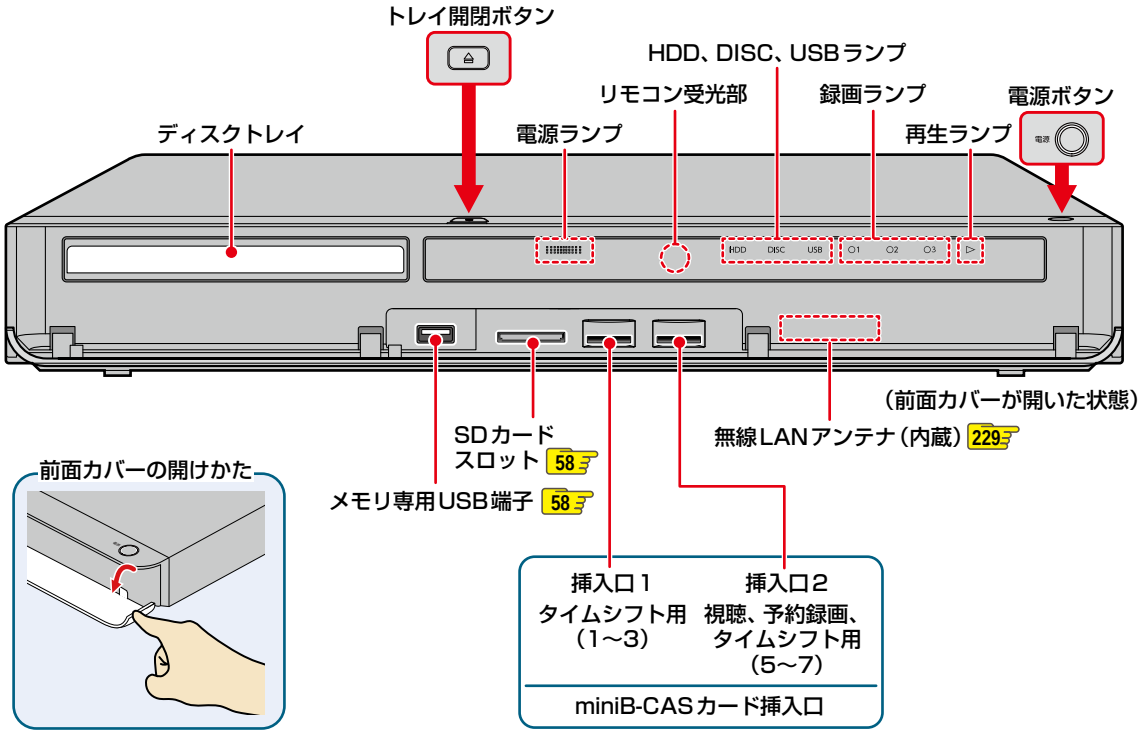
| | |
|---|---|
| **てんかんの可能性がある人、光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調の悪い人は3D映像を見ない**<br>症状悪化の原因となることがあります。<br>  <br>禁 止 | **近視の人、遠視の人、左右の視力が異なる人、乱視の人は、視力矯正メガネなどを着用し視力を矯正したうえで3Dメガネを着用する**<br>視力を矯正しないで3D映像を見ると、目の疲れや、視力がより低下する原因となることがあります。<br>  <br>指 示 |
| **画面(映像)から適正な距離で視聴する**<br>近づいて視聴すると、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。使用するテレビ(ディスプレイ)に付属の取扱説明書などで推奨される距離で視聴するようにしてください。<br>  <br>指 示 | **長時間の視聴は避け、適度に休憩をとる**<br>長時間の視聴は目の疲れの原因となることがあります。<br>  <br>指 示 |
| **3D映像を見ているときに、感覚に異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりしたときは、見るのをやめる**<br>そのまま見続けると体調不良の原因となることがあります。<br>  <br>指 示 | **3D映像が二重の映像に見えたり、立体感が得られなかったりしたら見るのをやめる**<br>そのまま見続けると目の疲れの原因となることがあります。<br>  <br>指 示 |
| **3D映像の視聴年齢は6歳以上を目安にする**<br>お子様が3D映像を視聴する場合は、保護者の方の管理のもとに、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。<br>  <br>指 示 | **周囲の人や物に注意する**<br>3D映像で距離感を誤って手を伸ばしたり、3D映像を実際の物と間違えて急に身体を動かしたりすると、周囲の人にけがをさせたり、周囲の物を壊してけがをしたりする原因となることがあります。周囲に壊れやすいものを置かないようにしてください。<br>  <br>注 意 |

お知らせ
● 「安全上のご注意」をお読みになったあとは、「使用上のお願い」308も同様に、必ずお読みください。

# 各部のなまえとはたらき



## 本機前面




## 本機が動作中のとき

以下のようにランプが点灯・点滅します。

### HDD、DISC、USBランプ

**点灯：** 電源「入」のときに操作できるメディア
**点滅(HDDのみ)：** ダウンロードしたソフトウェアの更新中

### 録画ランプ(●1、●2、●3)

**点灯：** 録画中、等速ダビング中、ネットdeレック中
**点滅：** タイムシフトマシン録画番組を保存中、予約録画準備中(待機状態)、録画一時停止中、高速ダビング中、ネットワークを使ったダビング中、ディスクのファイナライズ中

### 再生ランプ(▶)

**点灯：** 再生中、等速ダビング中
**点滅：** 再生一時停止中、高速ダビング中、タイムシフトマシン録画番組を保存中

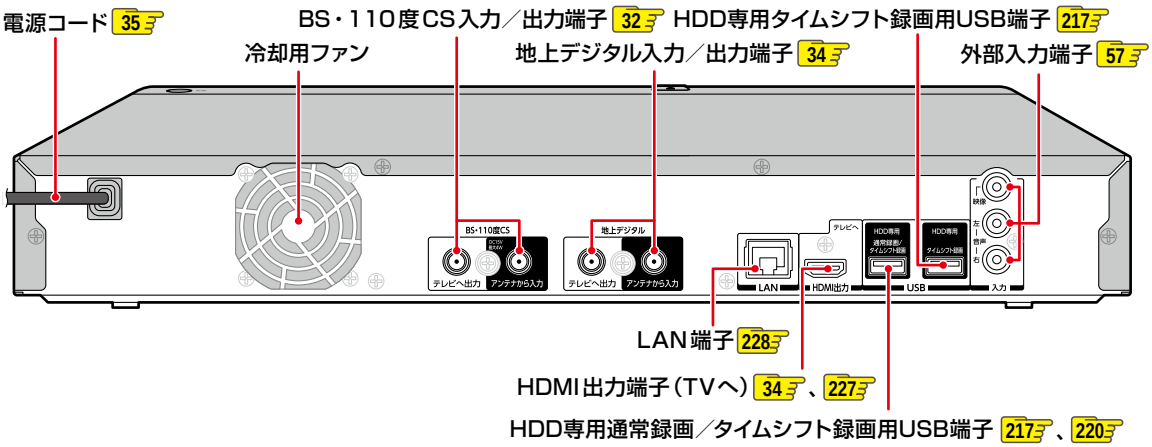
### 電源ランプ

**点灯(緑)：** 動作中
**点滅(橙)：** 電源「入」にしてから動作可能になるまで(起動中)
**点灯(橙)：** 電源「切」の状態で、以下のような場合
- 【瞬速起動】設定時間帯、ソフトウェアのダウンロード中、番組データ取得中、番組を配信中、録画モード変換中、自動バックアップ中、タイムシフトマシン録画中、システムメンテナンス中、SeeQVault対応SDカードへの転送中

**消灯：** 電源「切」(電源プラグをコンセントから抜いても問題ない状態)

※ 使用状況によっては、電源を「切」にしてからランプが点灯(橙)または消灯するまでに時間がかかることがあります。

## 本機背面




ご注意

- 本機内部の放熱をよくするために、背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm以上空けてください。

お知らせ

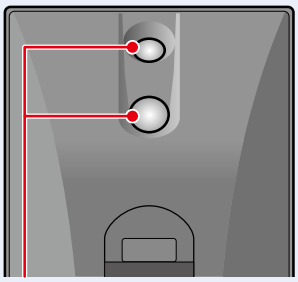
- 背面の冷却用ファンは、本機の電源が「入」、【瞬速起動】設定時間帯、予約録画時間帯、番組データ受信時およびタイムシフトマシン設定のタイムシフトマシン有効時間帯に常時回ります。

# 各部のなまえとはたらき・つづき



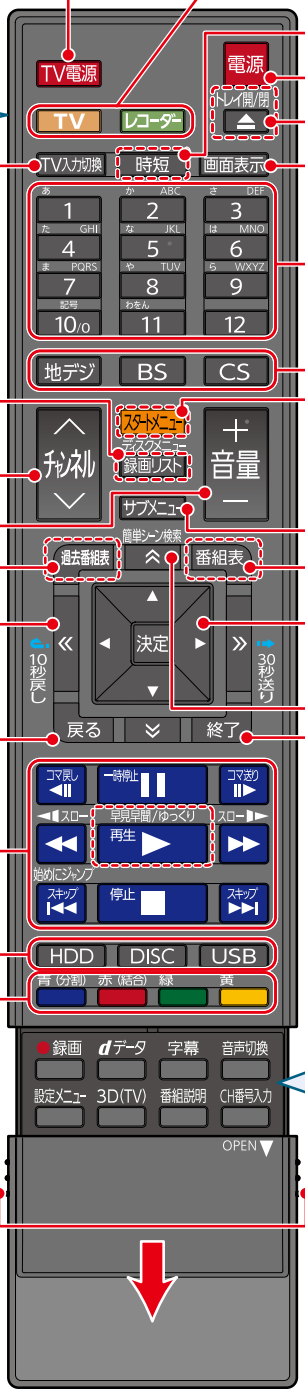
## リモコン

### 背面



**リモコン発光部**
本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

### 前面




テレビの電源を入れる／切る

テレビと本機のリモコン信号を切り換える

時短機能を利用する

本機の電源を入れる／切る

ディスクトレイを開く／閉じる

本機の情報を表示する

チャンネル番号を選ぶ
番号や文字を入力する

**地デジ**：地上デジタル放送に切り換える
**BS**：　BSデジタル放送に切り換える
**CS**：　110度CSデジタル放送に切り換える

テレビの入力を切り換える

ディスクメニューまたは録画リストを表示する

スタートメニューを表示する

チャンネルを順送りまたは逆送りで選局する

テレビの音量を調節する

サブメニューを表示する

タイムシフトマシン過去番組表を表示する

番組表を表示する

《·》·《·》：番組表などでページを切り換える
《：ワンタッチリプレイを実行する（10秒戻し）
》：ワンタッチスキップを実行する（30秒送り）

▲·▼·◀·▶：選ぶ
**決定**：　決定する

視聴中の番組情報から取得したキーワードを表示する【簡単シーンジャンプ！】機能

1つ前の画面に戻る

設定を終了して、メニューや画面表示を消す

再生や再生中の操作で使用する

メディアを切り換える

操作画面などで使用する

### ふたの中

- **●録画**：　録画する
- **dデータ**：　データ放送に切り換える
- **字幕**：　字幕を切り換える
- **音声切換**：　音声を切り換える
- **設定メニュー**：設定メニュー画面を表示する
- **3D(TV)**：　テレビの3D表示を切り換える
- **番組説明**：　番組情報を表示する
- **CH番号入力**：チャンネル番号入力で選局する

両側の突起部分に指をかけて、
矢印方向へスライドさせて開きます。

**ご注意**

- リモコンが正しく操作ができないときは、「症状に合わせて解決法を調べる」307をご覧ください。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単四形の乾電池（1.5V 2本）をお使いください。
- 乾電池の入れかたについて詳しくは、35をご覧ください。

**お知らせ**

- 電源 以外でも、上の図の［　］で囲われているボタンを押して本機の電源を入れることができます。

# レコーダーを準備する

本章では、本機を操作する前に設定しておきたい内容を説明しています。


テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ ..... 26

## はじめての設定をする

1 電源 押す

2 


3 画面の指示に従って ▲·▼·◀·▶ と 決定 押す

詳しくは ..... 37

## リモコンを設定する

1 設定メニュー（ふたの中）押して 【本体設定】を選んで 決定 押す

2 【その他】➡【リモコン設定】➡【テレビリモコン設定】を選んで 決定 押す

3 地デジ を押したまま 数字ボタンを 押す

詳しくは ..... 50

チャンネルの設定を変更する ..... 52

映りが悪いチャンネルを調整する ..... 53

## 地域設定を変更する

1 設定メニュー（ふたの中）押す

2 【放送受信設定】➡【一般設定】➡【地域の設定】を選んで 決定 押す

3 変更が終わったら 終了 押す

詳しくは ..... 55

視聴可能年齢を設定する ..... 56

メディアを用意する ..... 57

画面表示の見かた ..... 59

画面に表示されるアイコンについて ..... 60

スタートメニューについて ..... 61

スタートメニュー「簡単モード」について ..... 62

# テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ

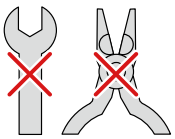


## アンテナ・同軸ケーブルについて

- デジタル放送用のアンテナやケーブル、プラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
  アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- BS・110度CSアンテナは電源の供給を必要とします。本機はBS・110度CSデジタル放送用アンテナへ電源の供給ができます。詳しくは、「BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ」32をご覧ください。
- BS・110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナに付属の取扱説明書をお読みください。
- 平行フィーダー線は、受信障害の原因となることがあるので、使用しないでください。

ご注意

- **同軸ケーブルがF型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。**
  **工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子、本機の地上デジタル入力／出力端子やBS・110度CS入力／出力端子などが破損する恐れがあります。**



## HDMIケーブルについて

- 映像・音声信号をケーブル1本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。
  また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送のHD放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
- 東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」と接続すると、レグザリンク機能が使えます。詳しくは、「レグザリンク機能について」241をご覧ください。
- HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。（ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声が途切れてしまいます。）
  接続確認済みHDMIケーブルについては、以下になります。
  （2017年2月現在）
  - オーディオテクニカ HDMIケーブル AT-HMHシリーズ
  - JVCケンウッド HDMIケーブル Eシリーズ

  ※ 東芝のテレビとの接続動作を確認しておりますが、すべてのケーブルでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- HDMIケーブルは、タイプCなどプラグの大きさや形状によって接続できないものもあります。
- 本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI－HDMIケーブルには対応していません。HDMI入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI規格に準拠していれば利用できます。

## 電源プラグについて

- 電源プラグを抜く際は、リモコンの停止ボタン［停止］を押しながら本機上面の［電源］を押して、電源ボタンのランプが消灯したことを確認してから、電源プラグを抜いてください。
- 本機の電源プラグをコンセントから抜くと、本機背面の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子に接続したテレビなどで放送を受信できなくなる場合があります。その場合は、本機の電源プラグは常にコンセントに差し込み（通電状態にして）、【放送受信設定】➡【一般設定】の【アンテナ出力】を【入】にしておいてください。詳しくは、「アンテナ出力」257をご覧ください。
- 本機の動作中は電源プラグを抜き差ししないでください。正常に録画できなかったり、録画中、編集中、ダビング中のHDDやディスクが使用できなくなる恐れがあります。

## リモコンについて

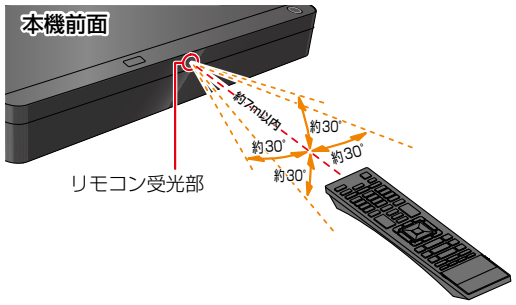
- 乾電池が完全に入らない状態でつかうと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 以下の場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
  - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
  - リモコンコードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定（【リモコンコード1】、「東芝A」）に戻ってしまうとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- オキシライド乾電池（ZR6）、エボルタ乾電池（LR6）などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- リモコンの乾電池を交換するとリモコンコードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定（【リモコンコード1】、「東芝A」）に戻ることがあります。この場合は、もう一度設定してください。50、51
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

### リモコンが効かない場合について

- 本機とリモコンのリモコンコードが合っていない可能性があります。リモコンのリモコンコードを設定してください。51
- 乾電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してください。35

## リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。




距離… 本機正面から7m以内
角度… 本機正面から上下 約30°以内(5m以内)
左右 約30°以内(5m以内)

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

## リモコンの取扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

お知らせ

- 本機のリモコンと液晶シャッター方式の3Dメガネは、どちらも赤外線信号を使用します。
本機のリモコン受光部とテレビの3Dメガネ用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがありますので、なるべく離して使用してください。

# miniB-CASカードについて

本機でデジタル放送を視聴いただくには、付属のminiB-CASカードが必要です。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に差し込んでおくことをおすすめします。

付属のminiB-CASカードのID番号は本書の「miniB-CASカードID番号記入欄」にも記入しておいてください。319

- 本機に同梱されているminiB-CASカードは、本機以外で使用しないでください。

## miniB-CASカードの取扱い

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 金色の端子部分には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。

ご注意

- 本機のminiB-CASカード挿入口に付属のminiB-CASカード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴や通常録画、タイムシフトマシン録画ができなくなる場合があります。
- miniB-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 付属のminiB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与されたたいせつなカードです。
破損や紛失などの場合は、直ちにB-CAS「(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4は、miniB-CASカードを使用しないコンテンツ管理保護専用方式(RMP方式)を採用しています。

お知らせ

- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ先
(2017年2月現在)
(株)ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズカスタマーセンター
TEL 0570-000-250
(IP電話からの場合は045-680-2868)
http://www.b-cas.co.jp/



次ページへつづく

# テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき



## 有料放送の契約をする

- 有料放送をご契約されるときは、miniB-CASカードのID番号が必要になります。
- お持ちの機器に付属のminiB-CASカードでBS・110度CSデジタルの有料放送を契約済みの場合は、有料放送の契約を本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のID番号に変更してください。
- 「はじめての設定をする」37を実行してから、確認してください。

### 1 本機とBS・110度CS対応アンテナを接続する

- 詳しくは、32をご覧ください。

### 2 本機にminiB-CASカードを挿入する

- 詳しくは、34の手順❹をご覧ください。

### 3 miniB-CASカードのID番号を確認する

#### 設定メニューから確認するときは

設定メニュー（ふたの中）を押してから、【放送受信設定】➡【一般設定】➡【B-CASカードの確認】➡【miniB-CASカード挿入口1】または【miniB-CASカード挿入口2】の順番に選ぶ

- miniB-CASカード挿入口1とminiB-CASカード挿入口2に挿入した、miniB-CASカードのID番号を確認できます。

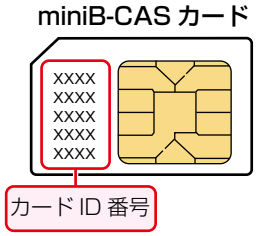
#### タイムシフトマシン過去番組表から確認するには

過去番組表 を押して、タイムシフトマシン過去番組表を表示中に 画面表示 を押す

タイムシフトマシン過去番組表で選択している番組（チャンネル）の表示に使用しているminiB-CASカードのID番号が表示されます。

#### miniB-CASカード裏面から確認するには

本機からminiB-CASカードを取りはずし、miniB-CASカード裏面に記載されているID番号をご確認ください。




### 4 有料放送事業者と契約する

- 有料放送事業者によって、契約方法が異なります。詳しくは、右ページをご覧ください。
- 有料放送を契約するときは、タイムシフトマシン機能を解除してください。解除方法について詳しくは、「タイムシフトマシン機能を設定する」66をご覧ください。また、契約更新期間では【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】7に設定したチャンネルのみ、システムメンテナンス時間が延長される場合があり、その時間帯はタイムシフトマシン録画ができません。

### 5 契約が完了したことを確認する

- miniB-CASカード挿入口1に挿入したminiB-CASカードを有料契約に使用した場合は、有料契約したチャンネルをタイムシフトマシン録画し、その番組を再生して、映像と音声が正しく出力されているかご確認ください。
- miniB-CASカード挿入口2に挿入したminiB-CASカードを有料契約に使用した場合は、有料放送チャンネルを選んで、映像と音声が正しく出力されているかご確認ください。

### 6 NHKにBS受信機設置の連絡する

- miniB-CASカード挿入口2（視聴、予約録画、タイムシフト用）のB-CASカードのカードIDでご連絡ください。
- 連絡したカードと異なるminiB-CASカードをminiB-CASカード挿入口２に挿入した場合は、視聴中またはタイムシフトマシン再生中に表示されるNHK－BS設置のメッセージは消えません。挿入口を間違えないようにご注意ください。

ご注意

- 詳しくは有料放送事業者にお問い合わせください。
- どのminiB-CASカードのカードIDで有料放送を契約したらよいのかを確認するには、67をご覧ください。

## WOWOW

❶ **以下のいずれかの方法でお申し込みください。**

- ■ ネットから ➡ 「WOWOW」で検索
- ■ お電話から ➡ WOWOWカスタマーセンター
  0120-816-440

❷ **手続き完了後、WOWOW　BS-9ch（191ch）を選局して15分程度お待ちください。**

（左ページの手順 *5* で契約ができているかご確認ください。）

## スカパー!

ココロ動く、未来へ。

❶ **CS161 QVCチャンネルを選局して、視聴できるかを確認してください。**

リモコンの CS を押す ➡ CH番号入力 （ふたの中）を押す ➡ 1 ・ 6 ・ 1 の順に押す

❷ **以下のいずれかの方法でお申し込みください。**

- ■ ネットから ➡ スカパー!公式サイト　http://www.skyperfectv.co.jp 加入手続き内新規加入申し込み
- ■ お電話から ➡ スカパー!カスタマーセンター（総合窓口）
  0120-039-888 または 03-4334-7777
- ■ 本機から ➡ チャンネルをCS100　スカパー!プロモ100に合わせて、案内に従ってお申し込みください。

お申し込み完了後、申し込み時の案内に従い、ご契約いただいたチャンネルを選局し、視聴可能になるまでしばらくお待ちください。

## STAR CHANNEL

❶ **BSデジタルでスター・チャンネルをご覧いただくには、まずスカパー！にご加入いただく必要があります。**

- ■ 具体的なご加入のフロー、加入のお申し込みについては、スカパー!の加入案内サイトをご確認ください。
  http://www.skyperfectv.co.jp/guide/
- ■ スカパー!をすでに見ている方は、加入者専用Myスカパー!から加入申し込みできます。
  https://my.skyperfectv.co.jp/login/

# テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

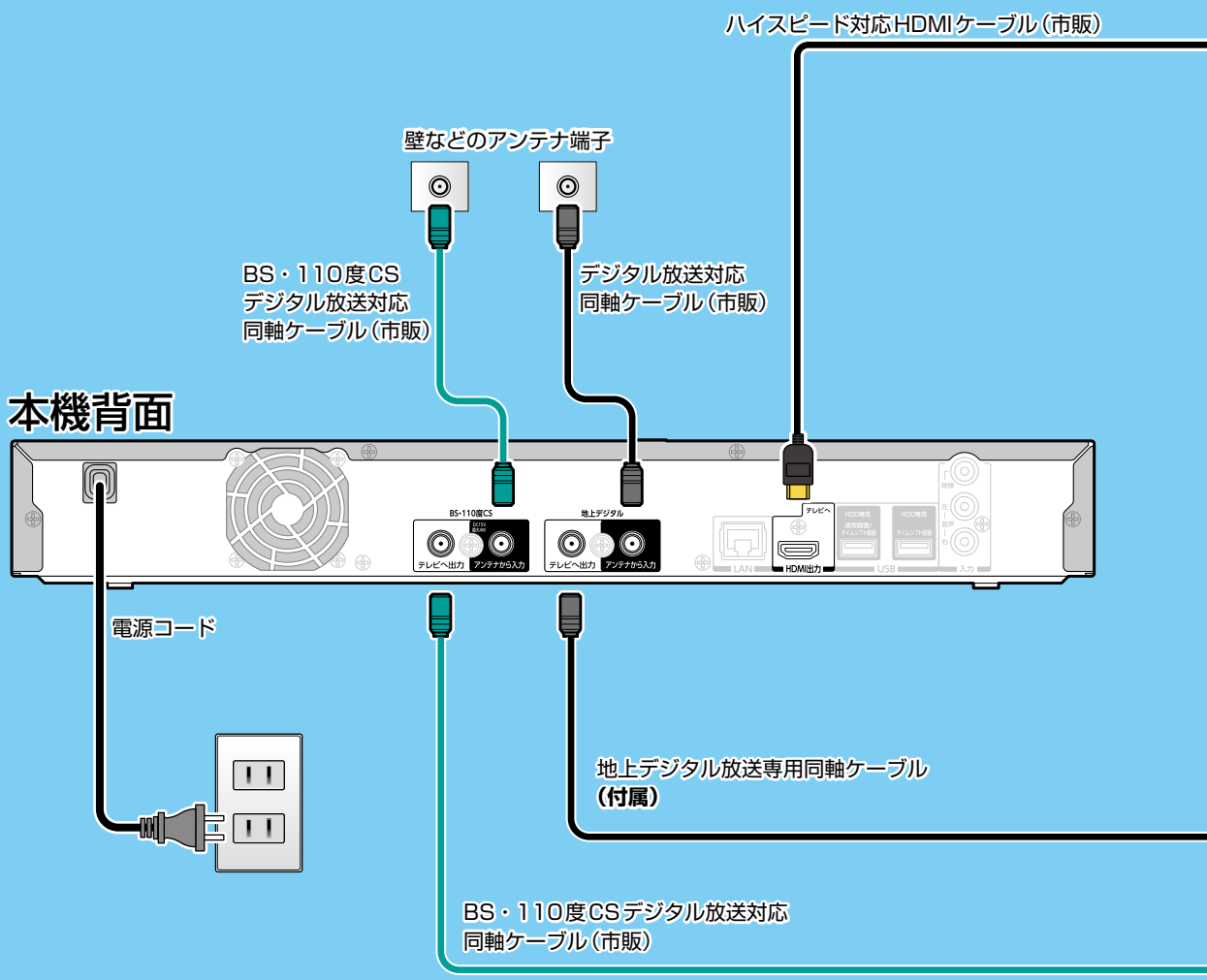
## ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

### 地上デジタル放送を利用する

34 ～ 35 の手順 1 ～ 8 を行ってください。

### BS・110度CSデジタル放送を利用する

「BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ」32 の接続をしてから、34 ～ 35 の手順 3 ～ 8 を行ってください。



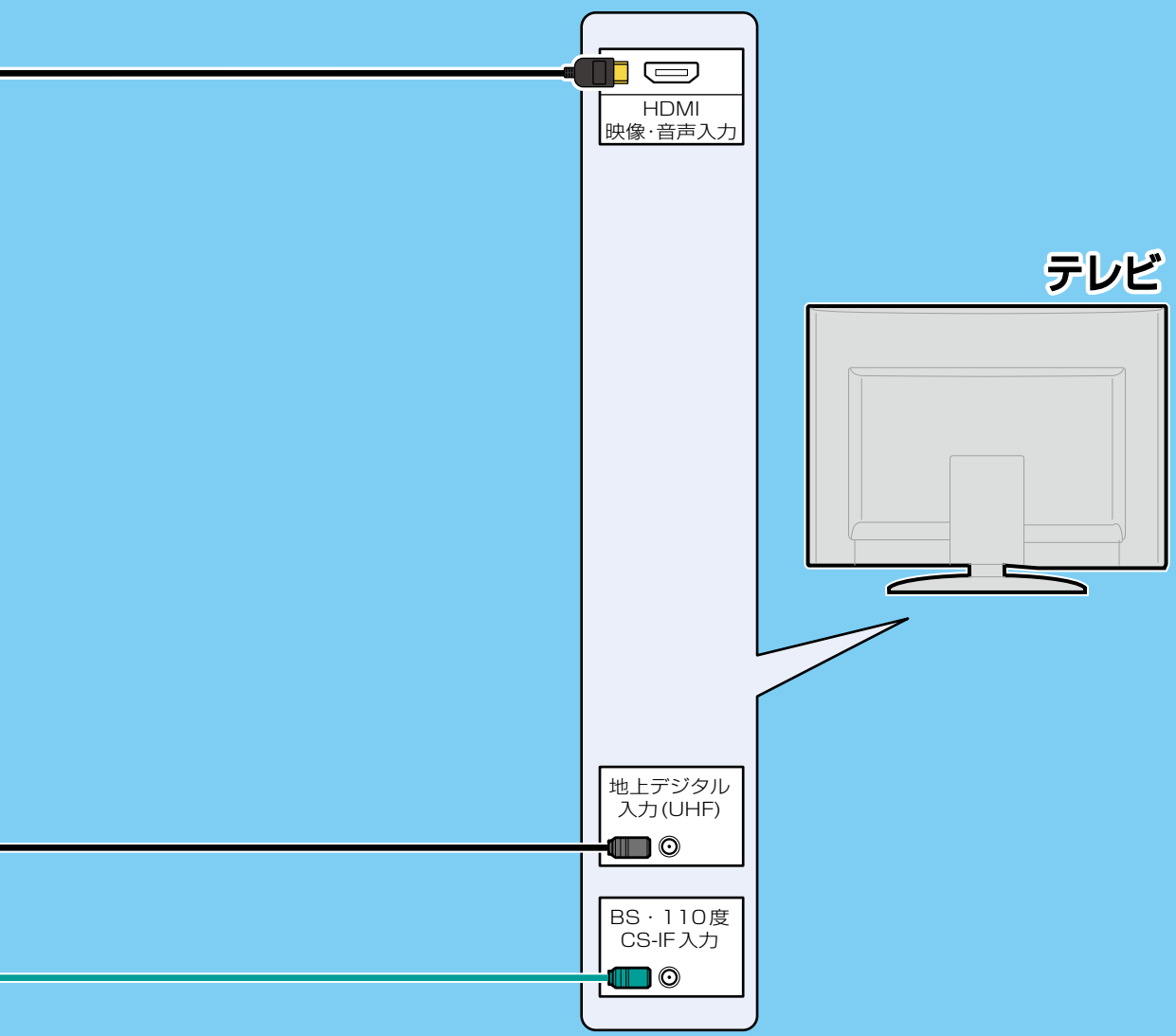

**お知らせ**

- 付属の同軸ケーブルは地上デジタル放送専用です。BS・110度CSデジタル放送の接続には使用しないでください。
- HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。
  （ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声が途切れてしまいます。）
  接続確認済みHDMIケーブルについては、以下になります。（2017年2月現在）
  - オーディオテクニカ HDMIケーブル AT-HMHシリーズ
  - JVCケンウッド HDMIケーブル Eシリーズ

※ 東芝のテレビとの接続動作を確認しておりますが、すべてのケーブルでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

## CATV(ケーブルテレビ)を利用する

「CATVチューナーをつなぐ」36の接続をしてから、34～35の手順3～8を行ってください。



# テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

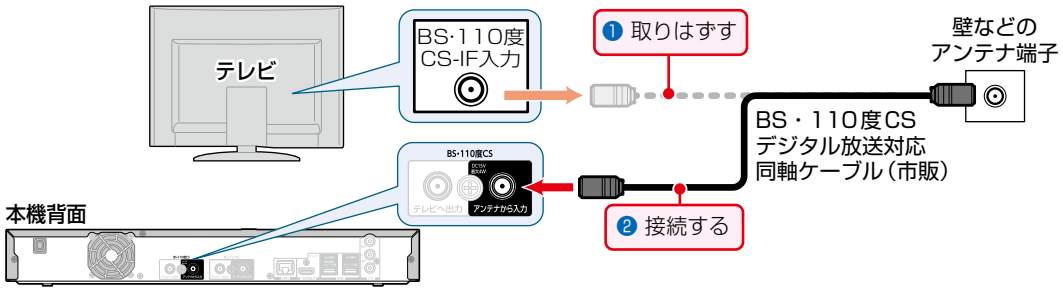


## BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

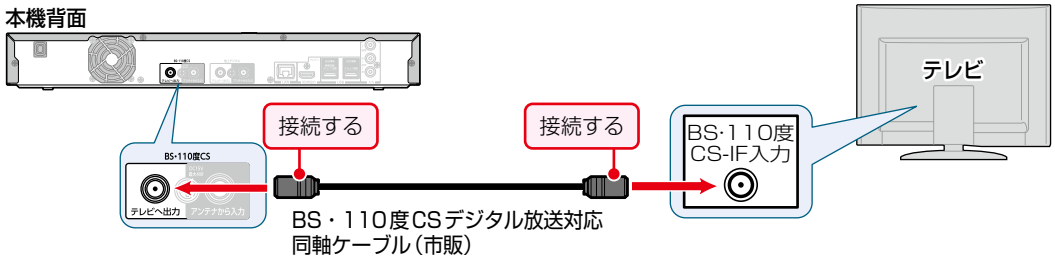
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が別々のときと、アンテナ端子が1つのときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

### アンテナ端子が別々のときは

**1** アンテナ線を本機につなぐ




**2** 本機とテレビをつなぐ



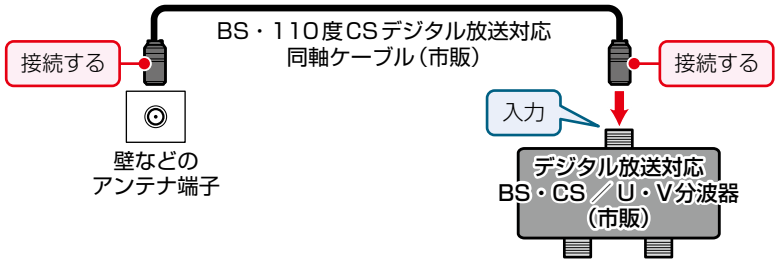

ご注意

- BSアンテナに電源を供給する場合はアンテナ電源設定を行ってください。電源設定を正しく行わないと、受信ができないことがあります。257

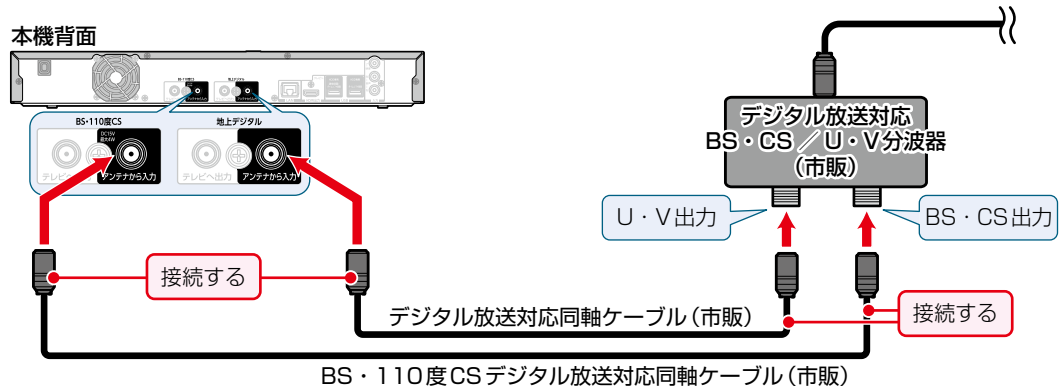
## アンテナ端子が１つのときは

マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が１つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。

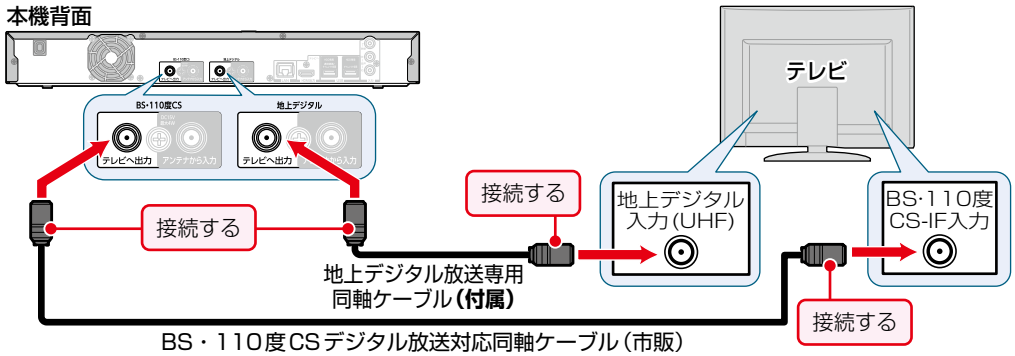
### 1 アンテナ線を分波器につなぐ




### 2 分波器と本機をつなぐ




### 3 本機とテレビをつなぐ



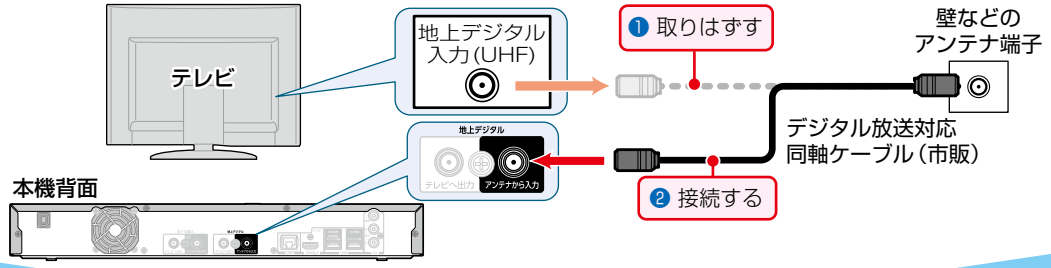

お知らせ

- 分波器（市販）には、ケーブル一体型のものや３分波タイプのものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分波器を選べば良いかわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- BS・U／V分波器・分配器は、金属シールドタイプ（亜鉛ダイカスト製など）で110度CS帯域（2150MHz）まで対応の、電流通過型のものをご使用ください。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 付属の同軸ケーブルは地上デジタル放送専用です。BS・110度CSデジタル放送の接続には使用しないでください。

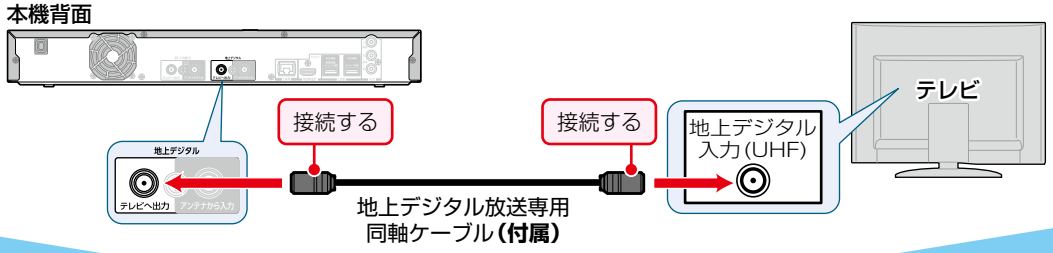
# テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき



## 1 アンテナ線を本機につなぐ

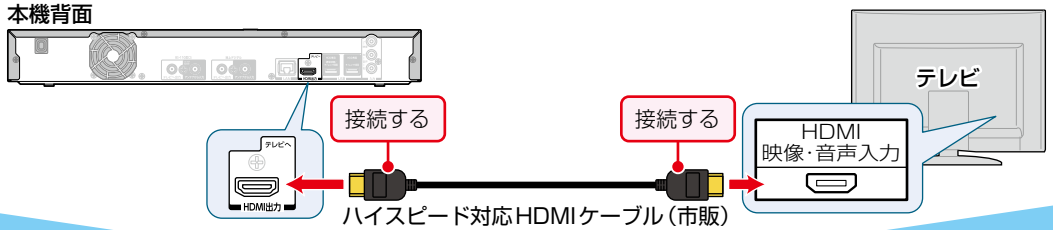



## 2 同軸ケーブルを本機とテレビにつなぐ



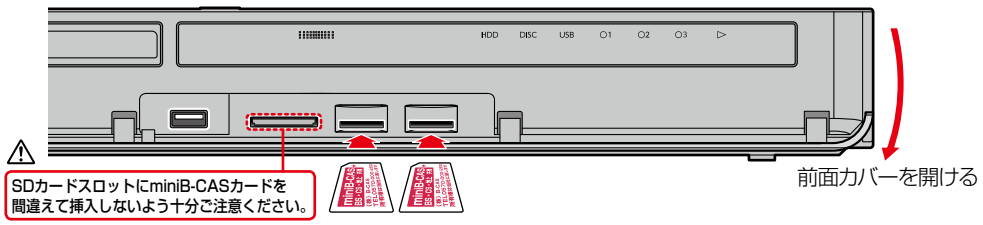

## 3 HDMIケーブルをつなぐ

- HDMIロゴのあるハイスピード対応HDMIケーブル(市販)をお使いください。



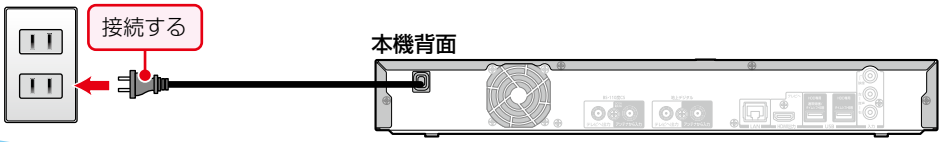

## 4 miniB-CASカードを入れる

- 赤色面を上に向け、★マークのある側からminiB-CAS カード挿入口1、2に「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。



## 5 電源プラグを差し込む

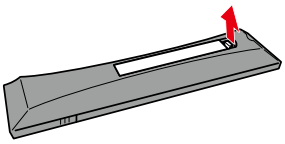
- 電源プラグを交流(AC) 100Vのコンセントに差し込むと、電源ランプ(橙)が点滅し、本機が通電状態になります。
- 電源ランプ(橙)点滅中は操作できません。電源ランプ(橙)が消えると、本機の電源を「入」にして、操作できるようになります。



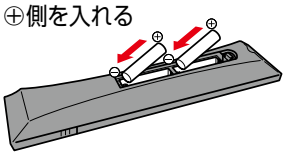

## 6 リモコンに乾電池を入れる

- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単四形の乾電池(1.5V 2本)をお使いください。

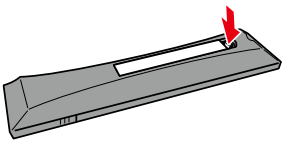
❶ リモコン裏面のふたをはずす



❷ 乾電池の⊖側を入れたあと、⊕側を入れる

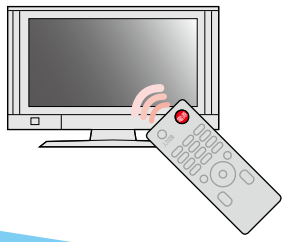


❸ 裏面のふたを取り付ける

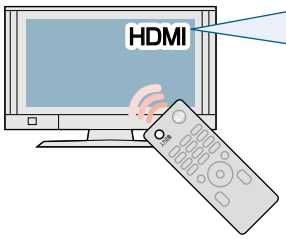


## 7 テレビの入力を切り換える

❶ 電源を入れる



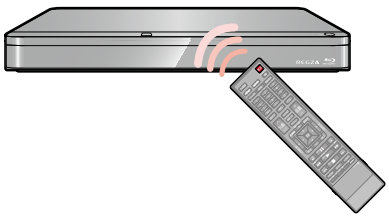
❷ 外部入力に切り換える




HDMI → ビデオ 1 → ビデオ 2

テレビのリモコンの「入力切換」ボタンを繰り返し押して、画面に【HDMI】を表示させます。

## 8 本機の電源を入れる



- 電源が入ると、本機上面の電源ランプ(橙)が点滅し、使用可能になると電源ランプ(緑)が点灯します。(画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。)
- 【はじめての設定】の開始画面が表示されるので、続けて「はじめての設定をする」37 ～ 48をご覧のうえ、本機の設定を完了させてください。

ご注意

- リモコンの設定は、50をご覧ください。

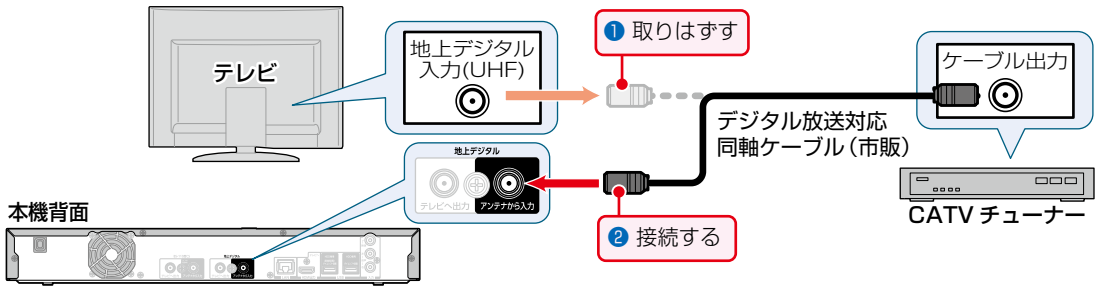
# テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき



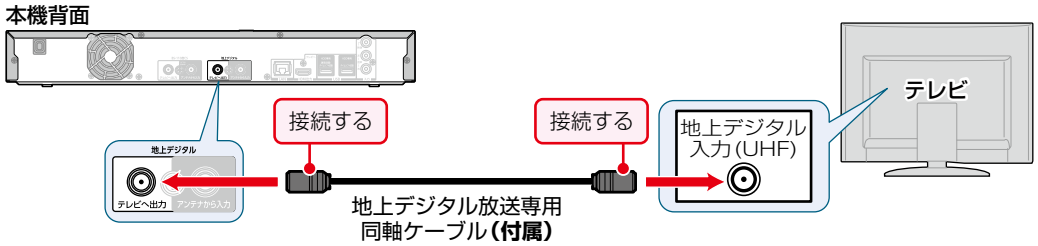
## CATVチューナーをつなぐ

以下は接続の一例です。
実際の接続とご使用にあたっては、接続する機器や会社ごとに詳細が異なります。詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。また、CATVチューナーに付属の取扱説明書もお読みください。

### 1 アンテナ線を本機につなぐ




### 2 本機とテレビをつなぐ




- 地上／BS・110度CSデジタル放送をケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスの映像出力から録画したときは、HD放送でも標準(SD)画質での録画となります。ハイビジョン(HD)画質での録画はできません。

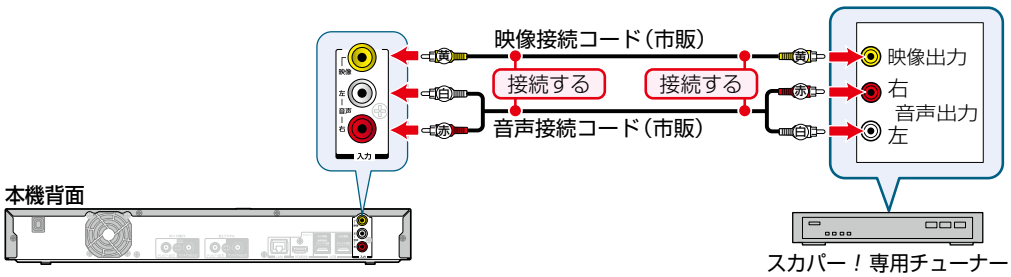
お知らせ

- 本機はパススルー方式に対応しています。パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送を信号変換せずそのままケーブルテレビに送る方式です。ご加入のCATV会社がパススルー方式であれば、地上デジタル放送を本機で受信・録画できます。CATV経由の地上デジタル放送は、本来のUHFチャンネルとは違うチャンネルに周波数を変換して送られてくることがあります。
- 本機とCATVチューナーをLANケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画できます。228

## スカパー！専用チューナーをつなぐ

以下は接続の一例です。
実際の接続とご使用にあたっては、接続する機器ごとに詳細が異なります。チューナーに付属の取扱説明書をお読みください。

### 1 スカパー！専用チューナーと本機を映像／音声接続コードでつなぐ




- 本機とスカパー！専用チューナーを映像／音声接続コードでつなぐと、標準(SD)画質での録画となります。125
- 本機とスカパー！専用チューナーをLANケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画できます。124 228

# はじめての設定をする

≫ 準備

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

## 【はじめての設定】を開始する

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に【はじめての設定】の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

- 【はじめての設定】は、必ずアンテナが接続された状態で放送がある時間帯に行ってください。放送がない時間帯に行うと、チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 【はじめての設定】実行中は、電源プラグを抜かないでください。
- 【はじめての設定】実行中に、電源を押すと本機の電源は切れますが、【はじめての設定】が完了したことにはなりません。次回起動時に【はじめての設定】を最後まで設定してください。
- 【はじめての設定】実行中に、トレイ開閉を押すとディスクトレイが開閉されますが、ディスクの再生はできません。【はじめての設定】を最後まで設定してからディスクを再生してください。

### USB-HDDを利用するときは

あらかじめ本機背面のHDD専用USB端子にUSB-HDDを接続してください。

- 通常録画用USB-HDDを接続する場合は、220をご覧ください。
- タイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続する場合は、217をご覧ください。

### ネットワークを利用するときは

あらかじめ本機をネットワークに接続してください。228

### 1 電源を押して本機の電源を入れる




- 【はじめての設定】の開始画面が表示されます。

#### はじめて電源を入れたときに画面が表示されないときは

次のことを確認してください。

- アンテナ⇔本機⇔テレビをつないでいますか。
- ケーブルやコードが抜けていたり、つなぎ間違えたりしていませんか。ケーブルやコードの接続方法について詳しくは、26をご覧ください。
- テレビの入力切換で本機を接続した入力に切り換えていますか。

### 2 【次へ】が選ばれているので、決定を押す



次ページへつづく

# はじめての設定をする・つづき



## 基本設定

### 3 アンテナが本機と接続されていることと2枚のminiB-CASカードが挿入されていることを確認してから、【決定】が選ばれているので、決定を押す

- 確認画面が表示されるので、再度決定を押してください。
- 本機背面の地上デジタル入力端子と壁などのアンテナ端子を、市販の地上デジタル放送専用同軸ケーブルであらかじめ接続しておいてください。詳しくは、34をご覧ください。
- 本機には、通常録画用およびタイムシフトマシン録画用にminiB-CASカードが2枚付属しており、miniB-CASカード1枚につき、3チャンネル分の録画をサポートしています。
- miniB-CASカードは、赤色面を上に向け、★マークのある側からminiB-CASカード挿入口にまっすぐ差し込み、「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。詳しくは、34をご覧ください。
- 決定を押してもエラーメッセージが表示される場合は、もう一度miniB-CASカードを挿入してください。

### 4 ▲·▼でリモコンコードを選んで決定を押す

**リモコンコードを変更しないときは**

▲·▼で【リモコンコード1】を選んで決定を押してください。

**リモコンコードを変更する場合は**

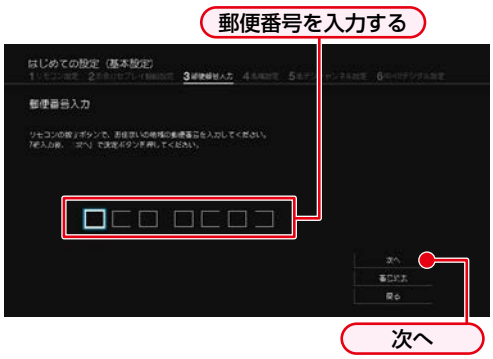
▲·▼で【リモコンコード2】～【リモコンコード5】のいずれかを選んで決定を押してください。その後、画面に表示されたメッセージに従ってリモコンの設定を行い、最後に決定を押してください。

### 5 おまかせプレイ機能を有効にするかしないかを選んで決定を押す

**有効にする**：おまかせプレイ機能が有効になります。おまかせプレイ可能な番組を再生中に青でおまかせプレイに切り換えることができます。

**無効にする**：おまかせプレイ機能が無効になります。

### 6 1～10/0でお住まいの地域の郵便番号を入力し、【次へ】を選んで決定を押す




**入力を間違えたときは**

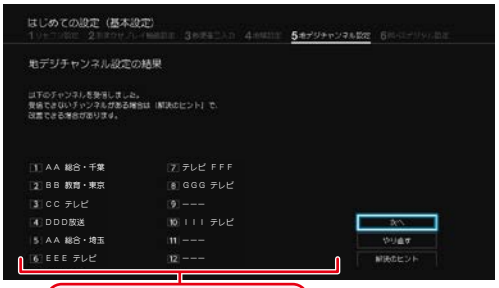
【番号消去】を選んで決定を押して、一括消去するか、▲·▼·◀·▶で戻って入力し直してください。

### 7 ▲·▼でお住まいの地域を選んで決定を押す




- 伊豆、小笠原諸島地域は、【東京都（島部）】を選びます。
- 鹿児島県の南西諸島地域は、【鹿児島県（島部）】を選びます。
- お住まいの地域を選んで決定を押すと、確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押すとスキャンが始まります。（スキャンが完了するまで10分程度かかることがあります。）
  【いいえ】を選んで決定を押すと地上デジタル放送チャンネルのスキャンを行いません。39の手順9に進んでください。
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、【地デジチャンネル設定の結果】画面に結果が表示されます。

## 8 ▲·▼で【次へ】を選んで 決定 を押す




チャンネルの設定一覧

- チャンネルの設定一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。

### チャンネルがスキャンされなかったときは

アンテナ⇔本機⇔テレビの接続をご確認後、▲·▼で【やり直す】を選んで 決定 を押してください。再度、スキャンが始まります。

## 9 ▲·▼でBS・CSデジタル放送を利用するかしないかを選んで 決定 を押す




**次へ：** BS・CSデジタル放送の情報取得を行います。

**利用しない：** BS・CSデジタル放送の情報取得を行いません。

- 【次へ】を選ぶと、情報取得が始まります。（情報取得が完了するまで数十秒程かかることがあります。）
- 【利用しない】を選ぶと、情報取得がスキップされます。

### 情報が取得できず確認画面が表示されたときは

決定 を押して、アンテナ⇔本機⇔テレビの接続をご確認後、▲·▼で【次へ】を選んで 決定 を押してください。再度、情報取得が始まります。

## 10 ▲·▼で詳細設定を続けるか、はじめての設定を終了するかを選んで 決定 を押す




**詳細設定を続ける：**
テレビリモコン設定やタイムシフトマシン設定、ネットワーク設定、レグザリンク設定、待機設定など、さらに詳細な設定を続ける場合は、こちらを選択してください。

**はじめての設定を終了する：**
はじめての設定を終了する場合は、こちらを選択してください。

- 【詳細設定を続ける】を選ぶと、詳細設定の画面が表示されますので、40 ☞ の手順11 に進んでください。
- 【はじめての設定を終了する】を選ぶと、【設定完了です！】画面が表示されますので【完了】を選ぶと、【はじめての設定】が完了します。



●●▶ 次ページへつづく

## ①一般設定

### 11 ▲·▼でテレビリモコン設定をするかしないかを選んで 決定 を押す

- 【いいえ】を選んだときは、手順 14 に進んでください。

### 12 地デジ を押したまま、数字ボタンを押す

- 画面に表示されるテレビメーカーの番号を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を、2けたで入力してください。(お買い上げ時の設定は、「東芝A」になっています。)

  例：東芝B(01)に設定する場合は、地デジ を押したまま、10/0 ➡ 1 を押してください。

  (10/0 は番号「0」になります。)
- テレビメーカーの番号を入力したあと、＋音量－ を押してテレビの音量が調節できるかご確認ください。

### 13 テレビの音量が正しく調節できることを確認し、決定 を押す

**テレビの音量が調節できないときは**

テレビメーカーの番号を設定できていない可能性があります。もう一度、手順 12 を行ってください。
(テレビメーカーの番号が複数ある場合は、他のテレビメーカーの番号を設定してください。)

**メーカー番号が複数あるときは**

いずれかの番号で設定してテレビの電源が「入」／「切」できないときは、別の番号を設定してください。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンでは、テレビメーカーの設定や操作ができないことがあります。また、テレビメーカーの設定ができても一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

## ②タイムシフトマシン設定

### 14 ▲·▼でタイムシフトマシン機能を利用するかしないかを選んで 決定 を押す

- 【いいえ】を選んだ場合は、「③ネットワーク設定」 43 ページの手順 36 に進んでください。
- 【はい】を選んで確認画面が表示されたときは、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。

### 15 ▲·▼·◀·▶で録画する曜日と時間帯を選んで 決定 を押す




- タイムシフトマシン機能をつかうときは、システムメンテナンスのための時間帯が必要になります。(システムメンテナンス中はタイムシフトマシン録画できませんのでご注意ください。)システムメンテナンス時間を変更する場合は、緑 または 黄 を押して、【システムメンテナンス時間】の時間帯を選んでください。
- 深夜のAM0:00以降を選ぶと翌日として設定されます。

### 16 ▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで 決定 を押す

### 17 ▲·▼でタイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録するかしないかを選んで 決定 を押す

- 【いいえ】を選んだ場合は、手順 20 に進んでください。
- 【はい】を選ぶ場合は、あらかじめ本機背面のHDD専用USB端子にUSB-HDDを接続してください。

## 18 ▲·▼で【USB-HDD1（タイムシフト録画用USB端子）】または【USB-HDD2（通常録画／タイムシフト録画用USB端子）】を選んで決定を押す

- USB-HDDを登録しない場合は、▶で【次へ】を選び、決定を押して、手順18に進んでください。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】1～4の録画先をUSB-HDDに変更したい場合は、あらかじめタイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを接続しておき、【USB-HDD1（タイムシフト録画用USB端子）】を選んでください。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の録画先をUSB-HDDに変更したい場合は、あらかじめ通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを接続しておき、【USB-HDD2（通常録画／タイムシフト録画用USB端子）】を選んでください。

| 番号 | HDD | USB-HDD | |
|---|---|---|---|
| | 録画先 | 録画先 | 接続先 |
| 1 | HDD | USB-HDD1 | タイムシフト録画用USB端子 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | USB-HDD2 | 通常録画／タイムシフト録画用USB端子 |
| 6 | | | |
| 7 | | | |

## 19 ▲·▼で【はい】を選んで決定を押す

- 確認画面が2度表示されるので、2度とも【はい】を選んで決定を押してください。
- タイムシフトマシン録画用として初期化され、録画先として選択できるようになります。
- 【いいえ】を選ぶと手順18に戻ります。
- 登録完了後、確認画面が表示されるので決定を押し、▶で【次へ】を選び、決定を押してください。

## 20 ▲·▼·◀·▶でチャンネル欄にある【未設定】を選んで決定を押す

## 21 ▲·▼で放送種別を選んで決定を押す

- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4は地上デジタル放送のみ選べます。

## 22 ▲·▼でチャンネルを選んで決定を押す

- 【視聴可能時間】が表示されます。

### USB-HDDをタイムシフトマシン録画用に登録しているときは

録画先を2つまでHDDからUSB-HDD1に変更できます。

- ▶で録画先欄にハイライトを移動させ、▲·▼で【HDD】を選んで決定を押し、▲·▼で【USB-HDD1】を選んで決定を押してください。
- 録画先をUSB-HDDに変更するときは、手順17～19でタイムシフトマシン録画用のUSB-HDDを登録しておく必要があります。

## 23 ▲·▼·◀·▶で【録画モード（1～4）】を選んで決定を押す

## 24 ▲·▼で録画モードを選んで決定を押す

- 確認画面が表示されたときは、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 録画モードを変更すると、再計算された【視聴可能時間】が表示されます。
- 録画モードによって、タイムシフトマシン録画で視聴できる時間が異なります。73

### 録画する曜日と時間帯を変更したいときは

チャンネルや録画モードを選んだあとでも、録画する曜日と時間帯を変更できます。

▲·▼·◀·▶で【有効時間変更】を選んで決定を押してください。操作手順について詳しくは、40の手順15をご覧ください。

有効時間変更後、▲·▼·◀·▶で【設定完了】を選んで決定を押してください。

## 25 ▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで決定を押す

ご注意

- 本機を通して有料放送の契約を行う場合は、契約につかうminiB-CASカードに応じて、【はじめての設定】ではチャンネルとその録画先の設定を【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7のうち、5·6の2つまでにしておき、【はじめての設定】と有料放送の契約完了後、設定メニュー（ふたの中）を押して、【本体設定】➡【タイムシフトマシン設定】➡【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】で設定し直すことをおすすめします。
- 本機は、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4のタイムシフトマシン録画に、コンテンツ権利保護専用方式（RMP方式）を使用しています。BS·CSデジタル放送の番組や、一部のケーブルテレビの自主放送などコンテンツ保護専用方式（RMP方式）を採用していない番組は、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4でタイムシフトマシン録画できません。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4にチャンネル設定時、RMP方式の対応確認が完了するまでに時間がかかることがあります。

●●▶次ページへつづく

# はじめての設定をする・つづき



## ② タイムシフトマシン設定

**26** ▲·▼·◀·▶で【5】のチャンネル欄にある【通常録画用】を選んで決定を押す

- 録画用に設定しない場合は、▶を2度押し【次へ】を選んで決定を押し、手順 **34** に進んでください。
- 複数のチャンネルを設定するときは、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5のチャンネルを設定後、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】の番号順(5➡6➡7)に選んでください。
- 通常録画用の【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に設定することもできます。その場合は、タイムシフトマシン録画を指定していない時間帯は予約録画できますが、予約録画以外の通常録画はできません。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、本機で現在放送中の番組を視聴できるチャンネルは番号7のチャンネルに固定され、チャンネルの切り換えはできません。

**27** ▲·▼で放送種別を選んで決定を押す

**28** ▲·▼でチャンネルを選んで決定を押す

- 【視聴可能時間】が表示されます。

### USB-HDDをタイムシフトマシン録画用に登録しているときは

本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続したUSB-HDDがUSB2.0なら2つまで、USB3.0なら3つまで録画先を変更できます。

- ▶で録画先欄にハイライトを移動させ、▲·▼で【HDD】を選んで決定を押し、▲·▼で【USB-HDD2】を選んで決定を押してください。
- 録画先をUSB-HDDに変更するときは、手順 **17** ～ **19** でタイムシフトマシン録画用のUSB-HDDを登録しておく必要があります。

**29** ▲·▼·◀·▶で【HDD容量設定変更】を選んで決定を押す

**30** ◀·▶でタイムシフトマシン録画につかうHDDの容量を選んで決定を押す

**31** ▲·▼·◀·▶で【録画モード(5～7)】を選んで決定を押す

**32** ▲·▼で録画モードを選んで決定を押す

- 確認画面が表示されたときは、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 録画モードを変更すると、再計算された【視聴可能時間】が表示されます。
- 録画モードによって、タイムシフトマシン録画で視聴できる時間が異なります。73

### 録画する曜日と時間帯を変更したいときは

チャンネルや録画モード、HDD容量設定を選んだあとでも、録画する曜日と時間帯を変更できます。

▲·▼·◀·▶で【有効時間変更】を選んで決定を押してください。操作手順について詳しくは、40の手順 **15** をご覧ください。

有効時間変更後、▲·▼·◀·▶で【設定完了】を選んで決定を押してください。

**33** ▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示された場合は、【はい】を選んで決定を押してください。

**34** タイムシフトマシン設定した内容の確認画面が表示されるので、▲·▼で【次へ】を選んで決定を押す

**35** ビジュアル過去番組表を使用するかしないかを選んで決定を押す

- 【はい】を選ぶと、過去番組表を押したときにビジュアル過去番組表を表示します。表示されるビジュアル過去番組表の設定は以下に固定されます。
  表示する時間帯の幅：表示するチャンネル数が3チャンネルの場合は2時間、6チャンネルの場合は4時間
  文字サイズ：【大きい】
- 「③ネットワーク設定」43の手順 **36** に進んでください。

## ③ネットワーク設定

**36** **▲·▼でネットワークを設定するかしないかを選んで決定を押す**

- 【はい】を選んだ場合は、手順 **37** に進んでください。
- 【いいえ】を選んだ場合は「④レグザリンク設定」47の手順 **41** に進んでください。

**37** **▲·▼で【有線LAN】または【無線LAN】を選んで決定を押す**

- ネットワークの接続方法について詳しくは、228をご覧ください。
- 【有線LAN】を選んだ場合は、下記の「【有線LAN】を設定する」をご覧ください。
- 【無線LAN】を選んだ場合は、44の「【無線LAN】を設定する」をご覧ください。
- 【有線LAN】と【無線LAN】は同時に利用できません。

### 【有線LAN】を設定する

**▲·▼で設定する環境を選んで決定を押す**

#### 【インターネットに接続する】を選んだときは

ブロードバンド常時接続環境でつなぐ必要があります。
詳しくは、228をご覧ください。

- ご使用にはインターネット環境が必要です。

#### 【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選んだときは

本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ必要があります。
詳しくは、228をご覧ください。

**▲·▼で設定モードを選んで決定を押す**

#### 【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク設定】の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲·▼で【次へ】を選んで決定を押して、「④レグザリンク設定」46の手順 **38** に進んでください。

#### 【手動設定】を選んだときは

以下の項目が表示されるので、▲·▼で項目を選んで決定を押して、設定してください。

文字入力のしかた 166

#### IPアドレス取得方法

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

❶ **▲·▼で設定方法を選んで決定を押す**

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、【手動】を選んで設定してください。

**【自動(DHCP)】を選んだときは**

DHCP機能を使って自動的にIPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを設定します。

**【手動】を選んだときは**

以下の項目に数値を入力してください。

| | |
|---|---|
| **IPアドレス：** | パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2けたを、お好みの数値に変更したものを入力してください。(3けたまで入力可能です。) |
| **サブネットマスク：** | パソコンと同じ数値を入力してください。 |
| **デフォルトゲートウェイ：** | パソコンと同じ数値を入力してください。 |

#### DNS-IP取得方法

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

❶ **▲·▼で設定方法を選んで決定を押す**

**【自動(DHCP)】を選んだときは**

DHCP機能を使って自動的にプライマリDNS／セカンダリDNSを設定します。

**【手動】を選んだときは**

以下の項目に数値を入力してください。

| | |
|---|---|
| **プライマリDNS：** | パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。 |
| **セカンダリDNS：** | パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。 |



次ページへつづく

## ③ネットワーク設定

### プロキシ設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定してください。

**❶ ▲・▼で設定方法を選んで決定を押す**

**【有効】を選んだときは**

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

- 設定が終わったら、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると、確認画面が表示されるので、▲・▼で【次へ】を選んで決定を押して、「④ レグザリンク設定」46の手順 *38* に進んでください。

**【無効】を選んだときは**

自動的にネットワークの接続テストを開始します。
接続テストが終わると確認画面が表示されます。
▲・▼で【次へ】を選んで決定を押して、「④レグザリンク設定」46の手順 *38* に進んでください。

## 【無線LAN】を設定する

- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ、情報漏えいの恐れがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、以下の機能はお使いになれません。
  - ネットdeナビ、eメールでの録画予約、ネットdeレック、ネットdeサーバーHD、ネットワーク連携
- 無線LANネットワークのセキュリティレベルが低い場合(WEP)、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。

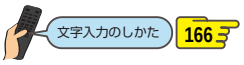
**▲・▼で設定方法を選んで決定を押す**

### 【無線LAN自動検出】を選んだときは

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

**❶ 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで決定を押す**

**❷ セキュリティキーを入力し、緑を押す**




- 確認画面が表示されるので、▲・▼で【次へ】を選んで決定を押してください。

**❸ 設定モードを選ぶ**

- 【自動設定】を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲・▼で【次へ】を選んで決定を押して、「④ レグザリンク設定」46の手順 *38* に進んでください。
- 【手動設定】を選んだときは、43の「【手動設定】を選んだときは」をご覧ください。

### 【手動接続設定】を選んだときは

【手動接続設定】を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。

**❶ SSIDを入力して、緑を押す**

文字入力のしかた 166

**❷ ▲·▼でセキュリティを選んで決定を押す**

**❸ セキュリティキーを入力し、緑を押す**

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で【次へ】を選んで決定を押してください。

**❹ 設定モードを選ぶ**

- 【自動設定】を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲·▼で【次へ】を選んで決定を押して、「④レグザリンク設定」46の手順 **38** に進んでください。
- 【手動設定】を選んだときは、43の「【手動設定】を選んだときは」をご覧ください。

### 【かんたん接続設定(WPS)】を選んだときは

【プッシュボタン方式(PBC)】または【PINコード方式】で、かんたんに無線LANを設定できます。

#### プッシュボタン方式(PBC)

**画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す**

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。▲·▼で【次へ】を選んで決定を押して、「④レグザリンク設定」46の手順 **38** に進んでください。

#### PINコード方式

**❶ 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選んで決定を押す**

**❷ 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する**




- PINコードの入力のしかたは、お使いの機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。▲·▼で【次へ】を選んで決定を押して、「④レグザリンク設定」46の手順 **38** に進んでください。

**お知らせ**

- 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 2.4GHz帯の無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。217
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター(アクセスポイント)での接続を保証するものではありません。

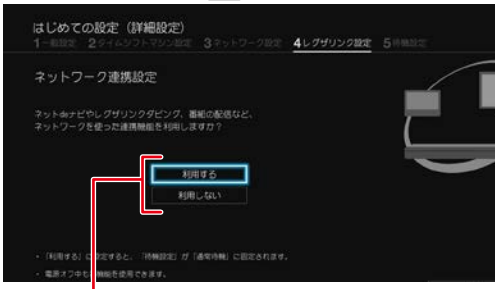
次ページへつづく

# はじめての設定をする・つづき



## ④レグザリンク設定

### 38 ▲·▼でネットワーク連携設定を利用するかしないかを選んで決定を押す




**利用する**：ネットdeナビ 207 やレグザリンク・ダビング 192 、番組の配信 202 などのネットワークを使った連携機能を利用できます。また、利用中に本機の電源を「切」にしても、連携機能を利用できます。

**利用しない**：ネットワーク連携接続設定を利用しません。

- 【利用しない】を選んだ場合は、47 の手順 **41** に進んでください。

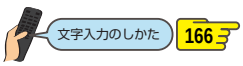
### 39 ▲·▼でデバイスネームを変更するかしないかを選んで決定を押す

**はい**：ネットワーク上に表示される本機の名前を変更します。

**いいえ**：本機の名前を変更しません。

#### 【はい】を選んだときは




### 40 ▲·▼でネットワーク連携接続設定を利用するかしないかを選んで決定を押す



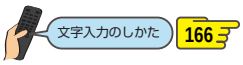

ネットdeナビ機能や対応アプリを利用するか、しないかを設定します。

- 【利用する】を選んだ場合は、引き続き以下の項目の設定を行います。

#### 【利用する】を選んだときは

❶ ▲·▼で各項目を選んで決定を押す

❷ それぞれの項目を設定する







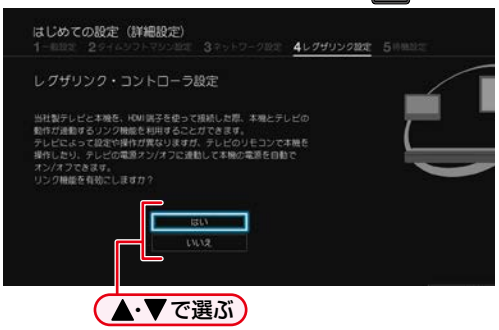
**ユーザー名**：端末機器から本機にアクセスするためのユーザー名を設定します。ユーザー名は半角16文字までで入力してください。

**パスワード**：端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。
パスワードは、半角で 8～64文字で入力してください。

**ポート番号**：通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、「2000」～「10000」の間で変更してください。

❸ 設定を終えたら▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで決定を押す

## 41 ▲·▼でレグザリンク・コントローラ機能を使用するかしないかを選んで 決定 を押す




**はい**： レグザリンク・コントローラ機能を有効にします。

**いいえ**： レグザリンク・コントローラ機能を有効にしません。

- レグザリンク・コントローラ機能をつかうためには、本機と東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」を、HDMIケーブル（市販）で接続してください。
  レグザリンク・コントローラ機能について詳しくは、241 をご覧ください。



次ページへつづく

# はじめての設定をする・つづき



## ⑤ 待機設定

### 42 ▲·▼でお好みの待機方法を選んで決定を押す




**通常待機：** 【省エネ待機】に設定したときよりも高速で起動しますが、電源「切」時の消費電力が増えます。

**省エネ待機：** 【通常待機】に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、電源「切」時の消費電力を抑えることができます。

専用のTransferJet™転送対応機をスマホ持ち出し番組の転送にお使いになる場合は、通常待機を選んでください。

以下の場合は、【省エネ待機】を選ぶことはできません。

- 46 の手順 38 でネットワーク連携設定を【利用する】に設定した場合
- 47 の手順 41 でレグザリンク・コントローラ機能を【はい】に設定した場合

### 43 ▲·▼·◀·▶で瞬速起動を設定したい時間帯を選んで決定を押す




ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を【待機設定】の【通常待機】設定時よりさらに短縮できます。詳しくは、254 をご覧ください。

- 決定を押すたびにチェックあり【☑】、なし【☐】が切り換わります。
- 最大2つまで設定できます。

### 44 設定を終えたら、▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで決定を押す

### 45 ▲·▼で【完了】を選んで決定を押す

- 【はじめての設定】が完了します。

## 【はじめての設定】をやり直す

**1** スタートメニュー を押して、▲·▼·◀·▶で【設定】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼で【はじめての設定】を選んで 決定 を押す




【はじめての設定】を選ぶ

**3** ▲·▼で【基本設定】または【詳細設定】を選んで 決定 を押す

- 【基本設定】を選んだ場合は 38 ～ 39 の手順 *3*～*10* を行ってください。
- 【詳細設定】を選んだ場合は 40 ～ 48 の手順 *11*～*45* を行ってください。
- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

# リモコンを設定する



## 本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する

### テレビメーカーを設定する

テレビを操作する前に、お使いのテレビメーカーを設定してください。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【その他】➡【リモコン設定】➡【テレビリモコン設定】を選んで 決定 を押す

**3** 地デジ を押したまま、数字ボタンを押す

- 下記の表を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を、2けたで入力してください。（お買い上げ時の設定は、「東芝A」になっています。）

  例：東芝B（01）に設定する場合は、地デジ を押したまま、10/0 ➡ 1 を押したあと、地デジ から指を離してください。
  （10/0 は番号「0」です。）

| テレビメーカー | 番号 | テレビメーカー | 番号 |
|---|---|---|---|
| 東芝A | 00 | パイオニアA | 11 |
| 東芝B | 01 | パイオニアB | 12 |
| ソニー | 02 | フナイ | 13 |
| パナソニックA | 03 | アイワ | 14 |
| パナソニックB | 04 | ビクター | 15 |
| シャープA | 05 | 三洋A | 16 |
| シャープB | 06 | 三洋B | 17 |
| シャープC | 07 | NEC | 18 |
| LG | 08 | 富士通 | 19 |
| 日立 | 09 | エプソン | 20 |
| 三菱 | 10 | サムスン | 21 |

- テレビメーカーの番号を入力したあと、＋音量－ を押してテレビの音量が調節できるかご確認ください。

#### テレビの音量が調節できないときは

テレビメーカーの番号を設定できていない可能性があります。もう一度、手順3を行ってください。（テレビメーカーの番号が複数ある場合は、他のテレビメーカーの番号を設定してください。）

#### メーカー番号が複数あるときは

いずれかの番号で設定してテレビの操作ができないときは、他の番号を設定してください。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンではメーカーの設定や操作ができないことがあります。
  また、テレビメーカーの設定ができても、一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

### テレビを操作する

リモコン信号をテレビに切り換えて、テレビを操作します。

**1** TV を押してから、リモコンボタンを押す

- TV が点灯している間（約30秒間）のみ、テレビを操作できます。
  （レコーダー を押すと、本機のリモコン信号に戻ります。）
- テレビ操作に使用するリモコンボタンは、テレビメーカーによって異なります。

### リモコン信号のモードを切り換える

リモコンには2種類のモードがあります。
用途に合わせてモードを切り換えてください。

**本機優先モード：** 本機を優先して操作します。
TV を押すと、点灯している間（約30秒間）のみテレビが操作できます。
本機をよく操作するときに設定してください。

**本機／テレビモード：** レコーダー を押すと、本機が操作できます。
TV を押すと、テレビが操作できます。
テレビをよく操作するときに設定してください。

#### 「本機優先モード」に切り換える

❶ 決定 を押したまま、レコーダー を押す

- 設定が完了すると、レコーダー が約2秒間点灯します。
  （点滅したときは切り換えができていません。もう一度、手順❶を行ってください。）

#### 「本機／テレビモード」に切り換える

❶ 決定 を押したまま、TV を押す

- 設定が完了すると、TV と レコーダー が約2秒間、点灯します。
  （点滅したときは切り換えができていません。もう一度、手順❶を行ってください。）

ご注意

- TV を押してテレビを操作しているときは、HDD や USB など、本機の操作のみに使用するボタンが使用できなくなります。

お知らせ

- お買い上げ時は、「本機優先モード」に設定されています。
- リモコンが、本機かテレビのどちらの信号を送信しているかは、ボタンの点灯で確認できます。
  レコーダー が点灯：本機のリモコン信号を送信
  TV が点灯：テレビのリモコン信号を送信

## 本機のリモコンが他の東芝レグザサーバー(またはレコーダー)を操作しないようにする

東芝のレグザサーバー(またはレコーダー)を2台以上使用するとき、本機のリモコンに他のレグザサーバー(またはレコーダー)が反応してしまうことがあります。その場合は、本機とリモコンのそれぞれにリモコンコードを設定することで、他のレグザサーバー(またはレコーダー)が反応しないように設定できます。(お買い上げ時の設定は、本機、リモコンとも【リモコンコード1】になっています。)

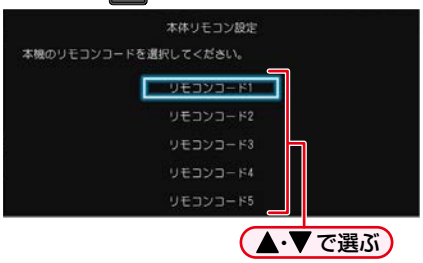
- 本機以外のレグザサーバー(またはレコーダー)でリモコンコードを設定するときは、その機器に付属の取扱説明書をお読みください。先に本機のリモコンコードを変更し、リモコンのリモコンコードを本機に合わせて変更してください。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで決定を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【その他】➡【リモコン設定】➡【本体リモコン設定】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で本機に割り当てるリモコンコードを選んで決定を押す




**4** 手順3で設定したリモコンコードをリモコンに設定する

**【リモコンコード1】を選んだとき**

決定を押したまま、1を押す

**【リモコンコード2】を選んだとき**

決定を押したまま、2を押す

**【リモコンコード3】を選んだとき**

決定を押したまま、3を押す

**【リモコンコード4】を選んだとき**

決定を押したまま、4を押す

**【リモコンコード5】を選んだとき**

決定を押したまま、5を押す

- すべての設定が終わったら、終了を押してください。

### お子様などが誤ってリモコンのボタンを押しても、本機が動作しないように設定するときは

一時的にリモコン信号を受け付けないようにできます。

**1** スタートメニュー➡番組説明(ふたの中)➡音声切換(ふたの中)の順に押す

- 解除するときは、もう一度同じ操作をしてください。

ご注意

- 本機のリモコンで、ブルーレイディスク／DVDプレーヤーやビデオの操作はできません。

お知らせ

- 本機とリモコンのリモコンコードが異なる場合
  - 本機の電源が「入」のときにリモコンの操作をすると、画面にリモコンコード設定方法が表示され、本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。
    リモコンコード設定方法を非表示にする場合は、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【その他】➡【リモコン設定】➡【リモコン不一致表示】を選んで決定を押して、▲·▼で【表示しない】を選んで決定を押してください。
    (【リモコン不一致表示】の設定に関わらず、本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。)
  - 本機の電源「切」のときは本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。

# チャンネルの設定を変更する



## リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【放送受信設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【放送受信設定】を選んでも表示できます。

**2**

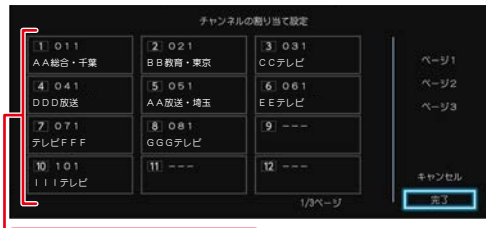
**地上デジタル放送の場合**

▲・▼・◀・▶で【地上デジタル設定】➡【チャンネルの設定】を選んで 決定 を押す

**BS・110度CSデジタル放送の場合**

▲・▼・◀・▶で【BS・CSデジタル設定】➡【BSチャンネルの設定】または【CSチャンネルの設定】を選んで 決定 を押す

**3** 【チャンネルの割り当て設定】を選んで 決定 を押す




チャンネル割り当て一覧

- チャンネル割り当て一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。
- 【ページ1】【ページ2】【ページ3】に割り当てたチャンネルは、サブメニューの【選局ガイド】から選ぶことができます。94

**4** ▲・▼・◀・▶で、チャンネルを割り当てたい番号のマスを選んで 決定 を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

**5** 手順4で選んだ数字ボタンに割り当てたいチャンネルを▲・▼で選んで 決定 を押す




- チャンネル割り当て一覧画面に戻ります。
- チャンネルの割り当てを解除する場合は、【チャンネルの割り当てをしない】を選んで 決定 を押してください。

**6** 設定が終わったら、▶で【完了】を選んで 決定 を押す

- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

## チャンネルをスキップする

チャンネル を押したときに、視聴しないチャンネルをスキップできます。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【放送受信設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【放送受信設定】を選んでも表示できます。

**2**

**地上デジタル放送の場合**

▲・▼・◀・▶で【地上デジタル設定】➡【チャンネルの設定】を選んで 決定 を押す

**BS・110度CSデジタル放送の場合**

▲・▼・◀・▶で【BS・CSデジタル設定】➡【BSチャンネルの設定】または【CSチャンネルの設定】を選んで 決定 を押す

**3** 【チャンネルスキップ設定】を選んで 決定 を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

**4** ▲・▼でスキップしたいチャンネルを選んで 決定 を押す




- チャンネル名の右が【受信】から【スキップ】に切り換わります。
- 決定 を押すたびに【受信】と【スキップ】が切り換わります。

**5** 設定が終わったら、▶で【完了】を選んで 決定 を押す

- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 【スキップ】に設定したチャンネルは、番組表に表示されなくなります。

# 映りが悪いチャンネルを調整する

## 地上デジタル放送のアンテナを調整する

【アッテネーター】を【入】に設定すると、状況が改善されることがあります。

- タイムシフトマシン録画中に【アッテネーター】の設定を変更すると、乱れた映像が録画されることがあります。

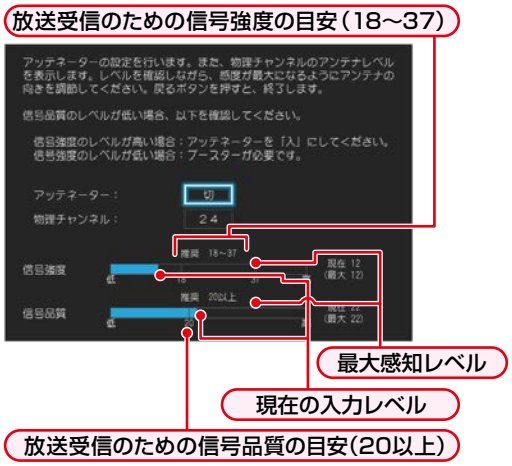
**1** 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

**2** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【放送受信設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【放送受信設定】を選んでも表示できます。

**3** ▲·▼·◀·▶で【地上デジタル設定】➡【アンテナの設定】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼でアッテネーター欄を選んで 決定 を押す




- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル（13 ～ 62CH）のことです。

### 地上デジタル放送用のアンテナレベルについて

この画面で信号強度と信号品質を確認しながら、UHFアンテナの向きを調整できます。（信号強度は「18～37」、信号品質は「20」以上が目安です。）

- この画面で【物理チャンネル】を選んで 決定 を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを入力できます。

**5** ▲·▼で【入】を選んで 決定 を押す

- 信号強度が変更されます。（【入】に設定すると、信号強度が弱くなり、状況が改善されることがあります。）
- CATVをご利用の場合は、CATVの13～63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順 **4** で、【物理チャンネル】の先頭に「C」が表示されます。

**6** 調整が終わったら、戻る を押す

- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 信号品質の数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。

ご注意

- 地域により、受信状況が異なる場合があります。

# 映りが悪いチャンネルを調整する・つづき



## BS・110度CSデジタル放送のアンテナを調整する

【BS・CSデジタル設定】の【アンテナの設定】画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整できます。
（マンションなどの共聴アンテナやCATV（ケーブルテレビ）をご利用の場合は、この調整は不要です。）

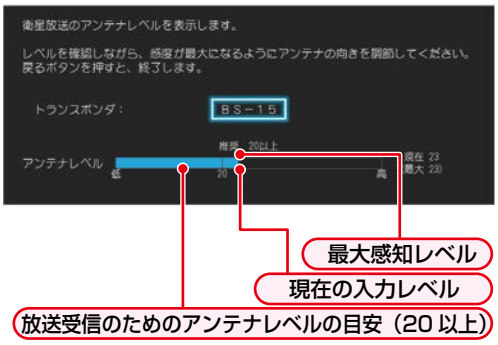
### 1 BS・110 度CSデジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

### 2 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【放送受信設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【放送受信設定】を選んでも表示できます。

### 3 ▲・▼・◀・▶で【BS・CSデジタル設定】➡【アンテナの設定】を選んで 決定 を押す

### 4 「入力値」の数値が「20」以上になるように、アンテナの向きを調整する




- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合は、放送信号（映像と音声）の確認はできません。
- 決定 を押すと、チャンネルを選ぶことができます。他のチャンネルに切り換えたいときは▲・▼でチャンネルを選んで 決定 を押してください。

### 5 調整が終わったら、戻る を押す

- すべての設定が終わったら、終了 を押してください。

**ご注意**

- 【BS・CSデジタル設定】の【アンテナ電源】の設定を【供給する（個別）】にしたときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、【アンテナ電源】の設定が自動的に【供給しない（共聴）】に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

**お知らせ**

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS・110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ（ケーブル）を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。257

# 地域設定を変更する

お住まいの地域を設定します。

- データ放送サービスなど、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために、郵便番号と合わせて設定してください。

## 1 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【放送受信設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【放送受信設定】を選んでも表示できます。

### 地域の設定

❶ ▲·▼·◀·▶で【一般設定】➡【地域の設定】を選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼でお住まいの都道府県を選んで 決定 を押す




- 伊豆、小笠原諸島地域は、【東京都（島部）】を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、【鹿児島県（島部）】を選びます。

### 郵便番号の設定

❶ ▲·▼で【郵便番号の設定】を選んで 決定 を押す

- 郵便番号入力画面が表示されます。

❷ 1 ～ 10/0 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、▲·▼·◀·▶で【完了】を選んで 決定 を押す

### 入力を間違えたときは

【番号消去】を選んで 決定 を押して、一括消去するか、▲·▼·◀·▶で戻って入力し直してください。

## 2 すべての設定が終わったら、終了 を押す

ご注意

- 地域設定に誤りがあると、放送が正しく受信できない場合があります。

# 視聴可能年齢を設定する

デジタル放送には青少年の保護の観点から視聴年齢制限付きの放送があります。
視聴制限を解除するためのパスワードを設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときに、パスワードの入力が必要となります。97
視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組がある場合に、パスワードが未設定のときは、本機の録画リスト画面に表示されません。

**ここで設定するパスワードは、デジタル放送の視聴制限を解除するためのパスワードとなります。【BD視聴制限レベル】や【DVD視聴制限レベル】、【インターネット接続制限】249を設定するためのパスワードとは異なります。**

## 1 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【放送受信設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【放送受信設定】を選んでも表示できます。

## 2 ▲·▼·◀·▶で【一般設定】➡【視聴年齢制限】を選んで 決定 を押す

- パスワード入力画面が表示されます。

## 3 1 ～ 10/0 でパスワード（4けた）を入力する

- 初めてパスワードを登録する場合は、確認のためにもう一度パスワードの入力が求められます。最後に確認画面が表示されるので、決定 を押してください。
- 入力した数字は、「＊」で表示されます。

### 入力中に番号を間違えたときは

◀ で戻るか、▲·▼ で【全てクリア】を選んで 決定 を押してください。

### パスワードを忘れたときは

4、7、3、7 を入力してください。
新しいパスワードを設定できます。

## 4 ▲·▼で設定したい年齢を選んで 決定 を押す

- 視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組がある場合に、設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は、本機の録画リスト画面やネットワークを利用して別の機器で視聴する場合の再生リストに表示されません。
- 制限を解除する場合は、▲·▼ で【無制限】を選んで 決定 ボタンを押してください。

## 5 すべての設定が終わったら、終了 を押す

### パスワードを変更するときは

手順 2 で【視聴年齢制限】の代わりに【パスワード変更】を選んで 決定 を押して、画面の指示に従ってください。

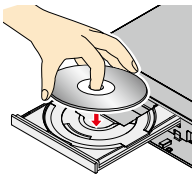
ご注意
- パスワードは忘れないようにご注意ください。

# メディアを用意する

## ディスクの入れかた

**1** トレイ開/閉 を押して、ディスクトレイを開く

**2** ディスクのラベル面を上にして、ディスクトレイの上に置く



**両面ディスクを再生するときは**

再生する面を下にしてください。

**3** トレイ開/閉 を押して、ディスクトレイを閉める

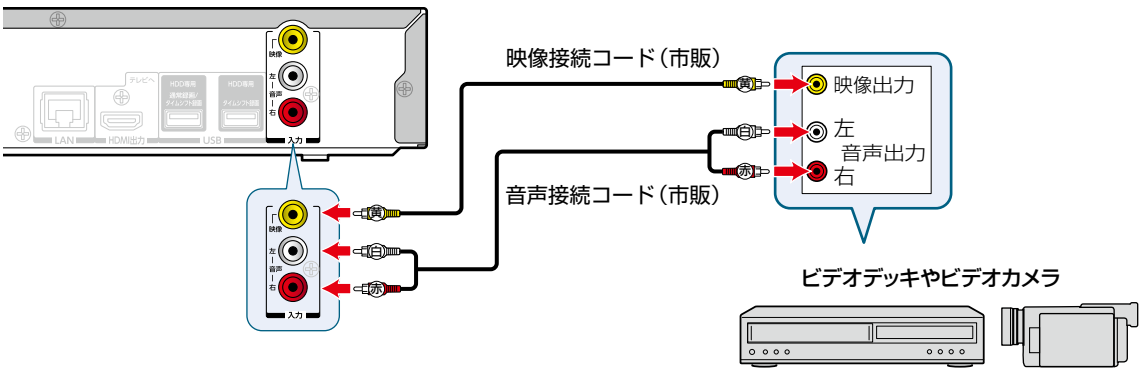
- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は画面の指示に従って操作してください。

## ビデオデッキやビデオカメラと接続する

ビデオデッキやビデオカメラの映像を本機で見たり 98 、本機にダビングしたりすることができます。 195

ご注意

- 本機とビデオデッキやビデオカメラの電源を「切」にしてから、接続してください。
  - ビデオカメラの映像をダビングするときは、ACアダプターをご使用ください。ダビング中にビデオカメラのバッテリーが消耗すると、正しくダビングできないことがあります。



# メディアを用意する・つづき

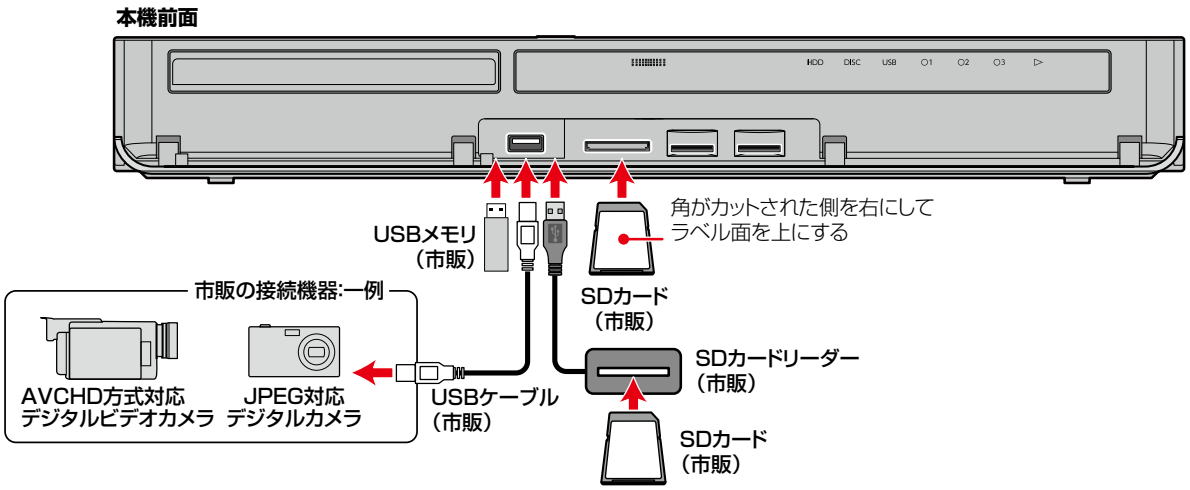


## SDカードを入れる／USB機器と接続する

本機ではUSB機器やSDカードに記録されたJPEGファイルを再生できます。147
また、AVCHD方式の動画を本機へ取り込む(ダビングする)ことができます。194

**USB-HDDやUSBハブは、必ず背面のHDD専用USB端子に接続してください。**220
写真やAVCHD形式の動画を保存したUSB機器を再生やダビングに使用したい場合は、本機前面のメモリ専用USB端子に接続してください。
写真やAVCHD形式の動画を保存したSDカードを再生やダビングに使用したい場合は、本機前面のSDカードスロットに挿入してください。
本機や東芝の他のSeeQVault対応機器で記録した番組を保存したSeeQVault対応SDカードを再生やダビングに使用したい場合は、本機前面のSDカードスロットに挿入するか、本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続してください。224、226

### 1 SDカードを挿入する／USB機器を接続する




- SDカードの向きを確認して、奥まで差し込んでください。
- 複数のSDカードスロットを持つSDカードリーダーに複数のSDカードを入れている場合は、読み込むSDカードを特定できません。複数のSDカードスロットを持つSDカードリーダーをお使いの場合は、SDカードは1枚ずつ入れてください。
- USB機器は必ず本機前面のメモリ専用USB端子に接続してください。
- 接続する機器に専用のケーブルが指定されている場合は、そのケーブルを使用してください。
- 接続した機器に設定画面が表示されることがあります。その場合は、パソコンを接続するモードに設定してください。(詳しくは、接続するUSB機器に付属の取扱説明書をお読みください。)
- 本機前面のメモリ専用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 認識するまでに、数十秒かかる場合があります。

### 2 SDカードを取り出す／USB機器を取り外す

- SDカードを取り出す際は、再生、ダビングが停止していることを確認し、SDカードの中央部分を押してロックをはずし、まっすぐに引き出してください。
- USB機器を取り外す際は、再生が停止していることを確認し、ゆっくりと引き抜いてください。

お知らせ

- 対応するSDカードについて詳しくは、284をご覧ください。
- 対応するUSB機器について詳しくは、284をご覧ください。

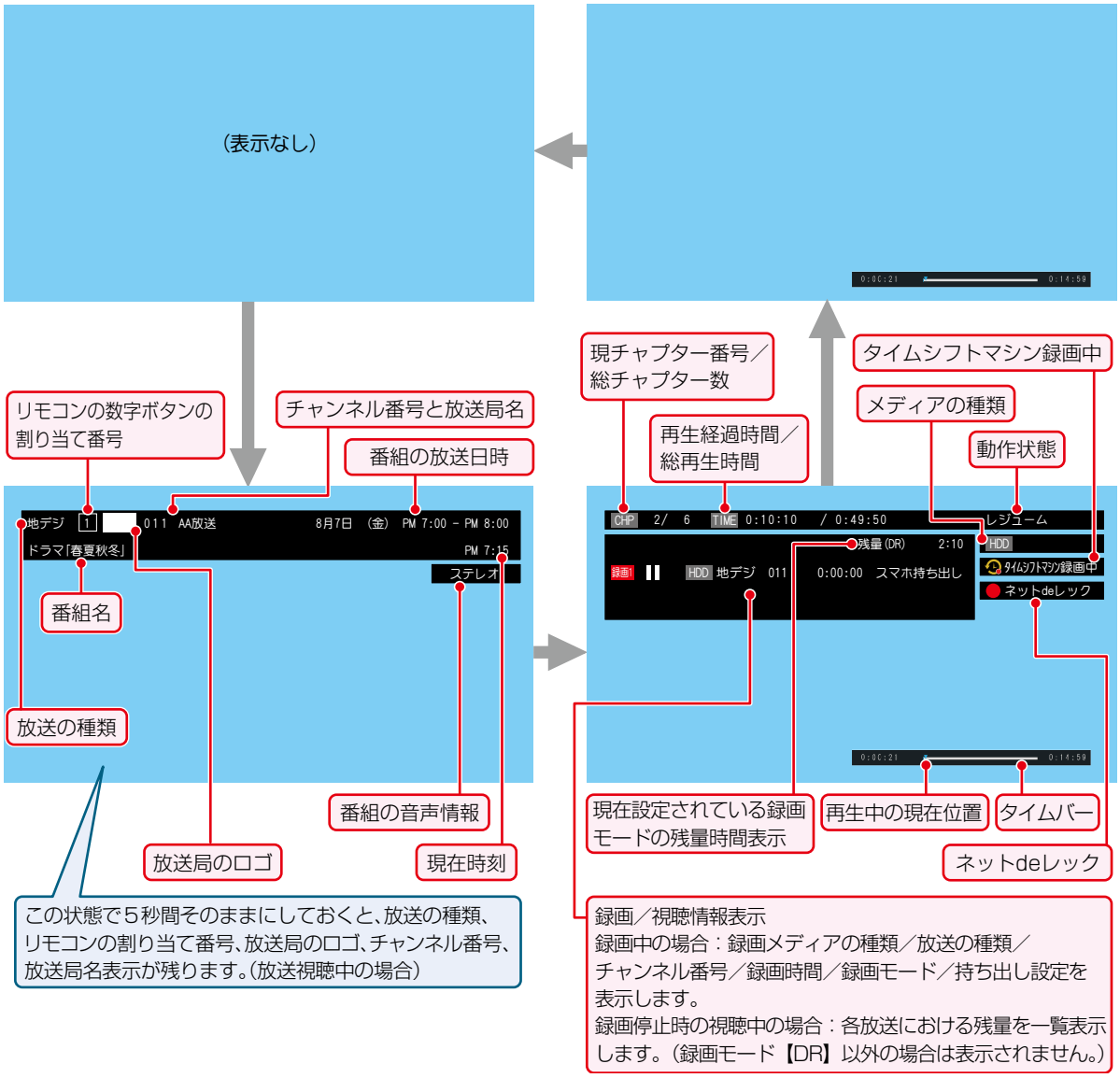
ご注意

- USB機器やSDカードは、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器やSDカードの認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。SDカード、USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
  - SDカードを取り出す／USB機器を取り外す／USBケーブルを抜く
- SDカードに記録するデジタルカメラやデジタルビデオカメラをUSB接続しても認識・読み込みができないときは、カメラから取り出したSDカードを本機のSDカードスロットに差し込んで写真の再生や映像取り込み(ダビング)を行ってください。

# 画面表示の見かた

## 現在の本機の状態や情報を表示する

リモコンの画面表示を押すたびに、画面が次のように切り換わります。
（例）




- 時間は、時間：分：秒 で表示されます。

お知らせ

- 本機の動作状態（放送の視聴中や再生中、録画中など）によって、表示される情報が変わります。
- 本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。
  残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。
  該当しない項目は表示されません。また、他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。

# 画面に表示されるアイコンについて



## メディアの種類

| | |
|---|---|
| HDD | HDD |
| USB○※ | 通常録画用USB-HDD |
| SeeQVault○※ | SeeQVault対応USB-HDD |
| USB SeeQVault | USB接続したSeeQVault対応SDカード |
| USB TransferJet(TM) | 専用のTransferJet™対応機 |
| | ディスク |
| BD-RE | BD-RE |
| BD-R | BD-R |
| BD-Video | BD-Video |
| BDAV ORG | BDAV(オリジナル) |
| BDAV PL | BDAV(プレイリスト) |
| DVD-RW | DVD-RW |
| DVD-R | DVD-R |
| DVD-Video | DVD-Video |
| DVD-RAM | DVD-RAM |
| VR ORG | VRモード(オリジナル) |
| VR PL | VRモード(プレイリスト) |
| Video | ビデオモード |
| AVCREC ORG | AVCREC™モード(オリジナル) |
| AVCREC PL | AVCREC™モード(プレイリスト) |
| SD DATA | SDカード |
| SD SeeQVault | SeeQVault対応SDカード |
| USB DATA | USB機器 |
| CD-DA | 音楽用CD |
| CD DATA | データCD |
| AVCHD | AVCHD方式のディスク |
| ディスクなし | ディスクが入っていないとき |
| | ホームネットワーク(DLNA対応機器) |

※ ○には番号が表示されます。

## 主な動作

| | |
|---|---|
| ● | 録画 |
| ●II | 録画一時停止 |
| しばらくお待ちください | 番組の編集処理中など |
| □ | 停止 |
| レジューム | つづき再生の停止(レジューム停止) |
| ▷ | 再生 |
| ▷ おまかせ | おまかせプレイ |
| II | 再生一時停止 |
| ▷ ×1.3 | 早見早聞再生(音声付き約1.3倍速再生) |
| ▷ ×0.8 | ゆっくり再生(音声付き約0.8倍速再生) |
| ▷▷、◁◁ | 早送り、早戻し |
| I▷、◁I | スロー、逆スロー再生 |
| ▷▷I、I◁◁ | 正方向、逆方向のスキップ |
| ⇨、⇦ | ワンタッチスキップ／リプレイ |
| ⇨ 1/20、⇦ 1/20 | 1/20スキップ／リプレイ |
| HDD➡DISC | ダビング<br>例：HDDからディスクへダビングするとき |
| USB○※➡HDD | ダビング<br>例：通常録画用USB-HDDからHDDへダビングするとき |
| | タイムシフトマシン録画中 |

※ ○には番号が表示されます。

## その他

| | |
|---|---|
| ⏻ 起動中・・・ | 電源が入ったとき |
| ⏏、⏏ | ディスクトレイ開、閉 |
| 読み込み中 | メディアの読み込み中 |
| TT | 番組 |
| CHP | チャプター |
| TR | トラック |
| TIME | 再生時間(タイム) |

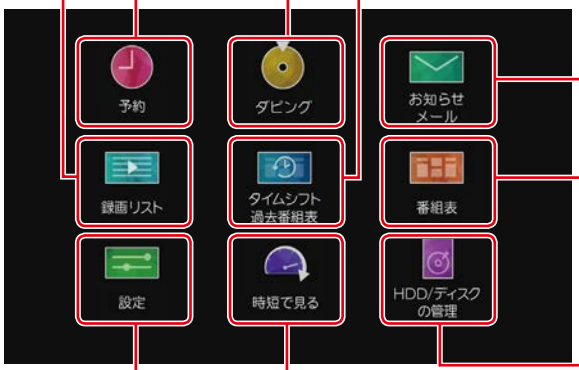
ご注意

● 画面に【🚫】が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

# スタートメニューについて

以下に示す機能は、スタートメニュー画面を表示してから操作します。

- スタートメニュー画面は、リモコンのスタートメニューを押すと表示されます。
- 操作ができない項目はグレー表示されます。




録画リスト画面を表示します。133

録画予約や保存予約の確認や設定ができます。
- 【録画予約一覧】118
- 【保存予約一覧】84
- 【おまかせ自動録画】122

複数の番組をまとめてダビングできます。174

タイムシフトマシン録画した番組の中からお好みの番組を見つけ出し、見ることができます。75

本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送の情報や案内を確認します。248

現在の番組表を表示します。103

以下のメディアの編集を行います。
- HDD 267
- ブルーレイディスク／DVD 264、266、268
- タイムシフトマシン録画用USB-HDD／通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDD 216、218、219、221、222、264、267
- SeeQVault対応SDカード 224、225、264、267

時短機能を利用して録画した番組、タイムシフトマシン録画した番組、タイムシフトマシン連携機器でタイムシフトマシン録画した番組を時短で見ることができます。89

さまざまな機能の設定などを行います。
- 「本体設定」250
- 「放送受信設定」256
- 「診断モード」242
- 「はじめての設定」37

# スタートメニュー「簡単モード」について

「簡単モード」では、本機の基本操作をかんたんに操作できるようにご案内します。



## 「簡単モード」に切り換える

**1** スタートメニュー表示中に、サブメニュー を押す

- 「通常モード」に戻すには、「簡単モード」表示中にもう一度サブメニューを押してください。




## 「簡単モード」をつかう

録画した番組を見たり、番組の録画予約やダビングをしたりすることができます。

### 過去の番組を見る

**1** ▲·▼·◀·▶で【タイムシフト】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼で見る方法を選んで 決定 を押す

▲·▼で選ぶ




#### 【過去番組表】を選んだときは

タイムシフトマシン機能で録画された番組を見ます。詳しくは、75 の手順 2 以降をご覧ください。

#### 【時短で見る】を選んだときは

時短機能を設定して録画した番組を効率よく再生することができます。詳しくは、「時短で見る」89 をご覧ください。

## 録画した番組を見る

**1** ▲·▼·◀·▶で【録画した番組を見る】を選んで決定を押す

**2** ▲·▼でメディアを選んで決定を押す

- フォルダー覧、USB-HDD一覧、ホームネットワークサーバー一覧が表示されたときは、▲·▼で見たい番組が入ったフォルダ、USB-HDD、サーバー名を選んで決定を押してください。USB(前面)やSDカードの場合は、【録画番組】または【写真】の選択画面が表示されることがあります。▲·▼で選んで決定を押してください。




**3** ▲·▼で見たい番組を選んで決定を押す

- 再生が始まります。

## 番組を録画予約する

**1** ▲·▼·◀·▶で【番組を録画予約する】を選んで決定を押す

**2** ▲·▼で予約方法を選んで決定を押す




### 【番組表から予約】を選んだときは

録画したい番組を選んで、●録画(ふたの中)を押す

### 【日付を選択して予約】を選んだときは

録画したい番組の日付を選ぶ




- 日付を選んだあとは、録画したい番組を選んで、●録画(ふたの中)を押してください。
- 番組表について詳しくは、103をご覧ください。

### 【番組を検索して予約】を選んだときは

録画したい番組を検索して、録画できます。
検索方法は、108の手順4以降をご覧ください。

### 【録画予約一覧】を選ぶと・・・

何の番組がいつ録画予約されているかなどを確認できます。

ご注意

- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。

# スタートメニュー「簡単モード」について・つづき



## ダビングする

≫ 準備

- ディスクにダビングするときは、あらかじめディスクを入れておく 57
- ビデオカメラから取り込む(ダビングする)ときは、あらかじめビデオカメラと本機を接続しておく 58
- HDDとUSB-HDD間でダビングするときは、本機背面にUSB-HDDを接続・設定しておく 219
- HDDとSeeQVault対応SDカード間でダビングするときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- HDDとUSB接続したSeeQVault対応SDカード間でダビングするときは、SeeQVault対応SDカードリーダーを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224

**1** ▲·▼·◀·▶で【ダビングする】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼でダビング方法を選んで 決定 を押す

▲·▼で選ぶ




### 【ディスクに保存する】を選んだときは

HDDに録画した番組をブルーレイディスクなどに1つだけ保存します。詳しくは、172 をご覧ください。

### 【ビデオカメラから取り込む】を選んだときは

ビデオカメラの動画を、HDDに取り込みます。(ダビングします。)詳しくは、194 をご覧ください。

### 【ディスクから取り込む】を選んだときは

ブルーレイディスクなどからHDDに取り込みたい(ダビングしたい)番組を1つだけダビングします。詳しくは、172 をご覧ください。

### 【詳細ダビング】を選んだときは

2つ以上の番組をダビングしたり、ネットワークを使ってダビングしたりすることができます。詳しくは、174 、193 をご覧ください。

### 【持ち出し用に変換する】を選んだときは

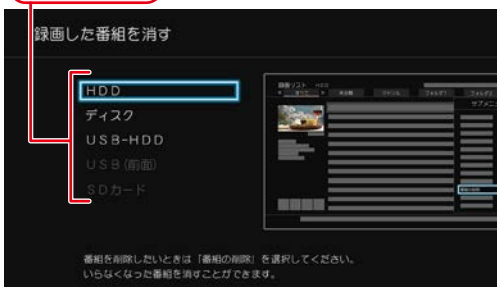
HDDに録画した番組をスマホ持ち出し番組に変換できます。詳しくは、「録画(保存)した番組をスマホ持ち出し番組に変換する」204 の手順 *5* 以降をご覧ください。

## 録画した番組を消す

**1** ▲·▼·◀·▶で【録画した番組を消す】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼で削除したい番組が入っているメディアを選んで 決定 を押す

▲·▼で選ぶ




**3** 【番組の削除】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼で削除したい番組を選んで 決定 を押す

- 選択された番組に✓が付きます。同じ番組を選んで 決定 を押すと✓が消え、選択が解除されます。
- 手順 *4* を繰り返し、削除したい番組をすべて選んでください。

**5** ▶を押して、【削除実行】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 削除が終わったら、 終了 を押してください。

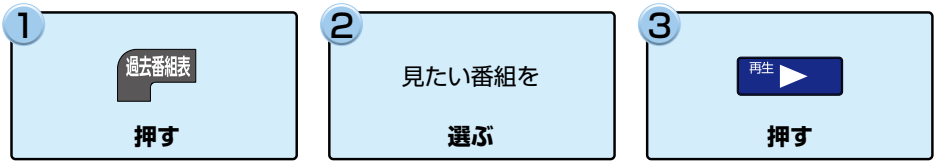
# タイムシフトマシン機能で録る・見る・残す

本章では、タイムシフトマシン録画するための設定やタイムシフトマシン録画した番組の再生や保存について説明しています。

- タイムシフトマシン機能とは、お好みのチャンネルの番組をあらかじめ設定しておいた曜日や時間帯に合わせて自動的に録画しておき、お好きな時間に視聴したり保存したりできる機能のことです。


タイムシフトマシン機能を設定する.....66

## タイムシフトマシン録画番組を見る




詳しくは.....75

タイムシフトマシン録画番組を保存する .....81

# タイムシフトマシン機能を設定する

タイムシフトマシン機能をつかうと、設定した曜日や時間帯の番組を自動的に録画し、お好きな時間に視聴できます。

## タイムシフトマシン機能について

| | |
|---|---|
| 録画できる放送種別 | • 地上デジタル放送<br>• BS・110度CSデジタル放送 |
| 録画できるチャンネル数 | • 最大7チャンネル |
| 録画先のメディア | • HDD<br>• USB-HDD1※1,4<br>USB-HDD2※2,4 |
| 録画モード | • DR放送画質※3／AVC最高画質※3／AVC高画質／AVC中画質／AVC低画質／AVC最低画質 |

※1 USB-HDD1は2チャンネルまでタイムシフトマシン録画できます。

※2 USB-HDD2は接続するUSB-HDDによって録画できるチャンネル数が異なります。
- USB3.0の場合は、3チャンネルまでタイムシフトマシン録画できます。
- USB2.0の場合は、2チャンネルまでタイムシフトマシン録画できます。

※3 【タイムシフトマシン録画モード(1～4)】では選択できません。

※4 USB-HDD1とは、本機背面のHDD専用タイムシフト録画用USB端子に接続し登録したタイムシフトマシン録画用USB-HDDのことで、USB-HDD2とは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続し登録したタイムシフトマシン録画用USB-HDDのことです。

- **【タイムシフトマシン録画モード(1～4)】、【タイムシフトマシン録画モード(5～7)】を、設定しているものより高い画質の録画モードに変更すると、変更後の録画モードで録画可能な日数(視聴可能時間)より古いタイムシフトマシン録画番組は削除されます。**
- **【HDD容量設定】を設定しているものより小さい値に変更すると、タイムシフトマシン録画された録画内容はすべて削除されます。**
- **【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】を変更すると、変更したチャンネルの録画内容はすべて削除されます。**
- **【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4にチャンネル設定時、RMP方式の対応確認が完了するまでに時間がかかることがあります。**

## 【本体設定】から設定する

### すでにタイムシフトマシン機能を利用しているときは

あらかじめ、タイムシフトマシン機能を解除する必要があります。解除方法について詳しくは、67をご覧ください。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで決定を押す
- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

**2** ▲·▼で【タイムシフトマシン設定】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【チャンネル】欄にある【未設定】、【通常録画用】または変更したい録画チャンネルを選んで決定を押す
- ⌄を押すと、番号5～7の設定ができます。5～7は通常録画に使用しているチャンネルですが、通常録画のチャンネルを減らすことで、タイムシフトマシン録画のチャンネルを増やすことができます。
  ⌃を押すと、番号1～4の設定画面に戻ります。

**5** ▲·▼で放送種別を選んで決定を押す
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4では地上デジタル放送のみ選択できます。

**6** ▲·▼でチャンネルを選んで決定を押す

**7** ▶で【録画先】を選んで決定を押す

**8** ▲·▼で録画先を選んで決定を押す
- 録画先をUSB-HDD1に変更するときは、あらかじめ本機背面のHDD専用タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを接続し、タイムシフトマシン録画用として登録しておいてください。216～218
- 録画先をUSB-HDD2に変更するときは、あらかじめ本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを接続し、タイムシフトマシン録画用として登録しておいてください。216～218

**9** ▲·▼·◀·▶で【有効時間変更】を選んで決定を押す

**10** ▲·▼·◀·▶で録画する曜日と時間帯を選んで決定を押す
- 【タイムシフトマシン有効時間】の目安は、73をご覧ください。
- 曜日と時間帯の設定が終わったら、有効時間変更画面の【設定完了】を選んで決定を押してください。

**11** ▲·▼で【HDD容量設定変更】を選んで決定を押す

**12** ◀·▶でタイムシフトマシン録画につかうHDDの容量を選んで決定を押す

- HDD容量を現在の設定値より小さい値に変更すると、確認画面が表示されます。【はい】を選んで決定を押すとタイムシフトマシン録画した番組がすべて削除されますので、削除してもよい番組か確認してから操作してください。

**13** ▲·▼で【録画モード1～4】、【録画モード5～7】を選んで決定を押す

**14** ▲·▼で録画モードを選んで決定を押す

- 確認画面が表示されたときは、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。

**15** ▲·▼で【設定完了】を選んで決定を押す

- 設定の確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。

**16** ▲·▼で【タイムシフトマシン機能】を選んで決定を押す

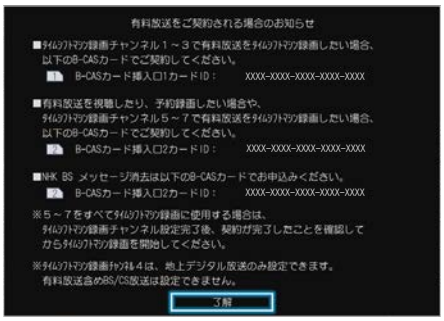
**17** ▲·▼で【利用する】を選んで決定を押す

お知らせ

- 通常録画中は設定を変更できません。

### どのminiB-CASカードのカードIDで有料放送を契約したらよいのかを確認したい場合には

設定メニュー（ふたの中）を押して、【本体設定】➡【タイムシフトマシン設定】➡【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】で【有料放送契約ガイド】を選んで決定を押してください。




ご注意

- いずれかのチャンネルを有料契約し、タイムシフトマシン録画に使用する場合は、タイムシフトマシン録画チャンネル設定完了後に、有料契約が完了したことを確認してからタイムシフトマシン録画を開始してください。

## タイムシフトマシン機能を開始／停止する

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで決定を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【タイムシフトマシン設定】➡【タイムシフトマシン機能】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【利用する】または【利用しない】を選んで決定を押す

### サブメニューから再開／停止するときは

番組を視聴しながらでも、簡単にタイムシフトマシン機能を再開／停止できます。

❶ 番組を視聴中にサブメニューを押す
❷ ▲·▼で【タイムシフトマシン録画の再開】または【タイムシフトマシン録画の停止】を選んで決定を押す
❸ 確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押す

ご注意

- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。
  また、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録しているときでも、【タイムシフトマシン有効時間】で有効時間に指定していない時間帯は録画予約できます。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録してタイムシフトマシン録画中のときは、タイムシフトマシン機能を停止すると予約録画はできますが、録画ボタンでの通常録画はできません。録画ボタンでの通常録画を行う場合は、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】でチャンネル数を減らしてください。

お知らせ

- 通常録画中は設定を変更できません。



次ページへつづく

# タイムシフトマシン機能を設定する・つづき



## 録画モードを変更する

個別に設定が可能です。【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】にしてから設定してください。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【タイムシフトマシン設定】➡【タイムシフトマシン録画モード(1～4)】、【タイムシフトマシン録画モード(5～7)】を選んで 決定 を押す

**3** ▲・▼で録画モードを選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されたときは、▲・▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 録画モードを変更すると、再計算された【視聴可能時間】が表示されます。
- 録画モードによって、タイムシフトマシン録画で視聴できる時間が異なります。詳しくは、73をご覧ください。
- 【タイムシフトマシン録画モード(1～4)】と【タイムシフトマシン録画モード(5～7)】では、選択できる録画モードが違います。詳しくは、66をご覧ください。

## 録画する曜日と時間帯を設定する

個別に設定が可能です。【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】にしてから設定してください。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【タイムシフトマシン設定】➡【タイムシフトマシン有効時間】を選んで 決定 を押す

**3** ▲・▼・◀・▶で録画する曜日と時間帯を選んで 決定 を押す




- タイムシフトマシン機能をつかうときは、システムメンテナンスのための時間帯が必要になります。（システムメンテナンス中はタイムシフトマシン録画できませんのでご注意ください。）システムメンテナンス時間を変更する場合は、緑 または 黄 を押して、【システムメンテナンス時間】の時間帯を選んでください。
- 深夜のAM0:00以降を選ぶと翌日として設定されます。
- 【タイムシフトマシン有効時間】の目安は、73をご覧ください。

**4** ▲・▼・◀・▶で【設定完了】を選んで 決定 を押す

## タイムシフトマシン録画に使用するHDDの容量を変更する

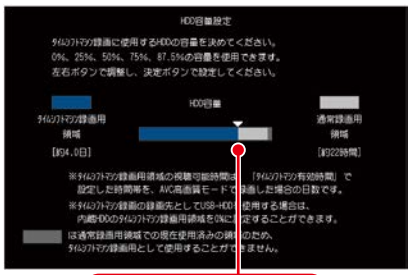
個別に設定が可能です。【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】にしてから設定してください。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【タイムシフトマシン設定】➡【HDD容量設定】を選んで 決定 を押す

**3** ◀·▶でタイムシフトマシン録画につかうHDDの容量を選んで 決定 を押す




- 確認画面が表示されたときは、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。

**お知らせ**

- 以下の場合、【HDD容量設定】を変更できません。
  - 通常録画中
  - ダビング中
  - タイムシフトマシン録画番組の保存中
  - ネットdeレック中

## BS・CSデジタル放送の放送局名を取得する

個別に設定が可能です。【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】にしてから設定してください。

BS・CSデジタル放送をタイムシフトマシン録画するときは、あらかじめBS・CSデジタル放送の放送局名を取得する必要があります。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【タイムシフトマシン設定】➡【BS・CS放送局名の取得】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押す

## タイムシフトマシン設定の状態を確認する

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押し、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【タイムシフトマシン設定】➡【タイムシフトマシン設定状況】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】または【タイムシフトマシン有効時間】を選んで 決定 を押す

**【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】を選んだ場合**

タイムシフトマシン機能の録画チャンネルや録画先、視聴可能時間の確認画面が表示されます。

**【タイムシフトマシン有効時間】を選んだ場合**

タイムシフトマシン有効時間の確認画面が表示されます。

- 確認が終わったら、決定 を押してください。

# タイムシフトマシン機能を設定する・つづき

## タイムシフトマシン連携設定

ネットワークを利用したタイムシフトマシン連携機能をつかうための設定をします。

タイムシフトマシン連携機能をつかうと、同一ホームネットワーク上に接続されている別の部屋にあるタイムシフトマシン対応レグザもしくはレグザサーバーでタイムシフトマシン録画した番組を本機のタイムシフトマシン過去番組表と同時に表示し、再生することができます。

- これらの機能を利用するには、「ネットワーク接続設定」232を完了し、「ネットワーク連携設定」236を【利用する】に設定する必要があります。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】でも表示できます。

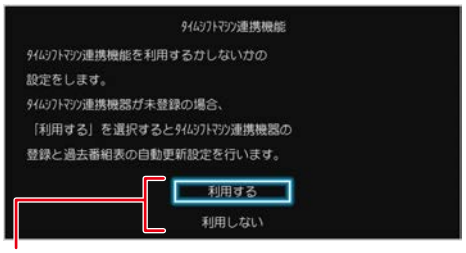
**2** ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】➡【タイムシフトマシン連携設定】を選んで 決定 を押す

## タイムシフトマシン連携機能

タイムシフトマシン連携機能を利用するか、しないかを設定します。

❶ ▲・▼で【タイムシフトマシン連携機能】を選んで 決定 を押す

❷ ▲・▼で【利用する】または【利用しない】を選んで 決定 を押す




**利用する：** タイムシフトマシン連携機能を利用します。
**利用しない：** タイムシフトマシン連携機能を利用しません。

### タイムシフトマシン連携機器が未登録の場合に【利用する】を選んだときは

❶ ▲・▼でタイムシフトマシン対応機器を選んで 決定 を押す

- 登録が完了したら確認画面が表示されるので、決定 を押してください。

❷ ▲・▼でタイムシフトマシン過去番組表の更新時間を選んで 決定 を押す

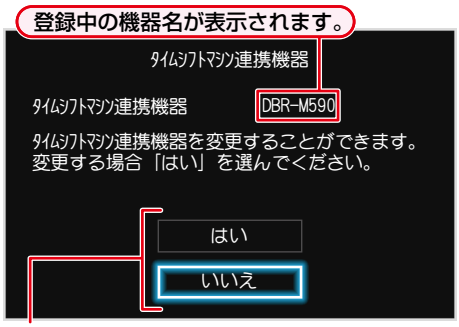
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

## タイムシフトマシン連携機器を設定する

タイムシフトマシン連携機器の確認および機器の変更を設定します。

❶ ▲·▼で【タイムシフトマシン連携機器】を選んで決定を押す

❷ ▲·▼で機器を変更するか、しないかを選んで決定を押す

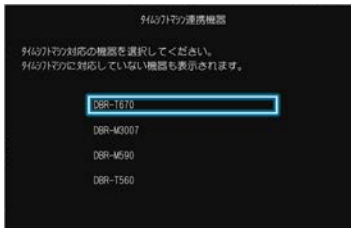



**はい：** 機器一覧を表示します。

**いいえ：** 機器の変更を行いません。

### 【はい】を選んだときは

タイムシフトマシン対応の機器を▲·▼で選んで、決定を押す



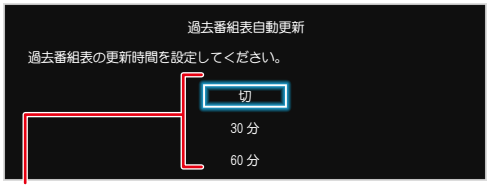

- 登録が完了したら確認画面が表示されるので、決定を押してください。

## タイムシフトマシン過去番組表の自動更新を設定する

タイムシフトマシン連携機器側のタイムシフトマシン過去番組表の更新時間を設定します。

❶ ▲·▼で【過去番組表自動更新】を選んで決定を押す

❷ ▲·▼で更新時間を選んで決定を押す




**切：** タイムシフトマシン過去番組表を自動的に更新しません。

**30分：** タイムシフトマシン過去番組表が30分毎に自動的に更新されます。

**60分：** タイムシフトマシン過去番組表が60分毎に自動的に更新されます。

- 設定が終わったら、終了を押してください。

お知らせ

- タイムシフトマシン連携機器によっては、タイムシフトマシン連携機器側で「ネットワーク連携設定」や「LAN（レグザリンク）連携設定」などを「利用しない」または「使用しない」に設定しているとき、本機に登録できない場合があります。その場合は、タイムシフトマシン連携機器側で上記設定を「利用する」または「使用する」に設定後、再度登録を行ってください。

# タイムシフトマシン機能を設定する・つづき



## タイムシフトマシン機能についての補足説明

- タイムシフトマシン録画中は電源プラグを抜き差ししないでください。
- miniB-CASカードやアンテナケーブルを抜き差ししないでください。
- タイムシフトマシン録画先メディアをUSB-HDDにしているときは、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- 【タイムシフトマシン設定】を変更すると、これまでタイムシフトマシン録画された番組が削除されることがあります。
- タイムシフトマシン録画は録画先メディアの容量が少なくなると、古い番組から自動的に削除されます。残したい番組は、保存することをおすすめします。保存のしかたについて、詳しくは、81をご覧ください。
- システムメンテナンスの時間帯は、タイムシフトマシン録画されません。
- BSデジタル放送の降雨対応放送は、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】7に設定したチャンネルのみ対応しております。1～6に設定したチャンネルには対応しておりません。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7に設定したチャンネル数によって、同時録画できる番組数が減少します。

| 番号5～7に設定したチャンネル数 | 同時録画できる番組数 |
|---|---|
| 1チャンネルをタイムシフトマシン録画に設定 | 2番組まで同時録画できます。 |
| 2チャンネルをタイムシフトマシン録画に設定 | 1番組のみ通常録画できます。 |
| 3チャンネルをタイムシフトマシン録画に設定 | タイムシフトマシン録画を指定していない時間帯の番組を除いて通常録画はできません。 |

- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、本機で現在放送中の番組を視聴できるチャンネルは番号7のチャンネルに固定され、チャンネルの切り換えはできません。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録してタイムシフトマシン録画中のときは、ソフトウェアの更新時にタイムシフトマシン録画が一時停止することがあります。245
- 有料放送の契約更新期間では【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】7に設定したチャンネルのみ、システムメンテナンス時間が延長される場合があります。

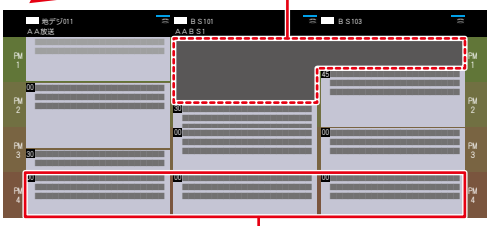
お知らせ

- タイムシフトマシン録画する番組の情報量によって、実際に視聴できる時間は異なります。
- タイムシフトマシン録画番組は録画先の容量が少なくなると、番組の情報量によって自動的に削除されるため、以下のようにチャンネルごとに視聴可能な日数や時間が異なります。（以下は表示例になります。）



タイムシフトマシン録画していくと…

自動削除された番組

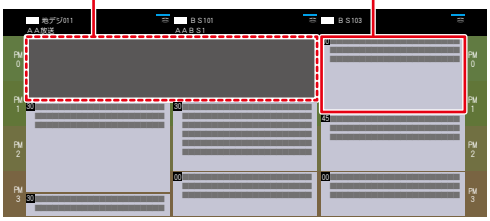


新しくタイムシフトマシン録画された番組

また、タイムシフトマシン録画チャンネルやチャンネル数、録画先が異なる場合も、チャンネルごとに視聴可能な日数や時間が異なります。（以下はHDDのタイムシフトマシン録画用領域を50%に設定し、USB-HDD（容量5TB）を使用した場合のタイムシフトマシン過去番組表をさかのぼった表示例になります。）

録画先【HDD】の容量が少なくなり、自動削除された番組。

録画先【USB-HDD】の容量に空きがあるため自動削除されていない番組。



## タイムシフトマシン録画の視聴可能日数一覧表

【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】を7チャンネルに設定し、【タイムシフトマシン有効時間】が初期値の【指定時間】(夜 7:00～11:00)の場合と、【全時間】の場合の、タイムシフトマシン録画したときの視聴できる日数の目安は以下のとおりです。(視聴可能日数は、各チャンネルごとの日数です)

※ 録画モードの「DR放送画質」と「AVC最高画質」が使用できるのは、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】の5～7に設定したチャンネルのみです。1～4に設定したチャンネルでは使用できません。

### 初期値の【指定時間】(夜 7:00～11:00)の場合

| 録画モード | | HDD(3TB) DBR-M3007 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| DR放送画質※ | 地上デジタル(HD放送) | 0日 | 約3.0日 | 約6.5日 | 約10.0日 | 約12.0日 |
| | BSデジタル(HD放送) | 0日 | 約2.0日 | 約4.5日 | 約7.0日 | 約8.5日 |
| AVC最高画質※ | | 0日 | 約4.5日 | 約9.5日 | 約14.5日 | 約17.0日 |
| AVC高画質 | | 0日 | 約7.0日 | 約14.5日 | 約22.0日 | 約25.5日 |
| AVC中画質 | | 0日 | 約9.5日 | 約19.5日 | 約29.0日 | 約34.0日 |
| AVC低画質 | | 0日 | 約14.5日 | 約29.0日 | 約43.5日 | 約51.0日 |
| AVC最低画質 | | 0日 | 約16.0日 | 約33.0日 | 約49.5日 | 約57.5日 |

| 録画モード | | HDD(1TB) DBR-M1007 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| DR放送画質※ | 地上デジタル(HD放送) | 0日 | 約1.0日 | 約2.0日 | 約3.0日 | 約4.0日 |
| | BSデジタル(HD放送) | 0日 | 約0.5日 | 約1.5日 | 約2.0日 | 約2.5日 |
| AVC最高画質※ | | 0日 | 約1.5日 | 約3.0日 | 約4.5日 | 約5.5日 |
| AVC高画質 | | 0日 | 約2.0日 | 約4.5日 | 約7.0日 | 約8.5日 |
| AVC中画質 | | 0日 | 約3.0日 | 約6.0日 | 約9.5日 | 約11.0日 |
| AVC低画質 | | 0日 | 約4.5日 | 約9.5日 | 約14.0日 | 約16.5日 |
| AVC最低画質 | | 0日 | 約5.0日 | 約10.5日 | 約16.0日 | 約19.0日 |



次ページへつづく

# タイムシフトマシン機能を設定する・つづき

## 【全時間】の場合

| 録画モード | | HDD(3TB) DBR-M3007 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| DR放送画質※ | 地上デジタル(HD放送) | 0日 | 約0.5日 | 約1.0日 | 約1.5日 | 約2.0日 |
| | BSデジタル(HD放送) | 0日 | 0.5日未満 | 約0.5日 | 約1.0日 | 約1.5日 |
| AVC最高画質※ | | 0日 | 約0.5日 | 約1.5日 | 約2.5日 | 約3.0日 |
| AVC高画質 | | 0日 | 約1.0日 | 約2.5日 | 約3.5日 | 約4.0日 |
| AVC中画質 | | 0日 | 約1.5日 | 約3.0日 | 約5.0日 | 約5.5日 |
| AVC低画質 | | 0日 | 約2.5日 | 約5.0日 | 約7.5日 | 約8.5日 |
| AVC最低画質 | | 0日 | 約2.5日 | 約5.5日 | 約8.5日 | 約10.0日 |

| 録画モード | | HDD(1TB) DBR-M1007 タイムシフトマシン録画用領域のHDD容量 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| DR放送画質※ | 地上デジタル(HD放送) | 0日 | 0.5日未満 | 0.5日未満 | 約0.5日 | 約0.5日 |
| | BSデジタル(HD放送) | 0日 | 0.5日未満 | 0.5日未満 | 0.5日未満 | 0.5日未満 |
| AVC最高画質※ | | 0日 | 0.5日未満 | 約0.5日 | 約0.5日 | 約0.5日 |
| AVC高画質 | | 0日 | 0.5日未満 | 約0.5日 | 約1.0日 | 約1.0日 |
| AVC中画質 | | 0日 | 約0.5日 | 約1.0日 | 約1.5日 | 約1.5日 |
| AVC低画質 | | 0日 | 約0.5日 | 約1.5日 | 約2.5日 | 約2.5日 |
| AVC最低画質 | | 0日 | 約0.5日 | 約1.5日 | 約2.5日 | 約3.0日 |

# タイムシフトマシン録画番組を見る

HDD タイムシフトマシン用 USB-HDD1 タイムシフトマシン用 USB-HDD2 (タイムシフトマシン連携)

タイムシフトマシン機能で録画された番組を選んで、視聴できます。またタイムシフトマシン連携機能を使って、他の部屋にあるタイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を、本機のタイムシフトマシン過去番組表と同時に表示することができます。

≫ 準備

- **タイムシフトマシン機能を設定しておく** 66
- **タイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続・設定しておく** 216
- **タイムシフトマシン連携機能を利用する場合は、以下を接続・設定しておく**
  - 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ 228、229
  - 本機の以下を設定しておく
    「ネットワーク接続設定」 232
    「ネットワーク連携設定」 236
    「タイムシフトマシン連携設定」 70
  - 接続する機器をネットワークでつなぐ(詳しくは、接続する機器に付属の取扱説明書をお読みください。)

## 基本操作

### 1 過去番組表 を押す

- 本機のタイムシフトマシン機能で録画された番組が、タイムシフトマシン過去番組表で表示されます。タイムシフトマシン連携機能を利用している場合は、タイムシフトマシン連携機器のタイムシフトマシン過去番組表も同時に表示されます。

### 2 見たい番組を▲·▼·◀·▶で選んで 再生 ▶ を押す

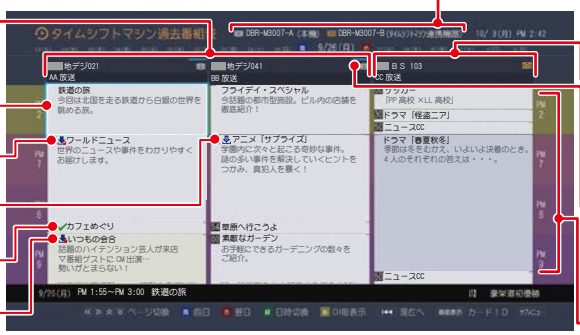
- 選んだ番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- タイムシフトマシン再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
- ⏫ · ⏬ を押すと、【表示時間数切り換え】で設定された時間に応じて、上下にページを切り換えます。
- 直前に見た番組の続きから見たいときは サブメニュー を押して▲·▼で【続きから再生】を選んで 決定 を押してください。

### 3 タイムシフトマシン再生を終了するには、停止 ■ を押す

- 他の操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- 番組を選び直すには、手順 *1* から操作してください。

# タイムシフトマシン録画番組を見る・つづき

## タイムシフトマシン過去番組表の表示例




本機のタイムシフトマシン設定で設定したチャンネルだけが表示されます。

選択されている番組

：保存実行待ちアイコン

：保存済みアイコン

：視聴済みアイコン

：保存中アイコン

本機の名称と、【タイムシフトマシン連携機器】で登録したタイムシフトマシン連携機器の名称が表示されます。

タイムシフトマシン連携機器側のタイムシフトマシン設定したチャンネルだけが表示されます。

録画先アイコン
- ：HDD
- ：USB-HDD1
- ：USB-HDD2

録画番組がある時間帯だけが表示されます。

お知らせ

- システムメンテナンス中は、タイムシフトマシン過去番組表を表示できません。
- 保存済みアイコンに表示される数字は、残りコピー可能回数になります。「0」と表示されている場合は、視聴できますが、コピーはできません。
- 保存中の番組には、保存実行待ちの番組には が表示されます。（保存に関するアイコンを表示するスペースがない場合は、代わりに青い線【｜】が表示されます。）
- 保存予約はすでにタイムシフトマシン録画した番組の保存予約が50件、これからタイムシフトマシン録画する予定の番組の保存予約が50件まで登録できます。
- タイムシフトマシン再生で視聴できる過去の番組は、タイムシフトマシン機能で録画した番組に限られます。ただしタイムシフトマシン録画した番組は、HDDのタイムシフトマシン録画用領域やタイムシフトマシン録画用USB-HDDの容量が足りなくなると古い番組から自動的に削除されます。
- タイムシフトマシン過去番組表から 決定 または 番組説明（ふたの中）を押すと、番組説明画面に自動削除アイコンが表示されます。アイコンと自動削除される日数の目安値は以下となります。
  - 24時間以内：24時間以内に自動削除
  - 3日以内：3日以内に自動削除
  - 1週間以内：7日以内に自動削除

  （上記の日数以内に自動削除されない予定の番組には、自動削除アイコンは表示されません。）
- タイムシフトマシン過去番組表や再生画面、番組情報およびタイムバーなどは、放送波で送信されてくる番組情報をもとに表示されます。
- （視聴済みアイコン）は、タイムシフトマシン録画した番組をしばらく視聴しないとタイムシフトマシン過去番組表上に表示されません。
- 1回だけ録画可能（コピーワンス）番組を保存中の場合は、その番組をタイムシフトマシン再生できません。
- 等速ダビング中は、タイムシフトマシン再生できません。
- 【タイムシフトマシン連携機能】を【利用する】に設定し、【タイムシフトマシン連携機器】で機器を登録直後、最初のタイムシフトマシン過去番組表のデータをすべて取得するまでに時間がかかることがあります。また、データ取得中は、タイムシフトマシン連携機器のタイムシフトマシン過去番組表が正しく表示されない場合があります。
- タイムシフトマシン連携機器のタイムシフトマシン過去番組表や再生画面などは、タイムシフトマシン連携機器の情報をもとに表示されますので、機器とその状態によっては本機での表示が異なることがあります。
- タイムシフトマシン連携機器側の動作状態によっては、タイムシフトマシン連携機器のタイムシフトマシン過去番組表を表示できなかったり、番組の再生ができなかったりする場合があります。詳しくは、タイムシフトマシン連携機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- タイムシフトマシン連携機器側の設定を変更することで、タイムシフトマシン過去番組表の表示や番組の再生ができなくなる場合があります。このような場合は、本機の【タイムシフトマシン連携機器】で機器を再登録してください。
- 【ホームネットワーク】からもタイムシフトマシン連携機器でタイムシフトマシン録画した番組を再生することができます。詳しくは、「ホームネットワークを使って再生する」206をご覧ください。
- タイムシフトマシン連携機器のシステムメンテナンスの時間帯は、連携機器に登録した機器によってはタイムシフトマシン過去番組表では何も表示されません。
- タイムシフトマシン連携機器側の番組を再生しても、タイムシフトマシン過去番組表上に（視聴済みアイコン）は表示されません。

## タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作

● リモコンで以下の再生操作ができます。




| ボタン | 動作 |
|---|---|
| 再生 | 一時停止や早送り／早戻し、スロー再生／逆スロー再生から通常の再生に戻します。<br>• 再生中に繰り返し押すと、1.3倍の速さの音声付き早送り再生「早見早聞」と0.8倍の速さの音声付きゆっくり再生「ゆっくり」と通常の再生が順番に切り換わります。タイムシフトマシン連携機器の番組では「早見早聞／ゆっくり」に切り換わりません。<br>• 放送番組の視聴中に押すと、通常録画番組またはタイムシフトマシン録画番組のどちらか最後に視聴した録画番組を再生します。 |
| 一時停止 | 再生中に押すと一時停止になります。<br>• 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。 |
| 停止 | タイムシフトマシン過去番組表から再生した場合は、タイムシフトマシン過去番組表に戻り、時短で見るから再生した場合は時短で見るに戻ります。 |
| コマ送り | 一時停止中に押すとコマ送りします。 |
| コマ戻し | 一時停止中に押すとコマ戻しします。タイムシフトマシン連携機器の番組ではコマ戻しできません。 |
| スロー | 早送り再生をします。(押すたびに再生速度を４段階で切り換えます。)<br>• タイムシフトマシン連携機器の番組では３段階に制限されます。<br>• 一時停止中に押すとスロー再生(３段階)になります。 |
| スロー | 早戻し再生をします。(押すたびに再生速度を４段階で切り換えます。)<br>• タイムシフトマシン連携機器の番組では３段階に制限されます。<br>• 一時停止中に押すと逆スロー再生(３段階)になります。録画モードが【AVC最高画質】～【AVC最低画質】で録画された番組やMPEG-4 AVC/H.264 で記録された映像では2段階に制限されます。タイムシフトマシン連携機器の番組では１段階に制限されます。 |
| » | 再生中または可変再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ) |
| « | 再生中または可変再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ) |
| スキップ | 次の番組を再生します。<br>• 「時短で見る」 89 からタイムシフトマシン録画した番組を再生している場合は、終端まで移動して、「時短で見る」画面が表示されます。 |
| スキップ | 再生中の番組の冒頭(録画開始部分)にスキップします。連続して押した場合は、１つ前の番組の先頭にスキップします。<br>• 「時短で見る」 89 からタイムシフトマシン録画した番組を再生している場合は、再生中の番組の冒頭(録画開始部分)にのみスキップします。 |
| 緑 | 再生コース【通常再生】【らく見】【らく早見】【飛ばし見】の切り換えができます。<br>• タイムシフトマシン過去番組表から再生して設定した再生コースは、タイムシフトマシン過去番組表から別の番組を選んで再生した場合も、その再生コースが引き継がれます。<br>• タイムシフトマシン過去番組表から再生したときに、番組に本編区間しかない場合は、らく見コースを選択しても、通常再生コースと同じ場面を再生します。 |
| ◀ | 再生中に押すと、20ポイントに分割された番組内の１ポイント前へ頭出しします。<br>(番組の先頭から1/20のポイント間では、番組の頭出しをします。) |
| ▶ | 再生中に押すと、20ポイントに分割された番組内の１ポイント後へ頭出しします。<br>(番組の終わりへスキップすると次の番組に切り換わります。) |
| 番組説明 | 再生中に押すと、番組情報を表示します。 |

● ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、変更できます。 252

● 一時停止 で一時停止している間に時間が経過して、自動削除機能によって視聴中のタイムシフトマシン録画番組が削除されそうになった場合は、一時停止が自動的に解除されます。

※ 録画番組によっては、早見早聞／ゆっくり再生が正しく動作しないことがあります。

### タイムシフトマシン録画中の放送番組を視聴しているとき

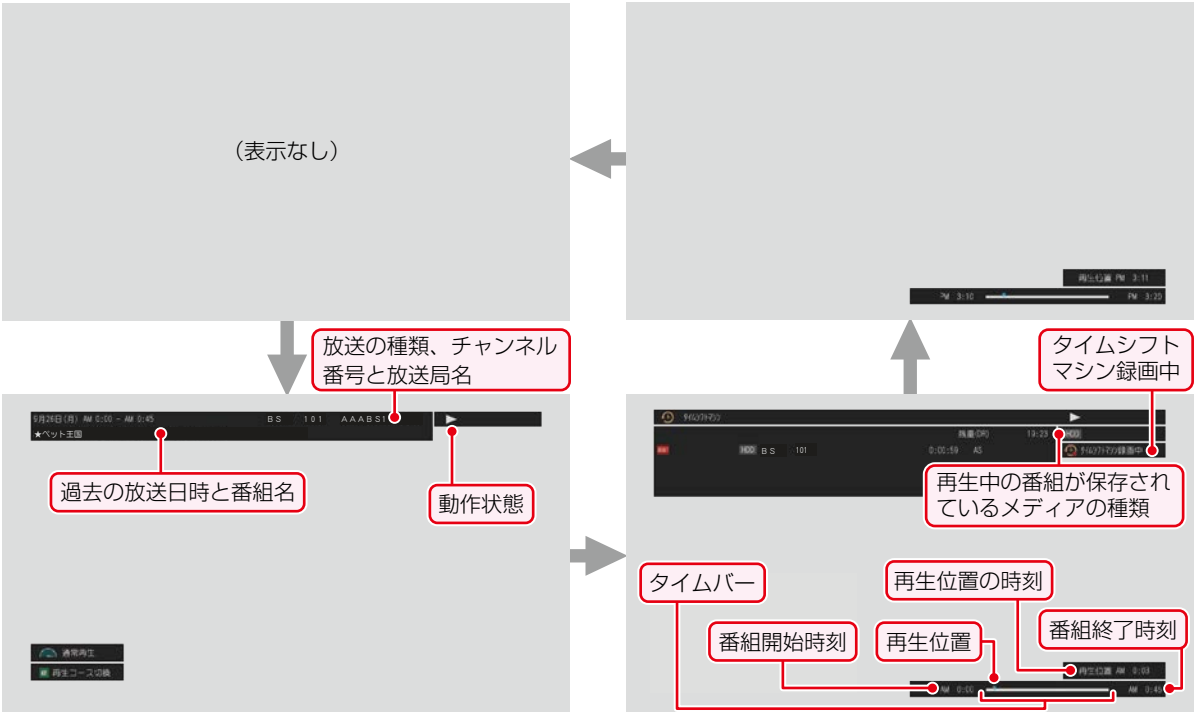
| ボタン | 動作 |
|---|---|
| 先頭にジャンプ スキップ | 視聴中の番組の冒頭(録画開始時間)からタイムシフトマシン再生が始まります。 |
| « | 視聴している場面の10秒前に戻ってタイムシフトマシン再生が始まります。(10秒以上録画されている場合にできます。)<br>• 戻る時間は【再生設定】の【ワンタッチリプレイ】で設定した時間と同じです。 |

# タイムシフトマシン録画番組を見る・つづき

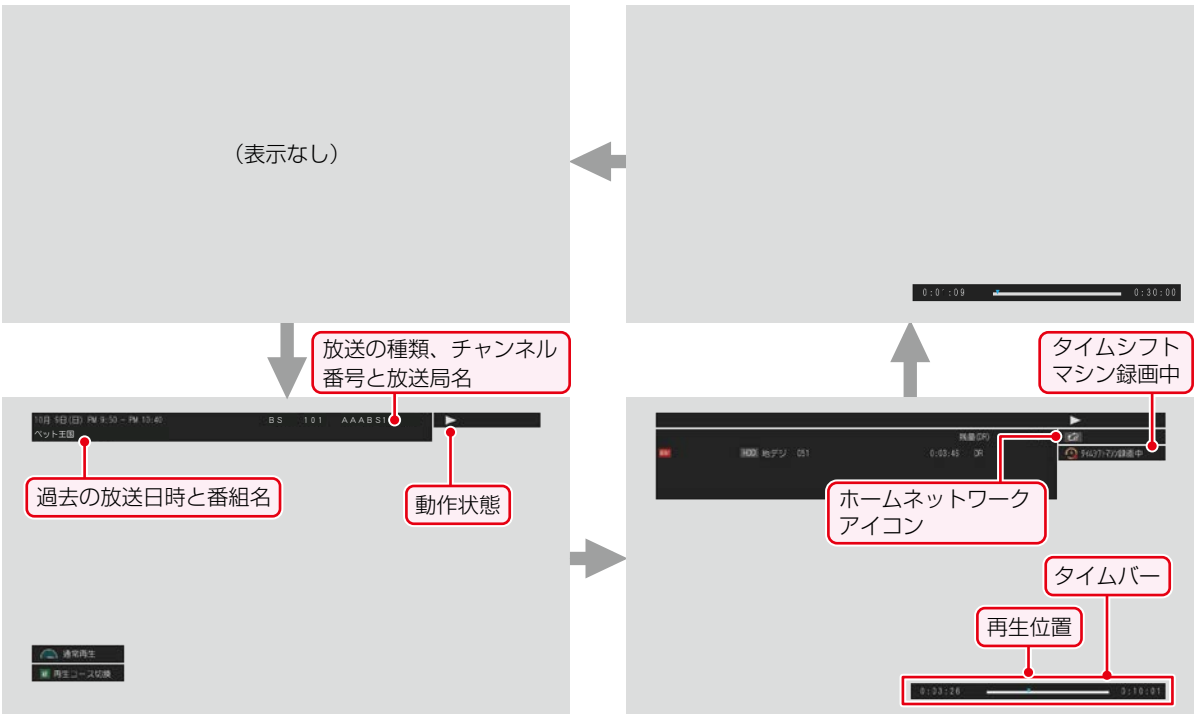
## 番組情報やタイムバーを表示させる

- タイムシフトマシン再生中に 画面表示 を押すと、番組情報とタイムバーが表示されます。( 画面表示 を押すたびに以下のように表示が切り換わります。)
- 停電などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。

### 本機側の番組の表示例




### タイムシフトマシン連携機器側の番組の表示例



# タイムシフトマシン過去番組表を便利につかう

## 日付を切り換える

日付を指定して切り換えることができます。

❶ サブメニューを押す
❷ ▲·▼で【日付切り換え】を選んで 決定 を押す
❸ ▲·▼でお好みの日付を選んで 決定 を押す

## 番組を検索する

【キーワード】と【ジャンル】を組み合わせて、過去番組を検索できます。

- 詳しくは、「番組を検索して予約する」 108 の手順 *2*～*13* をご覧ください。

## ビジュアル過去番組表で表示する

ビジュアル過去番組表に切り換えることができます。
本機でタイムシフトマシン録画した番組の一部をサムネイルで表示し、見た目で番組の内容をわかりやすくした番組表です。

❶ サブメニューを押す
❷【ビジュアル過去番組表】を選んで 決定 を押す
❸【表示する】または【表示しない】を選んで 決定 を押す

【表示する】： ビジュアル過去番組表を表示する
【表示しない】：通常のタイムシフトマシン過去番組表を表示する




ビジュアル過去番組表を表示中、設定は以下に固定されます。

- 表示する時間帯の幅は表示するチャンネルが、3チャンネルの場合は2時間、6チャンネルの場合は4時間
- 文字サイズは【大きい】

ご注意
- 複数番組をAVCモードで通常録画中など、本機で同時動作中は、サムネイルが表示されない場合があります。

## 表示を切り換える

以下の表示を切り換えることができます。

- 表示するチャンネルの数（表示チャンネル数切り換え）
- 表示する時間帯の幅（表示時間数切り換え）
- 文字の大きさ（文字サイズ切り換え）

❶ サブメニューを押す
❷ ▲·▼で【表示チャンネル数切り換え】、【表示時間数切り換え】または【文字サイズ切り換え】を選んで 決定 を押す
❸ ▲·▼でお好みの表示を選んで 決定 を押す

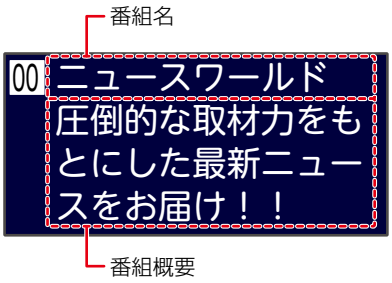
お知らせ
- タイムシフトマシン設定したチャンネル数を超えるチャンネル数を【表示チャンネル数切り換え】で選択しても、表示は切り換わりません。

## 番組概要の表示を切り換える

タイムシフトマシン過去番組表で番組概要を表示するかしないかを切り換えることができます。

❶ サブメニューを押す
❷ ▲·▼で【番組概要表示設定】を選んで 決定 を押す
❸ ▲·▼で【表示する】または【表示しない】を選んで 決定 を押す

【表示する】： 番組名と番組概要を表示する
【表示しない】：番組名のみを表示する




## 視聴制限を一時的に解除する

視聴年齢制限のある番組を一時的に解除できます。

❶ サブメニューを押す
❷ ▲·▼で【視聴制限一時解除】を選んで 決定 を押す
❸ 1 ～ 10/0 で 56 で設定したパスワードを入力する

- 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。
- 録画リストに表示される、通常録画した番組の視聴制限も解除されます。
- パスワードを忘れたときは、 56 をご覧ください。

# タイムシフトマシン録画番組を見る・つづき

## CH毎表示に切り換える

チャンネル別の番組表に切り換えることができます。

❶ ▲・▼・◀・▶で表示したいチャンネルを選んで黄を押す

- CH毎表示中にCH/ｻﾌﾞCHを押すことで、CH毎表示のまま表示しているチャンネルを切り換えます。
- 【全CH表示】に戻すには、もう一度黄を押します。
- 【CH毎表示】では、曜日表記の【土】と【日】の背景色が、他の曜日表記と異なる色で表示されます。

## 番組のジャンルを色分けして表示する

- 番組をジャンル別に色分けすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

❶ サブメニューを押す

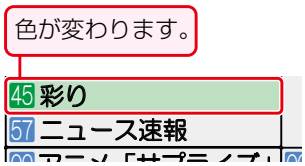
❷ ▲・▼で【ジャンル色分け】を選んで決定を押す

- 色分け設定一覧が表示されます。

❸ ▲・▼で表示する色を選んで決定を押す

❹ ▲・▼・◀・▶で設定したいジャンル項目を選んで決定を押す

- タイムシフトマシン過去番組表に戻るにはサブメニューを押してください。
  タイムシフトマシン過去番組表に戻ると、設定したジャンルと一致する番組の番組欄が色分けして表示されます。




### 他の色を続けて設定するときは

手順❸～❹を繰り返す

### 色分けを解除したいときは

手順❹で【指定しない】を選ぶ

お知らせ

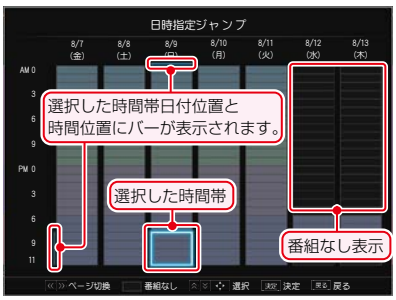
- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合は、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。
- 詳細ジャンル項目で【すべて】を選択すると、タイムシフトマシン連携機器側の番組もジャンル色分けされますが、【すべて】以外を選択するとタイムシフトマシン連携機器側の番組はジャンル色分けされません。

## 指定した日時のタイムシフトマシン過去番組表を表示させる

日付と時間帯を選んでタイムシフトマシン過去番組表を表示させることができます。

❶ 緑を押す

❷ ▲・▼・◀・▶で日時を選んで決定を押す




- 選択した時間帯のタイムシフトマシン過去番組表が表示されます。
- ∧・∨を押すと、選択した時間帯が時間枠分移動します。
- 選択した時間帯枠の大きさは、【表示時間数切り換え】の時間数設定と連動しています。

## タイムシフトマシン連携機器側のタイムシフトマシン過去番組表を更新する

タイムシフトマシン連携機器側のタイムシフトマシン過去番組表を、最新の情報に更新することができます。

❶ サブメニューを押す

❷ ▲・▼で【過去番組表の更新】を選んで決定を押す

❸ ▲・▼で【はい】を選んで決定を押す

- タイムシフトマシン連携機器側のタイムシフトマシン過去番組表の更新が始まります。(更新が完了するまで時間がかかることがあります。)

お知らせ

- 【タイムシフトマシン連携機能】を【利用しない】に設定している場合は【過去番組表の更新】がグレー表示され、選択することができません。

## 保存予約一覧を見る

タイムシフトマシン録画した番組の保存予約の一覧を見ることができます。タイムシフトマシン録画番組の保存予約について詳しくは、81 をご覧ください。

❶ サブメニューを押す

❷ ▲・▼で【保存予約一覧】を選んで決定を押す

# タイムシフトマシン録画番組を保存する

HDD　通常録画用 USB-HDD　BD

≫ 準備

- USB-HDDに保存するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクに保存するときは、ディスクを入れておく 57

- タイムシフトマシン過去番組表から保存予約したい番組を選んで、お好みの設定で保存予約できます。
- タイムシフトマシン録画番組をHDDや通常録画用USB-HDD、ブルーレイディスクに保存できます。（すでにタイムシフトマシン録画番組を保存中の場合は、保存予約できます。）
- 保存した番組は、録画リストから再生 130 やスタートメニュー画面の【ダビング】からダビング 170 ができるようになります。

## 1 過去番組表 を押す

### タイムシフトマシン録画番組を検索する

保存したい番組を検索できます。

番組を検索するときは、「番組を検索して予約する」 108 の手順 2 ～ 12 を行ったあと、手順 2 に進んでください。

- タイムシフトマシン過去番組表からの番組検索は、【有料番組】の項目がありません。

## 2 ▲·▼·◀·▶で保存する番組を選んで 決定 を押す

## 3 ◀·▶で【保存する】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されたときは、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 保存できるのは、本機でタイムシフトマシン録画した番組だけです。タイムシフトマシン録画連携機能機器側の番組は保存できません。
- 保存設定を変更しない場合は、手順 12 に進んでください。

ご注意

- 以下の場合は、保存できません。
  - ダビング中
  - ネットdeレック中
  - 保存するメディアの容量が足りない
  - 保存するメディアの番組数がいっぱいになっている
  - ディスクに通常録画中
- 最大23時間のタイムシフトマシン録画番組をHDDや通常録画用USB-HDDへ保存できます。
- 8時間以上の番組はディスクへ保存できません。

## 保存設定を変更する場合

## 4 ▲·▼で【周期保存】を選んで 決定 を押す

## 5 お好みの周期を選んで 決定 を押す




- フォルダ作成確認画面が表示されます。周期予約したい番組の名前を使ってフォルダを作成したい場合は【はい】を、既存のフォルダを使用したい場合は【いいえ】を選んでください。【はい】を選んだ場合は、 82 の手順 8 の「【新規フォルダ（番組名）】を選ぶと」をご覧ください。
- 日曜日以外に放送される番組を周期予約する場合は【月～土】を、月曜から金曜の深夜番組（日付が変更してから放送される番組）を周期予約する場合は【火～土】をおすすめします。

## 6 ▲·▼で【保存先】を選んで 決定 を押す

- 保存先のリストが表示されるので、▲·▼で保存先を選んで 決定 を押してください。
- 保存先が【BD】（ブルーレイディスク）の場合は、手順 9 に進んでください。

## 7 ▲·▼で【フォルダ設定】を選んで 決定 を押す



次ページへつづく

# タイムシフトマシン録画番組を保存する・つづき



## 8 ▲·▼でお好みのフォルダを選んで 決定 を押す

**【設定しない】を選ぶと**

- 【すべて】、【未分類】および【ジャンル】に保存されます。

**【新規フォルダ】を選ぶと**

- お好みの名前のフォルダを作成できます。

文字入力のしかた 166

**【新規フォルダ(番組名)】を選ぶと**

- 保存する番組と同じ名前でフォルダを作成して、保存できます。
  (フォルダ名はお好みの名前にも変更できます。)

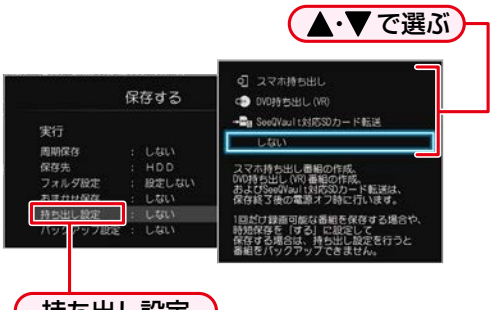
## 9 ▲·▼で【おまかせ保存】を選んで 決定 を押す

**おまかせ保存とは**

「らく見コース」で再生される部分のみを、保存します。

- ▲·▼で【する】または【しない】を選んで 決定 を押してください。
- 保存先が【BD】(ブルーレイディスク)の場合は、手順 12 に進んでください。
- 本編区間のみの番組は【おまかせ保存】が選択できません。

## 10 ▲·▼で【持ち出し設定】を選んで 決定 を押して、▲·▼で【スマホ持ち出し】、【DVD持ち出し(VR)】、【SeeQVault対応SDカード転送】または【しない】を選んで 決定 を押す




**スマホ持ち出し：** 202

保存が終わったあとの電源「切」時に、スマホ持ち出し番組を作成します。

**DVD持ち出し(VR)：** 182

保存が終わったあとの電源「切」時に、VRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組を作成します。

**SeeQVault対応SDカード転送：**

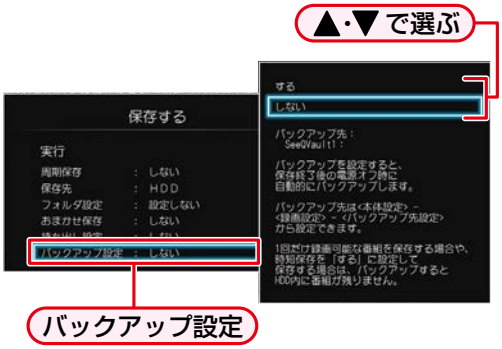
保存が終わったあとの電源「切」時に、スマホ持ち出し番組を作成し、SeeQVault対応SDカードに転送します。

**しない：**

持ち出し設定をしません。

- スマホ持ち出し用の画質は【スマホ持ち出し用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】 252 で変更できます。
- DVD持ち出し(VR)用の画質は【DVD持ち出し(VR)用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【DVD持ち出し(VR)用画質】 252 で変更できます。
  【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてAVC画質でタイムシフトマシン録画用に登録しているときは、DVD持ち出し(VR)設定はできません。
- 【SeeQVault対応SDカード転送】について詳しくは、「SeeQVault対応SDカードに自動転送する」 200 をご覧ください。
- 保存先は、手順 6 で【HDD】または【USB】を選んでください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、 128 をご覧ください。

## 11 ▲·▼で【バックアップ設定】を選んで 決定 を押して、▲·▼で【する】または【しない】を選んで 決定 を押す




**する：** 保存が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

**しない：** バックアップしません。

- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるので▲·▼でお好みのバックアップ先を選んで 決定 を押してください。
- バックアップ先は、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】 252 で変更できます。
- 保存先は、手順 6 で【HDD】を選んでください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、 128 をご覧ください。

## 12 ▲·▼で【実行】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されますので、【保存開始】を選んでください。(すでに他の番組を保存中の場合は、保存予約になりますので【保存予約】を選んでください。)
- 番組の保存が始まり、番組に保存中アイコン【 】が表示されます。
- 保存した番組には、保存済みアイコン【 】が表示されます。(アイコン中の数字は残りコピー可能回数を示しています。)
- 保存先が【BD】(ブルーレイディスク)の場合は、タイムシフトマシン録画番組の残りコピー可能回数が1回分減ります。

### 保存予約の場合は

保存予約した番組は、実行中の保存が終了したあとに保存が始まります。

- 保存予約した番組には、保存実行待ちアイコン【 】が表示されます。

### 保存予約を停止するには

**手順 1 ～ 3 を行う**

(手順 2 では【 】または【 】のついた番組を選んでください。)

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。保存が停止します。
- 他の保存予約を停止するには、手順 1 ～ 3 を繰り返します。
- 放送画面で 停止 を押して、実行中の保存を停止することもできます。

### 保存予約をまとめて停止するには

**複数の番組を【保存予約】している場合は、放送画面で 停止 を押すと確認画面が2回表示されるので、【はい】を選ぶ**

お知らせ

- すでにタイムシフトマシン録画した番組の保存予約が50件、これからタイムシフトマシン録画する予定の番組の保存予約が50件まで登録できます。
- 以下のタイムシフトマシン録画番組は、保存できません。
  - タイムシフトマシン録画中の番組(ただし、事前に保存予約しておけば、番組終了後保存されます。113)
  - すでにHDDや通常録画用USB-HDDに保存されたタイムシフトマシン録画番組
  - タイムシフトマシン連携機能機器側の番組

ご注意

- ダビング10番組は保存先によって、以下のように変わります。
  - 【おまかせ保存】を【しない】に設定して、HDDやUSB-HDDに保存すると、「コピー8回+移動1回可能」番組になります。(タイムシフトマシン録画番組は、視聴のみ可能番組になります。)
  - 【おまかせ保存】を【する】に設定して、HDDやUSB-HDDに保存すると、「移動1回可能」番組になります。(タイムシフトマシン録画番組は、「コピー8回+視聴のみ可能」番組になります。)
  - ブルーレイディスクに保存すると、「移動1回可能」番組になります。(タイムシフトマシン録画番組は、「コピー8回+視聴のみ可能」番組になります。)
- 1回だけ録画可能番組を保存すると、タイムシフトマシン過去番組表から削除されます。
- 保存予約された番組は、登録した順に保存を実行するため、番組の自動削除などにより保存ができない場合があります。
- タイムシフトマシン録画していたチャンネルの番組がイベントリレーした場合は、その番組の保存予約は正常に行われません。
- おまかせ保存では、らく見コースで再生する部分だけを保存します。一度、【らく見】で番組を見たあとに【おまかせ保存】することをおすすめします。

# タイムシフトマシン録画番組を保存する・つづき

## 保存予約一覧を見る

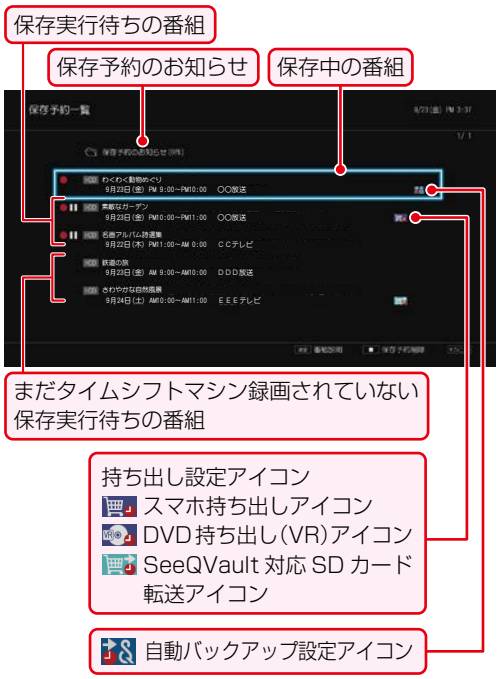
タイムシフトマシン録画番組を保存するために予約登録した番組の一覧を表示します。

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【予約】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【保存予約一覧】を選んで決定を押す

- 番組を視聴中にサブメニューを押して、【予約一覧】➡【保存予約一覧】を選んでも表示できます。




- 【保存予約のお知らせ】フォルダについて詳しくは、128をご覧ください。

### 保存予約を削除するときは

**❶** 停止を押す

- サブメニューを押して、【保存予約削除】を選んでも表示できます。

**❷** ▲·▼で削除したい保存予約を選んで決定を押す

- 選んだ保存予約に【✔】が付きます。
- 緑を押すとすべての保存予約を選ぶことができます。
- 黄を押すと、すべての保存予約の選択を解除できます。
- この手順を繰り返し、削除したい保存予約を選んでください。

**❸** ▶で【削除実行】へ移動し、決定を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

### 保存予約順を変更するときは

保存予約は、保存予約一覧の上から順番に実行されます。以下の手順で保存実行の順番を変更できます。

**❶** サブメニューを押す

**❷** ▲·▼で【保存実行順変更】を選んで決定を押す

**❸** 順番を変更したい保存予約中の番組を選んで決定を押す

- 保存中またはまだタイムシフトマシン録画されていない保存実行待ちの番組は選ぶことができません。

**❹** ▲·▼で変更先を選んで決定を押す

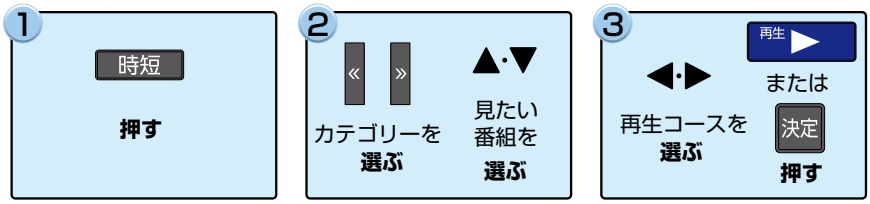
- 保存予約の順番が変更されます。
- 変更が終わったら、終了を押してください。

# 時短機能をつかう

本章では、時短機能について説明しています。
時短機能とは、「録る・見る・残す」を簡単に行い、従来それらに費やしていた時間を短縮できる機能のことです。


時短で録る ..... 86


## 時短で見る





詳しくは ..... 89

時短で残す ..... 92

# 時短で録る

## 「時短で見る」初回設定について

HDD　通常録画用 USB-HDD

お買い上げ後、初めて 時短 を押すと、時短機能の初回設定画面が表示されます。効率よく録画、再生するために最後まで設定してください。

### 「時短で見る」初回設定

**1** 時短 を押す

- 時短機能の初回設定画面が表示されます。




**2** 【設定をはじめる】が選ばれているので、決定 を押す

- 「再生コースを選ぶ」画面が表示されます。

**3** ◀·▶で【通常再生】または【らく見】を選んで 決定 を押す

- 録画後の再生コースを設定します。再生コースは再生前にも変更できます。90
- 本設定は、初回設定完了後にも一括で変更できます。91




**通常再生**：録画後の再生コースを【通常再生】に設定します。【通常再生】について詳しくは、90 をご覧ください。

**らく見**：録画後の再生コースを【らく見】に設定します。【らく見】について詳しくは、90 をご覧ください。

**4** ▲·▼·◀·▶でお好みのカテゴリーを選んで 決定 を押す




- 決定 を押すと、タブの並び順を表す数字が、カテゴリー枠の左上に表示されます。最大21個までカテゴリーを選択できます。
- 数字が表示されているカテゴリーで 決定 を押すと、選択を解除できます。
- カテゴリーを選んだ状態で 青 を押すと、カテゴリーの編集ができます。「カテゴリーを編集する」87 をご覧ください。
- カテゴリーを選んだ状態で 赤 を押すと、カテゴリーが削除されます。
- ⊕ カテゴリーを選ぶとカテゴリーを新規追加できます。「カテゴリーを新規追加する」87 をご覧ください。

お知らせ

- 設定したお客様の「お好みの情報」は本機に記録されますので、本機を譲渡または廃棄される場合は、【すべての初期化】を行って消去することをおすすめします。

### カテゴリーを編集する

❶ ▲·▼で各項目を選んで決定を押す

**ジャンル**： ジャンルを指定します。

**人物・キーワード**： 人物・キーワードを指定します。
人物・キーワードは複数設定することも可能です。
人物リストから追加する場合は、«·»で「あ」行～「わ」行および「数字・アルファベット」を選び、⏫·⏬でページを切り換え、▲·▼·◀·▶でお好みの人物名を選んで決定を押してください。

**番組記号**： 番組記号を指定します。

**再生コース**： 【通常再生】、【らく見】、【らく早見】、【飛ばし見】から再生コースを指定します。

❷ ▲·▼·◀·▶で【決定】を選んで決定を押す

- 再生コースを変えた場合は、該当カテゴリー内の番組の再生コースがすべて変更となります。
- 再生コースはカテゴリー別に設定可能です。この設定が番組追加時の基本設定になります。
- さらにカテゴリーの編集をしたい場合は、この手順を繰り返します。

### カテゴリーを新規追加する

❶ ▲·▼で各項目を選んで決定を押す

**ジャンル**： ジャンルを指定します。

**人物・キーワード**： 人物・キーワードを指定します。
人物・キーワードは複数設定することも可能です。
人物リストから追加する場合は、«·»で「あ」行～「わ」行および「数字・アルファベット」を選び、⏫·⏬でページを切り換え、▲·▼·◀·▶でお好みの人物名を選んで決定を押してください。

**番組記号**： 番組記号を指定します。

**再生コース**： 【通常再生】、【らく見】、【らく早見】、【飛ばし見】から再生コースを指定します。

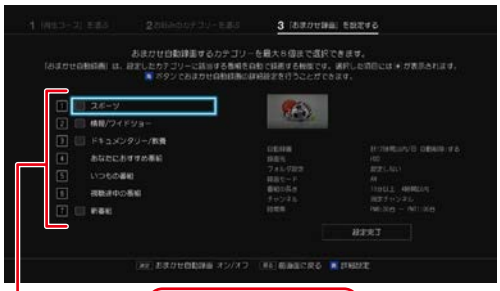
❷ ▲·▼·◀·▶で【決定】を選んで決定を押す

- 再生コースはカテゴリー別に設定可能です。この設定が番組追加時の基本設定になります。
- さらにカテゴリーの編集や新規追加をしたい場合は、この手順を繰り返します。

## 5 ▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで決定を押す

- 「「おまかせ録画」を設定する」画面が表示されます。

## 6 ▲·▼でおまかせ自動録画するカテゴリーを選んで決定を押す




- 選んだカテゴリーには★が表示されます。
- 最大8個までカテゴリーを選択できます。
- 選んだカテゴリーの数により検索が終わるまで、数分かかります。

### 詳細設定を行う

❶ カテゴリーを選んだ状態で青を押す

- 詳細設定画面が表示されます。

❷ ▲·▼で【自動録画】、【録画先】、【フォルダ設定】、【録画モード】、【番組の長さ】、【チャンネル】、【時間帯】を選んで決定を押す

- 詳しくは、122をご覧ください。

❸ ▲·▼で【設定完了】を選んで決定を押す

- 他のカテゴリーについての詳細設定を行う場合は、この手順を繰り返します。

### 優先順位を変更する

❶ 戻るを押して「お好みのカテゴリーを選ぶ」画面を表示する

❷ ▲·▼·◀·▶で番号のついたカテゴリーを選んでから決定を押して番号を解除する

❸ 新たに優先したい順にカテゴリーを選んで決定を押す

- カテゴリー枠の左上の番号が表示されている状態でカテゴリーを選び決定を押すと番号が解除され、次の番号が繰り上がります。

❹ ▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで元の画面に戻る



●●▶次ページへつづく

# 時短で録る・つづき

**7** ▲・▼・◀・▶で【設定完了】を選んで 決定 を押す

- 手順 6 での設定をもとに、おまかせ自動録画する番組の検索を行います。なお、選んだカテゴリーの数により検索が終わるまで、数分かかります。
- 時短機能の設定が完了します。
- おまかせ自動録画機能により、お好みのジャンルやカテゴリーの番組が自動的に録画されます。

ご注意

- 時短機能を設定中に、電源、トレイ開閉、スタートメニュー、録画リスト、過去番組表、番組表、終了、設定メニュー（ふたの中）を押すと、時短機能の設定がキャンセルされます。再度 時短 を押し、時短機能の設定を完了させてください。
- 人名が、音読みと訓読みの違いで、正しい並びで表示されないことがあります。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】５～７の３つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、おまかせ自動録画できません。（設定内容は保持します。）

## お好みを追加・設定する（おまかせ自動録画設定）

お好きなカテゴリーを追加したり、カスタマイズしたりすることができます。ジャンルや人物、気になるワードなどを指定すると、新規カテゴリーを作成できます。

**1** 時短 を押す

**2** « ・ » で ⊕ を選ぶ

**3** ▲・▼で【お好み設定へ】を選び、決定 を押す

**4** 「時短で見る」初回設定の手順 4 ～ 7 を行う

### 詳細設定を行う

「自動で録画する（おまかせ自動録画）」 122 をご覧ください。

# 時短で見る

HDD 通常録画用 USB-HDD タイムシフトマシン用 USB-HDD1 タイムシフトマシン用 USB-HDD2 (タイムシフトマシン連携)

時短機能を設定して録画した番組を効率よく再生することができます。

≫ 準備

- 時短機能を設定し、番組を自動録画しておく 86

## 「時短で見る」画面について

### 「時短で見る」画面の見かた

**1** 時短 を押す

- 「時短で見る」画面が表示されます。




- 番組リストを選択中に、サブメニュー を押すと、サブメニューが表示されます。
- ∧ · ∨ を押すと、番組リストのページが切り換わります。1 ～ 10/0 を押すとページ番号指定画面が表示されます。ページ番号を入力して、決定 を押すと、ページが切り換わります。
- 番組リストを選択中に、◀·▶ を押すと、再生コースが切り換わります。
- 番組リストを選択中に、« · » を押すと、カテゴリータブが切り換わります。
- 番組リストの一番上の番組を選択中に、▲ を押すと、カテゴリータブが選択されます。◀·▶ または « · » でカテゴリータブが切り換わります。このとき、▼ または 決定 を押すと、選択中のカテゴリーの一番上の番組が選択されます。
- 再生コースでは各コースの再生時間が表示されます。再生できない場合は【×】、再生時間が取得できない場合は【--分】が表示されます。

お知らせ

- 【時短で見る】で視聴できる番組は、本機で通常録画した番組、タイムシフトマシン録画した番組またはタイムシフトマシン連携機器でタイムシフトマシン録画した番組になります。
- 本機でタイムシフトマシン録画した番組で、最初から最後まで録画されていないものは、【時短で見る】画面に表示されません。
- 引っ越し・バックアップ用のSeeQVault対応USB-HDD／SDカードまたはUSB接続したSeeQVault対応SDカード専用TransferJet™転送対応機の番組、ディスクの番組、ホームネットワークからのみ再生可能な番組は、時短で見ることができません。
- システムメンテナンス中は【時短で見る】を表示できません。
- 本機またはタイムシフトマシン連携機器でタイムシフトマシン録画した番組は録画先メディアの容量が少なくなると、古い番組から自動的に削除されるため、【時短で見る】で確認できなくなることがあります。
- タイムシフトマシン録画した番組を保存すると、保存後の番組が【時短で見る】に表示されます。ただし、ブルーレイディスクに保存した場合は【時短で見る】の画面には非表示となります。なお、保存先に関わらず、保存元のタイムシフトマシン録画番組は【時短で見る】の画面には非表示となります。
- 「今週の節約時間」とは通常再生の時間から再生したコースでかかる時間を引いた時間です。
- 「今週の節約時間」や「各コースの再生時間」はおよその時間です。目安としてお考えください。
- 「今週の節約時間」には、その週(月曜日の午前0時から日曜日の24時まで)に節約した合計時間を表示します。合計時間は毎週月曜日の午前0時にリセットします。
- 録画中の番組は番組リストに表示されません。
- 録画種別アイコンには以下の種類があります。
  ★：おまかせ自動録画　：タイムシフトマシン録画　リンク：タイムシフトマシン連携
- 録画した番組の内容によっては、以下のような再生できないコースがあります。
  - らく見時の番組の長さが10分未満となる番組は、【飛ばし見】再生はできません。
  - タイムシフトマシン連携番組は【らく早見】再生ができません。

# 時短で見る・つづき

## 「時短で見る」画面から再生する

**1** 時短 を押す
- 「時短で見る」画面が表示されます。

**2** « ・ » を押して、お好みのカテゴリーを選ぶ

**3** ▲·▼で再生したい番組を選ぶ

**4** ◀·▶でお好みの再生コースを選ぶ

**通常再生**：録画したそのままの時間で番組を再生します。
**らく見**：通常再生に比べて、再生時間が短くなります。
**らく早見**：早見／早聞(約1.3倍速)でらく見再生します。
**飛ばし見**：らく見再生をしながら1/20スキップを繰り返し行います。

**5** 再生 または 決定 を押す
- 再生開始時に、左下に現在の再生コースが表示されます。




- 再生中に緑を押すとすべての再生コース、青を押すと再生中のコースにより通常再生・らく見再生と再生コース切換へのご案内が画面に表示されます。




- おまかせプレイ可能な番組を再生中に青でおまかせプレイに切り換えることができます。
- タイムシフトマシン録画番組とタイムシフトマシン連携番組では、【青 おまかせプレイ】の表示はありません。
- タイムシフトマシン連携番組は【らく早見】再生ができません。

**お知らせ**
- マジックチャプターでチャプター分割できなかった番組は、らく見再生できません。
- タイムシフトマシン録画番組とタイムシフトマシン連携番組は青でおまかせプレイができません。

**ご注意**
- 再生コースで【らく見】、【らく早見】、【飛ばし見】を選んで再生中に、通常再生や特殊再生を行うと「今週の節約時間」が正しく計算されません。
- 通常再生以外の再生中に 再生 や、一時停止、コマ戻し、コマ送り、◀◀、▶▶、スキップ◀◀、スキップ▶▶、«、» を押すと、再生コースが切り換わる場合があります。

## 並び順を変更する

**1** 「時短で見る」画面を表示中に サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【並び順】を選んで 決定 を押す
- 並び順の種類が表示されるので、ご希望の並び順を選んで 決定 を押してください。
- 「あなたに」「いつもの」のカテゴリーを選択中の場合のみ「おすすめ順」が表示されます。

**おすすめ順**：本機がおすすめする順に表示されます。
**新しい順**：日付の新しい順に表示されます。
**古い順**：日付の古い順に表示されます。

- 並び順は、選択カテゴリーごとに設定できます。

## 時短の条件を変更する

**1** 「時短で見る」画面を表示中に サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【条件変更】を選んで 決定 を押す
- 「カテゴリー変更」画面が表示されます。詳しくは、「時短で録る」 86 の手順 4 以降をご覧ください。
- 「あなたに」「いつもの」「視聴途中」のカテゴリーを選択中の場合は、 サブメニュー を押しても、【条件変更】は表示されません。

## 視聴制限を一時的に解除する

視聴制限のある番組を「時短で見る」画面で一時的に表示できます。

**1** 「時短で見る」画面を表示中にサブメニューを押す

**2** ▲·▼で【視聴制限一時解除】を選んで決定を押す

- パスワードを入力すると、視聴制限が解除されます。
- パスワードを忘れたときは、56ページをご覧ください。

お知らせ

- 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。

## 再生コースを一括で変更する

**1** 「時短で見る」画面を表示中にサブメニューを押す

**2** ▲·▼で【再生コース一括切換】を選んで決定を押す

- 再生コースが一括で切り換えできます。お好みの再生コースを◀·▶で選んで決定を押すと、確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。

ご注意

- 選んだ再生コースに切り換えられない番組は【通常再生】になります。
- 【再生コース一括切換】でコースを切り換えると各番組に設定していた再生コースは無効となります。

## タイムシフトリンク番組表示を変更する

設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【ネットワーク設定】➡【タイムシフトマシン連携設定】➡【タイムシフト連携機能】が【利用する】のときに、【タイムシフトリンク番組表示】の設定が可能です。

**1** 「時短で見る」画面を表示中にサブメニューを押す

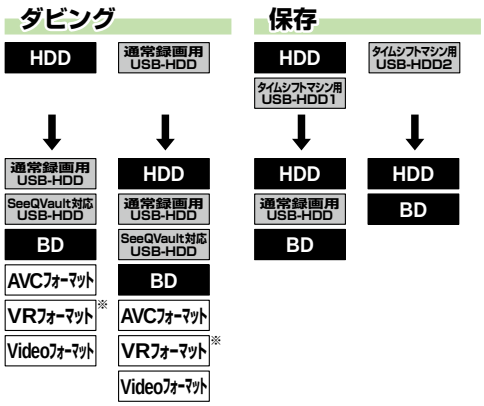
**2** ▲·▼で【タイムシフトリンク番組表示】を選んで決定を押す

- 「時短で見る」画面でタイムシフトマシン連携番組を【表示する】か【表示しない】かを選べます。【表示する】または【表示しない】選んで決定を押してください。

# 時短で残す

HDD　通常録画用 USB-HDD　タイムシフトマシン用 USB-HDD1　タイムシフトマシン用 USB-HDD2

時短機能を設定して録画した番組を、通常録画番組ではダビングが、タイムシフトマシン録画番組では保存が簡単にできます。ダビングや保存してできた番組は、番組によってはより短い再生時間で再生できます。




※ DVD-RAMにはダビングできません。

≫ 準備

- 時短機能を設定し、番組を自動録画しておく 86

## 1 「時短で見る」画面を表示中に残したい番組を選んで緑を押す

- サブメニュー を押して、【ダビング】もしくは【保存】を選んでも表示されます。
- 通常録画番組は【ダビング】になり、タイムシフトマシン録画番組は【保存】になります。
- **【保存】や、らく見コースで再生される部分のみを保存する【おまかせ保存】をしたい場合は、81の手順4をご覧ください。**
- タイムシフトマシン連携番組は【ダビング】、【保存】はできません。

## 2 ▲·▼で【おまかせダビング】を選んで決定を押す

### 【かんたんダビング】を選んだときは

1つの番組だけをダビングします。詳しくは、172をご覧ください。

### 【詳細ダビング】を選んだときは

2つ以上の番組をダビングしたり、ネットワークを使ってダビングしたりすることができます。詳しくは、174、193をご覧ください。

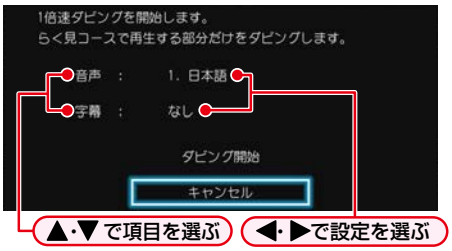
## 3 ▲·▼でダビング先を選んで決定を押す

- ダビング先が初期化の必要なディスクの場合は、確認画面が表示されるので【はい】を選んで決定を押してください。ディスクの初期化について詳しくは、「ディスクを初期化する」262をご覧ください。初期化完了後にダビング画面に戻ります。
- ダビング先によっては、高速ダビングする場合と等速ダビングする場合があります。詳しくは183をご覧ください。
- 高速ダビングの場合は、確認画面が表示されるので【はい】を選んで決定を押してください。
- 等速ダビングの場合は、【ダビング開始】を選んで決定を押してください。
- おまかせダビングが開始されます。
- **「時短で見る」の再生コース「らく見」で再生される部分がダビングされます。90**
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

### マルチ番組の音声・字幕をダビングするときは

ダビング先メディアなどによっては、ダビングできる音声・字幕が1つになります。280
その場合は、手順3のあとにダビングする音声·字幕を選んでください。

❶ ▲·▼で変更する項目を選ぶ
❷ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ




❸ 設定し終えたら、▲·▼で【ダビング開始】を選んで決定を押す
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

### 実行中のダビングを中止するときは

停止 を押すと確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押す
- 詳しくは、「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」190をご覧ください。

### DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

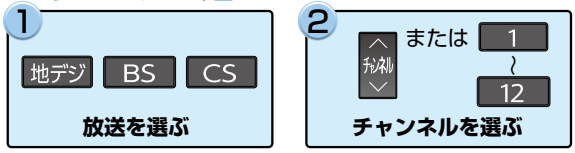
ご注意
- 【おまかせダビング】では、一度に1つの番組しかダビングできません。
- 以下の場合は、おまかせダビングができません。
  - 本編区間がない番組
  - ダビング先メディアがない
  - 現在のカテゴリーに番組が存在しない
- おまかせダビングでは、らく見コースで再生する部分だけをダビングします。一度、【らく見】で番組を見たあとに【おまかせダビング】することをおすすめします。

# 視聴する

本章ではテレビ放送を視聴するための方法や、外部入力の映像を再生する方法などを説明しています。


テレビ番組を見る ..... 94

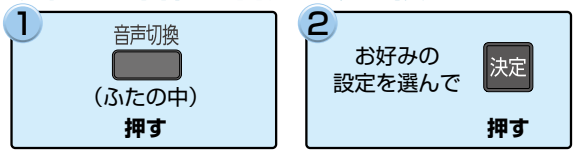

## チャンネルを選ぶ





詳しくは ..... 94

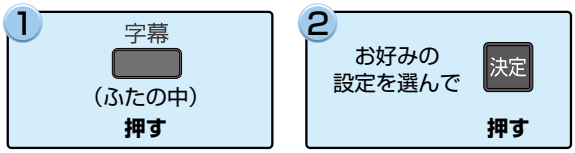

## 視聴中の番組の音声を切り換える





詳しくは ..... 96


## 視聴中の番組の字幕を切り換える





詳しくは ..... 96



外部入力の映像を見る ..... 98

# テレビ番組を見る

## 放送中の番組を見る

**1** スタートメニュー を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【放送中の番組へ】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で放送の種類を選んで 決定 を押す

### チャンネルを選ぶときは

下記「チャンネルを選ぶ」の手順 **2** をご覧ください。

## チャンネルを選ぶ

**1** 地デジ、BS または CS を押して、見たい放送の種類を選ぶ

**2** チャンネルを選ぶ

### 順送り／逆送りで選ぶときは

チャンネル を使います。

### リモコンの1～12ボタンに設定されているチャンネルを選ぶときは

1 ～ 12 を使います。

- 102チャンネルのようにデジタル放送の3けたのチャンネルを選ぶときは、以下のように押してください。
  （1番号入力）（ふたの中）➡ 1 ➡ 10/0 ➡ 2

## 選局ガイドからチャンネルを選ぶ

**1** 地デジ、BS または CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ

**2** サブメニュー を押して、▲·▼で【選局ガイド】を選んで 決定 を押す

**3** 1 ～ 12 を押す、または ▲·▼·◀·▶でお好みのチャンネルを選んで 決定 を押す

- ・で「ページ1」「ページ2」「ページ3」を切り換えることができます。ページへのチャンネル割り当ては、【チャンネルの割り当て設定】で設定できます。52

## 番組表からチャンネルを選ぶ

**1** 番組表 を押す

- 番組表の見かたは、103 をご覧ください。

**2** 地デジ、BS または CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ

**3** ▲·▼·◀·▶で現在放送中の視聴したい番組を選んで 決定 を押す

**4** ◀·▶で【見る】を選んで 決定 を押す

### 番組の詳細内容を確認するには

以下の方法で確認できます。

- 番組表で確認したい番組を選んだ状態で、番組説明（ふたの中）または 決定 を押す。
- 番組視聴中に番組説明（ふたの中）を押す。
  - 表示を消すには、【閉じる】が選ばれているので 決定 を押してください。

ご注意

- 以下の場合は、録画中の放送以外のチャンネルに切り換えることはできません。
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべて通常録画用に登録して、3番組を同時録画中のとき。
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】6・7を通常録画用に登録して、2番組を同時録画中のとき。
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】7を通常録画用に登録して、1番組を録画中のとき。
- 以下の場合は、視聴中の番組は録画中の番組に切り替わります。
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべて通常録画用に登録して、3番組目の録画が始まったとき。
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】6・7を通常録画用に登録して、2番組目の録画が始まったとき。
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】7を通常録画用に登録して、番組の録画が始まったとき。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、本機で現在放送中の番組を視聴できるチャンネルは番号7のチャンネルに固定され、チャンネルの切り換えはできません。
- 録画と変換配信の同時動作中は、チャンネルの切り換えができないことがあります。
- 再生中は放送やチャンネルの切り換えはできません。

お知らせ

- 枝番号があるチャンネルを選局した場合
  - 枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に追加される番号のことです。
  （例）入力した3けたチャンネルに枝番号がある場合は、【チャンネルの枝番号の選局】画面が表示されるので、◀·▶でお好みのチャンネルを選んでください。




## テレビ放送に連動したデータ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の案内に従っていろいろな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。録画が始まると、データ放送の画面が消えます。

### 1 データ放送のある番組を視聴中に、dデータ（ふたの中）を押す

- 情報が多い場合は、表示されるまで時間がかかることがあります。

### 2 ▲·▼·◀·▶や青・赤・緑・黄、または 1 ～ 10/0 などを使って、画面の案内に従って操作する

#### データ放送での文字入力について

- 戻る を押すと、入力した文字を消去できます。
- 漢字や半角カナは入力できません。

### 3 データ放送を見終わったら、dデータ（ふたの中）を押してテレビ放送に戻す

## 独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶことができます。

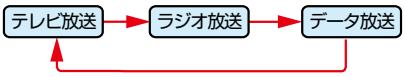
### 1 地デジ、BS または CS を押して、見たい放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送を見たい場合は、BS を押してBSデジタル放送を選んでください。

### 2 番組を視聴中に、サブメニュー を押す

### 3 ▲·▼で【サービス切換】を選んで決定を押す

- この操作を繰り返すたびに下記の順でサービスが切り換わります。（存在していないサービスはスキップされます。）




#### チャンネルを切り換えるときは

▲/▼ を使います。

- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記手順を繰り返して、テレビ放送に切り換えてください。

ご注意

- データ放送のサービスを利用するためには、次の準備が必要になる場合があります。
  - ネットワークの接続と設定
  - miniB-CASカードの登録
  - 放送局との受信契約
- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴できません。
- デジタル放送録画中のチャンネルは、テレビ放送に連動したデータ放送を視聴できません。
- データ放送には、インターネット経由で通信する双方向サービスもあります。詳しくは放送事業者へお問い合わせください。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録している場合は、データ放送を表示できません。

# テレビ番組を見る・つづき

## 視聴中の番組の音声を切り換える

複数の音声がある番組は、視聴中に音声の切り換えができます。

**1** 番組を視聴中に、音声切換（ふたの中）を押す

- サブメニュー を押して、【音声】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶でお好みの設定を選んで 決定 を押す

ご注意
- 複数の音声が用意されていない番組もあります。

## 視聴中の番組の字幕を切り換える

字幕がある番組は、視聴中に字幕の表示／非表示、言語の切り換えができます。

**1** 番組を視聴中に、字幕（ふたの中）を押す

- サブメニュー を押して、【字幕】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す

- 字幕言語は、【日本語】または【英語】を選んでください。

ご注意
- 字幕が用意されていない番組もあります。

## 視聴中の番組のアングルを切り換える

アングルが複数ある番組は、視聴中にアングルの切り換えができます。

**1** 番組を視聴中に、サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【映像】を選んで 決定 を押す

- アングル情報が表示されます。

**3** ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す

ご注意
- 複数のアングルが用意されていない番組もあります。

## マルチ番組の映像、音声などを切り換える

視聴中の番組が、映像、音声、字幕などの組み合わせが複数ある【マルチビュー】のときは、この項目を切り換えることで、それぞれの項目が一度に切り換わります。

**1** 番組を視聴中に、サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【マルチビュー】を選んで 決定 を押す

- 設定情報が表示されます。

**3** ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す

ご注意
- 【マルチビュー】に対応していない番組もあります。

ご注意
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】５～７の３つをすべてAVC画質でタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、視聴中の番組の音声切換／字幕切換／映像切換／マルチビュー切換はできません。

## XDE
## 視聴中の番組の画質を切り換える

映像をアップコンバートする際に、精細感の高い画質に補正します。

**1** 番組を視聴中に、サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【XDE】を選んで 決定 を押す
- 設定情報が表示されます。

**3** ▲·▼で【オン】または【オフ】を選んで 決定 を押す

## 視聴中の放送のアンテナレベルを確認する

視聴中の放送のアンテナレベルを確認できます。

**1** 番組を視聴中に、サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【アンテナレベル表示】を選んで 決定 を押す
- アンテナレベルが表示されます。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

## 録画モードを変更する

番組の視聴中に録画モードを変更できます。

**1** 番組を視聴中に、サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【録画モード】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す
- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。

## デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する

番組の視聴中にパスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力すると、その番組を視聴できるようになります。

**1** 1 ～ 10/0 で、56 で設定したパスワードを入力する
- 制限を解除するには、設定メニュー (ふたの中)を押してから、【放送受信設定】➡【一般設定】➡【視聴年齢制限】を【無制限】に設定してください。56

ご注意
- パスワードは忘れないようにご注意ください。

# 外部入力の映像を見る

本機の入力端子(L1)につないだ他の機器の映像を見るときは、本機を外部入力に切り換えます。

## ビデオデッキやビデオカメラの映像を見る

ビデオデッキやビデオカメラを本機につなげて、映像を見ることができます。

≫ 準備

- 本機とビデオデッキやビデオカメラなどをつないでおく 57

**1** ビデオデッキまたはビデオカメラを再生する

- 操作方法については、各機器に付属の取扱説明書をお読みください。

**2** サブメニュー を押す

**3** ▲·▼で【放送・入力切換】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼で【外部入力(L1)】を選んで 決定 を押す

ご注意

- ビデオカメラの映像をダビングするときは、ビデオカメラ付属のACアダプターをご使用ください。ダビング中にビデオカメラのバッテリーが消耗すると、正しくダビングできないことがあります。

## CATV(ケーブルテレビ)やスカパー! SD(標準画質)で受信している映像を見る

- テレビやCATV(ケーブルテレビ)のホームターミナル／セットトップボックスのIrシステムをつかう場合は、本機を操作できないことがあります。

≫ 準備

- 本機とCATV(ケーブルテレビ)チューナーをつないでおく 36
  または本機とスカパー!専用チューナーをつないでおく 36

**1** CATV(ケーブルテレビ)、またはスカパー!専用チューナーを見たいチャンネルに合わせる

- 操作方法については、各機器に付属の取扱説明書をお読みください。

**2** サブメニュー を押す

**3** ▲·▼で【放送・入力切換】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼で【外部入力(L1)】を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 本機とCATVチューナー/スカパー!専用チューナーをLANケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画できます。 124

ご注意

- 地上／BS・110度CSデジタル放送をケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスの映像出力から録画したときは、HD放送でも標準(SD)画質での録画となります。ハイビジョン(HD)画質での録画はできません。
- 本機とCATVチューナー／スカパー!専用チューナーを映像／音声接続コードでつなぐと、標準(SD)画質での録画となります。

ご注意

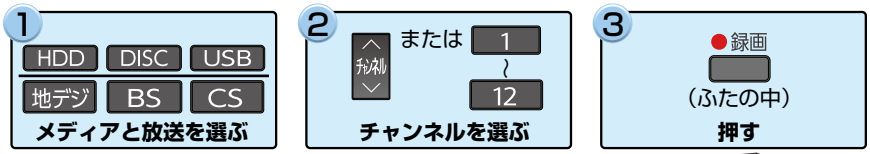
- 以下の場合は、外部入力に切り換えることはできません。
  - 外部入力以外で3番組同時録画中
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5をタイムシフトマシン録画用に登録して、2番組を同時に通常録画中
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5・6をタイムシフトマシン録画用に登録して、通常録画中
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中

# 録画する

本章では、番組表の機能や使いかた、便利な録画予約や録画のしかたなどを説明しています。


録画の前に ..... 100

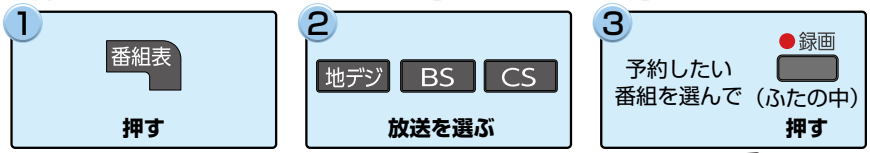
## 放送中の番組を録画する




詳しくは ... 101

番組表について ..... 103

## 番組表からワンタッチで録画予約する(一発予約)




詳しくは ... 107

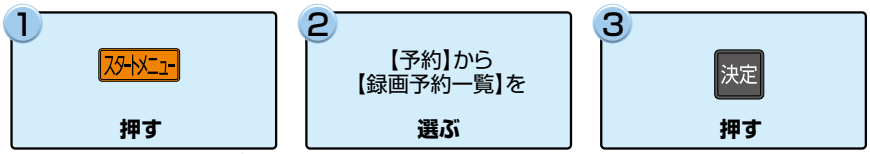
番組を検索して予約する ..... 108

番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約) ..... 110

番組表から保存予約する ..... 113

手動で入力して予約する(日時指定予約) ..... 116

## 予約を確認・変更・削除する




詳しくは ..... 118

番組表から日時指定予約する ..... 121

## 録画を一時停止・停止する




詳しくは ..... 121

自動で録画する(おまかせ自動録画) ..... 122

ネットdeレック機能で録画する ..... 124

外部入力の映像を録画する ..... 125

録画についての補足説明 ..... 126

# 録画の前に

本機では、デジタル放送をハイビジョン画質で3番組まで同時に録画でき、ネットdeレック機能を含めると最大4番組まで同時に録画できます。

## 録画するメディアについて

下記の表を参照のうえ、目的に合ったメディアを選んでください。番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

- ブルーレイディスクに録画するときは、HDDに録画してから、ブルーレイディスクにダビングすることをおすすめします。

| 番組の録画制限 | HDD 通常録画用 USB-HDD | BD |
|---|---|---|
| 制限なしに録画可能 | ○ | ○ |
| 1回だけ録画可能 | ○ | ○ |
| ダビング10 | ○ | ○※ |
| 録画禁止 | × | × |

○： できる　×： できない

※ ダビング10番組をブルーレイディスクに直接録画すると、1回だけ録画可能(コピーワンス)番組になります。(移動はできます。)

**ご注意**

- 通常録画用USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で直接録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- 通常録画用USB-HDDに録画モード【XP】～【EP】で直接録画できません。
- DVDには直接録画できません。
- SeeQVault対応USB-HDDには直接録画できません。通常録画用USB-HDDとSeeQVault対応USB-HDDを同時に接続しているときに録画する場合は、USBを押してから▲・▼で通常録画用USB-HDDに切り換えてください。
- USB接続したSeeQVault対応SDカードには直接録画できません。
- 本機前面のSDカードスロットに挿入したSeeQVault対応SDカードには直接録画できません。
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 二カ国語・マルチ番組・字幕を含む番組の録画制限について詳しくは、280をご覧ください。
- ブルーレイディスクに直接録画すると、【チャプター自動生成】を【マジックチャプター】に設定しても無効になります。252
- ブルーレイディスクに2番組以上を同時に録画できません。
- 録画の2番組目以降は、録画モード【XP】～【EP】で録画すると、【チャプター自動生成】を【マジックチャプター】に設定してもチャプター分割されない場合があります。

## 録画モードについて

録画モードとは番組の画質のことです。録画する番組の画質を優先するか、録画時間を優先するかによって使い分けることができます。

- 一度録画した番組の録画モードを、変換することもできます。168

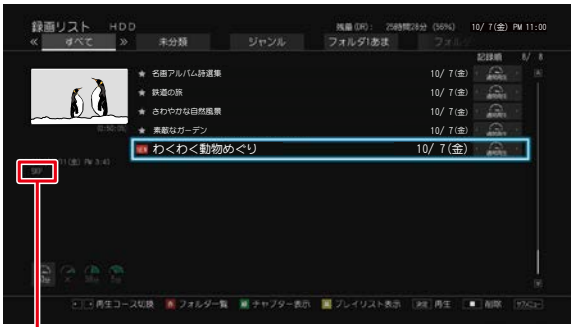
| | | | |
|---|---|---|---|
| DR | DR | | 放送そのままの画質になります。<br>• デジタル放送を、そのままの画質で録画したいときにおすすめです。 |
| AVC (HD画質) | AF | 高画質 | 放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質になります。<br>• デジタル放送をきれいなまま、容量を節約して録画したいときにおすすめです。<br>• 画質レートを選ぶことができます。 |
| | AN | | |
| | AS | | |
| | AL | | |
| | AE | 長時間 | |
| 標準 (標準画質) | XP | 高画質 | 標準画質になります。<br>• 外部入力の映像を録画したい、または容量を節約して録画したいときにおすすめです。<br>• 画質レートを選ぶことができます。 |
| | SP | | |
| | LP | | |
| | EP | 長時間 | |

### 録画モード【AF】～【AE】で録画すると・・・

- 録画モード【DR】よりも電波の影響を受けやすく、録画できないことや失敗することがあります。
- 録画時の画質レートが低い場合は、映像によってはブロック状のノイズが目立ったり、色が変化するなど映像が乱れたりすることがあります。そのようなときは、画質レートを上げて録画することをおすすめします。
- ディスクにダビングするときは、録画モード【DR】で録画することをおすすめします。

### 録画モード【SKP】や【AVC】とは

スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組をネットdeレック機能で録画すると、番組に応じて録画モードが【SKP】または【AVC】になります。




**お知らせ**

- 同時録画時の録画モードの組み合わせによっては、選択した録画モードで録画できないことがあります。詳しくは、274をご覧ください。
- 録画モード別の記録時間について詳しくは、286をご覧ください。

# 放送中の番組を録画する

HDD　通常録画用USB-HDD　BD

≫ 準備

- USB-HDDに録画するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく 57

**1** HDD、DISCまたはUSBを押して、録画したいメディアを選ぶ

- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを複数接続している場合は、USBを押すと一覧が表示されるので、切り換えたい通常録画用USB-HDDを選んで決定を押してください。

**2** 地デジ、BSまたはCSを押して、録画したい放送を選ぶ

**3** チャンネル または 1 ～ 12 で録画したいチャンネルを選ぶ

**4** ●録画（ふたの中）を押す

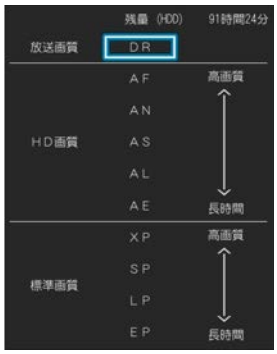
- 【番組終了時の録画自動停止】を【する】に設定しているときは、番組が終了すると自動的に録画を停止します。

## 録画モードを変更するときは

録画を始める前に、あらかじめ録画モード（画質）を設定してください。変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。録画中は、録画している番組の録画モードは変更できません。

❶ 番組を視聴中に、サブメニューを押す
❷ ▲・▼で【録画モード】を選んで決定を押す
❸ ▲・▼でお好みの設定を選んで決定を押す

- 録画先メディアが通常録画用USB-HDDの場合は、【XP】～【EP】は設定できません。




## 録画を一時停止するには（HDD／通常録画用USB-HDDのみ）

録画中のメディアとチャンネルに切り換えてから、一時停止を押す

- もう一度押すと、再び録画が始まります。

## 録画を停止するときは

停止 を押す

- 停止した位置までが、1つの番組となります。（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。

**ご注意**

- 同時録画時の録画モードについて詳しくは、274をご覧ください。
- 新品（未使用）のディスクを入れると、初期化（フォーマット）画面が表示されるので、ディスクを初期化（フォーマット）してからお使いください。262
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、タイムシフトマシン録画を指定している時間帯の番組は通常録画できません。また、タイムシフトマシン録画を指定していない時間帯は、予約録画できますが、予約録画以外の通常録画はできません。
- ダビング中は、●録画（ふたの中）を押しても録画できない場合があります。
- 通常録画用USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で直接録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- 通常録画用USB-HDDに録画モード【XP】～【EP】で直接録画できません。
- 通常録画用USB-HDDの種類によって、同時録画できる番組数が異なります。
  - USB3.0の場合は、3番組同時録画できます。
  - USB2.0の場合は、2番組同時録画できます。

**お知らせ**

- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、画面表示を2回押して画面表示を表示すると確認できます。

# 放送中の番組を録画する・つづき

## 指定した時間で録画を終了するには（ワンタッチタイマー録画）

録画中に来客があったり、録画の途中で外出したりするときに便利です。

- ワンタッチタイマー録画を利用するときは、【番組終了時の録画自動停止】を【しない】に設定してください。253

「放送中の番組を録画する」の手順 **4** で、録画（ふたの中）を２回以上押すと、15分単位で録画が終了するまでの時間を設定できます。（２回押すと15分後、3回押すと30分後に録画を終了します。）

- 最大４時間まで設定できます。
- 通常の録画に戻したいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か録画（ふたの中）を押してください。
- HDDと通常録画用USB-HDDへの録画の場合は、録画時間を設定しないときは、15時間で録画が自動的に停止します。ブルーレイディスクへの録画可能時間は８時間未満です。
- ワンタッチタイマー録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、画面表示を２回押してください。

### ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは

- １番組だけ録画中の場合は、停止を押してください。
- 同時録画中／追っかけ再生中の場合は、121をご覧ください。
- ワンタッチタイマー録画中の一時停止はできません。

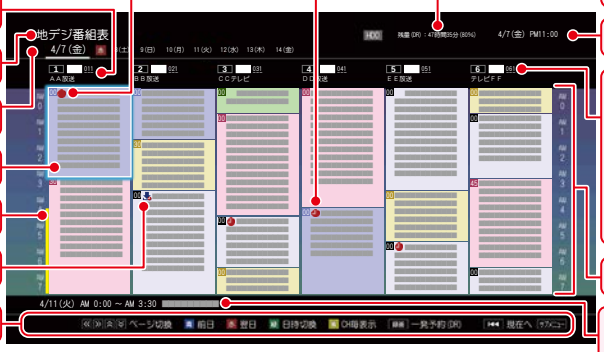
# 番組表について

## 番組表を表示する

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110 度CSデジタル放送の番組表を表示することができます。

**1** 番組表 を押して、地デジ 、BS または CS でお好みの放送の種類を選ぶ

### 番組表の見かた




- 録画番組の重複や【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7でのタイムシフトマシン録画により、これ以上録画予約できない時間帯を赤ラインで表示し、重複のため既に録画できない番組が存在する時間帯を濃い赤ラインで表示します。
- 色分け設定したジャンルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色に変わります。

#### 番組データの受信について

番組データは、本機の電源が「切」（通電状態）のときに受信されます。受信中は、本機上面の電源ランプが点灯（橙）します。

- 電源プラグは抜かずに、通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。（更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります。）なお、電源が「入」であっても、視聴中チャンネルの番組データは取得されます。
- 特定のチャンネルの番組データが未取得の場合は、【決定ボタンで選局し、放送番組がある場合、番組データを取得します。】と表示されます。◀・▶でチャンネルを選んで 決定 を押すと、選んだチャンネルを選局し、番組データの取得が開始されます。ただし、本機の状況によっては選んだチャンネルを選局できないことがあります。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7のすべてでタイムシフトマシン録画中の場合は、選んだチャンネルを選局できないので、番組データの取得はできません。
- 受信には、通常、数十分かかります。
- システムメンテナンス時間に本機の電源が「切」（通電状態）になっているとき、取得可能な放送局の番組情報が取得されます。なお、未取得のデータがある場合は、電源を「切」にした約10分後に取得することがあります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。
- 番組データの受信中は、冷却用ファンが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。
- 番組データの受信が完了していなくても、本機上面の電源ランプが消えることがあります。

# 番組表について・つづき

## 番組データが受信できないときは

【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】５～７の３つをすべてタイムシフトマシン録用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、番組データやチャンネルロゴの取得に約10日かかる場合があります。その場合は、【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してから電源を「切」にしておくと、約１日で番組データやチャンネルロゴが取得できます。ただし、システムメンテナンス時間に放送を休止しているチャンネルがある場合は、そのチャンネルは番組データやチャンネルロゴが取得できない場合があります。番組データやチャンネルロゴが取得できないチャンネルは、【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してから、そのチャンネルを数十分視聴しておくと取得することができます。

## デジタル放送の番組表について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表を表示できます。

## CATV(ケーブルテレビ)の番組表について

CATV(ケーブルテレビ)は、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。その場合は、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

**ご注意**

- 録画中や停電したとき、電源プラグを抜いたときは、番組データを受信できず、番組表が最新ではない場合があります。
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 次の場合は、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
  - チャンネル設定をやり直したとき
  - 約１週間以上、本機の電源プラグを抜いて使用していなかったとき
- 地上デジタル放送で番組情報が表示されない放送局がある場合は、そのチャンネルを選局して数分間視聴したあと、再度番組表を開いてください。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。この場合は、実際の放送と番組表の内容が異なることがあります。
- 【表示チャンネル数切り換え】を【9チャンネル】以上にしたときは、高精細テレビでご覧ください。

**お知らせ**

- 番組表は、最大８日分まで表示できます。
- 地上デジタル放送／BSデジタル放送／CSデジタル放送の番組表を表示できます。
- 番組表から録画予約した番組には【◔】が表示され、録画予約した番組が録画中の場合は【●】が表示されます。(番組表に【◔】を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線【｜】が表示されます。毎週／毎日録画の番組の場合は、該当する番組すべてに【◔】が表示されます。)
- 番組表から保存予約した番組やタイムシフトマシン過去番組表から周期保存予約した番組には【↓】が表示されます。(番組表中に【↓】を表示するスペースがない場合は、代わりに青い線【｜】が表示されます。周期予約の番組の場合は、該当する番組すべてに【↓】が表示されます。)
- 番組表の表示対象は【テレビ】／【ラジオ】／【データ】から選択できます。ただし、存在していないサービスは選択できません。なお、視聴中のサービスの切り換えについて、詳しくは、「独立データ放送やラジオ放送を楽しむ」95をご覧ください。

## 番組表の表示を切り換える

サブメニューをつかうと、以下の表示を切り換えることができます。

- 表示する日付(日付切り換え)
- 表示するチャンネルの数(表示チャンネル数切り換え)
- 表示する時間数(表示時間数切り換え)
- 番組名などの文字の大きさ(文字サイズ切り換え)
- 番組の概要表示(番組概要表示設定)
- テレビ放送のサービス(表示対象切り換え)

❶ サブメニューを押す
❷ ▲・▼で切り換えたい項目を選んで決定を押す
❸ ▲・▼でお好みの表示を選んで決定を押す

### 日付を切り換える

- 青を押すと、前日の番組表に切り換えます。
- 赤を押すと、翌日の番組表に切り換えます。

#### 日付を指定して切り換える

❶ サブメニューを押す
❷ ▲・▼で【日付切り換え】を選んで決定を押す
❸ ▲・▼でお好みの日付を選んで決定を押す

### 現在の番組を表示する

番組表を再度表示すると、前回選んでいた番組を選んだ状態で番組表が表示されます。

- ⏮を押すと、現在放送されている時間帯の番組表に切り換えます。

### マルチチャンネルを表示する

デジタル放送の中には、1つの放送局で複数の番組を放送できる、マルチチャンネル放送があります。

❶ ▲・▼・◀・▶でマルチチャンネルを表示したい番組を選んで、サブメニューを押す
❷ ▲・▼で【マルチ表示】を選んで決定を押す
- 同様に1チャンネル表示にしたい場合は、手順❷で【1チャンネル表示】を選んで決定を押します。
- マルチチャンネル放送を行っていない放送局や【チャンネルスキップ設定】で【スキップ】に設定されている放送局は、【1チャンネル表示／マルチ表示】で切り換えることはできません。

### CH毎表示に切り換える

選んだチャンネルの8日分の番組表を表示させることができます。

❶ ▲・▼・◀・▶でチャンネルを選んで黄を押す
- 【CH毎表示】では、曜日表記の【土】と【日】の背景色が、他の曜日表記と異なる色で表示されます。
- 【全CH表示】に戻すには、もう一度黄を押します。
- CH毎表示中に チャンネル を押すと、CH毎表示のまま表示しているチャンネルが切り換わります。

### ページを切り換える

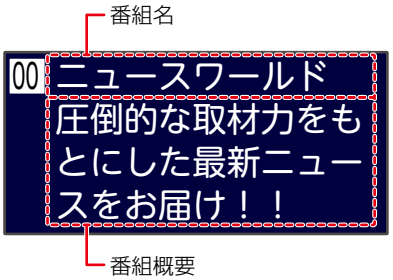
- ⏫・⏬を押すと、【表示時間数切り換え】で設定された時間に応じて、上下にページが切り換わります。
- ⏪・⏩を押すと、【表示チャンネル数切り換え】で設定されたチャンネル数に応じて、左右にページが切り換わります。
  - 【スキップ】したチャンネル数やお住まいの地域で受信できるチャンネル数によっては、前後のページが表示されない場合があります。

### 番組概要の表示を切り換える

番組表で番組概要を表示するかしないかを切り換えることができます。

❶ サブメニューを押す
❷ ▲・▼で【番組概要表示設定】を選んで決定を押す
❸ ▲・▼で【表示する】または【表示しない】を選んで決定を押す

【表示する】：　番組名と番組概要を表示する
【表示しない】：　番組名のみを表示する



# 番組表について・つづき

## 番組のジャンルを色分けして表示する

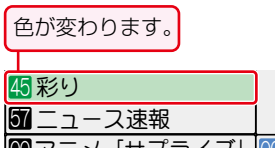
- 番組をジャンル別に色分けすれば、見たい番組を探すときに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更できます。

❶ サブメニュー を押す

❷ ▲・▼で【ジャンル色分け】を選んで 決定 を押す
- 色分け設定一覧が表示されます。

❸ ▲・▼で表示する色を選んで 決定 を押す

❹ ▲・▼・◀・▶で【ジャンル項目】と【詳細ジャンル項目】を選んで 決定 を押す
- 番組表に戻るには 戻る を2回押してください。
番組表に戻ると、設定したジャンルと一致する番組の番組欄が色分けして表示されます。




### 他の色を続けて設定するときは

手順❸～❹を繰り返す

### 色分けを解除したいときは

手順❹で【指定しない】を選ぶ

お知らせ
- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合は、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。

## 予約一覧を確認する

予約一覧の確認ができます。

❶ サブメニュー を押す

❷ ▲・▼で【予約一覧】を選んで 決定 を押す

❸ ▲・▼で【録画予約一覧】または【保存予約一覧】を選んで 決定 を押す
- 【録画予約一覧】を選んだ場合は、118 をご覧ください。
- 【保存予約一覧】を選んだ場合は、84 をご覧ください。

## 番組の詳細内容を確認する

❶ ▲・▼・◀・▶で確認したい番組を選んで 番組説明 (ふたの中)または 決定 を押す
- 表示を消すには、番組説明 (ふたの中)または 戻る を押してください。

### 番組についてのアイコン一覧

| | |
|---|---|
| 1080i 16:9 | 番組の映像信号情報<br>(上：信号方式／下：画面の縦横比) |
| 有料 ／ 済 | 有料放送未契約／有料放送契約済み |
| D コピ× ／ D 出力× | デジタルコピー禁止／デジタル出力禁止 |
| コピー制限 | ダビング10または<br>1回だけ録画可能(コピーワンス)番組 |
| A コピ× ／ A 出力× | アナログコピー禁止／アナログ出力禁止 |
| 4歳～ ／ 20歳～ | 4歳から視聴可能～20歳から視聴可能 |
| 信号 | マルチ番組(映像や音声などが複数ある番組) |
| モノラル ／ ステレオ | モノラル音声／ステレオ音声 |
| 主+副 ／ サラウンド | 主+副 音声／マルチチャンネル音声 |
| 字幕 | 字幕有り |

お知らせ
- 番組を視聴しているときに 番組説明 (ふたの中)を押すと、視聴している番組の詳細内容を確認できます。

## 指定した日時の番組表を表示させる

日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

❶ 緑 を押す

❷ ▲・▼・◀・▶で日時を選んで 決定 を押す




- 選択した時間帯の番組表が表示されます。
- ⏫・⏬を押すと、選択した時間帯が時間枠分移動します。
- 選択した時間帯枠の大きさは、【表示時間数切り換え】の時間数設定と連動しています。

# 番組表からワンタッチで録画予約する(一発予約)

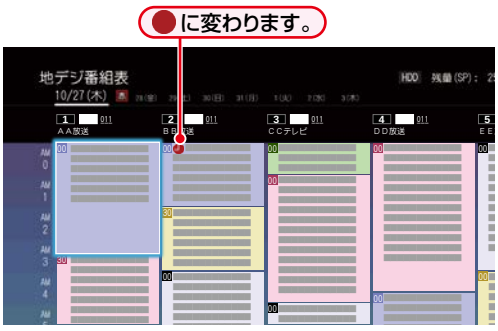
HDD

**1** 番組表 を押す

**2** 地デジ、BS または CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ

**3** ▲·▼·◀·▶で予約したい番組を選んで ●録画 (ふたの中)を押す

- HDDへの録画予約が確定し、選んだ番組に【◴】が表示されます。
- 番組表に【◴】を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線(｜)が表示されます。
- 予約録画が始まると、【◴】が【●】に変わります。




- ●録画 (ふたの中)を使った一発予約では、録画先はHDDになります。
- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり、予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、終了を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)

### 予約の内容を変更したいときは

❶ 一発予約した番組を選んで 決定 を押す
❷ ◀·▶で【予約修正】を選んで 決定 を押す
❸ 予約の内容を変更する

- 詳しくは、「番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)」 110 の手順 5 以降をご覧ください。

### 予約の確認・削除や録画停止をするときは

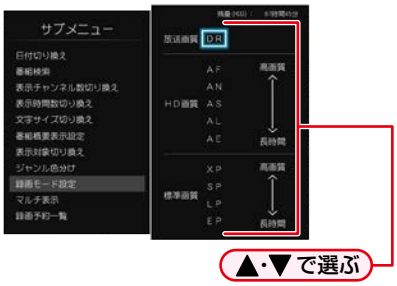
予約の確認 118 、予約の削除 120 、録画の停止 121 をご覧ください。

## 番組表から録画モードを変更する

番組表を表示中に録画モードを変更できます。

❶ 番組表を表示中に サブメニュー を押す
❷ ▲·▼で【録画モード設定】を選んで 決定 を押す
❸ ▲·▼でお好みの設定を選んで 決定 を押す

- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。




ご注意

- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。また、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべて登録しているときでも、【タイムシフトマシン有効時間】で有効時間に指定していない時間帯は録画予約できます。
- 録画中の予約の内容は変更できません。

お知らせ

- スタートメニュー画面の【番組表】からも同じ操作を行うことができます。
- 予約が重なったときは、126 をご覧ください。

# 番組を検索して予約する

録画したい番組を検索して予約できます。
【人物･キーワード】や【ジャンル】などで検索、または【人物･キーワード】と【ジャンル】を組み合わせて検索することもできます。

## 1 番組表 を押す

## 2 番組表を表示中に、サブメニュー を押す

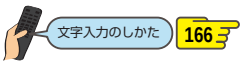
## 3 ▲･▼で【番組検索】を選んで 決定 を押す

### 人物リストから追加する場合

❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 決定 を押す
❷ ▲･▼で【＋ 人物リストから追加】を選んで 決定 を押す
❸ ▲･▼･◀･▶で人物名を選んで 決定 を押す
- 手順 4 に進んでください。

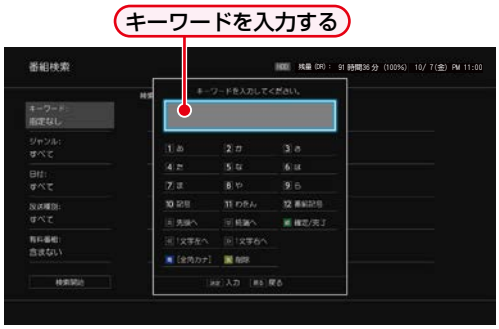
### 新しいキーワードを登録する場合

❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 決定 を押す
❷ ▲･▼で【＋ 新規入力】を選んで 決定 を押す
❸ キーワードを入力して、緑 を押す




- 以下の手順でも、新しいキーワードを登録して検索できます。

❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 青 を押す
❷ ▲･▼･◀･▶で【＋ 新規登録】を選んで 決定 を押す
❸ キーワードを入力して、緑 を押し、さらに 決定 を押す




ご注意
- 人物リスト画面において、人名が、音読みと訓読みの違いで、正しい並びで表示されないことがあります。
- 人物・キーワード画面に登録済のキーワードが４つまで表示されますが、１つのキーワードあたり、最大で15文字(全角文字または半角カナの場合)／半角30文字までになります。

### 登録済みのキーワードで検索する場合

❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 決定 を押す
❷ ▲･▼で希望のキーワードを選んで 決定 を押す
- 以下の手順でも、登録済みのキーワードで検索できます。

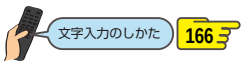
❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 青 を押す
❷ ▲･▼･◀･▶で希望のキーワードを選んで 決定 を押す
- 手順 4 に進んでください。

### キーワードでは検索しない場合

❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 決定 を押す
❷ ▲･▼で【指定しない】を選んで 決定 を押す
- 【キーワード】を【指定しない】に設定すると、【ジャンル】だけで検索します。
手順 4 に進んでください。

### キーワードを編集したい場合

❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 青 を押す
❷ ▲･▼･◀･▶で編集したいキーワードを選んで 青 を押す
❸ キーワードを編集して、緑 を押す

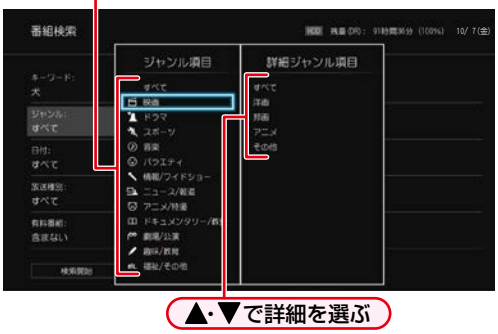



### キーワードを削除したい場合

❶ ▲･▼で【人物・キーワード】を選んで 青 を押す
❷ ▲･▼･◀･▶で削除したいキーワードを選んで 黄 を押す
❸ 確認画面が表示されるので、▲･▼で【はい】を選んで 決定 を押す
- 登録済みのキーワードのうち【新 新番組】は削除できません。

## 4 ▼で【ジャンル】を選んで 決定 を押す

## 5 ▲·▼で【ジャンル項目】と【詳細ジャンル項目】を選んで決定を押す




- 【ジャンル項目】を【すべて】に設定すると、【キーワード】だけで検索します。

## 6 ▼で【日付】を選んで決定を押す

## 7 ▲·▼で検索する日付を選んで決定を押す

## 8 ▼で【放送種別】を選んで決定を押す

## 9 ▲·▼で検索する放送種別を選んで決定を押す

## 10 ▼で【有料番組】を選んで決定を押す

## 11 ▲·▼で【含む】または【含まない】を選んで決定を押す

**含む**： 検索対象番組に有料番組を含みます。
**含まない**： 検索対象番組に有料番組を含みません。

## 12 ▼で【検索開始】を選んで決定を押す

- 検索が始まり、検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

### 番組の詳細内容を確認するには

内容を確認したい番組を選んで決定を押す 106

### 今すぐ番組を見たいときは

現在放送中の番組を選んで決定を押して【番組説明】画面を表示してから◀·▶で【見る】を選んで決定を押す

## 13 ▲·▼で予約したい番組を選ぶ

### 「一発予約」をするには

録画（ふたの中）を押す

- 選んだ番組に【🕘】が表示されます。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

### お好みの設定で予約するには

決定を押して【番組説明】画面を表示してから「番組表からお好みの設定で予約する（番組表予約）」110の手順 *4* 以降を行う

## 同じ番組名を検索して予約する

番組表の【番組説明】画面から、選んだ番組の名前をキーワードにした検索条件を設定できます。

❶ 番組表を押す
❷ ▲·▼·◀·▶で検索したい番組を選んで決定を押す
❸ ▲·▼で【同一番組名検索】を選んで決定を押す
❹「番組を検索して予約する」の手順 *3* ～ *13* を行う

**ご注意**

- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、ジャンルが一致しても検索できない場合があります。
- 検索結果は最大300件まで表示できます。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】５～７の３つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。また、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録しているときでも、【タイムシフトマシン有効時間】で有効時間に指定していない時間帯は録画予約できます。

**お知らせ**

- 【キーワード】／【ジャンル】／【放送種別】／【有料番組】の設定は、再度番組検索を表示しても記憶されていますが、【日付】の設定は【すべて】に戻ります。
- キーワード指定画面では、最大14個までキーワードを登録できます。

# 番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)

HDD　通常録画用USB-HDD　BD

番組表から録画予約したい番組を選んで、お好みの設定で録画予約できます。

≫ 準備

- USB-HDDに録画するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく 57

**1** 番組表 を押す

**2** 地デジ、BS または CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

**3** ▲·▼·◀·▶で録画予約したい番組を選んで 決定 を押す

**4** ◀·▶で【録画予約】を選んで 決定 を押す

- 選んだ番組がタイムシフトマシン録画に登録しているチャンネルの番組の場合は、【保存予約】を選ぶこともできます。◀·▶で【保存予約】を選んで 決定 を押してください。 113
- 放送が確定していない番組の場合は、確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。

**5** ▲·▼で【録画日時】を選んで 決定 を押す

- 選択可能な録画日時のリストが表示されます。

**6** ▲·▼でお好みの録画日時を選んで 決定 を押す




### 毎週／毎日録画をするときは

【毎週○】(○は曜日を表示)や【月～金】、【月～土】、【火～土】、【毎日】を選ぶ

- フォルダ作成確認画面が表示されます。録画予約したい番組の名前を使ってフォルダを作成したい場合は【はい】を、既存のフォルダ名を使用したい場合は【いいえ】を選んでください。
  【はい】を選んだ場合は、手順 *10* の「【新規フォルダ(番組名)】を選ぶと」をご覧ください。
- 日曜日以外に放送される番組を毎日録画する場合は【月～土】を、月曜から金曜の深夜番組(日付が変更してから放送される番組)を毎日録画する場合は【火～土】をおすすめします。

### 日時指定予約をするときは

【日時指定予約】を選ぶ

- 詳しくは、 121 をご覧ください。
- 日時指定予約で録画すると、番組の放送時間が延長／変更された場合などに自動追跡ができなくなります。

**7** ▲·▼で【録画先】を選んで 決定 を押す

- 録画先のリストが表示されます。

**8** ▲·▼でお好みの録画先メディアを選んで 決定 を押す

- 録画先が【BD】(ブルーレイディスク)の場合は、手順 *11* に進んでください。

**9** ▼で【フォルダ設定】を選んで 決定 を押す

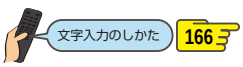
**10** ▲·▼で、お好みのフォルダを選んで 決定 を押す

### 【設定しない】を選ぶと

- 【すべて】、【未分類】および【ジャンル】に保存されます。

### 【新規フォルダ】を選ぶと

- お好みの名前のフォルダを作成できます。



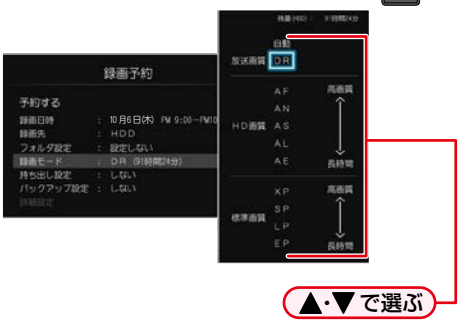

### 【新規フォルダ(番組名)】を選ぶと

- 録画予約する番組と同じ名前でフォルダを作成して、録画できます。
  (フォルダ名はお好みの名前にも変更できます。)

**11** ▲·▼で【録画モード】を選んで 決定 を押す

- 録画モードのリストが表示されます。

**12** ▲·▼でお好みの録画モードを選んで 決定 を押す



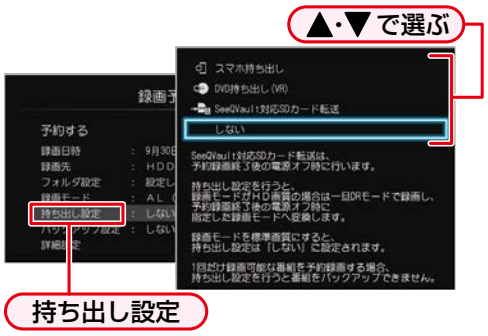

- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画先が通常録画用USB-HDDの場合は、録画モードを【自動】、【XP】～【EP】に設定できません。
- 録画モードを【自動】に設定するときは、「ディスクの容量に合わせて録画する」 112 をご覧ください。
- 録画モードを【DR】以外に設定したときは、次の手順で、記録する音声・字幕・映像を設定してください。

**録画モードを【DR】以外に設定したときは**

❶【録画モード】を【DR】以外に設定したあと、▲·▼で【詳細設定】を選んで決定を押す
❷ ▲·▼で変更する項目を選んで決定を押す
❸ ▲·▼でお好みの設定を選んで決定を押す
❹ ▲·▼で【確定して前の画面へ】を選んで決定を押す

- 設定できる内容は、設定された録画モードによって異なります。280
- 録画先が【BD】(ブルーレイディスク)の場合は、112の手順 *15* に進んでください。

## *13* ▲·▼で【持ち出し設定】を選んで決定を押して、▲·▼で【スマホ持ち出し】、【DVD持ち出し(VR)】、【SeeQVault対応SDカード転送】または【しない】を選んで決定を押す




**スマホ持ち出し**：202
予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成します。

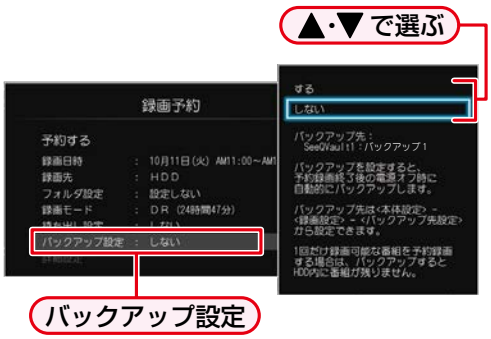
**DVD持ち出し(VR)**：182
予約録画しながらVRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組を作成します。

**SeeQVault対応SDカード転送**：
予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成し、本機の電源「切」時にSeeQVault対応SDカードに転送します。

**しない**：
持ち出し設定をしません。

- スマホ持ち出し用の画質は【スマホ持ち出し用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】252で変更できます。
- DVD持ち出し(VR)用の画質は【DVD持ち出し(VR)用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【DVD持ち出し(VR)用画質】252で変更できます。
- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- スマホ持ち出し、DVD持ち出し(VR)、SeeQVault対応SDカード転送を選択した場合は、予約録画時の録画状況によっては、録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- 【SeeQVault対応SDカード転送】について詳しくは、「SeeQVault対応SDカードに自動転送する」200をご覧ください。
- 録画先は、110の手順 *8* で【HDD】または【USB】を選んでください。
- 録画モードは、110の手順 *12* にて【DR】～【AE】を選んでください。
- 録画先が【USB】の場合は、112の手順 *15* に進んでください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

## *14* ▲·▼で【バックアップ設定】を選んで決定を押して、▲·▼で【する】または【しない】を選んで決定を押す




**する**：　予約録画が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

**しない**：　バックアップしません。

- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるので▲·▼でお好みのバックアップ先を選んで決定を押してください。
- バックアップ先は、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】252で変更できます。
- 録画先は、110の手順 *8* で【HDD】を選んでください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。



次ページへつづく

# 番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)・つづき

## 15 すべて設定し終えたら、▲・▼で【予約する】を選んで決定を押す

- 番組表に戻り、選んだ番組に【◕】が表示されます。(番組表に【◕】を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線(｜)が表示されます。毎週／毎日録画をした場合は、該当する番組すべてに【◕】が表示されます。)
- 設定が終わったら、終了を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)

### 予約が重なったときは

「予約が重なったときは」126をご覧ください。

### 他の番組を続けて予約するときは

このあと、110～112の手順 *2*～*15* を繰り返す

### 予約の確認・変更・削除や録画停止をするときは

118～121をご覧ください。

- 予約は200件まで登録できます。HDDと通常録画用USB-HDDへの1番組あたりの録画可能時間は15時間です。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。

### 録画後にバックアップ設定を解除するときは

録画後、バックアップ実行前にバックアップ設定を録画リスト画面から解除する場合は、「バックアップ設定を解除する」135をご覧ください。

## ぴったり録画
## ディスクの容量に合わせて録画する

HDD　BD

【録画モード】を【自動】に設定すると、本機で初期化直後のディスクの容量ぴったりに収まるように、自動的に画質を調節して録画します。

### 録画先メディアがブルーレイディスクの場合

本機でディスクの容量を自動的に計算し、その容量に合わせて録画します。

### 録画先メディアがHDDの場合

【録画モード】で【自動】を選んだあと、【録画モード自動設定】画面が表示されます。録画したあとにダビングするときのブルーレイディスクやDVDの容量を選んでください。

❶「番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)」110の手順 *12* で、【録画モード】を選ぶときに、▲・▼で【自動】を選んで▶を押して、つづけて決定を押す

- 【録画モード自動設定】画面が表示されます。

❷ ▲・▼で、ディスクの容量を選んで決定を押す




- ディスク容量と対応しているディスクは以下になります。(BD-RE(3層)とBD-R(3層／4層)もダビングはできますが、ディスク容量に合わせることはできません。)

| | | |
|---|---|---|
| HD画質 | 4.7GB | DVD-RW(AVCREC™)　(1層)<br>DVD-R(AVCREC™)　(1層) |
| | 8.5GB | DVD-R(AVCREC™)　(2層) |
| | 25GB | BD-RE／BD-R　(1層) |
| | 50GB | BD-RE／BD-R　(2層) |
| 標準画質 | 4.7GB | DVD-RW(VR)　(1層)<br>DVD-R(VR)　(1層) |

- 前ページの手順 *13* に進んでください。

ご注意

- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- 録画先メディアが通常録画用USB-HDDの場合は、録画モードを【AF】～【AE】に設定しても一時的に【DR】で録画されます。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。)
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。また、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録しているときでも、【タイムシフトマシン有効時間】で有効時間に指定していない時間帯は録画予約できます。

# 番組表から保存予約する

HDD　通常録画用 USB-HDD　BD

タイムシフトマシン録画に登録してあるチャンネルの番組をタイムシフトマシン録画される前に番組表から保存予約しておくことで、タイムシフトマシン録画されたあとに自動的に保存することができます。

≫ 準備

- USB-HDDに保存するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクに保存するときは、保存用のディスクを入れておく 57

**1** 番組表 を押す

**2** 地デジ、BS または CS を押して、保存予約したい放送の種類を選ぶ

**3** ▲·▼·◀·▶で保存予約したい番組を選んで 決定 を押す

- タイムシフトマシン録画に登録しているチャンネルの番組を選んでください。番組表上でチャンネル番号と放送局名が橙色で表示されているチャンネルがタイムシフトマシン録画に登録してあるチャンネルです。
- すでに録画予約している番組は保存予約できません。

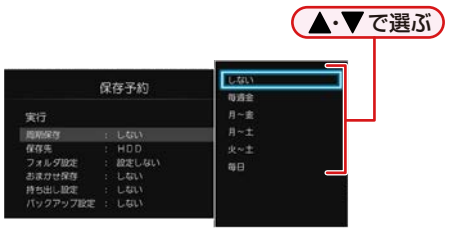
**4** ◀·▶で【保存予約】を選んで 決定 を押す

- 放送が確定していない番組の場合は、確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。

**5** ▲·▼で【周期保存】を選んで 決定 を押す

- 選択可能な保存周期のリストが表示されます。

**6** ▲·▼でお好みの保存周期を選んで 決定 を押す




### 毎週／毎日で周期保存をするときは

【毎週○】（○は曜日を表示）や【月～金】、【月～土】、【火～土】、【毎日】を選ぶ

- フォルダ作成確認画面が表示されます。保存予約したい番組の名前を使ってフォルダを作成したい場合は【はい】を、既存のフォルダ名を使用したい場合は【いいえ】を選んでください。【はい】を選んだ場合は、手順 *10* の「【新規フォルダ（番組名）】を選ぶと」をご覧ください。
- 日曜日以外に放送される番組を周期保存する場合は【月～土】を、月曜から金曜の深夜番組（日付が変更してから放送される番組）を周期保存する場合は【火～土】をおすすめします。

**7** ▲·▼で【保存先】を選んで 決定 を押す

- 保存先のリストが表示されます。

**8** ▲·▼でお好みの保存先メディアを選んで 決定 を押す

- 保存先が【BD】（ブルーレイディスク）の場合は、手順 *11* に進んでください。

**9** ▼で【フォルダ設定】を選んで 決定 を押す

**10** ▲·▼で、お好みのフォルダを選んで 決定 を押す

### 【設定しない】を選ぶと

- 【すべて】、【未分類】および【ジャンル】に保存されます。

### 【新規フォルダ】を選ぶと

- お好みの名前のフォルダを作成できます。

文字入力のしかた 166

### 【新規フォルダ（番組名）】を選ぶと

- 保存予約する番組と同じ名前でフォルダを作成して、保存できます。
（フォルダ名はお好みの名前にも変更できます。）

**11** ▲·▼で【おまかせ保存】を選んで 決定 を押す

### おまかせ保存とは

- 「らく見コース」で再生される部分のみを、保存します。

**12** ▲·▼で【する】または【しない】を選んで 決定 を押す

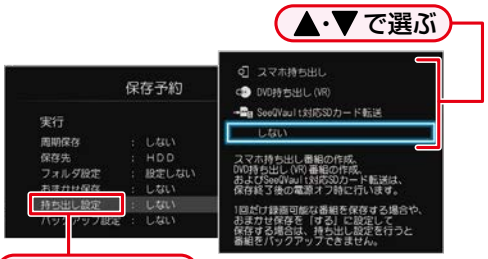
- 保存先が【BD】（ブルーレイディスク）の場合は、手順 *15* に進んでください。



次ページへつづく

# 番組表から保存予約する・つづき

## 13 ▲·▼で【持ち出し設定】を選んで決定を押して、▲·▼で【スマホ持ち出し】、【DVD持ち出し(VR)】、【SeeQVault対応SDカード転送】または【しない】を選んで決定を押す




**スマホ持ち出し：** 202
保存が終わったあとの電源「切」時に、スマホ持ち出し番組を作成します。

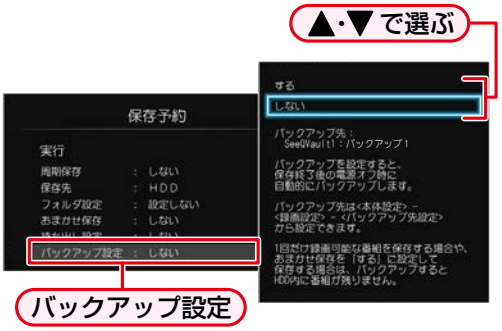
**DVD持ち出し(VR)：** 182
保存が終わったあとの電源「切」時に、VRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組を作成します。

**SeeQVault対応SDカード転送：**
保存が終わったあとの電源「切」時に、スマホ持ち出し番組を作成し、SeeQVault対応SDカードに転送します。

**しない：**
持ち出し設定をしません。

- スマホ持ち出し用の画質は【スマホ持ち出し用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】252で変更できます。
- DVD持ち出し(VR)用の画質は【DVD持ち出し(VR)用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【DVD持ち出し(VR)用画質】252で変更できます。
  【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてAVC画質でタイムシフト録画用に登録しているときは、DVD持ち出し(VR)設定はできません。
- 【SeeQVault対応SDカード転送】について詳しくは、「SeeQVault対応SDカードに自動転送する」200をご覧ください。
- 保存先は、手順 *8* で【HDD】または【USB】を選んでください。
- 保存先が【USB】の場合は、手順 *15* に進んでください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

## 14 ▲·▼で【バックアップ設定】を選んで決定を押して、▲·▼で【する】または【しない】を選んで決定を押す




**する：** 保存が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

**しない：** バックアップしません。

- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるので▲·▼でお好みのバックアップ先を選んで決定を押してください。
- バックアップ先は、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】252で変更できます。
- 保存先は、手順 *8* で【HDD】を選んでください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

## 15 すべて設定し終えたら、▲·▼で【実行】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されます。【了解】が選ばれているので決定を押してください。
- 番組表に戻り、選んだ番組に【】が表示されます。(番組表に【】を表示するスペースがない場合は、代わりに青い線(｜)が表示されます。
  毎週／毎日で周期保存をした場合はすでにタイムシフトマシン録画した番組や、これからタイムシフトマシン録画する予定の番組を含めて該当するすべての番組に【】が表示されます。)
- 設定が終わったら、終了を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)

### 他の番組を続けて保存予約するときは

**このあと、手順 *2* ～ *15* を繰り返す**

### 保存予約を確認・削除するときは

84をご覧ください。

- すでにタイムシフトマシン録画した番組の保存予約が50件まで、これからタイムシフトマシン録画する予定の番組の保存予約が50件まで登録できます。

ご注意

- 保存予約した番組は、録画予約できません。
- 番組表から【周期保存】を選んで保存予約した場合は、必ず保存が実行されるわけではありません。
- 以下の場合は、保存予約が実行されません。
  - システムメンテナンス中
  - 保存先の容量が足りない
  - 保存先の番組数がいっぱいになっている
- 以下の場合は、動作完了後に保存予約が実行されます。
  - ダビング中
  - 他の番組を保存中
  - ネットdeレック中

# 手動で入力して予約する(日時指定予約)

HDD　通常録画用USB-HDD　BD

番組表が利用できない番組を録画予約したいときに、手動で番組を録画予約できます。

≫ 準備

- USB-HDDに録画するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく 57

**1** スタートメニューを押す

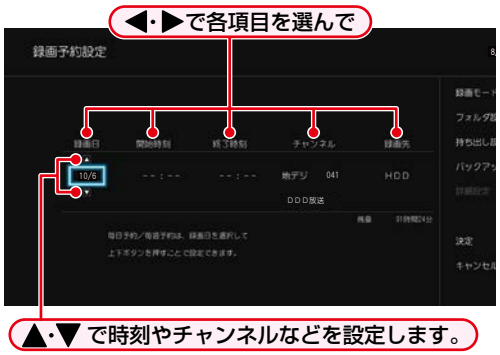
**2** ▲·▼·◀·▶で、【予約】を選ぶ

**3** ▲·▼で【録画予約一覧】を選ぶ

**4** 赤を押す

- 【録画予約設定】画面が表示されます。
- 【録画予約一覧】画面でサブメニューを押してから【新規予約】を選んでも表示できます。

**5** ◀·▶で各項目を選んで▲·▼で設定する




- 昼の12時は「PM0：00」に、夜の12時は「AM0：00」に合わせてください。

**毎週／毎日録画をするときは**

【録画日】のところで▼を押していくと、【毎日】、【火～土】、【月～土】、【月～金】、【毎週○】(○は録画予約する番組の曜日が表示されます。)などを選べます。

**6** ▲·▼·◀·▶で【録画モード】を選んで決定を押す

- 録画モードのリストが表示されます。

**7** ▲·▼でお好みの録画モードを選んで決定を押す

- 変更した録画モードは、通常録画や番組表からの録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画先が通常録画用USB-HDDの場合は、録画モードを【自動】、【XP】～【EP】に設定できません。

**録画モードを【自動】に設定するときは**

「ディスクの容量に合わせて録画する」112をご覧ください。

- 録画先が【BD】(ブルーレイディスク)の場合は、117の手順 *14* に進んでください。

**8** ▲·▼·◀·▶で【フォルダ設定】を選んで決定を押す

**9** ▲·▼でお好みのフォルダを選んで決定を押す

- 【新規フォルダ】を選ぶと、お好みの名前のフォルダを作成できます。

文字入力のしかた 166

**10** ▲·▼·◀·▶で【持ち出し設定】を選んで決定を押す

- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

## 11 【スマホ持ち出し】、【DVD持ち出し(VR)】、【SeeQVault対応SDカード転送】または【しない】を選んで 決定 を押す

**スマホ持ち出し：** 202
予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成します。

**DVD持ち出し(VR)：** 182
予約録画しながらVRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組を作成します。

**SeeQVault対応SDカード転送：**
予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成し、本機の電源「切」時にSeeQVault対応SDカードに転送します。

**しない：**
持ち出し設定をしません。

- スマホ持ち出し用の画質は【スマホ持ち出し用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】252で変更できます。
- DVD持ち出し(VR)用の画質は【DVD持ち出し(VR)用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【DVD持ち出し(VR)用画質】252で変更できます。
- 【SeeQVault対応SDカード転送】について詳しくは、「SeeQVault対応SDカードに自動転送する」200をご覧ください。
- 録画先が【USB】の場合は、手順 *14* に進んでください。

## 12 ▲·▼·◀·▶で【バックアップ設定】を選んで 決定 を押す

**する：** 予約録画が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

**しない：** バックアップしません。

- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるので ▲·▼ でお好みのバックアップ先を選んで 決定 を押してください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

## 13 【する】または【しない】を選んで 決定 を押す

- バックアップ先は、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】252で変更できます。

## 14 ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す

- 予約が確定し、【録画予約一覧】画面に戻ります。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)

### 予約が重なったときは

「予約が重なったときは」126をご覧ください。

### 他の番組を続けて予約するときは

116～117の手順 *4*～*14* を繰り返します。

### 録画後にバックアップ設定を解除するときは

録画後、バックアップ実行前にバックアップ設定を録画リスト画面から解除する場合は、「バックアップ設定を解除する」135をご覧ください。



**ご注意**

- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- スマホ持ち出し、DVD持ち出し(VR)、SeeQVault対応SDカード転送を選択した場合は、予約録画時の録画状況によっては、録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- 録画先メディアが通常録画用USB-HDDの場合は、録画モードを【AF】～【AE】に設定しても一時的に【DR】で録画されます。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。)
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。また、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録しているときでも、【タイムシフトマシン有効時間】で有効時間に指定していない時間帯は録画予約できます。

**お知らせ**

- 予約は200件まで登録できます。HDDと通常録画用USB-HDDへの1番組あたりの録画可能時間は15時間です。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。

# 予約を確認・変更・削除する

## 設定済みの予約を確認する

録画予約一覧で予約を確認することができます。

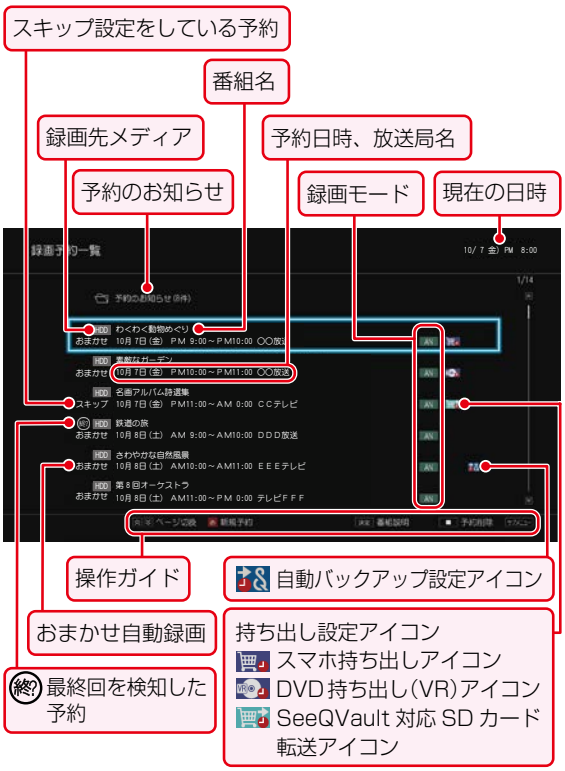
**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【予約】を選ぶ

**3** ▲·▼で【録画予約一覧】を選ぶ

- 番組を視聴中にサブメニューを押して、【予約一覧】➡【録画予約一覧】を選んでも表示できます。
- 確認が終わったら、終了を押してください。

### 録画予約一覧の見かた




- 録画中の予約には、録画が表示されます。
- 【⚠】や【ⓘ】が表示されたときは、126、128をご覧ください。
- 【終】が表示されたときは、126をご覧ください。
- 【予約のお知らせ】フォルダについて詳しくは、128をご覧ください。

**ご注意**

- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。また、予約もすべて取り消されます。

## 設定済みの予約の内容を変更する

録画予約一覧または番組表から予約内容の変更をすることができます。

### 録画予約一覧から予約の内容を変更する

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【予約】を選ぶ

**3** ▲·▼で【録画予約一覧】を選ぶ

**4** ▲·▼で変更したい予約を選んでサブメニューを押す

**5** ▲·▼で【予約修正】を選んで決定を押す

**6** ▲·▼で変更したい項目へ移動し、▲·▼で内容を変更する




- 番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

**7** ▲·▼·◀·▶で【録画モード】へ移動し、決定を押す

- 録画モードのリストが表示されます。

**8** ▲·▼でお好みの録画モードを選んで決定を押す

**録画モードを【自動】に設定するときは**

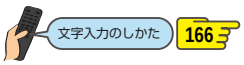
「ディスクの容量に合わせて録画する」112をご覧ください。

- 録画先が【BD】(ブルーレイディスク)の場合は、119の手順 **15** に進んでください。

**9** ▲·▼·◀·▶で【フォルダ設定】を選んで決定を押す

## 10 ▲·▼で、お好みのフォルダを選んで決定を押す

- 【新規フォルダ】を選ぶと、お好みの名前のフォルダを作成できます。




## 11 ▲·▼·◀·▶で【持ち出し設定】を選んで決定を押す

- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

## 12 【スマホ持ち出し】、【DVD持ち出し(VR)】、【SeeQVault対応SDカード転送】または【しない】を選んで決定を押す

**スマホ持ち出し：** 202

予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成します。

**DVD持ち出し(VR)：** 182

予約録画しながらVRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組を作成します。

**SeeQVault対応SDカード転送：**

予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成し、本機の電源「切」時にSeeQVault対応SDカードに転送します。

**しない：**

持ち出し設定をしません。

- スマホ持ち出し用の画質は【スマホ持ち出し用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】252で変更できます。
- DVD持ち出し(VR)用の画質は【DVD持ち出し(VR)用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【DVD持ち出し(VR)用画質】252で変更できます。
- 【SeeQVault対応SDカード転送】について詳しくは、「SeeQVault対応SDカードに自動転送する」200をご覧ください。
- 録画先が【USB】の場合は手順 *15* に進んでください。

## 13 ▲·▼·◀·▶で【バックアップ設定】を選んで決定を押す

- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるので▲·▼でお好みのバックアップ先を選んで決定を押してください。
- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

## 14 【する】または【しない】を選んで決定を押す

**する：** 予約録画が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

**しない：** バックアップしません。

- バックアップ先は、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】252で変更できます。

## 15 ▲·▼で【決定】へ移動し、決定を押す

- 予約が確定し、【録画予約一覧】画面に戻ります。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

### 予約が重なったときは

「予約が重なったときは」126をご覧ください。

## 番組表から予約の内容を変更する

### 1 番組表を押す

### 2 ▲·▼·◀·▶で変更したい予約を選んで番組説明(ふたの中)または決定を押す

### 3 ◀·▶で【予約修正】を選んで決定を押す

### 4 予約の内容を変更する

- 「番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)」110の手順 *5*～*15* をご覧ください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

ご注意

- 毎日／毎週予約の内容は【持ち出し設定】と【バックアップ設定】のみ変更できます。【持ち出し設定】と【バックアップ設定】以外の設定を変更したいときは、一度予約を削除してから、毎日／毎週予約をし直してください。
  ただし、【録画先】を【BD】に設定しているときは【持ち出し設定】と【バックアップ設定】も変更できません。
- 番組表から録画予約した番組の場合、【開始時刻】または【終了時刻】を変更すると、番組の自動延長や自動追跡ができなくなります。番組表から予約した録画予約の特徴は、128をご覧ください。
- 【持ち出し設定】を【しない】以外に設定して番組表から予約した録画予約は、【録画先】と【録画モード】を変更できません。
- 日時指定予約の場合は、予約録画が実行中でも終了時刻のみ変更できます。

# 予約を確認・変更・削除する・つづき

## 予約スキップ
## 一時的に毎週／毎日録画をやめる

祝日などでその週／日の番組の放送がない場合は、予約をそのまま残して次回の録画だけ実行されないように設定できます。

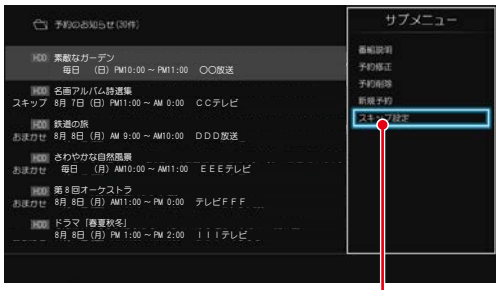
**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【予約】を選ぶ

**3** ▲·▼で【録画予約一覧】を選ぶ

**4** ▲·▼で一時的に毎週／毎日録画を解除したい予約を選んでサブメニューを押す

**5** ▲·▼で【スキップ設定】を選んで決定を押す




- スキップを設定した予約に【スキップ】と表示され、次回の予約がスキップされます。
- 【スキップ設定】を解除するには、もう一度手順4～5を行ってください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

ご注意
- 予約のスキップ設定は、1回スキップすると自動的に解除されます。

## 不要な予約を取り消す

番組表または録画予約一覧から不要な予約を取り消すことができます。

### 一発キャンセル
### 番組表から予約を取り消す

- 予約の取り消しは1予約ずつとなります。

**1** 番組表を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で予約を取り消したい番組を選んで録画（ふたの中）を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 録画予約が取り消され、選んだ番組から【🕘】が消えます。
- 録画（ふたの中）の代わりに決定または番組説明（ふたの中）を押して【番組説明】画面を表示させ、◀·▶で【予約取消】を選んで決定を押しても、予約を取り消すことができます。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

### 【録画予約一覧】画面から予約を取り消す

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【予約】を選ぶ

**3** ▲·▼で【録画予約一覧】を選ぶ

**4** 停止を押す
- サブメニューを押して、【予約削除】を選んでも表示できます。

**5** ▲·▼で予約を取り消したい番組を選んで決定を押す
- 選んだ番組に【✓】が付きます。
- 緑を押すと、すべての番組を選ぶことができます。
- 黄を押すと、すべての番組の選択を解除できます。
- この手順を繰り返し、予約を取り消したい番組を選んでください。

**6** 番組を選び終えたら、▶で【削除実行】へ移動し、決定を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

# 番組表から日時指定予約する

HDD　通常録画用 USB-HDD　BD

≫ 準備

- USB-HDDに録画するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく 57

**1** 番組表 を押す

**2** 地デジ、BS または CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

**3** ▲·▼·◀·▶で録画予約したい番組を選んで 決定 を押す

**4** ◀·▶で【録画予約】を選んで 決定 を押す
- 放送が確定していない番組の場合は、確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。

**5** ▲·▼で【録画日時】を選んで 決定 を押す

**6** ▲·▼で【日時指定予約】を選んで 決定 を押す

**7** 確認画面が表示されるので▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押す
- 【はい】を選ぶと、番組の放送時間が延長／変更された場合などに自動追跡ができなくなります。

**8** ◀·▶で変更したい項目を選び、▲·▼で値を変更する
- 手順 *3* で選んだ番組の【録画日時】、【開始時刻】、【終了時刻】、【チャンネル】が設定されています。

**9** ▲·▼·◀·▶で【決定】を選んで 決定 を押す
- 予約が確定し、【録画予約一覧】画面が表示されます。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。（電源を切った状態でも予約録画は実行されます。）

ご注意
- 番組表は当日の状況により変更される場合があります。

# 録画を一時停止・停止する

## 一時停止する

HDD　通常録画用 USB-HDD

録画中に、録画を一時停止できます。

**1** 一時停止 を押す
- 録画が一時停止します。
- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 予約録画中またはワンタッチタイマー録画中は録画の一時停止はできません。

### 同時録画中に録画を一時停止するときは

**録画中のメディアに切り換えて、一時停止したい番組にチャンネルを切り換えたあと、一時停止 を押す**
- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 同時録画している番組を追っかけ再生している場合は、停止 を押して、あらかじめ追っかけ再生を停止してください。

## 停止する

**1** 停止 を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。録画が停止します。
- 停止した位置までが１つの番組となります。（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）

### 同時録画中に録画を停止するときは

**停止 を押して、▲·▼で停止する録画を選ぶ**
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 同時録画している番組を追っかけ再生している場合は、停止 を押してあらかじめ再生を停止してください。

ご注意
- 番組録画中に一度停止を選択し、再び録画を再開した場合は、番組が分割されます。

# 自動で録画する（おまかせ自動録画）

HDD　通常録画用 USB-HDD

キーワードやジャンルを設定して、条件にあてはまる番組を自動で録画できます。

おまかせ自動録画は、録画を保証するものではありません。確実に予約したい番組は、番組表などから予約してください。

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【予約】➡【おまかせ自動録画】を選んで決定を押す
- カテゴリー選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼·◀·▶でお好みのカテゴリーを選んで決定を押す
- ジャンル、人物・キーワード、番組記号、再生コースが設定できます。詳しくは、86をご覧ください。

**4** ▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで決定を押す

**5** ▲·▼でおまかせ自動録画するカテゴリーを選んで決定を押す




- カテゴリーを選んで決定を押すと★が表示・非表示で切り換わります。
- 最大8個までカテゴリーを選択できます。

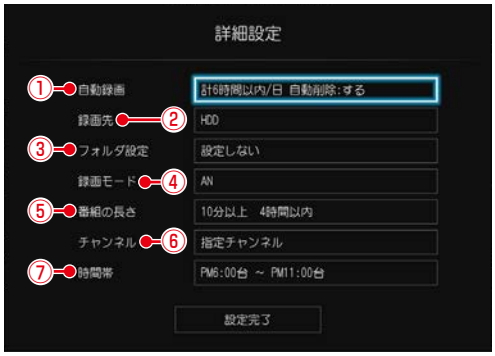
## 詳細設定を行う

❶ カテゴリーを選んだ状態で青を押す
- 詳細設定画面が表示されます。

❷ ▲·▼で【自動録画】、【録画先】、【フォルダ設定】、【録画モード】、【番組の長さ】、【チャンネル】、【時間帯】を選んで決定を押す

❸ ▲·▼で【設定完了】を選んで決定を押す

## 詳細設定について




### ① 自動録画
1日に自動録画する時間と自動削除を設定します。

❶ ▲·▼で録画する時間を選んで決定を押す

❷ ▲·▼で自動削除を【する】または【しない】を選んで決定を押す

**する**：　録画先の容量が少ないときに、おまかせ自動録画した番組を自動的に削除します。
録画した番組には、🗑が表示されます。

**しない**：自動的に削除されません。

### ② 録画先
番組の録画先を設定します。

### ③ フォルダ設定
録画先のフォルダを設定します。
- 【新規フォルダ】を選ぶと、お好みの名前のフォルダを作成できます。

文字入力のしかた 166

### ④ 録画モード
録画モードを設定します。
- 録画先を通常録画用USB-HDDに設定した場合は、録画モードを【AF】～【AE】に設定しても一時的に【DR】で録画されます。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。）
また、録画モードを【XP】～【EP】に設定できません。

### ⑤ 番組の長さ
検索する番組の長さを指定します。
- ◀·▶で“下限”／“上限”を切り換え、▲·▼で10分単位で時間が増減します。
- “下限”の範囲は【指定なし】～【7時間50分】です。
- “上限”の範囲は【10分】～【8時間00分】です。
ただし、“下限”の値+10分より小さな値には設定できません。

⑥ **チャンネル**

番組を検索するチャンネルを指定します。

- ▲·▼で【地デジ】／【BS】／【CS】を選んで決定を押すと、チャンネルの“全解除”または“全選択”となります。
- ▲·▼で【地デジ】／【BS】／【CS】を選んで▶を押すと個別のチャンネルの選択ができます。
  ▲·▼でチャンネルを選んで決定を押すと“解除”または“選択”となります。
  ◀を押すと放送種別の選択に戻ります。
- 設定が終わったら、▲·▼·◀·▶で【設定完了】を選んで決定を押してください。
- 初期値は指定チャンネル
  （地上デジタル放送-すべて、BS-101～183、211、222、258）になります。

⑦ **時間帯**

番組を検索する時間帯を設定します。

**❶ ▲·▼で検索開始時間帯を指定する**

**❷ ▶で検索終了時間帯を選ぶ**

**❸ ▲·▼で検索終了時間帯を指定して決定を押す**

## 6 ▲·▼·◀·▶で【設定完了】を選んで決定を押す

- 2日先までの番組を検索し、自動録画予約します。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

## 検索された予約を確認する

**❶ スタートメニューを押して、【予約】➡【録画予約一覧】を選ぶ**

- 番組を視聴中にサブメニューを押して、【予約一覧】➡【録画予約一覧】を選んでも表示できます。




【おまかせ】が付きます。

- 確認が終わったら、終了を押してください。



ご注意

- 「自動で録画する（おまかせ自動録画）」122 の手順 5 で、自動削除を【する】に設定して自動録画された番組を編集すると、自動削除が解除されます。自動録画された番組を編集すると、自動削除されません。
- 以下の場合は、自動録画予約されません。
  - タイムシフトマシン機能を【利用しない】に設定している場合や、【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7を未設定の場合で、3つ以上の予約が重なったとき
  - 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5·6·7のいずれかを設定してタイムシフトマシン機能を【利用する】に設定している場合で、一部でも予約が重なったとき
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、おまかせ自動録画できません。（設定内容は保持します。）
- ダビング準備中、または等速でダビング中におまかせ自動録画設定を行っても、検索・予約登録はできません。（設定内容は保持します。）電源「切」時の番組データ取得時に、自動的におまかせ自動録画の検索／予約登録を行いますが、すぐに検索／予約登録を行いたい場合は、ダビングが完了したあとに、再度おまかせ自動録画の設定を行ってください。

# ネットdeレック機能で録画する

HDD

「ネットdeレック」機能をつかうことで、ネットワークに接続したスカパー！プレミアムサービスチューナーまたはCATV（ケーブルテレビ）チューナーからの映像をハイビジョン画質で録画できます。

≫ 準備

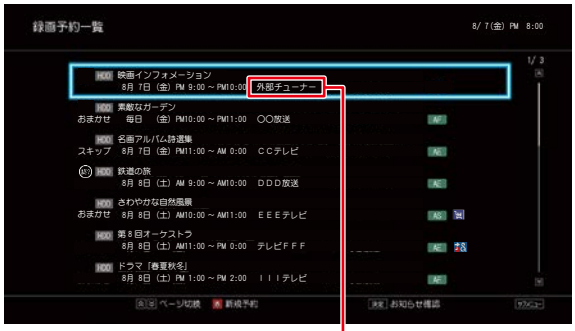
- スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画するときは、本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーをつないでおく 228
- CATV（ケーブルテレビ）チューナーから録画するときは、本機とCATV（ケーブルテレビ）チューナーをつないでおく 228

## 1 スカパー！プレミアムサービスチューナー側またはCATVチューナー側で、録画予約する

- テレビ画面には、録画している映像は表示されません。
- 録画が終了すると、録画リスト画面に番組が表示されます。

### 録画予約できているか確認するには

【録画予約一覧】で確認できます。




放送局名が【外部チューナー】と表示されます。

- 確認が終わったら、終了を押してください。

### 録画されているか確認するには

画面表示を押す

（現在の画面によっては、画面表示を数回押してください。）




- 確認が終わったら、終了を押してください。

### 録画を停止するには

停止■を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- ネットdeレックと通常録画の同時動作中は、▲・▼で停止する録画を選んで決定を押してください。

ご注意

- 外部チューナー側でのみ、録画予約を変更できます。（外部チューナー側で録画予約を削除しても本機の録画予約一覧から削除されないときは、本機の録画予約一覧画面から録画予約を削除してください。）
- 録画中にネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。（録画予約は削除されます。）
- ネットdeレック中は、以下の操作ができません。
  - 市販のBD-Videoディスクの再生
  - AVCHDディスクの再生
  - 写真の再生
  - ホームネットワーク再生
- 本機の視聴年齢制限機能を使用していない場合は、視聴年齢が制限された録画番組は本機の録画リスト画面に表示されません。 56

お知らせ

- ラジオ放送やデータ放送は録画できません。
- ネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。また、ネットワークの通信速度が遅い場合も録画を停止することがあります。
- 録画した番組は、字幕とデータ放送の表示ができない場合や、本機以外で再生できない場合があります。
- 録画した番組は、番組の終わりが数秒間欠けることがあります。
- 15時間番組の予約は、番組の終わりが数秒間欠けることがあります。
- 録画が終了しても、本機の電源は「入」のままになっています。（外部チューナー側の操作によって本機の電源が自動的に切れる場合もあります。）詳しくは、外部チューナーに付属の取扱説明書をお読みください。
- 視聴年齢が制限された録画番組の番組名と放送局名は、配信先の機器によっては、「＊」で表示されることがあります。
- BD-RE／BD-RへのHD画質（AVC）録画中に、スカパー！プレミアムサービスチューナーまたはCATVチューナーからの録画（ネットdeレック）が開始されると、BD-RE／BD-Rへの録画が停止する場合があります。

# 外部入力の映像を録画する

本機の入力端子(L1)につないだ他の機器の映像を、本機を経由して録画するときは、本機を外部入力に切り換えます。

## CATV(ケーブルテレビ)やスカパー！SD(標準画質)から録画する

HDD　BD

≫ 準備

- CATV(ケーブルテレビ)を録画するときは、本機とCATV(ケーブルテレビ)チューナーをつないでおく 36
- スカパー！ SD(標準画質)を録画するときは、本機とスカパー！専用チューナーをつないでおく 36
- 設定ﾒﾆｭｰ(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】から【外部入力音声】を設定しておく 252
- CATV(ケーブルテレビ)のホームターミナルやセットトップボックスを録画したいチャンネルに合わせておく

### 録画する

**1** サブﾒﾆｭｰ を押す

**2** ▲·▼で【放送・入力切換】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で【外部入力(L1)】を選んで 決定 を押す

**4** 録画したいチャンネルをチューナー側で選ぶ

**5** ●録画 (ふたの中)を押す
- 録画が始まります。

### 録画予約する

- あらかじめ、録画したいチャンネルをチューナー側で選んでおいてください。

**1** ｽﾀｰﾄﾒﾆｭｰ を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【予約】を選ぶ

**3** ▲·▼で【録画予約一覧】を選ぶ

**4** 赤 を押す
- 【録画予約設定】画面が表示されます。
- 【録画予約一覧】画面で サブﾒﾆｭｰ を押してから【新規予約】を選んでも表示できます。

**5** ◀·▶各項目を選んで▲·▼で設定する
- 【チャンネル】は【L1】に設定してください。
- 【録画先】は、【HDD】と【BD】(ブルーレイディスク)になります。

**6** ▲·▼·◀·▶で【録画モード】を選んで 決定 を押す
- 録画モードのリストが表示されます。

**7** ▲·▼でお好みの録画モードを選んで 決定 を押す
- 【録画モード】は、【XP】～【EP】から選んでください。
- 【録画先】が【BD】(ブルーレイディスク)の場合は、手順*12* に進んでください。)

**8** ▲·▼·◀·▶で【フォルダ設定】を選んで 決定 を押す

**9** ▲·▼で、お好みのフォルダを選んで 決定 を押す
- 【新規フォルダ】を選ぶと、お好みの名前のフォルダを作成できます。フォルダ名の入力について詳しくは、166 をご覧ください。

**10** ▲·▼·◀·▶で【バックアップ設定】を選んで 決定 を押す
- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるので▲·▼でお好みのバックアップ先を選んで 決定 を押してください。

**11** ▲·▼【する】または【しない】を選んで 決定 を押す

**する**：　予約録画が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

**しない**：　バックアップしません。

- バックアップ先は、設定ﾒﾆｭｰ(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】 252 で変更できます。

**12** ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 予約録画の開始時間までにCATVのホームターミナルまたはセットトップボックスの電源を入れておいてください。電源が入っていないと録画できません。
- ３番組同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることができません。
- DVD-RW／DVD-Rには直接録画できません。
- CATV、スカパー！SD(標準画質)、WOWOWなどで録画制限がある番組を録画するときの制約はデジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、CATVのホームターミナル／セットトップボックス経由でダビング10(コピー9回+移動1回)番組を録画する場合は、1回だけ録画可能(コピーワンス)番組として録画されます。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の３つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画できません。

# 録画についての補足説明

## 録画全般

- 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
- 通常録画用USB-HDDの種類によって、同時録画できる番組数が異なります。
  - USB3.0の場合は、3番組同時録画できます。
  - USB2.0の場合は、2番組同時録画できます。
- ブルーレイディスクに2番組以上を同時に録画できません。

## 録画予約全般

### 予約録画があるときの本機の動き

#### 予約開始時刻の直前になると

- 本機の電源が「入」のとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源を「切」にしても録画は中断されません。
- 本機の電源が「切」のときは、電源が「切」のまま録画が実行されます。(録画準備中は録画ランプが点滅し、録画中は録画ランプが点灯します。)

#### 予約終了時刻になると

- 自動的に録画が終わります。

### 番組表を使った予約(番組検索)

- 番組検索は、番組データの情報(日によって変わることがあります。)をもとに行われるため、同じ番組でも日によっては検索できないことがあります。

### 最終回判定

毎日録画や毎週録画の中で、その番組が最終回を迎えると、録画予約一覧に(終)を表示します。最終回を迎えた録画予約を未確認の状態で本機の電源を「入」にした場合や、録画予約一覧画面を表示した場合は、確認メッセージを表示しますので、録画予約一覧画面で録画予約を確認してください。

## 代理録画

予約録画が実行できない状態でも、HDDが録画可能な状態であれば、HDDに代理で録画します。
(代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。)
以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です。
(他にも代理録画される場合があります。)

- ディスクに予約録画するときに・・・
  - ディスクの残量時間が足りない
  - 録画不可のディスクが入っている
  - ディスクが入っていない
- 通常録画用USB-HDDに予約録画するときに・・・
  - USB-HDDの残量時間が足りない
  - 録画可能なUSB-HDDが接続されていない

## 録画／ワンタッチタイマー録画／等速ダビングと、予約録画が重なったときは

以下の場合は、録画(●録画)(ふたの中)を押した録画)やワンタッチタイマー録画は予約開始2分前に取り消されます。
(3番組同時録画できる場合は、1番組のみ取り消されます。)

- すでに3番組同時録画中の場合
- 3番組同時録画できない条件の場合(詳しくは、「同時録画時の録画モードについて」274をご覧ください。)

等速ダビングは、予約開始2分前に取り消されます。

## 予約が重なったときは

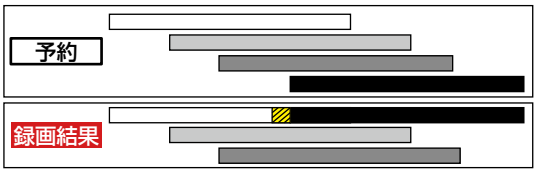
予約を決定するときに、確認画面が表示されます。

### 重なっている予約を確認するときは

- メッセージを確認し(番組表予約の場合は確認画面で【はい】を選んで)決定を押すと、【録画予約一覧】画面が表示されます。
  重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には【⚠】が付いて表示されています。
- 複数の予約と外部入力への予約が重なっていると、【⚠】が付いていない予約が停止する場合があります。

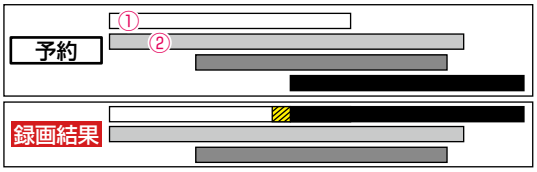
### 4つ以上の予約が重なった場合は

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。




※ ▨の部分(約20秒)は録画されません。

- 開始時刻が同じ場合は、【録画予約一覧】画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。



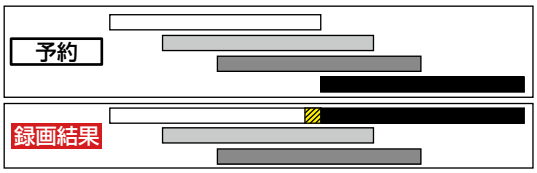

※ ▨の部分(約20秒)は録画されません。
①【録画予約一覧】画面で上に表示されている番組
②【録画予約一覧】画面で下に表示されている番組

### 同時録画できない場合は

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、【録画予約一覧】画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合は、後の予約と重なる部分の手前約20秒以降は録画されません。
  （前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む）
- タイムシフトマシン録画を指定している時間帯は、タイムシフトマシン録画が優先されます。

## １番目の予約の終了時刻と４番目の予約の開始時刻が同じときは

連続する予約（前予約の終了時刻と後予約の開始時間が同じ）の場合は、前予約の終了時刻の手前約20秒は録画されません。




※ ▨の部分（約20秒）は録画されません。

### システムメンテナンスと予約が重なったときは

予約を決定するときに、確認画面が表示されます。システムメンテナンスには約10分間かかります。重なる時間によって、録画状態が異なります。

- 録画予約の時間帯が重なる場合
  - 録画が最大で約10分途切れることがあります。
  - システムメンテナンスの開始前と終了後で、番組が分割して録画されます。
- 録画予約の開始時刻が重なる場合
  - システムメンテナンスの終了後、録画が開始されます。システムメンテナンス中の約10分間は録画されません。
- 録画予約の終了時刻が重なる場合
  - システムメンテナンス開始時刻で録画が停止します。

## 停電があったときは

### 全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入って復帰処理を行います。
- 停電によって予約録画が中断したときは、【録画予約一覧】画面でお知らせします。118

### 録画の種類別では

#### 録画中やワンタッチタイマー録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- 復帰処理終了後、電源が切れます。

#### 予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時計が自動修正されると予約内容が復活します。

#### 予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源が切れます。

### 録画先別では

#### HDD、通常録画用USB-HDD

- 停電前後の番組は分割されて録画リスト画面に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、【すべての初期化】261が必要となることがあります。
- USB-HDDへの予約録画中に停電があった場合は、接続機器によっては、停電復帰後の予約録画の続きがHDDに代理録画されることがあります。

#### BD-RE／BD-R

- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。
- 停電復帰後に予約した番組をディスクへ録画できない場合は、HDDに代理録画されます。HDDに代理録画された場合は、HDDの録画リスト画面に登録されます。

# 録画についての補足説明・つづき

## 予約録画が正常に行われなかったときは

- 重なりや停電などの要因で録画が正常に行われなかった予約は、【予約のお知らせ】フォルダにまとめられます。【録画予約一覧】画面で、【予約のお知らせ】フォルダ内の番組を選んで決定を押すとお知らせ内容が表示されます。【戻る】を選ぶと、そのまま【録画予約一覧】画面に戻り、【お知らせ消去】を選ぶと予約のお知らせが一覧から消去されます。
- 複数の予約のお知らせを消去するには、【予約のお知らせ】フォルダ内の番組を選んで停止を押します。選んだ番組に【✓】が付くので、消去したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、▲・▼・◀・▶で【削除実行】を選んで決定を押します。確認画面が表示されるので【はい】を選んで決定を押してください。(【録画予約一覧】画面の表示方法について詳しくは、「設定済みの予約を確認する」118をご覧ください。)
- 【予約のお知らせ】フォルダにまとめられる番組は、最大30件です。30件を超えた場合は、古い番組から順に削除されます。

お知らせ

- 最大記録可能数／登録数について詳しくは、321をご覧ください。

## 保存予約が正常に行われなかったときは

- 保存予約していた番組が放送されなかった等により保存が正常に行われなかった保存予約は、【保存予約のお知らせ】フォルダにまとめられます。【保存予約一覧】画面で、【保存予約のお知らせ】フォルダ内の番組を選んで決定を押すとお知らせ内容が表示されます。【戻る】を選ぶと、そのまま【保存予約一覧】画面に戻り、【お知らせ消去】を選ぶと保存予約のお知らせが一覧から消去されます。
- 複数の保存予約のお知らせを消去するには、【保存予約のお知らせ】フォルダ内の番組を選んで停止を押します。選んだ番組に【✓】が付くので、消去したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、▲・▼・◀・▶で【削除実行】を選んで決定を押します。確認画面が表示されるので【はい】を選んで決定を押してください。(【保存予約一覧】画面の表示方法について詳しくは、「保存予約一覧を見る」84をご覧ください。)
- 【保存予約のお知らせ】フォルダにまとめられる番組は、最大30件です。30件を超えた場合は、古い番組から順に削除されます。

お知らせ

- 最大記録可能数／登録数について詳しくは、321をご覧ください。

## 番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- デジタル放送の番組を番組表から予約した場合(eメールの番組指定予約およびネットdeナビでの番組指定予約・番組表予約を含む)、次のようなときに自動的に録画開始／終了時刻が変更されて録画されます。
  (例)
  - 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
  - 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
  - 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
  - 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。
- 自動的に録画開始／終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週／毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。(イベントリレー)
  (例)
  - 昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK Eテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
  - 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」126の例に従って録画されます。
  - 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合だけ有効となります。

## 持ち出し設定とバックアップ設定について

- 1回だけ録画可能(コピーワンス)番組の場合は、【持ち出し設定】を【しない】以外に設定しているときは、【バックアップ設定】を選ぶことができません。
- 【持ち出し設定】を【スマホ持ち出し】、【DVD持ち出し(VR)】または【SeeQVault対応SDカード転送】に設定し、【バックアップ設定】を【する】に設定できる番組でも、【持ち出し設定】の設定のみが優先される場合があります。
- 【持ち出し設定】を【スマホ持ち出し】、【DVD持ち出し(VR)】または【SeeQVault対応SDカード転送】に設定しても、持ち出し設定が作成されないときは、電源を「切」時に、持ち出し設定した番組に変換されます。
- 【バックアップ設定】を【しない】以外に設定すると、録画先の【HDD】では番組が以下のようになります。
  - ダビング10番組は、コピー回数が1回減るため、ダビングが最大9回(コピー8回と移動1回)できる番組になります。
  - 1回だけ録画可能(コピーワンス)番組は、番組が残りません。
- 以下の番組が多く存在する場合は、バックアップ設定ができないことがあります。
  - 録画モード変換予定の番組
  - スマホ持ち出し番組に変換予定の番組
  - DVD持ち出し(VR)番組に変換予定の番組
  - バックアップ予定の番組
  - SeeQVault対応SDカード転送予定の番組

# 再生する

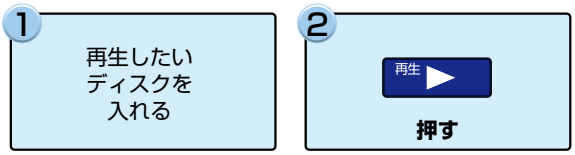
本章では、録画した番組の再生や、ディスクの再生などについて説明しています。

## 録画した番組を再生する




詳しくは…130

## ディスクを再生する




詳しくは……137

再生するときの操作……140
再生するときに便利な機能……144
写真を再生する(スライドショー)……147
再生についての補足説明……148

# 録画した番組を再生する

HDD　通常録画用USB-HDD　SeeQVault対応USB-HDD　SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード(USB接続)　BD　AVCフォーマット　VRフォーマット　Videoフォーマット

本機では、HDDや通常録画用USB-HDD、ブルーレイディスクに録画した番組や保存したタイムシフトマシン録画番組を再生することができます。

- タイムシフトマシン録画番組の保存について詳しくは、81をご覧ください。
- タイムシフトマシン録画番組の再生について詳しくは、75をご覧ください
- 本機で記録した以下のメディアは東芝の他のSeeQVault対応機器で再生できます。
  - 引っ越し・バックアップ用として登録して、引っ越し・バックアップまたはダビングで記録したSeeQVault対応USB-HDD
  - スマホ持ち出し用として初期化して、自動転送またはダビングで記録したSeeQVault対応SDカード
- 本機で記録した通常録画用USB-HDDは、他の機器では再生できません。
- 見終わった番組をディスクから削除する場合は「番組を削除する」150を、HDDやUSB-HDD、SeeQVault対応SDカードのフォルダにある番組を削除する場合は、「番組をフォルダで管理する」162をご覧ください。
  また、再生した番組を編集する場合は、153をご覧ください。
- 本機で録画した番組をDVDにダビングすると、DVDから再生することもできます。ダビングについて詳しくは、170をご覧ください。

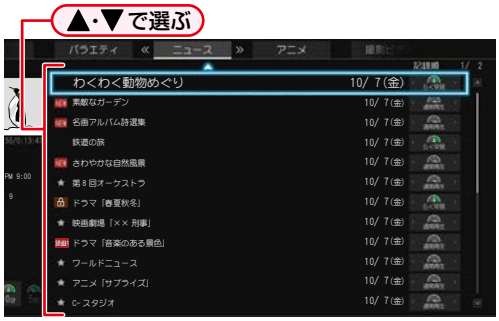
### ≫ 準備

- **USB-HDDを再生するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく** 220
- **ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく** 57
- **HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく**
- **SeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく** 224
- **USB接続したSeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく** 224、226

## 1 録画リストを押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で見たい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。
- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。

## 2 ▲・▼で見たい番組を選ぶ




- 最初から再生するには、サブメニューを押してから、▲・▼で【最初から再生】を選んで決定を押してください。

## 3 再生▶または決定を押す

- HDD、通常録画用USB-HDDに録画した番組は再生コースが選べます。◀・▶で再生コースを選んでから再生▶または決定を押してください。
  再生コースについて詳しくは、90をご覧ください。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、レジュームポイントから再生が始まります。詳しくは、「レジューム機能(再生開始位置)について」131をご覧ください。

### 副音声を楽しむには

詳しくは、144をご覧ください。

### 字幕を表示させるには

詳しくは、144をご覧ください。

ご注意
- 複数の音声が用意されていない番組もあります。
- 字幕が用意されていない番組もあります。

## 再生中に番組説明を見る

HDD　BD　通常録画用 USB-HDD　AVCフォーマット　SeeQVault対応 USB-HDD　VRフォーマット　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

番組説明 (ふたの中)を押す

- 番組説明が表示されます。

お知らせ

- DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)は録画日／録画開始時刻／録画終了時刻／番組名のみ表示されます。

## 再生を一時停止する

一時停止 を押す

### チャプターを分割・結合する

HDDと通常録画用USB-HDDの場合は、一時停止中にチャプターを分割・結合できます。

- 操作ガイドは一時的に表示されます。もう一度表示するには、画面表示を2回押してください。




- 青(分割)を押すと、一時停止位置でチャプターを分割します。
- 一時停止中に ⏮ または ⏭ を押して、結合したいチャプターの境界に位置を合わせた状態で 赤(結合) を押すと、チャプターを結合します。
- ⏮ を押すと、前のチャプターに戻ります。
- ⏭ を押すと、次のチャプターに進みます。

お知らせ

- おまかせプレイ中は、チャプターの分割・結合はできません。(🚫が表示されます。)分割・結合するには、番組の再生中に青(分割)を押して、通常再生に切り換えてから操作してください。134

## 再生を停止する

停止 を押す

- 再生が停止し、録画リスト画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)

ご注意

- 本機以外で録画したDVDを再生するには、録画したレコーダーなどでファイナライズしておく必要があります。

お知らせ

- 再生中にメディア(HDD、DISC、USB)を切り換えると、再生が停止します。
- 本機でできる番組の編集について詳しくは、154をご覧ください。

## レジューム機能(再生開始位置)について

- 再生中に 停止 を1回押して再生を停止すると、再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されます。
  (レジュームポイントを解除するには、録画リスト画面が表示されていない状態で停止中にもう一度 停止 を押してください。
  ただし、HDDとUSB-HDD、SeeQVault対応SDカードの番組ごとのレジュームポイントは解除しません。)
- 録画リスト画面を表示せずに 再生 を押すと、最後に視聴していた番組／トラックのレジュームポイントから再生が始まります。(つづき再生)
- レジュームポイントの再生は、メディアなどによって異なります。

### HDD、USB-HDDやSeeQVault対応SDカードの場合

録画リストの番組表示中に、再生 または 決定 を押す

- 番組ごとのレジュームポイントから再生します。

### ディスクの場合

録画リストの番組表示中に、再生 または 決定 を押す

- 最後に再生していた番組を再生すると、レジュームポイントから再生します。
  (他の番組を再生した場合は、レジュームポイントは解除されます。)



次ページへつづく

# 録画した番組を再生する・つづき

## 音楽用CDの場合

**トラックリストのトラック表示中に、再生 ▶ を押す**

- 最後に再生していたトラックを再生すると、レジュームポイントから再生します。
  （他のトラックを再生した場合は、レジュームポイントは解除されます。）

お知らせ

- 決定 を押して再生すると、トラックの最初から再生します。

## 写真の場合

### ディスクから再生

**写真リストのサムネイル表示中に、再生 ▶ または 決定 を押す**

- レジュームポイントからスライドショーを再開します。

### USB機器やSDカードから再生

レジュームポイントは記憶されません。



ご注意

- ディスクによっては、レジューム機能に対応していないものがあります。

お知らせ

- 記憶したレジュームポイントは、以下の場合などに解除されます。
  - 録画リスト画面が表示されていない状態で停止中に、停止 ■ を押したとき
    （HDDやUSB-HDDの場合は、そのとき選ばれている番組のレジュームポイントが解除されます。）
  - 番組やディスクを編集したとき
  - 視聴年齢制限のある番組を一時的に制限解除して再生したあとに、電源を「切」にしたとき
  - 初期化をしたとき
  - 番組の終わりまで再生したとき
  - 録画リストを開き、レジュームのある番組以外にハイライトを移動してから録画リストを閉じたとき

  （以下はディスクのみになります。）
  - ディスクトレイを開いたとき
  - ファイナライズをしたとき
  - トップメニューを表示中に 停止 ■ を押したとき

# 録画した番組の一覧(録画リスト画面)について

HDD　通常録画用USB-HDD　SeeQVault対応USB-HDD　BD　SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード(USB接続)　AVCフォーマット　VRフォーマット

録画した番組を見るときは、録画リスト画面を表示させて見たい番組を選んでください。

## 録画リスト画面の見かた




- サブメニューを押すと、サブメニューが表示されます。
- ∧・∨を押すと、ページが切り換わります。1～10/0を押すとページ番号指定画面が表示されます。ページ番号を入力して、決定を押すと、ページが切り換わります。
- «・»を押すと、フォルダが切り換わります。
  番組一覧で一番上の番組を選択しているときに▲を押すとフォルダタブに移動します。◀・▶でフォルダを選んでください。
- HDD、通常録画用USB-HDDに録画した番組は、◀・▶を押すと、選択中の番組の再生コースが切り換わります。再生コースについて詳しくは、90をご覧ください。
- 赤を押すと、番組一覧表示とフォルダー一覧表示が切り換わります。(HDD／USB-HDD／SeeQVault対応SDカード)フォルダ機能について詳しくは、162をご覧ください。
- フォルダー一覧表示中に決定を押すと、選んでいるフォルダの中身(番組一覧表示)に切り換わります。
- スマホ持ち出し番組に変換予定の場合は、【持ち出し変換予定】と表示され、DVD持ち出し(VR)番組に変換予定の場合は、【VR変換予定】と表示されます。
- スマホ持ち出し変換／DVD持ち出し(VR)変換が終了しているか確認するには、録画リスト画面で番組を選んで「○○変換予定」が希望の録画モードに変更されていれば、変換は完了しています。
- 番組一覧表示中に表示したい番組を選んで緑を押すと、番組表示とチャプター表示が切り換わります。(HDD／USB-HDD／SeeQVault対応SDカード)
- フォルダー一覧表示中に緑を押すと、【未分類】フォルダの表示／非表示が切り換わります。(HDD／USB-HDD／SeeQVault対応SDカード)
  フォルダ機能について詳しくは、162をご覧ください。
- 黄を押すと、録画番組表示とプレイリスト表示が切り換わります。

ご注意
- メディアによって録画リストの表示が異なります。

お知らせ
- 残量時間に、設定している録画モードでBSデジタル放送(HD放送)を録画できる時間が表示されます。また、10時間未満になると色が変わります。
- 録画リストの番組一覧表示とフォルダー一覧表示は、前回の表示を引き継ぎます。
- 録画中の番組は【らく見】、【らく早見】、【飛ばし見】再生できません。
- 録画モード【AVC 3D】の番組を【らく早見】で選択し、3Dで再生する場合は、【らく見】再生します。

# 録画した番組を再生する・つづき

## 録画リストを表示する

**1** HDD、DISC または USB を押して、操作するメディアに切り換える

- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを複数接続している場合は、USB を押すと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選んで 決定 を押してください。
- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニュー を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードは、スタートメニュー を押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。

**2** 録画リスト を押す

- 録画リストが表示されます。
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で見たい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。
- スタートメニュー画面から【録画リスト】を選ぶこともできます。61
- もう一度 録画リスト を押すと、放送画面に戻ります。

## スマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し(VR)番組の録画リストを表示する

**1** スタートメニュー を押してから【録画リスト】を選んで 決定 を押す

**2** 【スマホ持ち出し番組】または【DVD持ち出し(VR)番組】を選んで 決定 を押す

お知らせ

- スマホ持ち出し番組、DVD持ち出し(VR)番組は再生できません。
- スマホ持ち出し番組、DVD持ち出し(VR)番組を削除したい場合は、150をご覧ください。
- 録画中、ダビング中などに【スマホ持ち出し番組】または【DVD持ち出し(VR)番組】は選択できません。

## おまかせプレイ 本編のみを再生する

HDD | 通常録画用 USB-HDD | SeeQVault対応 USB-HDD | SeeQVault対応 SDカード | SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

番組の本編のみを再生できます。

- 【おまかせプレイ機能】を【オン】にしているときのみ有効になります。145
- 設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】➡【チャプター自動生成】を【マジックチャプター】に設定して録画された番組のみ、おまかせプレイができます。【マジックチャプター】について詳しくは、252をご覧ください。
- 他機で【チャプター自動生成】を【マジックチャプター】に設定して録画された番組をホームネットワークを利用して再生する場合も、おまかせプレイができます。

**1** 番組一覧表示中に▲・▼で番組を選んで 青 を押す

- 番組の再生中に 青 を押すたびに、おまかせプレイと通常の再生が切り換わります。

### おまかせプレイリストを作成してから再生するときは

❶ 番組一覧表示中に、▲・▼で番組を選んで サブメニュー を押す

❷ ▲・▼で【おまかせプレイリスト】を選んで 決定 を押す

- おまかせプレイのプレイリストが作成されたあと、自動的に再生が開始されます。

ご注意

- すでに作成されたおまかせプレイリストを表示させるには、録画リストの表示中に 黄 を押してください。同じ番組のおまかせプレイは、プレイリストから再生してください。
- 【おまかせプレイリスト】で作成したプレイリストは、おまかせプレイ／通常の再生の切り換えはできません。
- 以下の場合、【おまかせプレイリスト】を選ぶことができません。
  - HDD、通常録画用USB-HDDの残量時間が足りない
  - 変換予定の番組
  - スマホ持ち出し用変換予定の番組
  - DVD持ち出し(VR)変換予定の番組
  - 録画中の番組
  - ダビング中
  - SeeQVault対応USB-HDD／SDカードの番組

## 視聴制限を一時的に解除する

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

視聴年齢制限のある番組を番組一覧表示で一時的に表示できます。

**1** 番組一覧表示中に、サブメニューを押す

**2** ▲·▼で【視聴制限一時解除】を選んで決定を押す

- パスワードを入力すると、視聴制限が解除されます。
- パスワードを忘れたときは、56をご覧ください。

お知らせ

- 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。
- タイムシフトマシン録画番組の視聴制限も解除されます。

## おまかせプレイ機能を設定する

**1** 番組一覧表示中に、サブメニューを押す

**2** ▲·▼で【編集／管理】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【おまかせプレイ機能設定】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【有効にする】または【無効にする】を選んで決定を押す

**有効にする**：おまかせプレイ機能が有効になります。おまかせプレイ可能な番組を再生中に青でおまかせプレイに切り換えることができます。

**無効にする**：おまかせプレイ機能が無効になります。

## 並び順を変更する

**1** 番組一覧表示中に、サブメニューを押す

**2** ▲·▼で【並び順】を選んで決定を押す

- 並び順の種類が表示されるので、ご希望の並び順を選んで決定を押してください。
- 現在録画中の番組は、並び順の最後に表示されます。

**記録順**：記録した順(ディスクの場合は番号順)に並び替わります。

**番組名順**：番組名順に並び替わります。

**新しい順**：録画日が新しい順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最後に配置されます。)

**古い順**：録画日が古い順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最初に配置されます。)

## メディアを切り換える

録画リストを表示したあとでも、メディアを切り換えることができます。

**1** 番組一覧表示中に、HDD、DISCまたはUSBを押す

- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを複数接続している場合は、USBを押すと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選んで決定を押してください。

### サブメニューから切り換える

❶ 番組一覧表示中に、サブメニューを押す
❷ ▲·▼で【HDD／ディスク切換】を選んで決定を押す
❸ ▲·▼でメディアを選んで決定を押す

- 選んだメディアの録画リストに切り換わります。
- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを複数接続している場合は、【USB-HDD】を選ぶと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選んで決定を押してください。

## ディスク情報を確認する

ディスク情報を確認することができます。

**1** 番組一覧表示中にDISCを押す

**2** サブメニューを押す

**3** ▲·▼で【ディスク情報】を選んで決定を押す

- 挿入されているディスクの情報が表示されます。

お知らせ

- ディスクが挿入されていない場合は、【ディスク情報】は選択できません。

## バックアップ設定を解除する

HDD

バックアップ設定を行った番組の録画後、バックアップ実行前にバックアップ設定を解除することができます。

**1** 番組一覧表示中にHDDを押す

**2** ▲·▼でバックアップ設定を行った番組を選んでサブメニューを押す

**3** ▲·▼で【編集／管理】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【バックアップ解除】を選んで決定を押す

**5** ▲·▼で【解除する】を選んで決定を押す

# 録画した番組を再生する・つづき

## フォルダを切り換える

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

番組が複数のフォルダに保存されているときに、その番組が含まれるフォルダを指定して、表示フォルダを切り換えることができます。

**1** 番組一覧表示中に▲·▼で番組を選んで サブメニュー を押す

**2** ▲·▼で【フォルダジャンプ】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼でジャンプしたいフォルダを選んで 決定 を押す

- 選んだフォルダに表示が切り換わります。

お知らせ

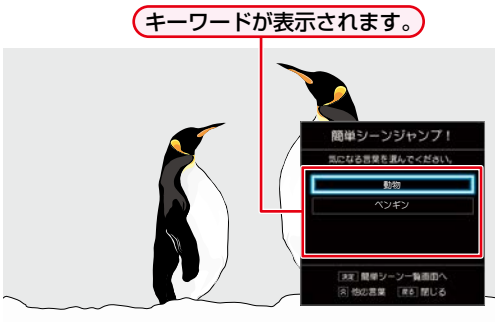
- フォルダを作成していない場合や選んだ番組が他のフォルダに含まれていない場合は、【フォルダジャンプ】は選択できません。

## 簡単シーン検索で番組のシーンを頭出しする

視聴中の番組や本機で通常録画した番組とタイムシフトマシン録画した番組すべての字幕情報を任意のキーワードで検索して、そのキーワードが登場するシーンへの頭出しをすることができます。

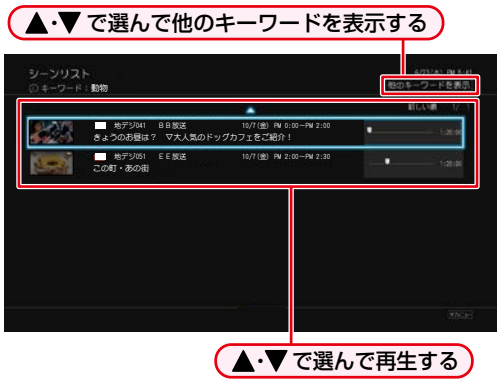
**1** 視聴中または再生中に 簡単シーン検索 を押す

- 画面にキーワードが表示されます。
- キーワードは最大4個まで表示されます。
- もう一度、簡単シーン検索 を押すと別のキーワードが最大４個まで表示されることがあります。続けて 簡単シーン検索 を押すと、最初に表示されたキーワードが表示されます。




**2** ▲·▼でキーワードを選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で再生したい番組のシーンを選んで 決定 を押す




- 【他のキーワードを表示】を選ぶと【＋ 新規入力】でキーワードを入力することができます。

文字入力のしかた 166

お知らせ

- 以下の場合は、簡単シーン検索機能を利用できません。
  - 外部入力などの番組情報がない番組の視聴中
  - タイムシフトマシン連携機器側の番組の視聴中
  - 本機で通常録画した番組とタイムシフトマシン録画した番組が少ない場合

# ディスクを再生する

≫ 準備
- DISC を押して、操作するメディアに切り換えておく

## ブルーレイディスクやDVDを再生する

BD　BD-Video　DVD-Video　AVCフォーマット　VRフォーマット　Videoフォーマット

### 1 再生したいディスクを入れる
- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は、画面の指示に従って操作してください。

### 2 再生 を押す

#### 再生を停止するときは

停止 を押す

● レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
（レジュームポイントについて詳しくは、131 をご覧ください。）

## メニューを操作する

BD-Video　DVD-Video　Videoフォーマット

（メニューやポップアップメニューがある場合のみ）
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。また、BD-Videoの場合は再生中にポップアップメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

❶ ディスクメニュー 録画リスト を押す
- メニュー選択画面が表示されます。

❷ ▲·▼で表示したいメニューを選ぶ

BD-Videoの場合




DVD-VideoまたはDVD-RW/-R(Video)の場合




❸ ▲·▼·◀·▶で希望の番組や項目を選んで 決定 を押す

## ブルーレイ3D™ディスクを再生する

BD-Video

本機でブルーレイ3D™ディスクを楽しむことができます。

≫ 準備
- 本機と3D対応テレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく 34
- 3D対応テレビの設定を3Dに切り換えておく（必要な場合のみ）

### 1 ブルーレイ3D™ディスクを入れる

### 2 再生 を押す

#### 再生を停止するときは

停止 を押す

● レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
（レジュームポイントについて詳しくは、131 をご覧ください。）

#### 3Dの再生設定を変更するときは

設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【3D設定】を希望の設定に変更してください。251
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

#### 2D映像で再生するときは

設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【3D設定】➡【3D映像視聴設定】を【2D】に設定してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意
● 市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクの再生中は、テレビ放送や音楽CDなどに比べて音量が小さく感じられます。再生中にテレビの音量を上げたときは、再生停止前に必ず音量を下げてください。

# ディスクを再生する・つづき

## AVCHD方式の動画が記録されたディスクを再生する

AVCHDフォーマット

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどでディスクに記録されたAVCHD方式のハイビジョン画質の動画を、本機で再生できます。(録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけが再生可能です。)
また、HDDにダビングしたAVCHD方式のハイビジョン画質の動画を再生できます。

### 1 ディスクを入れる

- ディスクにAVCHDが入っている場合は、自動的にAVCHDファイルの再生が始まります。始まらない場合は、再生 を押してください。
- ディスクを入れると自動的にディスクのメニュー画面が表示される場合があります。ディスクによってメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクを録画した機器に付属の取扱説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

### 2 ▲·▼·◀·▶で希望の番組や項目を選んで決定を押す

**再生を停止するときは**

停止 を押す

- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。(レジュームポイントについて詳しくは、131をご覧ください。)

ご注意

- AVCHD方式(AVCHD Ver2.0)に準拠していない動画は再生できません。
- SDカードやUSB機器に記録されたAVCHD方式の動画は、本機では直接再生できませんが、HDDに取り込む(ダビングする)ことができます。
- HDDにダビングしたAVCHD動画の再生方法は、通常の番組の再生方法と同じですので、「録画した番組を再生する」130をご覧ください。

## 番号を指定してから再生する

ディスクを再生するときに、番号を指定してから再生できます。

- 放送中の番組を視聴しているときは、以下のディスクのみ番号を指定して再生できます。
  - BD-RE／BD-R
  - DVD-Video
  - DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)
  - DVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)

### 1 サブメニュー を押す

### 2 ▲·▼で【ディスクサーチ】を選んで決定を押す

### 3 ▲·▼または 1 〜 10/0 で番号を変更し、決定を押す

- 指定した番号から再生が始まります。

ご注意

- 指定した番号がないときは、再生できません。
- 以下の場合は、【ディスクサーチ】は選ぶことができません。
  - 本機がディスクモード以外の場合
  - ディスクを挿入していない場合

## 音楽用CDを再生する

CD

### トラックリスト画面の見かた




**1** **再生したいディスクを入れる**

- トラックリストが表示されます。
- すでにディスクが入っていて、トラックリストを表示したい場合は、録画リストを押してください。

**2** **▲·▼で、お好みのトラックを選んで 再生 または 決定 を押す**

#### 再生を停止するときは

停止 を押す

- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。（レジュームポイントについて詳しくは、131をご覧ください。）

## ディスク情報を確認する

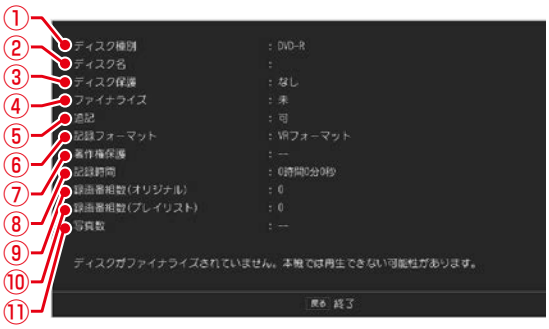
BD　BD-Video　DVD-Video　CD　AVCフォーマット
VRフォーマット　Videoフォーマット　AVCHDフォーマット　JPEGフォーマット

ディスクの情報や残量、ダビングできるかどうかなどを確認できます。

**1** **放送番組を視聴中に、サブメニュー を押す**

**2** **▲·▼で【ディスク情報】を選んで 決定 を押す**

- 挿入されているディスク情報が表示されます。




| 番号 | 説明 |
|---|---|
| ① | ディスク種別 |
| ② | ディスク名 |
| ③ | ディスクが保護されているかどうかを表示 |
| ④ | ファイナライズされているかどうかを表示 |
| ⑤ | 追記して記録できるかどうかを表示 |
| ⑥ | ディスクの初期化（フォーマット）形式 |
| ⑦ | コピー制限のある番組をダビングできるかどうかを表示 |
| ⑧ | 現在記録されている時間 |
| ⑨ | ディスクに記録されている番組の数 |
| ⑩ | ディスクに記録されているプレイリストの数 |
| ⑪ | ディスクに記録されている写真の数 |

お知らせ
- ディスクが挿入されていない場合は、【ディスク情報】は選択できません。

ご注意
- ファイナライズされていないディスクは、再生できない場合があります。

# 再生するときの操作

≫ 準備

- USB-HDDを再生するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく 57
- HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく
- USB機器を再生するときは、本機前面のメモリ専用USB端子にUSB機器をつないでおく 58
- SDカードやSeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSDカードやSeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

## 速度を変えて再生する

- 一部を除き、音声は出ません。

### 早戻し／早送り
### 早く見る／聞く

**再生中に、◀◀・▶▶を押す**

- 押すたびに、再生速度を4段階（音楽用CDまたはホームネットワークで配信されている映像は3段階）で切り換えます。
- 一段階目の早送りのみ、音声付きで再生できます。ただし、ホームネットワークで配信されている映像の場合は一段階目の早送りでも音声は再生されません。
- 音楽用CDの早戻し／早送り中は、およその再生位置が確認できる程度の音声が断続的に出ます。
- 再生▶を押すと通常再生に戻ります。

ご注意
- 以下の場合は、早戻し／早送り再生はできません。
  - 写真の再生中

### 早見早聞／ゆっくり
### 音声付きで早く／ゆっくり見る

**再生中に、再生▶を押す**

- 押すたびに、約1.3倍速→約0.8倍速→通常再生と切り換わります。

ご注意
- 以下の場合は、早見早聞／ゆっくり再生はできません。
  - BD-Videoを3Dで再生中
  - 録画モード【AVC 3D】の番組を3Dで再生中
  - 録画モード【AVC PRO】の番組を再生中
  - 音楽用CDや写真の再生中
  - ホームネットワークの映像を再生中

### 再生一時停止
### 再生を一時的に止める

**再生中に、一時停止❚❚を押す**

- 再生が一時停止します。
- 再生▶または一時停止❚❚を押すと再生に戻ります。

### 逆スロー／スロー再生
### ゆっくり見る

**再生一時停止中に、◀◀スロー・スロー▶▶を押す**

- 押すたびに、再生速度を3段階で切り換えます。
- 再生▶を押すと通常再生に、一時停止❚❚を押すと再生一時停止に戻ります。
- 長押しすると、早戻し／早送り動作となります。

ご注意
- 以下の場合は、逆スロー再生は1段階のみになります。
  - ホームネットワークで配信されている映像
- 以下の場合は、逆スロー再生は2段階切り換えになります。
  - 録画モードが【AF】～【AE】で録画された番組
  - MPEG-4 AVC/H.264で記録された映像
  - スマホ持ち出し用画質の番組
- 以下の場合は、逆スロー／スロー再生はできません。
  - 音楽用CDや写真の再生中

### コマ戻し／送り
### コマを戻す／進める

**再生一時停止中に、コマ戻し◀❚・コマ送り❚▶を押す**

- 押すたびに、コマが戻り／進みます。

ご注意
- 以下の場合は、コマ戻し／コマ送り再生はできません。
  - 音楽用CDや写真の再生中
  - ホームネットワークで配信されている映像

ご注意
- 以下の場合は、逆スロー再生とコマ戻し再生はできません。
  - 録画モード【AVC 3D】（3D再生中）
  - 録画モード【AVC PRO】
  - BD-Video
  - DVD-Video
  - DVD-RW（AVCHD）／DVD-R（AVCHD）

# 見たい番組や場面までとばす（頭出し）

## スキップ
## 見たい／聞きたいところまでスキップする

**再生中に、スキップ ⏮ ・ スキップ ⏭ を押す**

- 押すたびに、前または次のチャプターやトラックなどにスキップします。
  （スキップ ⏮ を1回だけ押すと、現在再生中のチャプターやトラックの頭にスキップします。）

## 1/20リプレイ／スキップ

**再生中に、◀・▶を押す**

- 番組の長さの1/20のポイントを、再生中に1つずつたどっていく機能です。
- 戻る方向と進む方向、どちらの場合も一番近いポイントへスキップします。

ご注意
- 番組の長さが1分以下の場合は、スキップできません。
- 以下の場合は、1/20リプレイ／スキップはできません。
  - BD-Videoや音楽用CD、写真の再生中

## ワンタッチリプレイ／ワンタッチスキップ

**再生中に、« ・ » を押す**

- 押すたびに、【再生設定】の【ワンタッチリプレイ】、【ワンタッチスキップ】で設定した時間だけ再生がスキップします。

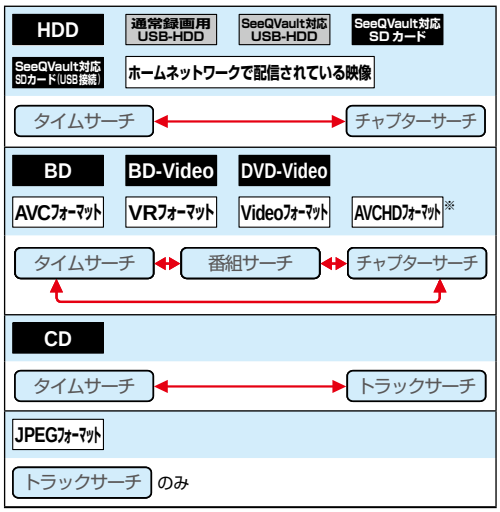
252

ご注意
- 以下の場合は、ワンタッチリプレイ／ワンタッチスキップはできません。
  - 音楽用CDや写真の再生中

## サーチ
## 番号や時間を指定してスキップする

**1** 再生中に サブメニュー を押して、▲・▼で【サーチ】を選んで 決定 を押す

**2** ▲・▼で希望のサーチを選ぶ
- ▲・▼を押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- サーチの種類は、再生しているメディアによって異なります。




※ AVCHD方式の映像が記録されたDVDのみになります。

**3** ▶で数値の欄へ移動し、▲・▼または 1 ～ 10/0 で数値を変更し、決定 を押す
- 指定した番号または時間まで再生がスキップします。

**入力を間違えたときは**

◀ を押す

ご注意
- 指定した番号や時間のチャプターやトラックがないときは、スキップはできません。
- BD-Videoの場合は、1 ～ 10/0 を押してスキップできないことがあります。

お知らせ
- 再生中に、1 ～ 10/0 を押して、チャプターをスキップすることもできます。（音楽用CDや写真の再生をのぞく）
  画面左上に数値が表示されるので、スキップしたい番号を入力してください。

# 再生するときの操作・つづき

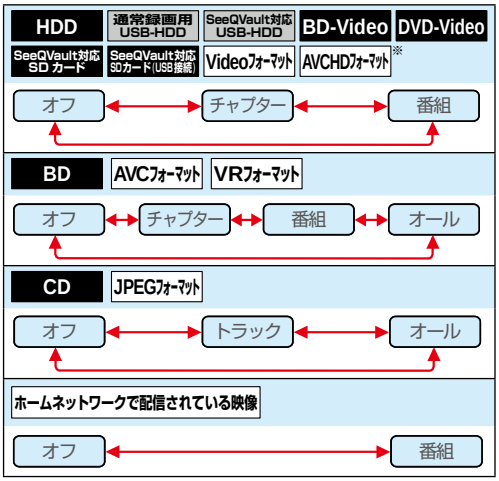
## リピート再生
## 繰り返して見る

再生中の映像を繰り返して再生することができます。

**1** 再生中に［サブメニュー］を押して、▲・▼で【リピート】を選んで［決定］を押す

**2** ▲・▼で希望のリピート再生を選んで［決定］を押す

- リピートの種類は、再生しているメディアによって異なります。




※ AVCHD方式の映像が記録されたDVDのみになります。

### リピート再生をやめるときは

手順 2 のときに、【オフ】を選ぶ

● リピート再生をやめて、再生も停止するときは［停止］を押します。

ご注意

- リピート再生を設定したあとに以下の操作を行い、リピート再生の範囲を超えた場合は、リピート再生が解除されます。
  - スキップ
  - チャプター／番組／トラック／タイムサーチ
  - 1/20リプレイ／スキップ
  - ワンタッチリプレイ／ワンタッチスキップ
- 飛ばし見再生中の場合は、リピート再生はできません。

## 再生コースを切り換える

HDD　通常録画用 USB-HDD

HDD、通常録画用USB-HDDに録画した番組は、再生中に再生コースを切り換えることができます。再生コースについて詳しくは、90 ページをご覧ください。

**1** 再生中に［緑］を押す

**2** ▲・▼でお好みの再生コースを選んで［決定］を押す

ご注意

- 再生コースを切り換えた場合は、リピート再生は解除されます。

## プレイリストを再生する

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SD カード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

BD　AVCフォーマット　VRフォーマット

**1** ［録画リスト］を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカードの場合は、［スタートメニュー］を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで［決定］を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、［スタートメニュー］を押してから、【録画リスト】➡【USB（前面）】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで［決定］を押してください。
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で見たいプレイリストが入ったフォルダを選んで［決定］を押してください。

**2** ［黄］を押す

- 「プレイリスト」画面に切り換わります。

**3** ▲・▼でお好みのプレイリストを選んで［再生］または［決定］を押す

追っかけ再生

# 録画中の番組を最初から見る

HDD　通常録画用 USB-HDD

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見ることができます。

## 1 HDDまたはUSBを押して、録画中のメディアに切り換える

- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを複数接続している場合は、USBを押すと一覧が表示されるので、切り換えたい通常録画用USB-HDDを選んで決定を押してください。

## 2 録画リストを押す

## 3 ▲·▼で録画中の番組(録画1、録画2または録画3)を選んで再生▶または決定を押す

### 追っかけ再生を一時停止するときは

一時停止⏸を押す

- 再生が一時停止します。(録画は続きます。)

### 追っかけ再生中にチャプターを分割・結合する

追っかけ再生の一時停止中にチャプターを分割・結合することができます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】➡【チャプター自動生成】を【切】に設定している場合のみ。)

- 操作ガイドは一時的に表示されます。もう一度表示するには、画面表示を2回押してください。
- 青(分割)を押すと、一時停止位置でチャプターを分割します。
- 一時停止中にスキップ⏮またはスキップ⏭を押して、結合したいチャプターの境界に位置を合わせた状態で赤(結合)を押すと、チャプターを結合します。
- スキップ⏮を押すと、前のチャプターに戻ります。
- スキップ⏭を押すと、次のチャプターに進みます。

### 追っかけ再生をやめるときは

停止■を押す

- 再生が停止します。(録画は続きます。)

### 録画も停止させるときは

**追っかけ再生を停止して、録画リスト画面が表示されたら録画リストを押して放送画面に戻ってから、停止■を押す**

- 確認画面が表示されますので、【はい】を選んで決定を押してください。

ご注意

- 再生が録画に追いつくと、早送りや次への頭出しができなくなります。(録画は続きます。)
- 再生中にメディア(HDD、DISC、USB)を切り換えると、再生が停止します。

# 再生するときに便利な機能

## 音声(言語)、字幕(言語)、カメラアングル(映像)を切り換える

≫ 準備

- USB-HDDを再生するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく 57
- HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく
- SeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

### 音声(言語)を切り換える

再生中の番組に複数の音声(主音声／副音声など)や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

- 写真の再生は、音声を切り換えることができません。

**1** 再生中に音声切換(ふたの中)を押す

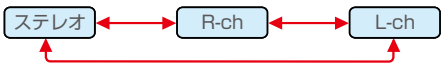
- サブメニューを押して、【音声】を選んでも表示できます。

**2** 希望の音声を選ぶ

**BD-Video 以外の場合**

▲·▼·◀·▶で音声を切り換えてください。

- 選択している音声がステレオで、右側に選択項目が表示される場合は、▲·▼で切り換えてください。




- 選択している音声が二カ国語で、右側に選択項目が表示される場合は、▲·▼で切り換えてください。




**BD-Video の場合**

❶ ▲·▼で【プライマリ】か【セカンダリ】を選んで決定を押す

❷ ▲·▼で音声を切り換える

- 設定が終わったら、終了を押してください。

ご注意

- 【音声設定】の【BD-HD音声設定】を【HD音声】に設定して、BD-Videoを再生すると、セカンダリ音声は出力されません。

### 字幕(言語)を切り換える

再生中の番組に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入／切を選んだりすることができます。

- 音楽用CDの再生や写真の再生は、字幕を切り換えることができません。

**1** 再生中に、字幕(ふたの中)を押す

- サブメニューを押して、【字幕】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼で希望の字幕を選んで決定を押す

- ◀·▶で最後に選んだ字幕設定を入／切できます。
- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

### BD-Videoの字幕などを切り換える

- BD-Videoの場合は、プライマリ映像用の字幕、セカンダリ映像用の字幕、また、字幕のスタイルを、それぞれ設定できます。

**1** 再生中に、字幕(ふたの中)を押す

- サブメニューを押して、【字幕】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼で【プライマリ】、【セカンダリ】または【スタイル】を選んだあとに、決定で字幕へ移動し、▲·▼で設定を切り換え、決定を押す

- ◀·▶で最後に選んだ設定を入／切できます。

ご注意

- 以下の場合は、音声や字幕を切り換えることはできません。
  - 早戻し／早送り
  - 早見早聞／ゆっくり再生
  - 一時停止
  - 逆スロー／スロー再生
- 以下の場合は、ステレオ音声(【ステレオ】、【R-ch】、【L-ch】)を切り換えることはできません。
  - ホームネットワークで配信されている映像

## カメラアングル(映像)を切り換える

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)
BD　BD-Video　DVD-Video　AVCフォーマット

再生中の番組に複数のカメラアングル(映像)が記録または収録されているときは、お好みの映像を選ぶことができます。

**1** 再生中に サブメニュー を押して、▲·▼で【アングル】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼で希望のカメラアングル(映像)を選んで 決定 を押す

- 押すたびに、カメラアングル(映像)が切り換わります。

お知らせ

- カメラアングル(映像)が選べる場面では、画面に【📷】が表示されます。(【📷】を表示しないようにすることもできます。詳しくは、【アングルアイコン】 252 をご覧ください。)
- BD-Video／DVD-Videoの場合は、音声／字幕／カメラアングル(映像)の内容はディスクによって異なりますので、ディスクに付属の取扱説明書もお読みください。

## ノイズリダクション
## 再生映像のノイズを低減する

**1** 再生中に サブメニュー を押して、▲·▼で【ノイズリダクション】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼で希望の設定を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 映像を1080p24の画質で出力している場合は無効になります。

## XDE
## 再生映像の画質を鮮明な画質に補正する

映像をアップコンバートする際に精細感の高い画質に補正します。

**1** 再生中に サブメニュー を押して、▲·▼で【XDE】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼で希望の設定を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 再生映像をアップコンバートするときのみ効果があります。

## おまかせプレイ機能を切り換える

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

おまかせプレイ機能をオン／オフすることができます。

**1** 再生中に サブメニュー を押して、▲·▼で【おまかせプレイ機能】を選んで 決定 を押す

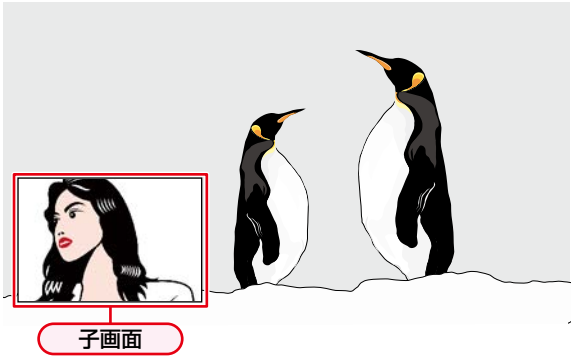
**2** ▲·▼で【オン】または【オフ】を選ぶ

**オン**： おまかせプレイ可能な番組を再生中に 青 でおまかせプレイに切り換えることができます。
**オフ**： おまかせプレイに切り換えることができません。

## BD-Videoの子画面を切り換える

(ピクチャー・イン・ピクチャー対応のみ)
子画面(ピクチャー·イン·ピクチャー)対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

- 子画面の再生のしかたは、BD-Videoに付属の取扱説明書をお読みください。




**1** BD-Videoの再生中に サブメニュー を押して、▲·▼で【セカンダリビデオ】を選んで 決定 を押す

- 子画面の設定は、親画面／子画面の同時再生中にだけ設定できます。

**2** ▲·▼で希望の設定を選んで 決定 を押す

お知らせ

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。

# 再生するときに便利な機能・つづき

## BD-Videoのバーチャル・パッケージを利用する

(バーチャル・パッケージ対応のみ)

バーチャル・パッケージに対応しているBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして、再生しながらいろいろな機能を楽しむことができます。

本機では、USBメモリをローカルストレージとして使用します。

≫ 準備

• USBメモリを接続しておく 58

- 他のデータが入ったUSBメモリや、他機でフォーマットされたUSBメモリをつかうと、BD-Videoが正しく再生されないときがあります。
  その場合は、本機でUSBメモリを初期化してください。 261
- コピーされたバーチャル・パッケージを再生中に本機からUSBメモリを抜くと、BD-Videoの再生が停止します。
- BD-Videoの再生中に、映像や音声が停止することがあります。
- USBメモリに記録されたバーチャル・パッケージの内容を消去するには、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【その他】➡【初期化】➡【BDビデオデータ消去】の順に選んで【バーチャルパッケージ消去】を行ってください。 261

### BD-Live™について

本機は、BD-Live™機能付きのBD-Video(BD-ROM Profile 2.0)に対応しています。

本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、さまざまな機能を楽しむことができます。

- BD-Live™で利用できるさまざまな機能は、ディスクにより異なります。詳しい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。
  接続のしかたについて詳しくは、「ネットワークを接続・設定する」 228 をご覧ください。設定のしかたについて詳しくは、「ネットワーク接続設定」 232 をご覧ください。
- ディスクによっては、【BD-Live接続設定】 249 を変更する必要があります。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。
- BD-Live™対応ディスクの再生中、ブルーレイディスクレコーダーやディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、【BD-Live接続設定】 249 を変更してください。

## PINコードを入力する

BD AVCフォーマット

他社のブルーレイディスクレコーダーなどでディスクにPINコードが設定されているときは、本機で使用するときにPINコードの入力画面が表示されますので、設定されたPINコードを入力してください。(本機では、PINコードの設定や変更はできません。)

**1** 1 ～ 10/0 でPINコードを入力する

ご注意

- PINコードとは、ディスクの視聴を制限するための4けたのパスワードです。

# 写真を再生する(スライドショー)

## 写真リスト画面について

JPEGフォーマット

ディスクやSDカード、USB機器に記録されたJPEG形式の写真を本機で順番に表示(スライドショー)することができます。
拡張子に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1 準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。

### 写真リスト画面の見かた



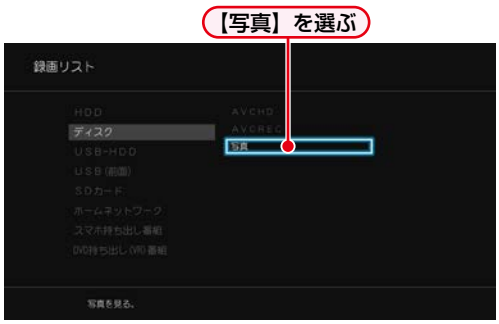

≫ 準備

- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく 57
- DISC または USB を押して、操作するメディアに切り換えておく
- USB機器を再生するときは、本機前面のメモリ専用USB端子にUSB機器をつないでおく 58
- SDカードやSeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSDカードやSeeQVault対応SDカードを再生するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

**1** ファイルタイプ選択画面が表示されるので、▲·▼で【写真】または【写真を見る】を選んで 決定 を押す

例：ディスクのとき

- 録画リスト画面が表示されます。




- ディスクの場合は、JPEGファイルしか入っていなければ、ファイルタイプ選択画面は表示されません。(自動的に写真リスト画面が表示されます。)

#### ファイルタイプ選択画面が表示されないときは

1. スタートメニュー を押す
2. ▲·▼·◀·▶ で【録画リスト】を選んで 決定 を押す
3. ▲·▼ で【ディスク】、【SDカード】、【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼·◀·▶ で見たい写真を選んで 決定 を押す

- 選んだ写真と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。
- 再生中に 画面表示 を2回押すと、ファイル名を表示できます。
- 再生のスピードは、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【再生設定】➡【JPEGスライドショー】で設定できます。 252

#### フォルダ内を見たいときは

▲·▼·◀·▶ で見たいフォルダを選んで 決定 を押す

#### 別のページを表示するときは

(前ページ)、(次ページ)を押す

#### 再生中の写真を回転させたいときは

再生中に、◀·▶ で画像を90°ずつ回転する

(回転させた情報は記憶されません。)

#### 再生を一時停止するときは

一時停止 を押す

(再生 または 一時停止 を押すと、再生に戻ります。)

#### 再生を停止するときは

停止 を押す

- ディスクの場合は、レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
  (レジュームポイントについて詳しくは、131をご覧ください。)
- 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止して録画リスト画面に戻ります。

ご注意

- ブルーレイディスクにJPEG形式のデータと録画した番組の両方が入っている場合は、写真を再生できません。
  (録画した番組は再生できます。)

# 再生についての補足説明

## 再生全般

- 2層や3層のディスクは、ディスクの層が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズ(四角いノイズ)が見えたりすることがあります。
- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマとびして再生されないことがあります。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますのでご注意ください。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やカメラアングル(映像)の切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。
- ファイナライズ中や初期化中は、再生できません。
- Cinavia™
  Cinaviaの通告
  この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
  無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
  Cinavia技術に関する詳細情報は、
  http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。
  Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合は、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
  この製品はVerance Corporation (ベランス･コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。
  Copyright 2004-2017 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。
  リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

## 録画リスト画面

- ファイナライズされたDVD-RW(Video)／DVD-R(Video)は録画リスト画面を表示できません。ディスクメニューから再生してください。
- リピート再生中に録画リスト画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- 他の機器で作成したディスクからHDDにダビングする場合は、ディスクに番組情報(チャンネル名、録画モード等)が記録されていなければ、録画リスト画面での番組情報表示箇所は空白になります。

## つづき再生(レジューム停止)

つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

## 音声／字幕／カメラアングル(映像)の切り換え

### 音声／字幕

- BD-VideoディスクやDVD-Videoディスクによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、設定が【本体設定】➡【再生設定】➡【音声言語設定】の設定に戻ります。(BD-VideoディスクやDVD-Videoディスクによっては、そのディスクで決められている言語になります。)
- 字幕設定を変更したときは、切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- BD-Video、DVD-Videoの早見早聞再生(約1.3倍速)またはゆっくり再生(約0.8倍速)を除き、早送り／早戻し再生中の字幕表示はできません。

### カメラアングル(映像)

- 変更したときは、切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイを開けたときは、設定が「1」に戻ります。

## 写真リスト画面

- 1つあたりのファイルの再生時間(表示間隔)は5秒です。10秒に変更することもできます。
  詳しくは、【JPEGスライドショー】252をご覧ください。
- 写真リスト画面には、JPEG形式のファイルだけが表示されます。
- 写真の再生中に再生できないファイルがあった場合は、【🚫】を表示して次のトラックにスキップします。
- 写真の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- 写真の再生中に予約録画開始2分前になると、写真の再生は自動的に停止します。
- 以下の場合は、写真の再生はできません。
  - 通常録画中
  - ダビング中
  - ネットdeレック中
  - タイムシフトマシン録画番組の保存中

# 削除する

本章では、番組やプレイリストの削除について説明しています。

## 番組を削除する

1 録画リストを押し
削除したい番組を選ぶ

2 停止 押す

3 決定 押す

詳しくは .....150

# 番組を削除する

- 削除された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。
- HDDやUSB-HDD、SeeQVault対応SDカードの場合は、フォルダの中に番組やプレイリストが入っています。

≫ 準備

- USB-HDDから削除するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- HDD または USB を押して、操作するメディアに切り換えておく
- SeeQVault対応SDカードから削除するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードから削除するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

HDD　通常録画用USB-HDD　SeeQVault対応USB-HDD　SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード(USB接続)

## 番組やプレイリストを削除する

番組一覧から、フォルダ内にある不要な番組やプレイリストを削除できます。

### 1 録画リスト を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合はスタートメニューを押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- スマホ持ち出し番組を削除する場合はスタートメニューを押してから【録画リスト】➡【スマホ持ち出し番組】を選んで決定を押してください。
- DVD持ち出し(VR)番組を削除する場合はスタートメニューを押してから【録画リスト】➡【DVD持ち出し(VR)番組】を選んで決定を押してください。
- フォルダ一覧が表示されたときは、▲·▼で削除したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

### 2 停止■ を押す

- サブメニューを押して、【番組の削除】を選んでも表示できます。

### 3 ▲·▼で番組を選んで決定を押して、削除したい番組をすべて選び終えたら、▶で【削除実行】を選んで決定を押す

- 緑を押すと、フォルダ内にあるすべての番組またはプレイリストを選ぶことができます。(他のフォルダの番組やプレイリストは含まれません。)
- 黄を押すと、すべての番組またはプレイリストの選択を解除できます。

#### 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダから削除するときは

確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押す

#### 作成したフォルダから削除するときは

▲·▼で削除方法を選んで決定を押す

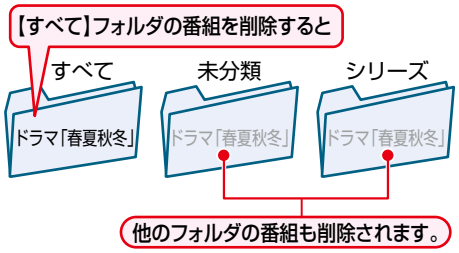
- 【このフォルダから番組を削除】を選ぶと、選んでいるフォルダ内の番組またはプレイリストだけ削除します。
- 【全てのフォルダから番組を削除】を選ぶと、別のフォルダ(【すべて】フォルダを含む)内に入っている番組またはプレイリストもまとめて削除します。
- 削除が終わったら、終了を押してください。

**ご注意**

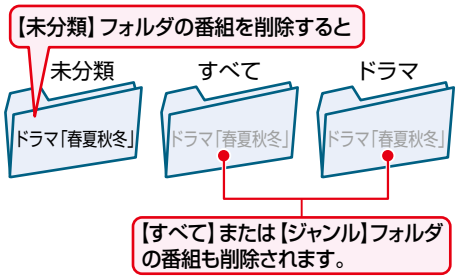
- ダビング中やタイムシフトマシン録画番組を保存中は、番組を削除できません。
- 保護された番組と録画中の番組は削除できません。
- プレイリストに含まれる番組を削除すると、プレイリストから削除されます。
- プレイリストを削除してもプレイリストに含まれる番組は削除されません。

**お知らせ**

- 【すべて】フォルダの番組やプレイリストを削除すると別のフォルダ内に入っている番組やプレイリストもまとめて削除します。




- 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの番組を削除すると、残量時間が増えます。(プレイリストを削除しても、残量時間は増えません。)
- 【未分類】フォルダの番組やプレイリストを削除すると、【すべて】または【ジャンル】フォルダ内に入っている番組やプレイリストもまとめて削除します。




- 【ジャンル】フォルダ内の番組やプレイリストを削除すると【すべて】または【未分類】フォルダ内に入っている番組やプレイリストもまとめて削除します。

## フォルダから全番組を削除する

番組一覧から、フォルダ内にあるすべての番組を削除できます。

### 1 録画リスト を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニュー を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニュー を押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- フォルダー覧が表示されたときは、▲·▼で全番組を削除したいフォルダを選んで 決定 を押してください。

### 2 サブメニュー を押す

### 3 ▲·▼で【フォルダ内番組全削除】を選んで 決定 を押す

- 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの場合は、【フォルダ内番組全削除】を選択できません。

### 4 ▲·▼で【このフォルダから番組を削除】または【全てのフォルダから番組を削除】を選んで 決定 を押す

- 【このフォルダから番組を削除】を選ぶと、選んでいるフォルダ内の番組またはプレイリストだけ削除します。
  別のフォルダの同じ番組またはプレイリストは削除されません。
  【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの番組は削除できません。
- 【全てのフォルダから番組を削除】を選ぶと、保護されている番組とスマホ持ち出し番組、DVD持ち出し(VR)番組を除き、別のフォルダ(【すべて】フォルダを含む)内に入っている番組またはプレイリストもまとめて削除します。
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 削除が終わったら、終了 を押してください。

## フォルダ内の全番組を削除する

フォルダー覧から、フォルダ内にあるすべての番組を削除できます。

### 1 録画リスト を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニュー を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニュー を押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 番組一覧が表示されたときは、赤 を押してください。

### 2 ▲·▼でフォルダを選んで 停止 を押す

- 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの場合は、操作できません。
- サブメニュー を押して、【フォルダ削除】を選んでも同じことができます。
- 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの場合は、【フォルダ削除】を選択できません。

### 3 ▲·▼で【フォルダ内番組全削除】を選んで 決定 を押す

### 4 ▲·▼で【このフォルダから番組を削除】または【全てのフォルダから番組を削除】を選んで 決定 を押す

- 【このフォルダから番組を削除】を選ぶと、選んでいるフォルダ内の番組またはプレイリストだけ削除します。別のフォルダの同じ番組またはプレイリストは削除されません。
  【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの番組は削除できません。
- 【全てのフォルダから番組を削除】を選ぶと、保護されている番組とスマホ持ち出し番組、DVD持ち出し(VR)番組を除き、別のフォルダ(【すべて】フォルダを含む)内に入っている番組またはプレイリストもまとめて削除します。
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 削除が終わったら、終了 を押してください。

# 番組を削除する・つづき

≫ 準備

- 削除する番組の入ったディスクを入れておく 57
- DISC を押して、操作するメディアに切り換えておく

## ディスクの番組を削除する

BD　AVCフォーマット　VRフォーマット

録画した番組を削除することができます。

**1** 録画リスト を押す

**2** 停止 を押す

- サブメニュー を押して、【番組の削除】を選んでも表示できます。

**3** ▲・▼で削除したい番組を選んで 決定 を押す

- 選んだ番組を解除したいときは、番組を選んだ状態で 決定 を押してください。
- 緑 を押すと、すべての番組を選びます。
- 黄 を押すと、すべての番組を解除します。
- *3* を繰り返し行い、削除したい番組をすべて選んでください。

**4** 番組を選び終えたら、▶ を押して【削除実行】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
  選んだ番組が一括削除されます。
- 削除が終わったら、終了 を押してください。



ご注意

- ダビング中やタイムシフトマシン録画番組を保存中は、番組を削除できません。
- 保護された番組と録画中の番組は削除できません。
- プレイリストに含まれる番組を削除すると、プレイリストから削除されます。

お知らせ

- 番組を削除するとメディアによっては、残量時間が増えます。

| メディア | 残量時間 |
|---|---|
| BD-RE<br>DVD-RW(VR) | 増えます |
| BD-R<br>DVD-RW(AVC)※<br>DVD-R(AVC)<br>DVD-R(VR) | 増えません |

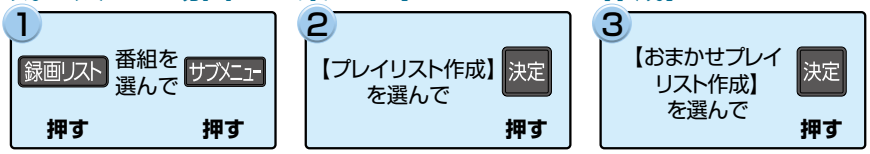
※ DVD-RW(AVC)の場合は、初期化(フォーマット)すると残量時間を増やすことができます。268
(ただし、初期化を行って消去された記録内容は、元に戻せません。記録内容をよく確認してから初期化してください。)

# 編集する

本章では、チャプターやプレイリストなどの編集機能について説明しています。


編集の前に.....154
チャプターを編集する.....155
番組を分割・結合する.....158


## 気に入った場面だけ集める(プレイリスト作成)




詳しくは ...159


番組名を変更する・番組を保護する.....161


## 番組をフォルダで管理する




詳しくは ...162


文字入力のしかた.....166
HDD／USB-HDDの空き容量を増やす(録画モード変換).....168

# 編集の前に

## 本機でできる編集について

| できること（メニュー項目） | | HDD | 通常録画用 USB-HDD | SeeQVault対応 USB-HDD / SeeQVault対応 SDカード（USB接続） | SeeQVault対応 SDカード | BD | AVCフォーマット | VRフォーマット | Videoフォーマット |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フォルダ作成・フォルダ名変更・フォルダ削除・フォルダ内番組全削除 | | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × |
| 編集／管理 | 保存フォルダ変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × |
| | 番組名変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | チャプター分割・チャプター結合・全チャプター結合 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | チャプター削除 | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × |
| | 番組分割／結合 | ○※1 | ○※1 | × | × | × | × | × | × |
| | 番組保護／保護解除 | ○※2 | ○※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| プレイリスト作成 | | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × |
| チャプター名変更 | | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × |
| フォルダ表示順変更 | | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × |
| HDD／ディスクの管理 | 番組全消去 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × |
| | 番組全消去（保護番組以外） | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × |
| | 初期化 | × | × | ○ | ○ | ○※3 | ○※3 | ○※3 | ○※3 |
| | ファイナライズ | × | × | × | × | ○（Rのみ） | ○ | ○※4 | ○※5 |
| | ディスク名変更 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○※6 |
| | ディスク保護／保護解除 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × |
| | 機器名変更 | × | × | ○※7 | × | × | × | × | × |
| | USB-HDD名変更 | × | ○ | ○※8 | × | × | × | × | × |
| | SDカード名変更 | × | × | × | ○ | × | × | × | × |
| 番組の削除 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

○：できる　　×：できない

※1　本機で録画した番組を分割・結合できます。（プレイリストは分割・結合できません。）
※2　録画モード変換予定の番組やスマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し（VR）変換予定の番組、SeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組は、番組保護はできません。また、HDDのみ、バックアップ予定の番組は、番組保護はできません。
※3　BD-RやDVD-Rは、ディスクを入れて初期化をしていないときのみ初期化できます。
※4　DVD-RW（VR）のみ、本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除できます。
※5　ダビング後に、自動的にファイナライズされます。
※6　ダビング時にディスク名を変更できます。
※7　SeeQVault対応USB-HDDは使用できません。
※8　SeeQVault対応SDカード（USB接続）は使用できません。

ご注意

- 以下の場合は、上記の編集はできません。
  - ディスクまたはSeeQVault対応SDカードが保護されている場合
  - ダビング中
- 録画中に【HDD／ディスクの管理】のすべての項目と【編集／管理】の「番組分割／番組結合」はできません。
  AVC番組の3番組同時録画中は、【編集／管理】の【番組編集】はできません。
  録画中以外の番組の「番組名変更」、「チャプター編集」、「番組保護／保護解除」は編集可能です。
- タイムシフトマシン録画番組の保存中は、【フォルダ作成】、【フォルダ名変更】、【フォルダ削除】、【保存フォルダ変更】、【チャプター名変更】、【フォルダ表示順変更】以外はできません。

# チャプターを編集する

HDD | 通常録画用 USB-HDD | SeeQVault対応 USB-HDD | SeeQVault対応 SDカード | SeeQVault対応 SDカード(USB接続) | BD | AVCフォーマット | VRフォーマット

≫ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく 57
- HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく
- SeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

## チャプターを分割する

番組をチャプターで分割することができます。

**1** 録画リストを押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニューを押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- フォルダー覧が表示されているときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

**2** ▲·▼で番組を選んでサブメニューを押す

**3** ▲·▼で【編集／管理】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【番組編集】を選んで決定を押す

- 編集画面が表示されます。

**5** ▲·▼で【チャプター編集】を選んで決定を押す

**6** チャプターを分割したいところまで再生し、一時停止を押す

**7** ▲·▼で【チャプター分割】を選んで決定を押す

- チャプターが分割されます。
- 続けてチャプターを分割するときは、手順 6〜7 を繰り返してください。
- 分割できるチャプター数について詳しくは、321をご覧ください。
- 編集が終わったら、終了を押してください。

## チャプターを結合する

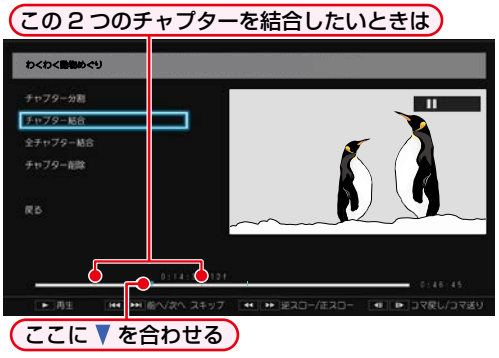
### すべてのチャプターを結合する

❶「チャプターを分割する」の手順 6 で【全チャプター結合】を選ぶ

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- すべてのチャプターが結合され、チャプター境界がなくなります。

### 前後のチャプターを結合する

❶「チャプターを分割する」の手順 6 で一時停止を押して、スキップ⏮・スキップ⏭でチャプターの境界に位置を合わせる




❷ ▲·▼で【チャプター結合】を選んで決定を押す

- チャプターが結合されます。
- 編集が終わったら、終了を押してください。

お知らせ

- 再生中に一時停止でも、チャプター分割・結合ができます。詳しくは、「チャプターを分割·結合する」131をご覧ください。



次ページへつづく

# チャプターを編集する・つづき

## チャプターを削除する

HDDと通常録画用USB-HDDの場合は、チャプターを削除できます。

1. 「チャプターを分割する」の手順5のあと、▲・▼で【チャプター削除】を選んで決定を押す
2. 削除したいチャプターまで再生し、一時停止を押す
3. 決定を押す
   - 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
   - チャプターが削除されます。
   - 編集が終わったら、終了を押してください。

**ご注意**

- 分割できるチャプター数が最大数を超える場合は、チャプター分割できません。分割できるチャプター数について詳しくは、321をご覧ください。
- チャプター間が短すぎる場合は、チャプター削除できないことがあります。
- 番組の先頭または終端のチャプターは、長さに関係なくチャプター削除できます。
- チャプターが1つだけの番組は、チャプターを結合したり削除したりすることはできません。

**お知らせ**

- チャプター編集画面でスキップを押すと、次のチャプターへスキップできます。（番組の終わりへスキップすると一時停止になります。）
- HDDやUSB-HDD、SeeQVault対応SDカードの場合は、チャプターを編集すると、編集した番組が含まれる別のフォルダの番組も同じようにチャプターが編集されます。
- HDDと通常録画用USB-HDDの場合は、チャプターを削除すると、削除したチャプターを含むプレイリストのチャプターも削除されます。プレイリストのチャプターを削除しても録画した番組のチャプターは削除されません。

# チャプター表示からチャプターを編集する

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

チャプター表示に切り換えるとチャプターの名前を変更できます。(チャプター結合、削除もできます。)

≫ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- HDDまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく
- SeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

## チャプターの名前を変更する

**❶ 録画リストを押す**

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

**❷ ▲・▼で番組を選んで緑を押す**

**❸ ▲・▼で名前を変更したいチャプターを選んでサブメニューを押す**

**❹ ▲・▼で【チャプター名変更】を選んで決定を押す**

**❺ チャプター名を入力して、決定を押す**

文字入力のしかた 166

- 編集が終わったら、終了を押してください。

## チャプターを結合する

**❶ 録画リストを押す**

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

**❷ ▲・▼で番組を選んで緑を押す**

**❸ ▲・▼で結合したいチャプターを選んでサブメニューを押す**

**❹ ▲・▼で【前のチャプターと結合】または【全チャプター結合】を選んで決定を押す**

**前のチャプターと結合：** 選んでいるチャプターを前のチャプターと結合します。

**全チャプター結合：** すべてのチャプターを結合します。

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- チャプターが結合されます。
- 編集が終わったら、終了を押してください。

## チャプターを削除する

**❶ 録画リストを押す**

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

**❷ ▲・▼で番組を選んで緑を押す**

**❸ 停止を押す**

- サブメニューを押して▲・▼で【チャプター削除】を選んで決定を押しても表示できます。
- SeeQVault対応USB-HDD／SDカードの場合は、【チャプター削除】が選べません。

**❹ ▲・▼で削除したいチャプターを選んで決定を押す**

- すべての不要なチャプターを選ぶまでこの手順を繰り返してください。
- 選んだチャプターを解除したい場合は、チャプターを選んだ状態で決定を押してください。

**❺ すべての不要なチャプターを選んだら、▶を押して【削除実行】を選んで決定を押す**

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 選んだチャプターが一括削除されます。
- 編集が終わったら、終了を押してください。

# 番組を分割・結合する

HDD　通常録画用 USB-HDD

1つの番組を2つに分けたり、2つの番組を1つにまとめたりすることができます。

≫ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく 220
- HDD または USB を押して、操作するメディアに切り換えておく

## 番組を分割する

1つの番組を2つに分けることができます。

**1** 録画リスト を押す
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

**2** ▲·▼で番組を選んで サブメニュー を押す

**3** ▲·▼で【編集／管理】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼で【番組編集】を選んで 決定 を押す

**5** ▲·▼で【番組分割】を選んで 決定 を押す

**6** 番組を分割したいところまで再生し、決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 編集が終わったら、終了 を押してください。

ご注意
- 以下の番組は分割できません。
  - 録画モード変換待ちの番組
  - スマホ持ち出し番組への変換待ちの番組
  - DVD持ち出し(VR)変換待ちの番組
  - 番組保護された番組
  - 自動バックアップ予定の番組
  - SeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組
- 以下の場合は、番組は分割できません。
  - 録画中
  - 分割する箇所が番組開始位置や終了位置に近い(1秒以内)場合
  - 最大番組数を超える場合
  - メディアの空き容量が少ない場合
- 結合した番組の場合は、結合箇所では分割できません。

お知らせ
- 番組に「自動削除」が設定されている場合は、「自動削除」は解除されます。(分割した前半部分の番組のみ)
- プレイリストに含まれる番組を分割すると、分割した番組はプレイリストから削除されます。
- 【番組分割】すると、分割した番組が含まれる別のフォルダの番組も分割されます。

## 番組を結合する

2つの番組を1つにまとめることができます。

**1** 録画リスト を押す
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

**2** ▲·▼で元となる番組を選んで サブメニュー を押す

**3** ▲·▼で【編集／管理】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼で【番組編集】を選んで 決定 を押す

**5** ▲·▼で【番組結合】を選んで 決定 を押す

**6** ▲·▼で結合したい番組を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 編集が終わったら、終了 を押してください。

ご注意
- コピー制限の異なる番組を結合するとコピー回数が少ない番組情報が優先されます。
  (例えば、コピーが残り4回可能なダビング10番組と1回だけ録画可能(コピーワンス)番組を結合すると、1回だけ録画可能(コピーワンス)番組になります。)
- 以下の番組は結合できません。
  - 録画モード変換待ちの番組
  - スマホ持ち出し番組への変換待ちの番組
  - DVD持ち出し(VR)変換待ちの番組
  - 番組保護された番組
  - 自動バックアップ予定の番組
  - SeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組
  - 画質(DR／AVC／標準／SKP)が異なる番組
  - AVCHD方式で取り込んだ(ダビングした)1080/60pの番組
  - 3D番組(AVCHD 2.0)と2D番組
- 以下の場合は、番組を結合できません。
  - 録画中
  - 番組が1つしかない場合
  - 番組保護された番組
  - 番組結合後の総再生時間が15時間を超える場合
  - 番組結合後の総チャプター数が999を超える場合
- 他の機器からダビングした番組は結合できない場合があります。

お知らせ
- 結合したあとの番組情報は手順 2 で選んだ番組情報が基準になります。
- 番組に「自動削除」が設定されている場合は、「自動削除」は解除されます。(あとから選んだ番組のみ)
- 【番組結合】すると結合される番組(あとから選んだ番組)はすべてのフォルダから削除されます。

# 気に入った場面だけを集める(プレイリスト作成)

HDD 通常録画用USB-HDD

録画した番組やチャプターのお好みの場面だけをリストにしてまとめることができます。
プレイリストにまとめることによって、少しの録画容量で、録画した番組やチャプターを編集することなく、番組の場面や順序など、お好みの状態で再生できます。
録画した番組やチャプターは元のままなので、同じ番組やチャプターから何度でもプレイリストを作成することができます。
作成したプレイリストに対してチャプターの編集やプレイリスト名の変更ができます。

- 作成したプレイリストを見るには、録画リスト画面の番組一覧表示中に黄を押してください。133
- プレイリストは、作成したフォルダ内のみに作成されます。(同じ番組を含む別のフォルダには作成されません。)
- プレイリストで行ったチャプターの編集は、録画した番組やチャプターには影響しません。チャプターを編集するには、155をご覧ください。
- プレイリスト名を変更するには161をご覧ください。
- HDDや通常録画用USB-HDDのプレイリストを削除するには、150をご覧ください。
- プレイリストの作成や削除を行っても、録画した番組はそのまま残ります。また、残量はほとんど変わりません。

≫ 準備

- **USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく**220
- **HDDまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく**

## おまかせプレイリスト作成 プレイリストを自動で作る

本編以外の部分を除いたプレイリストを自動で作成できます。

- 設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】➡【チャプター自動生成】を【マジックチャプター】に設定して録画された番組のみ、【おまかせプレイリスト作成】でプレイリストを自動で作成できます。
- 【マジックチャプター】について詳しくは、252をご覧ください。

**1** 録画リストを押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼でお好みの番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

**2** ▲·▼で番組を選んでサブメニューを押す

**3** ▲·▼で【プレイリスト作成】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【おまかせプレイリスト作成】を選んで決定を押す

- プレイリストが作成されたあと、自動的に「プレイリスト」画面に切り換わります。

ご注意

- 以下の場合は、【プレイリスト作成】を選ぶことができません。
  - HDD、通常録画用USB-HDDの残量時間が足りない
  - 変換予定の番組
  - スマホ持ち出し用変換予定の番組
  - DVD持ち出し(VR)変換予定の番組
  - 録画中の番組
  - ダビング中
  - タイムシフトマシン録画番組の保存中

## 偶数または奇数番号のチャプターでプレイリストを作る

必要なチャプターと不要なチャプターが、交互に並んでいる番組からプレイリストを作成するときに便利です。

**❶「プレイリストを自動で作る」の手順4で【偶数チャプタープレイリスト作成】または【奇数チャプタープレイリスト作成】を選んで決定を押す**

### 偶数チャプタープレイリスト作成

偶数のチャプターだけを取り出したプレイリストを作成します。

### 奇数チャプタープレイリスト作成

奇数のチャプターだけを取り出したプレイリストを作成します。

- プレイリストが作成されたあと、自動的に「プレイリスト」画面に切り換わります。

# 気に入った場面だけを集める(プレイリスト作成)・つづき

## お好みのプレイリストを作る

お好みの番組やチャプターを選んでプレイリストを作成できます。

❶「プレイリストを自動で作る」の手順 *4* で【手動選択プレイリスト作成】を選んで 決定 を押す
- 「番組／チャプター選択」画面が表示されます。

❷ ▲·▼で番組(またはチャプター)を選んで 決定 を押す
- 緑 を押すと、番組表示とチャプター表示が切り換わります。
- 決定 を押すと、プレイリスト順を表す数字が追加されます。

**他の番組やチャプターを続けて選ぶときは**

この手順を繰り返す

**番組やチャプターの選択を解除したいときは**

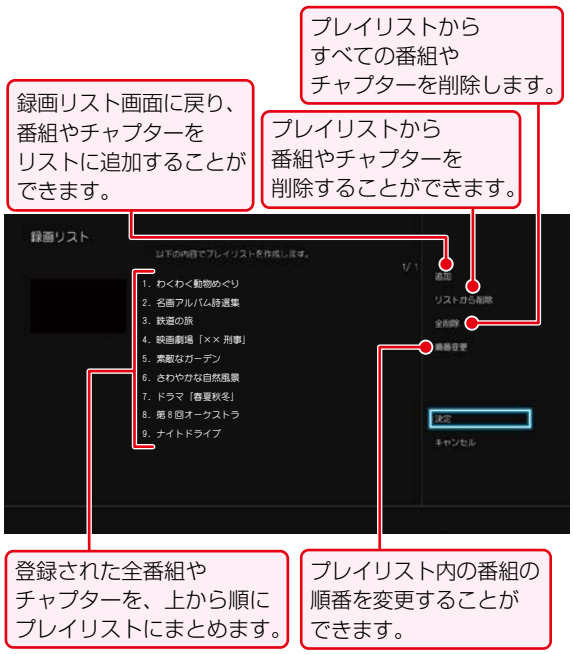
解除したい番組を選んで 決定 を押す

❸ すべての番組(またはチャプター)を選び終えたら、▶を押す

❹ ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す
- プレイリスト内容一覧が表示されます。

❺ ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す
- プレイリストが作成されたあと、自動的に「プレイリスト」画面に切り換わります。

## プレイリスト内容一覧の見かた




## プレイリストに番組やチャプターを追加する

❶ ▲·▼で【追加】を選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼で追加したい番組やチャプターを選んで 決定 を押す

❸ ▲·▼·◀·▶で【決定】を選んで 決定 を押す

## プレイリストから番組やチャプターを削除する

❶ ▲·▼で【リストから削除】を選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼で削除したい番組やチャプターを選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。

## プレイリストから番組やチャプターをすべて削除する

❶ ▲·▼で【全削除】を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。

## プレイリスト内の番組やチャプターの順番を変更する

❶ ▲·▼で【順番変更】を選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼で変更したい番組やチャプターを選んで 決定 を押す

❸ ▲·▼で変更したい位置へ移動し、 決定 を押す

ご注意

- プレイリスト数が2,000を超える場合は、プレイリストを作成できません。
- 以下の場合は、同じプレイリストにまとめることはできません。
  - 各番組やチャプターの画質(DR／AVC／標準／SKP)が異なる場合
  - 1080/60pで記録された映像や3Dで記録された映像が他の画質と混ざっている場合
  - 番組やチャプター数が99個を超える場合
  - 再生時間の合計が15時間を超える場合
- 録画モード変換予定の番組、スマホ持ち出し用変換予定の番組およびDVD持ち出し(VR)変換予定の番組は、プレイリストに追加できません。
- 他の機器からダビングした番組は、プレイリストに追加できない場合があります。
- プレイリスト上ではチャプターの追加はできません。
- HDD、通常録画用USB-HDDの残量時間が足りない場合は、【おまかせプレイリスト作成】、【偶数チャプタープレイリスト作成】、【奇数チャプタープレイリスト作成】、【手動選択プレイリスト作成】を選ぶことができません。

# 番組名を変更する・番組を保護する

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

BD　AVCフォーマット　VRフォーマット

≫ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく 57
- HDD、DISCまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく
- SeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

## 番組名を変更する

録画した番組の番組名を変更することができます。

**1** 録画リストを押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニューを押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- フォルダー覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

**2** ▲・▼で番組を選んでサブメニューを押す

**3** ▲・▼で【編集／管理】を選んで決定を押す

**4** ▲・▼で【番組編集】を選んで決定を押す

**5** ▲・▼で【番組名変更】を選んで決定を押す

- 編集画面が表示されます。

**6** 番組名を入力して、決定を押す



文字入力のしかた 166

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
  番組名が変更されます。
- 番組名を変更すると、変更した番組が含まれる別のフォルダの番組名も変更されます。
- 変更が終わったら、終了を押してください。

## 番組を保護する

録画した番組を保護することができます。

**1** 録画リストを押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニューを押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- フォルダー覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで決定を押してください。

**2** ▲・▼で番組を選んでサブメニューを押す

**3** ▲・▼で【編集／管理】を選んで決定を押す

**4** ▲・▼で【番組編集】を選んで決定を押す

**5** ▲・▼で【番組保護】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。番組が保護されます。
- 保護された番組には、録画リスト画面で が付きます。
- 変更が終わったら、終了を押してください。

### 番組保護を解除するときは

手順 5 で【番組保護解除】を選ぶ

お知らせ

- 【番組保護】すると、すべてのフォルダに入っている同じ番組も保護されます。
- 保護された番組は、以下の操作ができません。
  - フォルダ移動
  - 番組名の変更
  - チャプターの結合
  - 番組の分割／結合
  - ダビング10番組のダビング(移動)
  - 1回だけ録画可能(コピーワンス)番組のダビング
  - 番組の削除
  - チャプターの分割
  - チャプターの削除
  - 録画モードの変換
- 録画モード変換予定の番組やスマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組、自動バックアップ予定の番組、SeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組は保護できません。
- プレイリストは保護できません。

# 番組をフォルダで管理する

HDD　通常録画用USB-HDD　SeeQVault対応USB-HDD　SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード(USB接続)

番組をフォルダに入れて管理できます。

≫ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- HDDまたはUSBを押して、操作するメディアに切り換えておく
- SeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

## 【未分類】フォルダについて

録画時やダビング時などで、【フォルダ設定】を【設定しない】に設定すると、番組は【すべて】フォルダと【未分類】フォルダに入ります。

【未分類】フォルダに入った番組は、他のフォルダに移動すると【未分類】フォルダから削除されます。

そのため【未分類】フォルダは、各フォルダに入っていない番組の一覧としてお使いいただけます。

### 【未分類】フォルダの表示／非表示について

フォルダー一覧表示中に緑を押すと、【未分類】フォルダの表示／非表示が切り換わります。

## 【ジャンル】フォルダについて

録画時やダビング時、番組の情報に従って、自動的に番組が各ジャンルフォルダに分類されます。分類されるフォルダは以下になります。

| | |
|---|---|
| **未視聴：** | 未視聴の番組 |
| **映画：** | 映画、劇場／公演のジャンルの番組 |
| **ドラマ：** | ドラマのジャンルの番組 |
| **スポーツ：** | スポーツのジャンルの番組 |
| **音楽：** | 音楽のジャンルの番組 |
| **バラエティ：** | バラエティのジャンルの番組 |
| **ニュース：** | 情報／ワイドショー、ニュース／報道、ドキュメンタリー／教養のジャンルの番組 |
| **アニメ：** | アニメ／特撮のジャンルの番組 |
| **撮影ビデオ：** | AVCHDの番組 |
| **おまかせ自動録画：** | 録画リスト画面で★が表示されている番組<br>※ HDDと通常録画用USB-HDDのみ表示されます。 |

## フォルダを作る

番組を管理するためのフォルダを作ることができます。

**1** **録画リストを押す**

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニューを押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニューを押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで決定を押してください。
- 番組一覧が表示されたときは、赤を押してください。

**2** **サブメニューを押す**

**3** **▲·▼で【フォルダ作成】を選んで決定を押す**

- フォルダが作成されます。
- 作成が終わったら、終了を押してください。

お知らせ

- 最大99個まで作成できます。

## フォルダの名前を変更する

作成したフォルダの名前を変更できます。

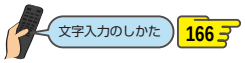
**1** 録画リスト を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニュー を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニュー を押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 番組一覧が表示されたときは、赤 を押してください。

**2** ▲·▼で変更するフォルダを選んで サブメニュー を押す

**3** ▲·▼で【フォルダ名変更】を選んで 決定 を押す

**4** フォルダ名を入力して、決定 を押す




- 変更が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの名前は変更できません。
- 録画予約やおまかせ自動録画の録画先に指定しているフォルダは、予約録画の2分前になるとフォルダ名を変更できません。

## 番組を他のフォルダに追加する

**1** 録画リスト を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニュー を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニュー を押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で追加したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

**2** サブメニュー を押す

**3** ▲·▼で【編集／管理】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼で【保存フォルダ変更】を選んで 決定 を押す

- 変更先のフォルダー一覧が表示されます。

**5** ▲·▼で変更先のフォルダを選んで 決定 を押す

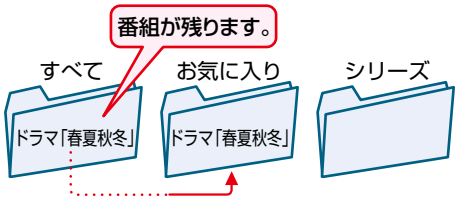
**6** ▲·▼でフォルダを変更したい番組を選んで 決定 を押す

**7** ▲·▼·◀·▶で【決定】を選んで 決定 を押す

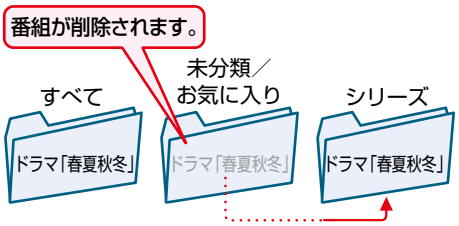
- 追加が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 【ジャンル】フォルダの番組は他のフォルダに追加できません。
- 【すべて】フォルダから、作成したフォルダに番組を追加しても【すべて】フォルダの番組は削除されません。




- 【未分類】フォルダや作成したフォルダから、他の作成したフォルダに番組を移動すると、元のフォルダから番組が削除されます。



# 番組をフォルダで管理する・つづき

## フォルダの順番を変更する

**1** 録画リスト を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニュー を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニュー を押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 番組一覧が表示されたときは、赤 を押してください。

**2** サブメニュー を押す

**3** ▲·▼で【フォルダ表示順変更】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼で順番を変更するフォルダを選んで 決定 を押す

**5** ▲·▼で変更先を選んで 決定 を押す

- フォルダの順番が変更されます。
- 変更が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダの順番は変更できません。

## フォルダに入っている番組について

### 番組を編集すると

編集した番組を含むフォルダすべてに同じ編集が反映されます。反映される編集は以下になります。

- 【チャプター編集】
- 【番組分割】(HDDと通常録画用USB-HDDのみ)
- 【番組結合】(HDDと通常録画用USB-HDDのみ)
- 【番組名変更】
- 【番組保護】
- 【録画モード変換】(HDDと通常録画用USB-HDDのみ)

お知らせ

- 【番組結合】すると、結合される番組(あとから選んだ番組)はすべてのフォルダから削除されます。
- 【番組分割】すると、分割した番組が含まれる別のフォルダの番組も分割されます。

### プレイリストを作成すると

プレイリストを作成する番組が含まれているフォルダにプレイリストが作成されます。

### HDDやUSB-HDDの番組を全消去すると

スタートメニュー を押してから、【HDD／ディスクの管理】➡【HDDメニュー】または【HDD／ディスクの管理】➡【USB-HDDメニュー】➡【通常録画用】／【引越・バックアップ用】で【番組全消去】すると、すべての番組と【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダ以外のフォルダが削除されます。

【番組全消去(保護番組以外)】すると、保護されている番組とその番組を含むフォルダおよび【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダ以外の番組とフォルダが削除されます。

267

## フォルダを解体する

作成したフォルダを解体できます。

### 1 録画リスト を押す

- 本機前面に挿入しているSeeQVault対応SDカード内の番組を編集する場合は、スタートメニュー を押してから【録画リスト】➡【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードの場合は、スタートメニュー を押してから、【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】➡【録画番組】を選んで 決定 を押してください。
- 番組一覧が表示されたときは、赤 を押してください。

### 2 ▲·▼でフォルダを選んで 停止 を押す

- サブメニュー を押して【フォルダ削除】を選んでも表示できます。

### 3 ▲·▼で【フォルダ解体】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 解体が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダは解体できません。
- 解体したフォルダとフォルダ内の番組はすべて削除されます。(【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダ内の番組は削除されません。)

# 文字入力のしかた

- リモコンの青を押すたびに、文字種類の切り換えができます。
- 緑を押すと、【全角かな】で入力中の文字や漢字に変換中の文字を確定します。
  それ以外のときは、すべての文字を確定させて、文字入力を終了します。
- «を押すとカーソルが１文字左へ、»を押すとカーソルが１文字右へ移動します。
  確定状態でカーソルが最後尾にあるときに»を押すと、半角スペースが入ります。
- 文字を入力していないときに≪を押すと入力の先頭へ、≫を押すと入力の最後尾へカーソルが移動します。
- ▲・▼で文字入力部にハイライトを移動した状態で、◀を押すとカーソルが１文字左へ、▶を押すとカーソルが１文字右へ移動し、決定を押すと入力が確定します。
- 文字入力につかうボタンと入力できる文字の種類は以下になります。
  また、▲・▼・◀・▶と決定でも以下の文字を入力することができます。

| ボタン | 文字の種類 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 全角かな | 全角カナ | 半角カナ | 英字／記号 | 数字 |
| 1 | あいうえおぁぃぅぇぉ | アイウエオァィゥェォ | ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ | | 1 |
| 2 | かきくけこ | カキクケコ | ｶｷｸｹｺ | abc／ABC | 2 |
| 3 | さしすせそ | サシスセソ | ｻｼｽｾｿ | def／DEF | 3 |
| 4 | たちつてとっ | タチツテトッ | ﾀﾁﾂﾃﾄｯ | ghi／GHI | 4 |
| 5 | なにぬねの | ナニヌネノ | ﾅﾆﾇﾈﾉ | jkl／JKL | 5 |
| 6 | はひふへほ | ハヒフヘホ | ﾊﾋﾌﾍﾎ | mno／MNO | 6 |
| 7 | まみむめも | マミムメモ | ﾏﾐﾑﾒﾓ | pqrs／PQRS | 7 |
| 8 | やゆよゃゅょ | ヤユヨャュョ | ﾔﾕﾖｬｭｮ | tuv／TUV | 8 |
| 9 | らりるれろ | ラリルレロ | ﾗﾘﾙﾚﾛ | wxyz／WXYZ | 9 |
| 10/0 | 濁音／半濁音※1 全角記号※2 | 濁音／半濁音※1 | 濁音／半濁音※1 | 半角記号※3 | 0 |
| 11 | わをんゎー、。全角スペース | ワヲンヮー、。全角スペース | ﾜｦﾝｰ、。半角スペース | 半角スペース | 半角スペース |
| 12 | 番組記号※4 | | | 小文字／大文字 | |
| 青（分割） | 全角カナに切り換え | 半角カナに切り換え | 英字／記号に切り換え | 数字に切り換え | 全角かなに切り換え |
| ≪ | 漢字に変換<br>前候補を表示（漢字変換中） | | | 全角／半角 | 全角／半角 |
| ≫ | 次候補を表示（漢字変換中） | | | 全角／半角 | 全角／半角 |
| 黄 | 削除※5<br>変換取り消し（漢字変換中） | 削除※5 | 削除※5 | 削除※5 | 削除※5 |

※1　押すたびに、濁音（゛）、半濁音（゜）が切り換わります。
（例）か ➡ が ➡ か ➡ ・・・、は ➡ ば ➡ ぱ ➡ は ➡ ・・・

※2　押すたびに、以下の順で切り換わります。（文字を入力していない場合のみ）
・ . @ − _ ／ : ！ ゛ # $ % & ‘ ( ) ＊ + 、 ; ＜ ＝ ＞ ？ [ ¥ ] ＾ ｛ | ｝ ～ , 。【】「」●○◎■□◆◇▲△▼▽★☆≧≦↑↓⇒⇔→←♂♀℃※

※3　押すたびに、以下の順で切り換わります。
. @ - _ ／ : ! " # $ % & ' ( ) * + , ; ＜ ＝ ＞ ? [ ¥ ] ^ ` { | } ~

※4　押すたびに以下の順で切り換わります。
新 終 再 生 双 デ 字 手 S SS B 二 多 解 無 映

※5　黄を数秒間長押しすると、入力した文字をすべて削除します。

### 漢字に変換するときは

(例)リモコンの数字ボタンで「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

❶ 2 を１回押す




❷ 8 を３回押す




❸ 1 を３回押す




❹ ・を押して、漢字に変換する




(例) ▲・▼・◀・▶と決定で「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

❶ ▲・▼・◀・▶で【2 か】を選んで決定を１回押す




❷ ▲・▼・◀・▶で【8 や】を選んで決定を３回押す




❸ ▲・▼・◀・▶で【1 あ】を選んで決定を３回押す




❹ ・を押して、漢字に変換する




- 入力する漢字が表示されるまで、繰り返してください。
- 緑 を押すと、漢字の変換が確定します。

### 次の文字が同じボタン上にあるときは

» を押すと、カーソルが１文字右へ移動します。

そのあと、同じボタンを押して入力を続けてください。

- 数字の場合(同じ番号を続けて入力する場合)は、この操作は不要です。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第１水準、JIS第２水準のみです。
- 全角文字／半角カナで最大40文字(半角は最大80文字)まで入力できます。
- 未確定文字は最大９文字まで入力できます。
- 表示される画面によっては、すべての文字が表示されないことがあります。

# HDD／USB-HDDの空き容量を増やす（録画モード変換）

HDD　通常録画用USB-HDD

録画モード【DR】で録画した番組の画質を録画モード【AVC】に変換できます。録画モード【AVC】で録画した番組は、より低画質の録画モードに変換できます。録画モードを変換すると画質が下がりますが、HDDなどの空き容量を増やすことができます。

● 録画モードについて詳しくは、100をご覧ください。

**≫ 準備**

- **USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDをつないでおく** 220
- **HDD または USB を押して、操作するメディアに切り換えておく**

**1** **録画リスト を押す**

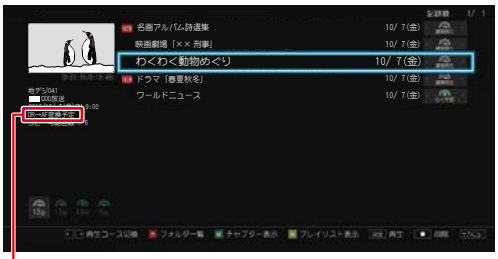
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

**2** **サブメニュー を押す**

**3** **▲·▼で【録画モード変換】を選んで 決定 を押す**

**4** **希望の録画モードを選んで 決定 を押す**

**5** **▲·▼で番組を選んで 決定 を押して、変換したい番組をすべて選び終えたら、▶で【決定】を選んで 決定 を押す**




変換する録画モードが表示されます。

- 設定が終わったら、終了 を押してください。
- 電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。（録画モード変換中は、電源ランプが点灯（橙）します。）
- 録画モードの変換には、番組の再生時間と同じ時間がかかります。

## 録画モード変換を解除するには

❶ **録画リスト を押す**

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

❷ **サブメニュー を押す**

❸ **▲·▼で【録画モード変換】を選んで 決定 を押す**

❹ **▲·▼で【変換を取り消す】を選んで 決定 を押す**

❺ **▲·▼で番組を選んで 決定 を押して、解除したい番組をすべて選び終えたら、▶で【決定】を選んで 決定 を押す**

## 録画モードの変換が終了しているか確認するには

録画リスト画面で番組を選んで「○○→○○変換予定」が希望の録画モードに変更されていれば、録画モード変換は完了しています。

ご注意

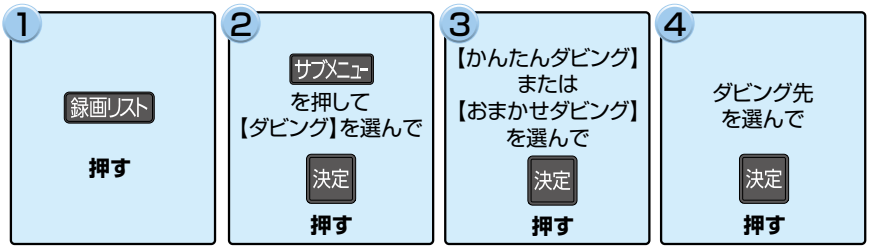
- HDDやUSB-HDDの空き容量が少ないと、録画モードを変換できないことがあります。HDDやUSB-HDDの空き容量が少ないときは不要な番組を削除するなどして容量を増やしてください。150
- 以下の番組は録画モードを変換できません。
  - 保護された番組
  - 録画中の番組
  - プレイリストに使用している部分を含む番組
  - 録画モードが標準画質または録画モード不明の番組
- 録画モード変換中に電源を「入」に設定すると、変換が中止されます。もう一度電源を「切」に設定すると、変換が始まります。
- 以下の場合は、本機の電源を「切」にしていても録画モードは変換されません。
  - 予約録画の開始時刻4分前から、録画終了まで
  - ダビング中
  - 【瞬速起動】の設定時間中
  - デジタル放送電波からソフトウェアのダウンロードを開始する5分前
  - 通常録画用USB-HDDが接続されていない（USB-HDDの録画モードを変換するとき）
- 録画モードを変換すると、変換する前と比べて画質が悪くなります。
- スマホ持ち出し番組に変換済みのダビング10番組の10回目のダビング（移動）となる番組または1回だけ録画可能（コピーワンス）番組を【録画モード変換】すると、【スマホ持ち出し番組】画面からスマホ持ち出し番組は削除され、もう一度スマホ持ち出し用変換を行う必要があります。
- DVD持ち出し（VR）番組を作成済みの1回だけ録画可能（コピーワンス）番組を【録画モード変換】すると、【DVD持ち出し（VR）番組】画面からDVD持ち出し（VR）番組は削除されます。

# ダビングする

本章では、便利なダビング機能について説明しています。

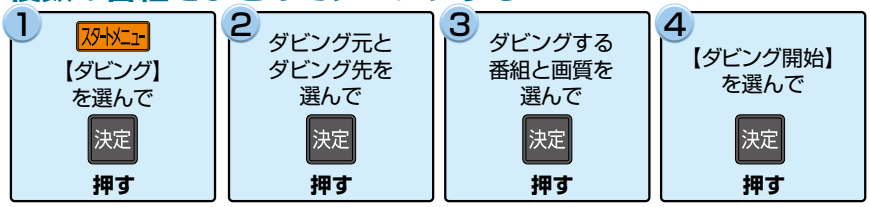
目的別ダビングガイド.....170

## 番組を１つだけダビングする（かんたんダビング・おまかせダビング）




詳しくは...172

## 複数の番組をまとめてダビングする



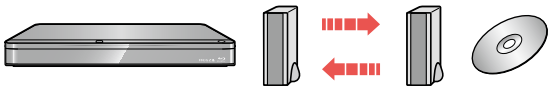

詳しくは...174

複数の番組をまとめてディスクにダビングする..... 177
VRフォーマットのDVDへ高速ダビングする ..... 179
ダビングについての補足説明 ..... 181

# 目的別ダビングガイド

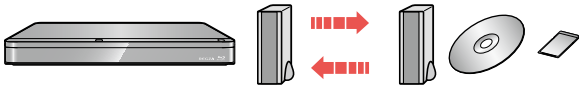
## 本機とディスク間で番組を１つだけダビングしたい

172



## 本機とUSB-HDDやディスク、SeeQVault対応SDカード間で複数の番組をダビングしたい

174
177



※ SeeQVault対応SDカードへのダビングは、スマホ持ち出し番組のみ対応です。
※ SDカードからのダビング先はHDDのみです。

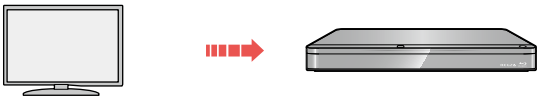
## VRフォーマットのDVDへ高速ダビングしたい

179



## 東芝テレビで録画した番組を本機にダビングしたい

192



## 本機で録画した番組を東芝レグザサーバー（またはレコーダー）などにダビングしたい

193



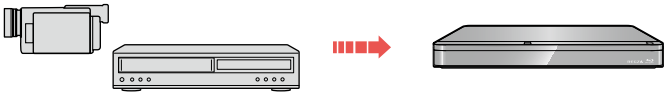
## AVCHD方式の映像を本機にダビングしたい

194



## ビデオデッキやビデオカメラの映像を本機にダビングしたい

195



## 本機に録画した全番組をSeeQVault対応USB-HDDに引っ越し・バックアップしたい

199



## 本機のスマホ持ち出し番組をSeeQVault対応SDカードにダビングしたい

200



※ SeeQVault対応SDカードへのダビングは、スマホ持ち出し番組のみ対応です。

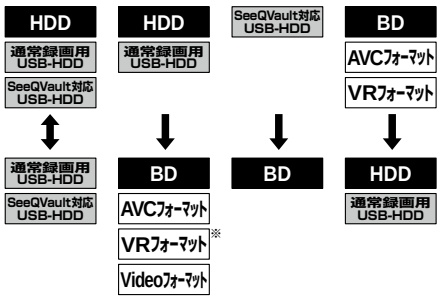
ご注意

- 市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクやレンタルディスクのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされており、ダビングできません。
- ファイナライズされたDVD-RW（Video）やDVD-R（Video）をHDDへダビングするときは、DVDプレーヤーなどを使ってダビングしてください。195
- DVD-RW（AVCHD）／DVD-R（AVCHD）の場合は、録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけがダビング可能です。
- 10回目のダビング（移動）となるダビング10番組または1回だけ録画可能（コピーワンス）番組を、ダビングまたは引っ越し・バックアップするとHDD内の録画リストからは削除されます。また、これらの番組で作成されたプレイリストやスマホ持ち出し番組、DVD持ち出し（VR）番組に変換済みの番組も、プレイリストやスマホ持ち出し番組用の録画リストやDVD持ち出し（VR）番組用の録画リストから削除されます。

# 番組を1つだけダビングする(かんたんダビング・おまかせダビング)

HDD　通常録画用USB-HDD　SeeQVault対応USB-HDD　BD　AVCフォーマット　VRフォーマット　Videoフォーマット

【かんたんダビング】では、番組を1つだけ選んで、かんたんにダビングできます。【おまかせダビング】では、番組を1つだけ選んで、らく見で再生する部分のみをダビングできます。




※ DVD-RAMにはダビングできません。

### ≫ 準備

- HDDとUSB-HDD間でダビングするときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを接続・設定しておく 219
- ディスクからHDDや通常録画用USB-HDDへダビングするときは、ディスクを入れて DISC を押しておく 57
- HDDからディスクへダビングするときは、記録用のディスクを入れて、HDD を押しておく 57
- USB-HDDからディスクへダビングするときは、記録用のディスクを入れて USB を押しておく 57
- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを2台以上接続しているときは、USB を押すと、接続されているUSB-HDDが一覧で表示されるので、▲·▼で切り換えたいUSB-HDDを選んで 決定 を押す

## 1 録画リスト を押す

- フォルダー一覧が表示されているときは、▲·▼で編集する番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

**番組を【かんたんダビング】または【おまかせダビング】するときは**

❶ ▲·▼でダビングしたい番組を選んで サブメニュー を押す

**チャプターを【かんたんダビング】するときは**

❶ ▲·▼でダビングしたいチャプターを含む番組を選んで 緑 を押す

❷ ▲·▼でダビングしたいチャプターを選んで サブメニュー を押す

- チャプターを【おまかせダビング】はできません。

**プレイリストを【かんたんダビング】または【おまかせダビング】するときは**

❶ 黄 を押す

❷ ▲·▼でダビングしたいプレイリストを選んで サブメニュー を押す

## 2 ▲·▼で【ダビング】を選んで 決定 を押す

## 3 ▲·▼で【かんたんダビング】または【おまかせダビング】を選んで 決定 を押す

## 4 ▲·▼でダビング先を選んで 決定 を押す

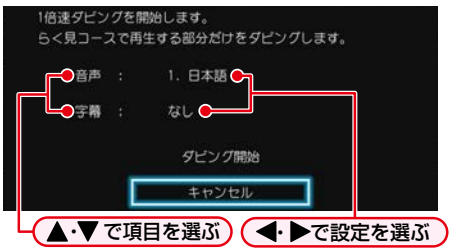
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- ダビング先が初期化の必要なディスクの場合は、確認画面が表示されるので【はい】を選んで 決定 を押してください。ディスクの初期化について詳しくは、「ディスクを初期化する」 262 をご覧ください。
  初期化完了後にダビング画面に戻ります。
- ダビング元がHDDまたは通常録画用USB-HDDの場合のみ、ダビング先に【スマホ持ち出し用変換】または【SeeQVault対応SDカード転送】を選択できます。【スマホ持ち出し用変換】を選ぶと、スマホ持ち出し用変換ができます。【SeeQVault対応SDカード転送】を選ぶとスマホ持ち出し用変換を行い、電源「切」時にSeeQVault対応SDカードにダビングします。
- スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組に変換済みのダビング10番組の10回目のダビング(移動)となる番組または1回だけ録画可能(コピーワンス)番組の持ち出しやVRフォーマットのDVDへの高速ダビングをやめて【かんたんダビング】または【おまかせダビング】を開始した時点で、録画リストやプレイリスト、スマホ持ち出し番組用の録画リストやDVD持ち出し(VR)番組用の録画リストには表示されなくなります。
  ただし、【かんたんダビング】または【おまかせダビング】中にダビングをキャンセルすると、それぞれの画面に再び表示されるようになります。
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

### マルチ番組の音声・字幕をダビングするときは

ダビング先メディアなどによっては、ダビングできる音声・字幕が1つになります。 280
その場合は、手順 *4* のあとにダビングする音声·字幕を選んでください。

❶ ▲·▼で変更する項目を選ぶ

❷ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ




❸ 設定し終えたら、▲·▼で【ダビング開始】を選んで 決定 を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

### 実行中のダビングを中止するときは

**停止 を押すと確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押す**

詳しくは、「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」190をご覧ください。

### DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

お知らせ

- スタートメニュー画面の【時短で見る】からもダビングを行うことができます。詳しくは、92をご覧ください。

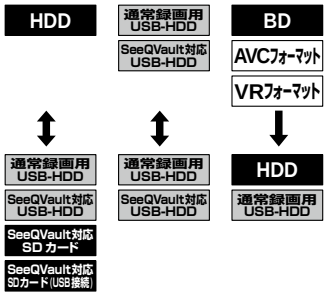
ご注意

- 【かんたんダビング】、【おまかせダビング】では、一度に１つの番組しかダビングできません。
- 保護された番組はダビング(移動)できません。保護を解除するには、161をご覧ください。
- ダビング先がHDD、USB-HDDの場合は、再生時間が１５時間を超える番組は、ダビングできません。
  ダビング先がディスクの場合は、再生時間が８時間以上の番組は、ダビングできません。
- 以下の場合は、ダビングできません。
  - ディスクに録画中
  - タイムシフトマシン録画番組の保存中
  - ダビング先メディアの番組数やチャプター数が最大数を超える場合
- BD／AVCフォーマット／VRフォーマットでは【おまかせダビング】はできません。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】５～７の３つをすべてAVC画質でタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、録画モード【XP】～【EP】では等速ダビングできません。

# 複数の番組をまとめてダビングする

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)　BD　AVCフォーマット　VRフォーマット

ダビングしたい番組を選んで、一括でダビングできます。




※ スマホ持ち出し番組は、HDD ⇔ SeeQVault対応SDカード／SeeQVault対応SDカード(USB接続)の機器間でのみダビングできます。

### ≫ 準備

- USB-HDDをつかう場合は、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを接続しておく 220
- ディスクをつかう場合は、ディスクを入れておく 57
- SeeQVault対応SDカードをつかう場合は、本機前面のSDカードスロットにSDカードを挿入しておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードをつかう場合は、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224 、226

## 1 スタートメニュー を押す

- 録画リスト を押して録画リスト画面を表示し、番組一覧表示中に サブメニュー を押してから【ダビング】➡【詳細ダビング】を選んでも表示できます。手順 4 に進んでください。

## 2 ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで 決定 を押す

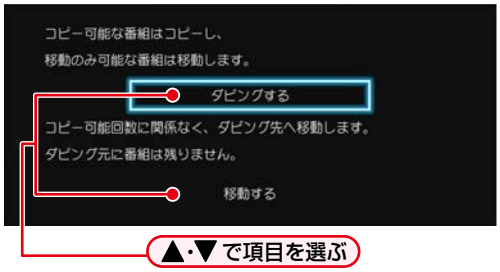
## 3 ▲·▼でダビング元を選んで 決定 を押す

- ディスクを挿入しているときに、画面表示 を押すとディスク情報を確認できます。

## 4 ▲·▼でダビング先を選んで 決定 を押す

### HDDと通常録画用USB-HDDの間でダビングするときは

続けて、ダビング方法を選ぶ



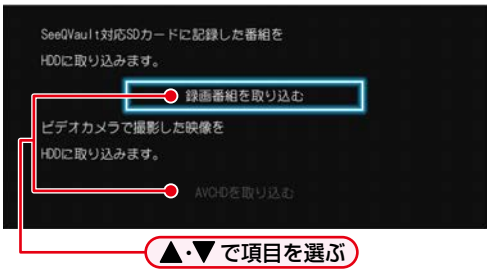

### HDDからSeeQVault対応SDカードへダビングするときは

ダビング元：【HDD】、ダビング先：【SDカード】、【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】を選択する 201

- SeeQVault対応SDカードへのダビングは、スマホ持ち出し番組のみダビング可能です。

### SeeQVault対応SDカードからHDDへダビングするときは

ダビング元：【SDカード】、【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】、ダビング先：【HDD】を選択し、続けてダビング方法を選ぶ




### ディスクからHDDまたは通常録画用USB-HDDへダビングするときは

ダビング元：【ディスク】、ダビング先：【HDD】【USB○】を選ぶ

- 番組をダビングするとダビング元に番組は残りません。

ご注意

- SeeQVault対応SDカードに記録してあるスマホ持ち出し用画質の番組をHDDにダビングしても、HDDの録画リストには表示されません。
  スタートメニュー ➡【録画リスト】➡【スマホ持ち出し番組】から確認してください。

## 5 ▲·▼でダビングする番組を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示された場合は▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。
- フォルダー覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押して番組一覧を表示してください。
- 決定 を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

### フォルダを選ぶときは

赤 を押して、フォルダ表示に切り換える

- ディスクはフォルダ表示できません。

### チャプターを選ぶときは

緑 を押して、チャプター表示に切り換える

- 引っ越し·バックアップ用に初期化したSeeQVault対応USB-HDD内の番組はチャプター表示できません。
- SDカードスロットに挿入したSeeQVault対応SDカードやUSB接続されたSeeQVault対応SDカード内の番組はチャプター表示できません。
- ディスク内の番組はチャプター表示できません。

### プレイリストを選ぶときは

黄 を押して、プレイリスト表示に切り換える

### 他の番組を続けて選ぶときは

**この手順を繰り返す**

- 最大36個まで選ぶことができます。
- 録画モードが【DR】と【AVC】の番組は同時に選ぶことができますが、DR／AVC、標準画質、SKP、録画モード不明な番組はそれぞれを同時に選ぶことができません。

### 番組の選択を解除したいときは

**解除したい番組を選んで 決定 を押す**

## 6 ダビングしたい番組を選び終えたら、▶を押す

## 7 ▲で【画質選択】を選んで 決定 を押す

- ダビングの組み合わせによっては、【画質選択】を選べない場合があります。その場合は、決定 を押して手順 *10* に進んでください。

## 8 ▲·▼でお好みの画質(録画モード)を選んで 決定 を押す

**そのまま(高速)：** ダビング元と同じ画質でダビングします。

**そのまま(高速)以外：** ダビング元から画質を変換してダビングします。

- 録画モードは、ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の画質などによって異なります。詳しくは、185 をご覧ください。
- 画質によって、ダビング速度が変わります。188

## 9 画質を選び終えたら、▶で【次へ】を選んで 決定 を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、176 をご覧ください。

## 10 ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す

## 11 ▲·▼で【ダビング開始】を選んで 決定 を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

## 実行中のダビングを中止する

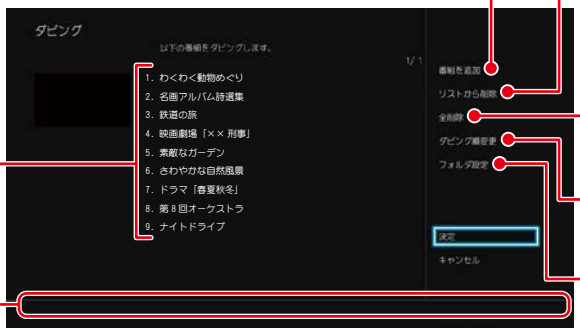
❶ ダビング中に 停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。

詳しくは、「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」190 もご覧ください。

# 複数の番組をまとめてダビングする・つづき

## ダビングリストの見かた




番組選択画面に戻り、番組やチャプター、プレイリストを追加します。

ダビングする番組が表示されます。
（ダビングリストの上から順にダビングされます。）

操作ガイド
（ダビングリストのページ数が複数あるときだけ表示されます。）

ダビングリストから番組やチャプター、プレイリストを選んで削除します。

ダビングリストから番組やチャプター、プレイリストをすべて削除します。

ダビングリストの順番を変更します。

ダビング先のフォルダを指定します。

## ダビングリストに番組を追加する

❶ ▲·▼で【番組を追加】を選んで 決定 を押す
❷ ▲·▼で追加したい番組を選んで 決定 を押す
❸ ▲·▼·◀·▶で【次へ】を選んで 決定 を押す

## ダビングリストから番組を削除する

❶ ▲·▼で【リストから削除】を選んで 決定 を押す
❷ ▲·▼で削除したい番組を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。

## ダビングリストの番組をすべて削除する

❶ ▲·▼で【全削除】を選んで 決定 を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。

## ダビングの順番を変更する

❶ ▲·▼で【ダビング順変更】を選んで 決定 を押す
❷ ▲·▼で変更したい番組を選んで 決定 を押す
❸ ▲·▼で変更したい位置へ移動し、 決定 を押す

## フォルダを指定する

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　SeeQVault対応 SD カード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

❶ ▲·▼で【フォルダ設定】を選んで 決定 を押す
❷ ▲·▼でダビング先に指定するフォルダを選んで 決定 を押す

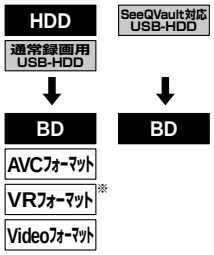
お知らせ

- 以下の場合は、ダビングできません。
  - ディスクに録画中
  - ダビング先のメディアの番組数、チャプター数がいっぱいになっている
  - ダビング先のメディアの残量が足りない
  - ダビング先のメディアが保護されている
  - ネットdeレック機能での録画開始時刻とダビングが重なる
  - ネットdeレック中
  - 録画中の番組
- 短いチャプターや、短いチャプターを含むプレイリストはダビングできない場合があります。
- 通常録画中は高速ダビングになります。等速ダビングはできません。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】５～７の３つをすべてAVC画質でタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、録画モード【XP】～【EP】では等速ダビングできません。

# 複数の番組をまとめてディスクにダビングする

HDD　通常録画用 USB-HDD　SeeQVault対応 USB-HDD　BD　AVCフォーマット　VRフォーマット　Videoフォーマット

ダビングしたい番組を選んで、一括でダビングできます。




※ DVD-RAMにはダビングできません。

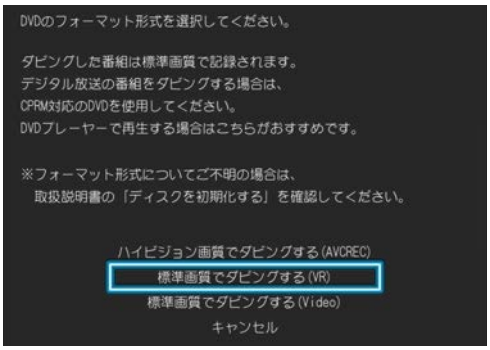
≫ 準備

- USB-HDDをつかう場合は、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを接続しておく 220
- ディスクをつかう場合は、ディスクを入れておく 57

## 1 ダビング先に設定したいディスクを入れる

### 初期化が必要なディスクをダビング先に設定する場合

❶ ディスク挿入後、初期化確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押す
- ディスクがDVDの場合は、フォーマット選択画面が表示されるので、▲·▼でお好みのフォーマットを選んで 決定 を押します。




❷ 初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押す
- 初期化が開始されます。
- 未使用ディスクの場合は、初期化再確認画面が表示されずにそのまま初期化が開始されます。❸に進んでください。

❸ ダビング実行確認画面が表示されるので、▲·▼で【今すぐダビングする】を選んで 決定 を押す
- 手順 2 に進んでください。

### 使用済みディスクを再度初期化してからダビング先に設定する場合

❶ ディスク挿入後、スタートメニュー ➡【HDD／ディスクの管理】➡【BD／DVDメニュー】➡【初期化】を選び、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押す
- ディスクがDVDの場合は、フォーマット選択画面が表示されるので、▲·▼でお好みのフォーマットを選んで 決定 を押す。

❷ 初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押す
- 初期化が開始されます。

❸ ダビング実行確認画面が表示されるので、▲·▼で【今すぐダビングする】を選んで 決定 を押す
- 手順 2 に進んでください。

### すでにダビング済みのディスクまたは初期化済みのディスクの場合

❶ スタートメニュー を押す

❷ ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで 決定 を押す
- ダビング元の録画リストを表示し、番組一覧表示中に サブメニュー を押してから【ダビング】➡【詳細ダビング】を選んでも表示できます。手順 3 に進んでください。

## 2 ▲·▼でダビング元を選んで 決定 を押す
- ディスクを挿入しているときに、画面表示 を押すとディスク情報を確認できます。

## 3 ▲·▼でダビング先として【ディスク】を選んで 決定 を押す



次ページへつづく

# 複数の番組をまとめてディスクにダビングする・つづき

## 4 ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す

- フォルダー一覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで決定を押して番組一覧を表示してください。
- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。
- 確認画面が表示された場合は ▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。

### フォルダを選ぶときは

赤を押して、フォルダ表示に切り換える

### チャプターを選ぶときは

緑を押して、チャプター表示に切り換える

- 引っ越し·バックアップ用に初期化したSeeQVault対応USB-HDD内の番組はチャプター表示できません。

### プレイリストを選ぶときは

黄を押して、プレイリスト表示に切り換える

### 他の番組を続けて選ぶときは

**この手順を繰り返す**

- 最大36 個まで選ぶことができます。
- 録画モードが【DR】と【AVC】の番組は同時に選ぶことができますが、DR／AVC、標準画質、SKP、録画モード不明な番組はそれぞれを同時に選ぶことができません。

### 番組の選択を解除したいときは

解除したい番組を選んで決定を押す

## 5 ダビングしたい番組を選び終えたら、▶を押す

## 6 ▲で【画質選択】を選んで決定を押す

- ダビングの組み合わせによっては、【画質選択】を選べない場合があります。その場合は、決定を押して手順 9 に進んでください。

## 7 ▲·▼でお好みの画質(録画モード)を選んで決定を押す

**そのまま(高速)：** ダビング元と同じ画質でダビングします。

**そのまま(高速)以外：** ダビング元から画質を変換してダビングします。

- 録画モードは、ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の画質などによって異なります。詳しくは、185をご覧ください。
- 画質によって、ダビング速度が変わります。188

### ぴったりダビング

ディスクへダビングする場合は、画質(録画モード)を【自動】に設定できます。

- 【自動】に設定すると、ディスクの容量に合わせて、画質が自動的に調節されます。

**ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC™方式)の場合**

録画モードをハイビジョン画質でダビングします。

**DVD(VR方式)またはDVD(Video方式)の場合**

録画モードを標準画質でダビングします。

## 8 画質を選び終えたら、▶で【次へ】を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、176をご覧ください。

## 9 ▲·▼で【決定】を選んで決定を押す

### ダビング先のディスクがBD-RまたはVRフォーマットのDVD、AVCREC™のときは

- ファイナライズ確認画面が表示されます。
  ディスクにダビングした番組をほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生したい場合は、【他のプレーヤーでも再生する】を選んでください。
  ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。
  引き続き本機で記録する場合は【ダビング後も本機で記録をする】を選んでください。

## 10 ▲·▼で【ダビング開始】を選んで決定を押す

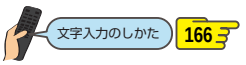
### DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)がダビング先のときは

ディスク名を変更できます。

❶ ▲·▼で【ディスク名変更】を選んで決定を押す

- ディスク名設定画面が表示されます。

❷ ディスク名を入力し、緑を押す




- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- ディスクの名前が設定されます。
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

### DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

# VRフォーマットのDVDへ高速ダビングする

HDD　VRフォーマット

あらかじめ作成しておいたDVD持ち出し(VR)番組をDVDに高速でダビングすることができます。
DVD持ち出し(VR)番組およびコピー制限番組について詳しくは、182をご覧ください。

HDD
↓
VRフォーマット※

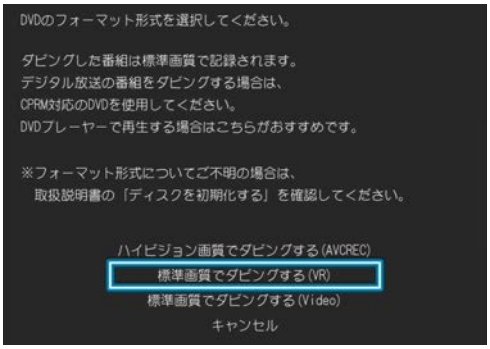
※ DVD-RAMにはダビングできません。

≫ 準備
- DVD持ち出し(VR)番組を作成しておく110
- DVDを入れておく57

## 1 DVDを入れる

### 初期化が必要なディスクをダビング先に設定する場合

❶ ディスク挿入後、初期化確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押す
- フォーマット選択画面が表示されるので、▲·▼で【標準画質でダビングする(VR)】を選んで決定を押す。




❷ 初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押す
- 初期化が開始されます。
- 未使用ディスクの場合は、初期化再確認画面が表示されずにそのまま初期化が開始されます。❸に進んでください。

❸ ダビング実行確認画面が表示されるので、▲·▼で【今すぐダビングする】を選んで決定を押す
- 手順 2 に進んでください。

### 使用済みディスクを再度初期化してからダビング先に設定する場合

❶ ディスク挿入後、スタートメニュー➡【HDD／ディスクの管理】➡【BD／DVDメニュー】➡【初期化】➡【VRフォーマット】を選び、▲·▼で【はい】を選んで決定を押す

❷ 初期化再確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押す
- 初期化が開始されます。

❸ ダビング実行確認画面が表示されるので、▲·▼で【今すぐダビングする】を選んで決定を押す
- 手順 2 に進んでください。

### すでにダビング済みのディスクまたは初期化済みのディスクの場合

❶ スタートメニューを押す

❷ ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで決定を押す

## 2 ▲·▼でダビング元として【HDD】を選んで決定を押す

## 3 ▲·▼でダビング先として【ディスク】を選んで決定を押す

## 4 ▲·▼で【DVD持ち出し(VR)番組から選ぶ】を選んで決定を押す

## 5 ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す
- 確認画面が表示された場合は▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

**番組の選択を解除したいときは**

解除したい番組を選んで決定を押す

お知らせ
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてAVC画質でタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、VRフォーマットのDVDへダビングできません。



次ページへつづく

# VRフォーマットのDVDへ高速ダビングする・つづき

**6** ダビングしたい番組を選び終えたら、▶を押して、【次へ】を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、176をご覧ください。
- 【画質選択(高速そのまま)】は変更できません。

**7** ▲・▼で【決定】を選んで決定を押す

- ファイナライズ確認画面が表示されます。ディスクにダビングした番組をほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生したい場合は、【他のプレーヤーでも再生する】を選んでください。ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。
  引き続き本機で記録する場合は【ダビング後も本機で記録をする】を選んでください。

**8** ▲・▼で【ダビング開始】を選んで決定を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

## DVD持ち出し(VR)番組を表示する

**1** スタートメニューを押してから【録画リスト】を選んで決定を押す

**2** 【DVD持ち出し(VR)番組】を選んで決定を押す

お知らせ

- DVD持ち出し(VR)番組は再生できません。
- DVD持ち出し(VR)番組を削除したい場合は、150をご覧ください。

# ダビングについての補足説明

## ダビング制限について

| ダビング制限 | HDD 通常録画用 USB-HDD ⇕ 通常録画用 USB-HDD | SeeQVault対応 USB-HDD ⇕ SeeQVault対応 USB-HDD | HDD 通常録画用 USB-HDD ⇩ SeeQVault対応 USB-HDD | SeeQVault対応 USB-HDD ⇩ HDD 通常録画用 USB-HDD | BD AVCフォーマット VRフォーマット ⇩ HDD 通常録画用 USB-HDD | HDD 通常録画用 USB-HDD ⇩ BD AVCフォーマット VRフォーマット |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 制限なしに録画可能 | ◎／○（選択可能） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 1回だけ録画可能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※2 | ○ |
| ダビング10（9回目まで） | ◎／○（選択可能） | | ◎ | | | ◎ |
| ダビング10（10回目） | ○ | | ○ | | | ○ |

| ダビング制限 | SeeQVault対応 USB-HDD ⇩ BD | HDD 通常録画用 USB-HDD ⇩ Videoフォーマット | HDD 通常録画用 USB-HDD ⇩ LAN | HDD 通常録画用 USB-HDD ⇩ スマホ持ち出し用変換※1 | HDD（スマホ持ち出し番組） ⇩ SeeQVault対応 SDカード SeeQVault対応 SDカード(USB接続) | SeeQVault対応 SDカード SeeQVault対応 SDカード(USB接続) ⇩ HDD |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 制限なしに録画可能 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 1回だけ録画可能 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ダビング10（9回目まで） | | × | ◎ | ◎ | | |
| ダビング10（10回目） | | × | ○ | ○ | | |

◎：「コピー」になる　　○：「移動」になる　　×：できない

※1 スマホ持ち出し用変換を行った番組は、スマホ持ち出し番組としてHDD（内蔵ハードディスク）内に作成されます。
※2 DVDディスクおよびファイナライズ済みのBD-R ディスクからのダビングはできません。

# ダビングについての補足説明・つづき

### 制限なしに録画可能番組について

- ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング元の番組はそのまま残ります。
- デジタル放送の場合は、一部の番組を除き、ほとんどの番組が１回だけ録画可能（コピーワンス）番組またはダビング１０（コピー９回＋移動１回）番組となります。

### デジタル放送の１回だけ録画可能（コピーワンス）番組について

- ダビングする場合は「移動」となり、ダビング元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。また、スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し（VR）番組に変換済みの場合は、スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し（VR）番組もスマホ持ち出し番組用の録画リストやDVD持ち出し（VR）番組用の録画リストから削除されます。

### デジタル放送のダビング１０番組について

- ダビングする場合は、９回目までは「コピー」となり、ダビング元の番組はそのまま残ります。
- １０回目は「移動」となり、ダビング元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。また、スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し（VR）番組に変換済みの場合は、スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し（VR）番組もスマホ持ち出し番組用の録画リストやDVD持ち出し（VR）番組用の録画リストから削除されます。
- HDD⇔通常録画用USB-HDD間のダビングにおいて、９回目まではダビング時にコピーもしくは移動が選択可能です。
- ダビングまたは引っ越し・バックアップすると、ダビング先または引っ越し・バックアップ先の番組は１回だけ録画可能（コピーワンス）番組となります。

お知らせ

- 外部入力（L1）からHDDに録画したコピー制限のある番組をDVDにダビングする場合は、CPRM対応のDVD-RW（VR）／DVD-R（VR）を使用してください。

## DVD持ち出し（VR）番組について

- DVD持ち出し（VR）番組とは、VRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組のことをいいます。
- 本機では、録画予約するときに設定することでDVD持ち出し（VR）番組を作成できます。
- 作成したDVD持ち出し（VR）番組を確認するには、「スマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し（VR）番組の録画リストを表示する」134をご覧ください。

### コピー制限番組について

- DVD持ち出し（VR）番組に変換すると、ダビング１０番組は、コピー可能回数が１回減ります。
- １０回目のダビング（移動）となるダビング１０番組または１回だけ録画可能（コピーワンス）番組は、DVD持ち出し（VR）用に変換した番組をディスクにダビングすると、ダビング元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。
- １０回目のダビング（移動）となるダビング１０番組または１回だけ録画可能（コピーワンス）番組でDVD持ち出し（VR）番組を作成していた場合に、ダビング元の番組を編集すると作成されたDVD持ち出し（VR）番組がDVD持ち出し（VR）番組用の録画リストから削除されます。

ご注意

- 複数の映像がある番組は、放送局が指定した映像のみ記録されます。
- DVD持ち出し（VR）作成をする録画予約をした場合は、録画される番組は録画モードで設定した画質になります。DVD持ち出し（VR）番組は、【DVD持ち出し（VR）用画質】252で設定されている画質になります。

# 画質(録画モード)とダビング速度について

## 【かんたんダビング】や【おまかせダビング】の場合

【かんたんダビング】や【おまかせダビング】では、画質(録画モード)を選ぶことはできません。

- ダビング先メディアの容量が少ないと、ダビング元と同じ画質(録画モード)でダビングできません。その場合は、画質を自動調整します。

| ダビング元 | | ダビング先 | | |
|---|---|---|---|---|
| メディア | 録画モード | メディア／スマホ持ち出し用変換／SeeQVault対応SDカード転送 | 録画モード | ダビング速度 |
| HDD | DR | 通常録画用 USB-HDD / BD | そのまま(ダビング元の録画モード) | 高速 |
| | | | AF～AEの間で自動調整。 | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | そのまま(ダビング元の録画モード) | 高速 |
| | | AVCフォーマット | AF～AEの間で自動調整。 | 等速 |
| | | VRフォーマット / Videoフォーマット | XP～EPの間で自動調整。 | 等速 |
| | | スマホ持ち出し用変換／SeeQVault対応SDカード転送 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | AF～AE | 通常録画用 USB-HDD / BD / AVCフォーマット | そのまま(ダビング元の録画モード) | 高速 |
| | | | AF～AEの間で自動調整。 | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | そのまま(ダビング元の録画モード) | 高速 |
| | | VRフォーマット / Videoフォーマット | XP～EPの間で自動調整。 | 等速 |
| | | スマホ持ち出し用変換／SeeQVault対応SDカード転送 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | XP～EP | 通常録画用 USB-HDD / BD | そのまま(ダビング元の録画モード) | 高速 |
| | | | XP～EPの間。 | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | そのまま(ダビング元の録画モード) | 高速 |
| | | VRフォーマット / Videoフォーマット | そのまま(ダビング元の録画モード) | 等速 |
| | | | XP～EPの間で自動調整。 | 等速 |



次ページへつづく

# ダビングについての補足説明・つづき

| ダビング元 メディア | ダビング元 録画モード | ダビング先 メディア／スマホ持ち出し用変換／SeeQVault対応SDカード転送 | ダビング先 録画モード | ダビング速度 |
|---|---|---|---|---|
| 通常録画用 USB-HDD | DR | HDD / 通常録画用 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | BD | AF～AEの間で自動調整。 | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | AVCフォーマット | AF～AEの間で自動調整。 | 等速 |
| | | VRフォーマット / Videoフォーマット | XP～EPの間で自動調整。 | 等速 |
| | | スマホ持ち出し用変換／SeeQVault対応SDカード転送 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | AF～AE | HDD / 通常録画用 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | BD / AVCフォーマット | AF～AEの間で自動調整。 | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | VRフォーマット / Videoフォーマット | XP～EPの間で自動調整。 | 等速 |
| | | スマホ持ち出し用変換／SeeQVault対応SDカード転送 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | XP～EP | HDD / 通常録画用 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | BD | XP～EPの間で自動調整。 | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | VRフォーマット / Videoフォーマット | そのまま（ダビング元の録画モード） | 等速 |
| | | | XP～EPの間で自動調整。 | 等速 |
| SeeQVault対応 USB-HDD | DR | HDD / 通常録画用 USB-HDD / SeeQVault対応 USB-HDD / BD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | AF～AE | HDD / 通常録画用 USB-HDD / SeeQVault対応 USB-HDD / BD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | XP～EP | HDD / 通常録画用 USB-HDD / SeeQVault対応 USB-HDD / BD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| BD | DR | HDD / 通常録画用 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | | AF～AE、XP～EPの間。 | 等速 |
| | AF～AE | HDD / 通常録画用 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | | AF～AE、XP～EPの間。 | 等速 |
| | XP～EP | HDD / 通常録画用 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | | XP～EPの間。 | 等速 |
| AVCフォーマット | AF～AE | HDD / 通常録画用 USB-HDD | そのまま（ダビング元の録画モード） | 高速 |
| | | | AF～AE、XP～EPの間。 | 等速 |
| VRフォーマット | XP～EP | HDD / 通常録画用 USB-HDD | XP～EPの間。 | 等速 |
| Videoフォーマット | XP～EP | ダビングできません。 | | |

**ご注意**

- SeeQVault対応SDカードでは【かんたんダビング】や【おまかせダビング】はできません。
- BD／AVCフォーマット／VRフォーマットでは【おまかせダビング】はできません。

## ダビングリストからダビングする場合

ダビングするときの画質(録画モード)によってダビング速度が変わります。

| ダビング元 | | ダビング先 | | |
|---|---|---|---|---|
| メディア | 録画モード | メディア／スマホ持ち出し用変換／LAN | 録画モード | ダビング速度 |
| HDD | DR | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | 高速 | 高速 |
| | | | 自動、AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | AVCフォーマット | 自動、AF～AE | 等速 |
| | | VRフォーマット Videoフォーマット | 自動、XP～EP | 等速 |
| | | LAN※1 | 高速 | 高速 |
| | | スマホ持ち出し用変換 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | AF～AE | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | 高速 | 高速 |
| | | | 自動、AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | AVCフォーマット | 高速 | 高速 |
| | | | 自動、AF～AE | 等速 |
| | | VRフォーマット Videoフォーマット | 自動、XP～EP | 等速 |
| | | LAN※1 | 高速 | 高速 |
| | | スマホ持ち出し用変換 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | XP～EP | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | XP～EP | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | 高速 | 高速 |
| | | | XP～EP | 等速 |
| | | VRフォーマット Videoフォーマット | 自動、XP～EP | 等速 |
| | スマホ持ち出し用画質 | SeeQVault対応 SDカード(USB接続)※2 SeeQVault対応 SDカード※2 | 高速 | 高速 |
| | DVD持ち出し(VR)用画質 | VRフォーマット | 高速 | 高速 |

※1 ネットワークの環境により通信速度が遅い場合や、本機の通信状態、本機とダビング先の通信状態によっては、ダビングに番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)がかかる場合があります。

※2 本機では、SeeQVault対応SDカードへDR、AF～AE、XP～EPの番組を記録できません。



次ページへつづく

# ダビングについての補足説明・つづき

| ダビング元 | | ダビング先 | | |
|---|---|---|---|---|
| メディア | 録画モード | メディア／スマホ持ち出し用変換／LAN | 録画モード | ダビング速度 |
| 通常録画用 USB-HDD | DR | HDD 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | 高速 | 高速 |
| | | | 自動、AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | AVCフォーマット | 自動、AF～AE | 等速 |
| | | VRフォーマット Videoフォーマット | 自動、XP～EP | 等速 |
| | | LAN※ | 高速 | 高速 |
| | | スマホ持ち出し用変換 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | AF～AE | HDD 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | 高速 | 高速 |
| | | | 自動、AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | | AVCフォーマット | 高速 | 高速 |
| | | | 自動、AF～AE | 等速 |
| | | VRフォーマット Videoフォーマット | 自動、XP～EP | 等速 |
| | | LAN※ | 高速 | 高速 |
| | | スマホ持ち出し用変換 | 12Mbps～0.6Mbps | 等速 |
| | XP～EP | HDD 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | XP～EP | 等速 |
| | | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | 高速 | 高速 |
| | | | XP～EP | 等速 |
| | | VRフォーマット Videoフォーマット | 自動、XP～EP | 等速 |

※ ネットワークの環境により通信速度が遅い場合や、本機の通信状態、本機とダビング先の通信状態によっては、ダビングに番組の記録時間と同じ時間（またはそれ以上の時間）がかかる場合があります。

| ダビング元 | | ダビング先 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| メディア | 録画モード | メディア／スマホ持ち出し用変換／LAN | | 録画モード | ダビング速度 |
| SeeQVault対応 USB-HDD | DR | HDD | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | AF～AE | HDD | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | XP～EP | HDD | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | BD | SeeQVault対応 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| SeeQVault対応 SDカード<br>SeeQVault対応 SDカード(USB接続) | DR | HDD | | 高速 | 高速 |
| | AF～AE | HDD | | 高速 | 高速 |
| | XP～EP | HDD | | 高速 | 高速 |
| | スマホ持ち出し用画質 | HDD | | 高速 | 高速 |
| BD | DR<br>AF～AE | HDD | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | | AF～AE、XP～EP | 等速 |
| | XP～EP | HDD | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | | XP～EP | 等速 |
| AVCフォーマット | AF～AE | HDD | 通常録画用 USB-HDD | 高速 | 高速 |
| | | | | AF～AE、XP～EP | 等速 |
| VRフォーマット | XP～EP | HDD | 通常録画用 USB-HDD | XP～EP | 等速 |
| Videoフォーマット | XP～EP | ダビングできません。 | | | |

お知らせ

- スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組をネットdeレック機能で録画をすると、番組に応じて録画モードが【SKP】または【AVC】になります。
- ディスクからHDDまたはUSB-HDDにダビングするときに、ダビング元番組の画質（録画モード）が不明な場合は高速ダビングできません。（等速ダビングが可能なダビングであれば、等速ダビングされます。）

ご注意

- SeeQVault対応SDカードに記録してあるスマホ持ち出し用画質の番組をHDDにダビングしても、HDDの録画リストには表示されません。スタートメニューを押して、【録画リスト】➡【スマホ持ち出し番組】から確認してください。

# ダビングについての補足説明・つづき

## ダビング速度について

### 【そのまま(高速)】（高速ダビング）

ダビング時に画質(録画モード)を【そのまま(高速)】に設定すると、高速でダビングできます。

- 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビング元番組の記録時間よりも短い時間でダビングできます。
- ダビング元と同じ画質(録画モード)でダビングします。
- 本機の動作音が、通常よりも大きくなります。

### 【そのまま(高速)】以外 （等速ダビング）

ダビング時に画質(録画モード)を【そのまま(高速)】以外に設定すると、等速ダビングになります。

- ダビング元番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)をかけてダビングします。
- 画質(録画モード)を変えてダビングできます。(ダビング元より高い画質を選んでも、画質は良くなりません。)

お知らせ

- ディスクの書き込み位置や特性などの条件により、所要時間や速度が変わります。

## 「コピー」と「移動」について

1回だけ録画可能(コピーワンス)番組やダビング10(コピー9回＋移動1回)番組をダビングすると、ダビング元の番組の状態が変わります。

**コピーの場合：** ダビング元の番組は残り、コピー回数が減ります。

**移動の場合：** ダビング元の番組は残りません。

### ダビングすると「移動」になる部分を含んでいる番組について

- 1回だけ録画可能(コピーワンス)部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「移動」になります。
- 1回だけ録画可能(コピーワンス)部分を含む番組を編集して1回だけ録画可能(コピーワンス)部分を削除してからダビングしても、「コピー」にはなりません。「移動」になります。

ご注意

- HDDやUSB-HDDは録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。たいせつな録画(録音)内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいる番組は、ダビングできません。
- ダビングの所要時間は、高速記録対応ディスクによって異なり、ディスク記載の倍速よりも遅い速度でダビングされる(ダビング時間がかかる)ことがあります。
- HDD(またはUSB-HDD)→DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)へダビングすると、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。複数の番組をダビングするときは、ダビングリストからダビングしてください。
  - HDD→DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】➡【録画アスペクト(Video)】の設定を変更してダビングしてください。
    違う設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。(テレビ側で画面サイズを変更できます。)
- 本機でDVD→HDDにダビングする場合は、制限なしに録画可能番組のダビングだけが可能です。デジタル放送の1回だけ録画可能(コピーワンス)番組やダビング10番組、ほとんどの市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクはダビングできません。
- 他の機器のAVCREC™方式で録画されたディスクは、HDDにダビングできない場合があります。
- 他の機器で作成したディスクからHDDにダビングする場合は、ディスクに番組情報(チャンネル名、録画モード等)が記録されていなければ、ダビング画面での番組情報表示箇所は空白になります。
- 本機の状態や、ブルーレイディスクなどのメディアから画質変換ダビングなどを実施した番組の状態によっては、再生などの操作で、正常に動作しない場合があります。

## デジタル放送のコピー制限について

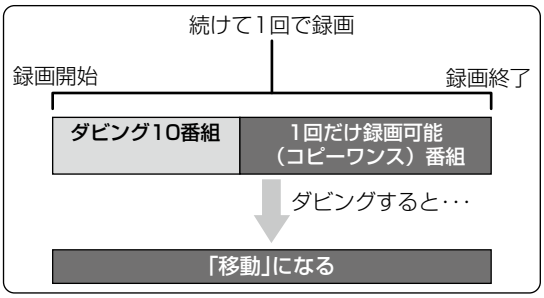
### 1回だけ録画可能(コピーワンス)番組

1回だけ録画可能(コピーワンス)番組をダビングすると、ダビング元の録画内容が「移動」されて、ダビング元の録画内容は消去されます。

### ダビング10

ダビング10番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「移動」となります。

- ダビング10または制限なしに録画可能番組と、1回だけ録画可能(コピーワンス)番組を続けて1回で録画した場合は、録画の開始から終了までが1回だけ録画可能(コピーワンス)番組になります。
  その番組をダビングすると、「移動」になります。




お知らせ

- デジタル放送の1回だけ録画可能(コピーワンス)番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

ご注意

- **デジタル放送の1回だけ録画可能(コピーワンス)番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組をVRフォーマットのDVDにダビングするときは、かならずCPRM対応のディスクを使用してください。**

## ダビング全般

### ダビングするときのチャプター

- ダビングするときは、チャプター情報も引き継ぎます。
- ダビング先のチャプター分割位置は、多少ずれる場合があります。

### ダビング中に電源を「切」に設定すると・・・

- 電源「切」の状態でダビングを続けます。(電源ランプ(橙)が点灯します。)

### 予約録画が近いと・・・

- ダビングするときに、予約録画の開始時刻が近いとダビングを途中で停止することがあります。

Cinavia™
Cinaviaの通告
この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合は、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。
Copyright 2004-2017 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。
リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

# ダビングについての補足説明・つづき

## 実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは

### ダビング元

ダビング元の番組はそのまま残ります。

### ダビング先

メディアによって、動作が異なります。

| メディア | 動作 |
|---|---|
| HDD<br>USB-HDD<br>SeeQVault対応USB-HDD<br>BD-RE<br>DVD-RW（VR）<br>本機前面のSDカードスロットに挿入したSeeQVault対応SDカード<br>本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカード | ダビングされません。 |
| BD-R<br>DVD-R（VR）<br>DVD-RW（AVC）<br>DVD-R（AVC） | ダビングを中止したところまで録画され、<br>その分だけディスクの残量時間が減りますが、<br>ダビングを中止した番組は再生できません。 |
| DVD-RW（Video） | 初期化が必要になります。 |
| DVD-R（Video） | ダビングされた内容は再生できず、<br>そのディスクは使用できなくなります。 |

# 外部機器をつかう

本章では、外部機器を使った便利な機能を説明しています。

東芝テレビ「REGZA」からダビングする（レグザリンク・ダビング）.....192

## 本機からネットワーク上の機器にダビングする（ネットdeダビングHD）




詳しくは ...193

AVCHD方式の動画を取り込む（ダビングする）.....194
ビデオデッキやビデオカメラなどからダビングする.....195
通常録画用USB-HDDをつかう.....196
SeeQVault対応USB-HDDをつかう.....198
SeeQVault対応SDカードをつかう.....200
スマートフォンやタブレットで視聴する.....202
ホームネットワークをつかう.....206
ネットdeナビの機能をつかう.....207
宅外配信をつかう.....213

# 東芝テレビ「REGZA」からダビングする(レグザリンク・ダビング)

「ネットdeレック」機能をつかうことで、対応する東芝テレビ「REGZA」に録画した番組を、HDDやディスク、通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDなどにダビングできます。

- 対応する東芝テレビ「REGZA」シリーズについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/link/
  (操作については、それぞれに付属の取扱説明書をお読みください。)

**≫ 準備**

- **本機とテレビをネットワークでつなぐ** 228、229
- **本機の以下を設定しておく**
  「ネットワーク接続設定」232
  「ネットワーク連携設定」236
- **テレビをネットワークでつなぐ(詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。)**
- **USB-HDDをつかう場合は、通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDを接続しておく** 220
- **ディスクをつかう場合は、ディスクを入れておく** 57

※ 本機と接続する機器をLANケーブルで直接つなぐときは、「LANケーブルで直接つなぐ」235をご覧ください。

## テレビから本機へダビングする

### 1 テレビから本機へダビング開始の操作をする

- テレビ画面にはダビングしている映像は表示されません。

以下に示すのは、東芝テレビ「REGZA」シリーズからのレグザリンク・ダビング方法の一例です。詳しくはご使用の東芝テレビ「REGZA」に付属の取扱説明書をお読みください。

❶ テレビの録画リストを表示させる
❷ ダビングする番組を選ぶ
❸ ダビング先として、本機を指定する
- 例) LAN-S DBR-M3007
- ダビング先のメディアとして、HDD、ブルーレイディスク/DVD、USB1～USB8、SeeQVault1～SeeQVault4が選択できます。

❹ ダビング後にレコーダー側の電源を切るかを設定する
- 【ダビング後にレコーダー側の電源を切る】を設定した場合は、ダビング完了後自動で本機の電源が「切」になります。

❺ ダビングを開始する

### ダビングされているか確認するには

画面表示を2回押す




**お知らせ**

- ネットワークの環境により、通信速度が遅い場合は、録画が停止することがあります。
- ダビングした番組は、番組の先頭や末尾、チャプターの境界部分が数秒間欠ける場合があります。また、チャプター境界がなくなったりずれたりする場合があります。

**ご注意**

- ダビング先のメディアとして、ディスクや通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを選択した場合は、HDDに保存後、指定したメディアに高速ダビングします。
  各メディアへの高速ダビングに失敗した場合は、HDDに番組が保存されます。

# 本機からネットワーク上の機器にダビングする(ネットdeダビングHD)

HDDや通常録画用USB-HDDに録画した番組をネットワーク上の機器にダビングできます。(ネットdeダビングHD)

**≫ 準備**

- **本機と接続する機器をネットワークでつなぐ** 228、229
- **本機の以下を設定しておく**
  「ネットワーク接続設定」232
  「ネットワーク連携設定」236
- **接続する機器をネットワークでつなぐ(詳しくは、接続する機器に付属の取扱説明書をお読みください。)**

※ 本機と接続する機器をLANケーブルで直接つなぐときは、「LANケーブルで直接つなぐ」235をご覧ください。

- ダビング先の機器は、ネットdeレック対応機器をお使いください。
- 本機と接続する機器は、同じルーターに接続(またはLANケーブルで直接接続)し、同一ホームネットワークに接続してください。
- あらかじめ、本機とダビング先機器の設定を合わせてください。設定が終わったら、ダビング先機器のナビ画面やスタートメニュー画面を閉じてください。

## 1 スタートメニューを押す

## 2 ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで 決定 を押す

## 3 ▲·▼でダビング元に【HDD】または【USB-HDD】を選んで 決定 を押す

## 4 ▲·▼でダビング先に【LAN】を選んで 決定 を押す




【LAN】を選ぶ

- ネットワーク上の機器が一覧で表示されます。

## 5 ▲·▼でダビング先の機器を選んで 決定 を押す

## 6 ▲·▼でダビングする番組を選んで 決定 を押す

- フォルダ一覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押して番組一覧を表示してください。
- 決定 を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

### フォルダを選ぶときは

赤 を押して、フォルダ表示に切り換える

### チャプターを選ぶときは

緑 を押して、チャプター表示に切り換える

### プレイリストを選ぶときは

黄 を押して、プレイリスト表示に切り換える

### 他の番組を続けて選ぶときは

この手順を繰り返す

### 番組の選択を解除したいときは

解除したい番組を選んで 決定 を押す

## 7 ダビングする番組を選び終えたら、▶で【次へ】を選んで 決定 を押す

- ダビングリストが表示されます。
- ダビングする番組を追加したり削除したりする場合は、176をご覧ください。

## 8 ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す

## 9 【ダビング開始】を選んで 決定 を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

**ご注意**

- 以下の番組はネットdeダビングHDでダビングできません。
  - 録画モード【XP】~【EP】の番組
  - AVCHD方式の番組
  - 東芝レグザサーバー(またはレコーダー)で作成したレート値2.0未満の録画モード【AVC】の番組
- 録画モードを【AF】~【AE】に変換した番組は、ネットdeダビングHDでダビングできない場合があります。

**お知らせ**

- ネットdeダビングHDでダビング中に予約録画が開始されると、ダビングが中断される場合があります。その場合は、予約録画終了後にネットdeダビングHDのダビングをやり直してください。
- ネットdeダビングHD機能をお使いの場合は、ネットワークのデータアクセス量が増え、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズが入ることがあります。ネットdeダビングHD機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをおすすめします。
- ダビングした番組は番組の先頭や番組の境界部分、編集した部分などが数秒間欠けることがあります。
- ダビング10番組は、ダビング先では1回だけ録画可能(コピーワンス)番組になります。
- 以下の番組は、ダビングできない場合があります。
  - 編集で一部を削除した番組
  - 分割·結合した番組(またはプレイリスト)
  - 他の機器からダビングした番組

# AVCHD方式の動画を取り込む(ダビングする)

ディスクやUSB機器、SDカードに記録された動画(AVCHD方式)を本機に取り込む(ダビングする)ことができます。

≫ 準備

- ディスクを入れておく 57
- USB機器を本機前面のメモリ専用USB端子とつないで電源を入れておく 58
- 本機前面のSDカードスロットにSDカードを入れておく 58

## ディスクから取り込む(ダビングする)

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼でダビング元に【ディスク】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼でダビング先に【HDD】または【USB】を選んで決定を押す

**5** ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す

- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

**他の番組を続けて選ぶときは**

この手順を繰り返す

**番組の選択を解除したいときは**

解除したい番組を選んで決定を押す

**6** ダビングする番組を選び終えたら、▶で【次へ】を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。

**7** ダビングリストの内容を確認する

**8** ▲·▼で【決定】を選んで決定を押す

**9** 【ダビング開始】を選んで決定を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

## USB機器やSDカードから取り込む(ダビングする)

- USB機器を接続したり、SDカードを入れたりすると、自動的に選択画面が表示されます。
- USB機器をつかうときは、USB機器に付属の取扱説明書もお読みください。

**1** ▲·▼で【AVCHDを取り込む】を選んで決定を押す

**スタートメニューから操作するときは**

❶ スタートメニューを押して、▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで決定を押す

❷ ▲·▼でダビング元に【SDカード】、【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】を選んで決定を押す

❸ ▲·▼でダビング先に【HDD】を選んで決定を押す

- 選択画面で【AVCHDを取り込む】を選んでください。

**2** ▲·▼でダビングする番組を選んで決定を押す

- 決定を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

**他の番組を続けて選ぶときは**

この手順を繰り返す

**番組の選択を解除したいときは**

解除したい番組を選んで決定を押す

**3** ダビングする番組を選び終えたら、▶で【次へ】を選んで決定を押す

- ダビングリストが表示されます。

**4** ダビングリストの内容を確認する

**5** ▲·▼で【決定】を選んで決定を押す

**6** 【ダビング開始】を選んで決定を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

お知らせ

- デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面(シーン)でも別々の番組になることがあります。詳しくは、デジタルビデオカメラに付属の取扱説明書をお読みください。
- 以下の動画も取り込む(ダビングする)ことができます。
  - 3Dで記録された動画(本機に取り込む(ダビングする)と、録画モードが【AVC 3D】と表示されます。)
  - 1080/60pで記録された動画(本機に取り込む(ダビングする)と、録画モードが【AVC PRO】と表示されます。)

# ビデオデッキやビデオカメラなどからダビングする

≫ 準備

- ビデオデッキやAVCHD非対応のビデオカメラなどを接続しておく 57
  （ファイナライズされたDVDからダビングするときは、DVDプレーヤーを接続しておく）
- HDDにダビングするときは、HDDを押しておく
- ディスクにダビングするときは、ディスクを入れて DISCを押しておく 57
- 設定ﾒﾆｭｰ（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【録画設定】から【外部入力音声】を設定しておく 252

**1** サブメニューを押す

**2** ▲·▼で【放送・入力切換】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【外部入力(L1)】を選んで決定を押す

**4** 録画モードを選ぶ
- 「録画モードを変更するときは」101 をご覧ください。
- 録画モードは、【XP】～【EP】から選んでください。

**5** 接続した機器を再生する
- 接続した機器の操作や設定については、各機器に付属の取扱説明書をお読みください。

**6** ●録画（ふたの中）を押す
- ダビングが始まります。

### 録画を一時停止するときは(HDDのみ)

一時停止を押す

- 録画が一時停止します。(もう一度押すと再び録画が始まります。)

### 録画を停止するときは

停止を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 録画が停止します。(停止後に次の操作ができるまでしばらく時間がかかることがあります。)
  停止した位置までが、1つの番組になります。

### 録画を停止するときは(同時録画中)

停止を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で【L1】を選んで決定を押してください。
- 再び確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。録画が停止します。

### 録画を停止するには（追っかけ再生中／同時録画再生中）

❶ 停止を押す
- 再生が停止します。録画リスト画面が表示されたときは、録画リストを押して、放送画面に戻ってください。

❷ 停止を押す
- 確認画面が表示されるので、▲·▼で【L1】を選んで決定を押してください。
- 再び確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。録画が停止します。

ご注意
- 外部入力(L1)の録画モードは、標準画質のみ設定可能です。
- 違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされている市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクやレンタルディスク・ビデオテープなどはダビングできません。
- SDカードやUSBメモリなど、HDD、ディスク以外のメディアにはダビングできません。

# 通常録画用USB-HDDをつかう

本機と通常録画用USB-HDDを接続しているときは、USB-HDDに録画したり、USB-HDDに録画した番組をHDDにダビングしたりできます。

≫ 準備

• 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に、通常録画用USB-HDDを接続・設定しておく 219

## 通常録画用USB-HDDに切り換える

❶ USB を押す
- USB-HDDに切り換わります。

### USB-HDDを2台以上接続しているときは

本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続されているUSB-HDDが一覧で表示されるので、▲・▼で切り換えたい通常録画用USB-HDDを選んで 決定 を押す

- 通常録画用USB-HDDは、一覧上で「USB○:○○」と表示されます。
- 録画リスト画面表示中に USB を押しても切り換えることができます。
- 録画中やダビング中の場合は、録画やダビングに使用している通常録画用USB-HDDのみ選ぶことができます。

## 通常録画用USB-HDDに録画する

通常録画用USB-HDDに切り換えたあと、●録画（ふたの中）を押す

- 録画モードを変更するときは、「録画モードを変更するときは」101 をご覧ください。

## 通常録画用USB-HDDに録画予約する

❶ 番組表 を押す

❷ ▲・▼・◀・▶で予約したい番組を選んで 番組説明（ふたの中）または 決定 を押す

❸【録画予約】を選んで 決定 を押す

❹ ▲・▼で【録画先】を選んで 決定 を押すと、録画先のリストが表示されるので、▲・▼で録画したい通常録画用USB-HDDを選んで 決定 を押す




- 「録画先」以外の設定について詳しくは、110 をご覧ください。

❺ すべて設定し終えたら、【予約する】を選んで 決定 を押す

### 日時指定予約するときは

「手動で入力して予約する（日時指定予約）」116 の手順 5 で【録画先】を通常録画用USB-HDDに設定してください。

### 録画した番組の録画モードを変換するときは

通常録画用USB-HDDに録画した番組の録画モードを変換するときは、168 をご覧ください。

ご注意

- USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で直接録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- USB-HDDに録画モード【XP】～【EP】で直接録画できません。
- 以下の場合は、USB-HDDに録画予約しても、HDDに録画されます。
  - 本機にUSB-HDDを設定していないとき
  - 録画開始時に、USB-HDDの電源が入っていないとき
  - 同時動作できないときは、269 をご覧ください。
- 外部入力の直接録画はできません。

## 通常録画用USB-HDDに録画した番組を再生する

❶ USB を押す
- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数のUSB-HDDを接続しているときは、USB-HDDが一覧で表示されます。▲・▼で再生したい通常録画用USB-HDDを選んで 決定 を押してください。

❷ 録画リスト を押す
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で見たい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

❸ ▲・▼で見たい番組を選ぶ

❹ 再生 または 決定 を押す

## 通常録画用USB-HDDにダビングする

❶ スタートメニュー を押す

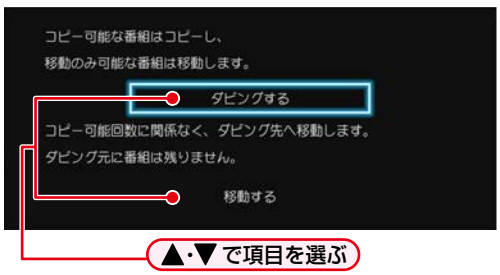
❷ ▲・▼・◀・▶で【ダビング】を選んで 決定 を押す

❸ ▲・▼でダビング元を選んで 決定 を押す

❹ ▲・▼で通常録画用USB-HDDを選んで 決定 を押す

### HDDと通常録画用USB-HDDの間でダビングするときは

続けて、ダビング方法を選ぶ




- 番組の選びかたや【画質選択】について詳しくは、175をご覧ください。

❺ すべて設定し終えたら、【ダビング開始】を選んで 決定 を押す
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

# SeeQVault対応USB-HDDをつかう

本機とSeeQVault対応USB-HDDを接続しているときは、引っ越し・バックアップ用USB-HDDに番組を記録したり、東芝の他のSeeQVault対応機器でSeeQVault対応USB-HDDを引っ越し・バックアップ用に登録するなどして他機での使用も想定した使いかたで記録した番組を本機で再生したりすることができます。

≫ 準備

- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にSeeQVault対応USB-HDDを接続・設定しておく 219

## SeeQVault対応USB-HDDに切り換える

**1** USBを押す

- USB-HDDに切り換わります。

### USB-HDDを2台以上接続しているとき

本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に、接続されているUSB-HDDが一覧で表示されるので、▲・▼で切り換えたいSeeQVault対応USB-HDDを選んで決定を押す

- SeeQVault対応USB-HDDは、一覧上で「SeeQVault ○:○○」と表示されます。
- 録画リスト画面表示中にUSBを押しても切り換えることができます。
- 引っ越し・バックアップ中またはダビング中の場合は、引っ越し・バックアップやダビングに使用しているUSB-HDDのみ選ぶことができます。また、USB-HDDからUSB-HDDに引っ越し・バックアップまたはダビングする場合は、ダビング元のUSB-HDDのみ選ぶことができます。

## SeeQVault対応USB-HDDに自動バックアップする

≫ 準備

- 設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】 252 で、バックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDを選んでおく

ご注意

- 保存予約が確定したあとに、保存予約のバックアップ設定を変更することはできません。

### 番組表予約時にバックアップ設定をする

詳しくは、110 をご覧ください。

### バックアップ設定をしていない番組表からの予約を自動バックアップに変更する

詳しくは、118 をご覧ください。

### 日時指定予約時にバックアップ設定をする

詳しくは、116 をご覧ください。

### バックアップ設定をしていない時刻指定した予約を自動バックアップ設定に変更する

詳しくは、118 をご覧ください。

### 番組表からの保存予約時にバックアップ設定をする

詳しくは、113 をご覧ください。

### 過去番組表からの保存時（保存予約時）にバックアップ設定をする

詳しくは、81 をご覧ください。

#### 録画後にバックアップ設定を解除するときは

録画後、バックアップ実行前にバックアップ設定を録画リスト画面から解除する場合は、「バックアップ設定を解除する」135 をご覧ください。

## SeeQVault対応USB-HDDに他機で記録された番組を再生する

≫ 準備

- 東芝の他のSeeQVault対応機器で記録されたSeeQVault対応USB-HDDを、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続しておく 219

**1** USBを押す

- 複数のUSB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続しているときは、USB-HDDが一覧で表示されます。▲・▼で再生したいSeeQVault対応USB-HDDを選んで決定を押してください。

**2** 録画リストを押す

**3** ▲・▼で見たい番組を選ぶ

**4** 再生▶または決定を押す

## SeeQVault対応USB-HDDに全番組を引っ越し・バックアップする

**1** スタートメニュー を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼でダビング元に【HDD】を選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼でダビング先にSeeQVault対応USB-HDDを選んで 決定 を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼で番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押してください。

**5** ▲·▼·▶で【引越・バックアップ】を選んで 決定 を押す

- 番組を1つでも選択していると【引越・バックアップ】が選べません。番組の選択を解除する場合は、▲·▼·◀·▶ で選択された番組を選んで 決定 を押してください。

**6** ▲·▼で【全番組を引越・バックアップ】または【バックアップしていない番組だけをバックアップ】を選んで 決定 を押す

**7** ▲·▼で【ダビング開始】を選んで 決定 を押す

- 引っ越し・バックアップが始まると放送画面に戻ります。

お知らせ

- バックアップ先のSeeQVault対応機器を問わず、一度でも引っ越し・バックアップした番組はバックアップ済みと判断され、【バックアップしていない番組だけをバックアップ】を選んだ場合は、その番組は引っ越し・バックアップされません。

ご注意

- 10回目のダビング(移動)となるダビング10番組または1回だけ録画可能(コピーワンス)番組を引っ越し・バックアップすると、HDD内の録画リストからは削除されます。また、これらの番組で作成されたプレイリストやスマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)に変換済みの番組も、プレイリストやスマホ持ち出し番組用またはDVD持ち出し(VR)番組用の録画リストから削除されます。
- ダビング10番組を引っ越し・バックアップすると、引っ越し・バックアップ先の番組は1回だけ録画可能(コピーワンス)番組となります。
- 番組数が多い場合は、引っ越し・バックアップにしばらく時間がかかります。
- 引っ越し・バックアップ中にネットdeレック機能での録画が開始されると、引っ越し・バックアップは中止となります。
- 引っ越し・バックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDの空き容量が少ない場合は、引っ越し・バックアップ可能な番組まで実行されます。
- 東芝の他のSeeQVault対応機器で記録した番組を本機で操作する場合は、字幕切り換え／音声切り換え／早送り・早戻し／レジューム停止／チャプター編集／ダビングができない場合があります。
- 再生時間が15時間を超える番組の場合は、引っ越し・バックアップできません。
- 以下の場合は、引っ越し・バックアップできません。
  - ディスクに録画中
  - 引っ越し・バックアップ先の番組数が最大数を超える場合

# SeeQVault対応SDカードをつかう

本機とSeeQVault対応SDカードを接続しているときは、録画予約のときにSeeQVault対応SDカード転送を設定することで、電源「切」時に自動的に転送ができます。また、スマホ持ち出し用変換した番組をSeeQVault対応SDカードにダビングできます。

≫ 準備

- SeeQVault対応SDカードを挿入／接続・設定しておく 224、226

## SeeQVault対応SDカード転送の詳細を確認する

HDD　通常録画用USB-HDD

SeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組やスマホ持ち出し番組の確認ができます。

**1** HDDまたはUSBを押す

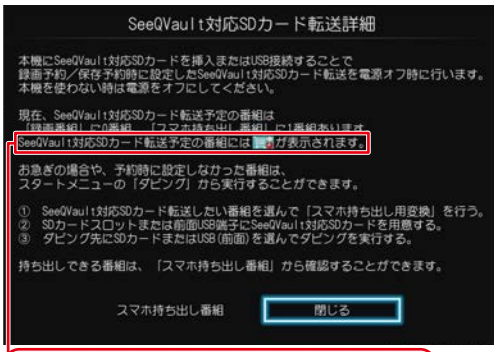
- 複数のUSB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続しているときは、USB-HDDが一覧で表示されます。▲·▼で切り換えたい通常録画用USB-HDDを選んで決定を押してください。

**2** 録画リストを押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲·▼でフォルダを選んで決定を押す

**3** サブメニューを押す

**4** ▲·▼で【SeeQVault対応SDカード転送詳細】を選んで決定を押す




SeeQVault 対応 SD カードへ転送予定の番組を確認できます。

- ◀·▶で【スマホ持ち出し番組】を選んで決定を押すと、SeeQVault対応SDカード転送予定の番組とスマホ持ち出し番組を確認できます。このとき、スマホ持ち出し番組の確認画面で戻るを押すと録画リスト画面に戻ります。

## SeeQVault対応SDカードに自動転送する

SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード(USB接続)

≫ 準備

- 本機前面のSDカードスロットにSeeQVault対応SDカードを挿入しておく 224
- 本機前面のメモリ専用USB端子とSeeQVault対応SDカードをUSB接続しておく 224、226

**1** 「番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)」110の手順1～12、または「手動で入力して予約する(日時指定予約)」116の手順1～7、または「録画予約一覧から予約の内容を変更する」118の手順1～8を行う

- 録画先は、【HDD】または【USB】を選んでください。
- 録画モードは、【DR】～【AE】を選んでください。

**2** ▲·▼で【持ち出し設定】を選んで決定を押す

- 持ち出し設定とバックアップ設定について詳しくは、128をご覧ください。

**3** ▲·▼で【SeeQVault対応SDカード転送】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【予約する】または【決定】を選んで決定を押す

- 予約録画しながらスマホ持ち出し番組が作成され、スマホ持ち出し番組作成完了後、電源「切」時にSeeQVault対応SDカードに自動で転送されます。
- スマホ持ち出し用の画質は、【スマホ持ち出し用画質】に設定してある画質に変換されます。設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】252で変更できます。

ご注意

- 本機の電源を「切」にしていても【瞬速起動】に設定した時間帯だけはSeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組が転送されず、変換·転送待ち状態になります。
- SeeQVault対応SDカードを、本機前面のSDカードスロットに挿入し、かつ本機前面のメモリ専用USB端子にUSB接続している場合は、自動転送先としてはSDカードスロットが優先されます。

## SeeQVault対応SDカードに手動でダビングする

SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

≫ 準備

- SeeQVault対応SDカードをつかう場合は、本機前面のSDカードスロットにSDカードを挿入しておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードをつかう場合は、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226
- 録画した番組をスマホ持ち出し番組に変換する 204

**1** スタートメニュー を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼でダビング元として【HDD】を選んで 決定 を押す

- HDDの持ち出し番組のみダビングできます。

**4** ▲·▼でダビング先として【SDカード】、【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】を選んで 決定 を押す

**5** ▲·▼でダビングする番組を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されたときは、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。

**6** ダビングしたい番組を選び終えたら、▶を押して、【次へ】を選んで 決定 を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、176 をご覧ください。

**7** ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す

**8** ▲·▼で【ダビング開始】を選んで 決定 を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

## SeeQVault対応SDカードに他機で記録された番組を再生する

≫ 準備

- 東芝の他のSeeQVault対応機器で記録されたSeeQVault対応SDカードを本機前面のSDカードスロットに入れておく 224
- 東芝の他のSeeQVault対応機器で記録されたSeeQVault対応SDカードをUSB接続しておく 224、226

**1** スタートメニュー を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【録画リスト】➡【USB(前面)】または【USB TransferJet(TM)】または【SDカード】➡【録画番組】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で見たい番組を選ぶ

**4** 再生 または 決定 を押す

# スマートフォンやタブレットで視聴する

スマートフォンやタブレットの宅外配信対応アプリ（有料）を用いて、HDDやUSB-HDDに録画した番組およびタイムシフトマシン録画番組を端末機器で再生したり、持ち出したりすることができます。（おでかけいつでも視聴）
また、端末機器を使用すれば、放送中の番組をテレビのない部屋でも視聴できます。（家中どこでも視聴／レグザリンク・シェア）

- お使いの端末機器（スマートフォンやタブレット）によって、再生できる品質が異なります。詳しくはお使いの端末機器に付属の取扱説明書や、宅外配信対応アプリのヘルプなどをお読みください。
- 本機に対応した宅外配信対応アプリなどについて、詳しくは当社ホームページでご確認ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

≫ 準備

- **本機とスマートフォンやタブレットなどの機器は同じルーターに接続し、同一ホームネットワークに接続しておく** 228
- **本機の以下を設定しておく**
  「ネットワーク連携設定」 236

## スマホ持ち出し番組について

- スマホ持ち出し番組とは、端末機器のアプリケーションで視聴したり、持ち出したりできる番組のことをいいます。
- 本機では、以下の方法でスマホ持ち出し番組を作成できます。
  - すでに録画した番組を変換して作成する
  - 録画するときに作成する
- 作成したスマホ持ち出し番組を確認するには、「スマホ持ち出し番組を表示する」 205 をご覧ください。
- 録画した番組の種類によっては、スマホ持ち出し番組を再生したときに上下左右に黒い帯がつくことがあります。また、解像度によっては、小さく表示される場合があります。
- スマホ持ち出し番組は、本機と同一ネットワーク上に設定されている端末機器以外にはダビングできません。
- 録画やダビングしたときの状態によって、スマホ持ち出し番組に変換できない場合があります。
- スマホ持ち出し番組は、お使いの端末機器によって再生できる画質が異なります。詳しくは、お使いの端末機器に付属の取扱説明書や、宅外配信対応アプリのヘルプなどをお読みください。

### コピー制限番組について

- ダビング10番組は、スマホ持ち出し番組に変換するとコピー可能回数が1回減ります。
- 10回目のダビング（移動）となるダビング10番組または1回だけ録画可能（コピーワンス）番組は、スマホ持ち出し用に変換した番組を端末機器にダビングすると、ダビング元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。

ご注意

- 複数の音声がある番組は、主音声のみ記録されます。
- 複数の映像がある番組は、放送局が指定した映像のみ記録されます。
- スマホ持ち出し番組の画質が端末機器の仕様にあっていない場合は、端末機器で番組を再生できません。
- スマホ持ち出し番組を、再度、変換することはできません。
- 外部入力の映像や録画モード【XP】～【EP】の番組は変換できません。
- スマホ持ち出し番組として予約するときに、録画モードを設定しても、【本体設定】の【スマホ持ち出し用画質】で設定されている画質で録画されます。詳しくは、 252 をご覧ください。
- 10回目のダビング（移動）となるダビング10番組または1回だけ録画可能（コピーワンス）番組を端末機器のアプリケーションからダウンロードした場合は、録画した番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。
- 録画時の配信について詳しくは、 278 をご覧ください。

変換配信
## 本機で録画した番組を視聴する

本機で録画した番組または録画中の番組を、家の中のテレビがない場所でも、見ることができます。

- 端末機器で再生開始の操作をします。操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

### 端末機器のアプリケーションで視聴中は

本機の画面表示に【変換配信中】と表示されます。

録画中の番組を配信中は、番組名の先頭に「(録画中)」と表示されます。

### 配信を止めるには

停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- ご使用のアプリケーションによっては、本機からは配信を停止できないことがあります。配信停止の操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 以下の番組は端末機器へ配信できません。
  - 標準画質(録画モードXP～EP)で録画された番組
  - ディスクに録画された番組
  - DVD持ち出し(VR)番組
- 本機の録画や再生の状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- ダビング中またはバックアップ中は配信できません。
- 録画中の番組を配信中は、サーチやスキップなどの動作ができず、再生すると番組の先頭からの再生となります。
- 番組は端末機器2台まで同時に配信できます。

ライブ配信
## 現在放送中の番組を配信する

放送中の番組を、家の中のテレビがない場所でも、見ることができます。

- 端末機器で視聴開始の操作をします。操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

### 端末機器のアプリケーションで視聴中は

本機の画面表示に【ライブ配信中】と表示されます。

### 配信を止めるには

停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。
- ご使用のアプリケーションによっては、本機からは配信を停止できないことがあります。配信停止の操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 字幕、データ放送には対応していません。
- 本機の録画や再生の状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- ライブ配信中はダビングやネットdeレックができません。
- ライブ配信中に録画モードを標準画質(XP～EP)に設定して 録画 (ふたの中)を押して録画すると【DR】で録画されます。(録画モードを標準画質(XP～EP)に設定した予約録画が始まると、ライブ配信は停止します。)
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録している場合はライブ配信できません。
- 番組は端末機器2台まで同時に配信できます。

## 録画した番組を持ち出す

本機で録画した番組を、外出先などで見ることができます。

録画した番組を持ち出したいときは、あらかじめスマホ持ち出し番組に変換する必要があります。詳しくは、「スマホ持ち出し番組を作成する」204をご覧ください。

なお、スマホ持ち出し番組のダウンロードや再生など操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 端末機器にダウンロードした番組を、本機に戻すことはできません。

# スマートフォンやタブレットで視聴する・つづき

## スマホ持ち出し番組を作成する

録画(保存)した番組をダビングでスマホ持ち出し番組に変換することができます。番組表予約時、日時指定予約時に持ち出し設定をスマホ持ち出しにすることで、録画しながらスマホ持ち出し番組を作成することができます。保存予約時に持ち出し設定をスマホ持ち出しにすることで、保存後にスマホ持ち出し番組を作成することができます。

### 録画(保存)した番組をスマホ持ち出し番組に変換する

**1** スタートメニュー を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【ダビング】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼でダビング元にHDDまたはUSB-HDDを選んで 決定 を押す

**4** ▲·▼でダビング先に【スマホ持ち出し用変換】を選んで 決定 を押す

**5** ▲·▼でダビングする番組を選んで 決定 を押す

- フォルダ一覧が表示されているときは、▲·▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで 決定 を押して番組一覧を表示してください。
- 決定 を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

**フォルダを選ぶときは**

赤 を押して、フォルダ表示に切り換える

**チャプターを選ぶときは**

緑 を押して、チャプター表示に切り換える

**プレイリストを選ぶときは**

黄 を押して、プレイリスト表示に切り換える

**他の番組を続けて選ぶときは**

この手順を繰り返す

**番組の選択を解除したいときは**

解除したい番組を選んで 決定 を押す

**6** ダビングする番組を選び終えたら、▶を押す

**7** ▲·▼で【画質選択】を選んで 決定 を押す

**8** ▲·▼でお好みの画質を選んで 決定 を押す

**9** 画質を選び終えたら、▶で【次へ】を選んで 決定 を押す

- ダビングリストが表示されます。
- 変換する番組を追加したり削除したりする場合は、176 をご覧ください。

**10** ▲·▼で【決定】を選んで 決定 を押す

**11** ▲·▼で【ダビング開始】を選んで 決定 を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

お知らせ

- スマホ持ち出し番組に変換済みのダビング10番組の10回目のダビング(移動)となる番組または1回だけ録画可能(コピーワンス)番組は、端末機器への持ち出しを開始した時点で、本機の録画リストやプレイリスト、スマホ持ち出し番組用の録画リストには表示されなくなります。ただし、端末機器への持ち出し中に持ち出しをキャンセルすると、それぞれの画面に再び表示されるようになります。
- スマホ持ち出し番組に変換済みのダビング10番組の10回目のダビング(移動)となる番組または1回だけ録画可能(コピーワンス)番組を録画リストで編集すると、スマホ持ち出し番組用の録画リストからスマホ持ち出し番組は削除され、もう一度【スマホ持ち出し用変換】を行う必要があります。編集したい場合は、先に録画リストで編集してから【スマホ持ち出し用変換】を行ってください。

≫ 準備

- 設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】252で、画質を選んでおく

## 番組表予約時に持ち出し設定をスマホ持ち出しにする

詳しくは、110をご覧ください。

## スマホ持ち出し設定をしていない番組表からの予約の持ち出し設定をスマホ持ち出しに変更する

詳しくは、118をご覧ください。

## 日時指定予約時に持ち出し設定をスマホ持ち出しにする

詳しくは、116をご覧ください。

## スマホ持ち出し設定をしていない日時指定した予約の持ち出し設定をスマホ持ち出しに変更する

詳しくは、118をご覧ください。

## 番組表からの保存予約時に持ち出し設定をスマホ持ち出しにする

詳しくは、113をご覧ください。

## 過去番組表からの保存時（保存予約時）に持ち出し設定をスマホ持ち出しにする

詳しくは、81をご覧ください。

## スマホ持ち出し番組を表示する

1 スタートメニューを押してから【録画リスト】を選んで決定を押す

2 【スマホ持ち出し番組】を選んで決定を押す

お知らせ

- スマホ持ち出し番組は再生できません。
- スマホ持ち出し番組を削除したい場合は、150をご覧ください。

ご注意

- 保存予約が確定したあとに、保存予約の持ち出し設定を変更することはできません。

# ホームネットワークをつかう

DLNAを使って、他の部屋にあるDLNA対応機器（ホームネットワークサーバー）の映像を本機で再生することができます。
（レコーダーなどで記録した番組も再生することができます。）

- 詳しくは、DLNA対応機器に付属の取扱説明書をお読みください。

## ホームネットワークを使って再生する

≫ 準備

- **本機と接続する機器をネットワークでつなぐ** 228、229
- **本機の以下を設定しておく**
  「ネットワーク接続設定」232
  「ネットワーク連携設定」236
- **接続する機器をネットワークでつなぐ（詳しくは、接続する機器に付属の取扱説明書をお読みください。）**

**1** スタートメニュー を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【録画リスト】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で【ホームネットワーク】を選んで 決定 を押す

- ホームネットワークサーバーを読み込みます。
- 読み込みが終わると、ホームネットワークサーバーが一覧で表示されます。（最大30件まで）
- 一覧を更新する場合は、黄 を押してください。ホームネットワークサーバーを再度読み込みます。

**4** ▲·▼でホームネットワークサーバーを選んで 決定 を押す

**5** ▲·▼で見たいファイルを選んで 再生 または 決定 を押す

- 再生が始まります。（再生が始まるまで時間がかかることがあります。）
- 再生中の機能について詳しくは、「再生するときの操作」140、「再生するときに便利な機能」144 をご覧ください。

### ホームネットワークサーバーで認識できるフォーマット

| | |
|---|---|
| 映像 | MPEG2-PS、MPEG2-SD、MPEG2-TS/TTS、AVC※ |

※ レコーダーなどで録画した放送波の映像。

**お知らせ**

- フォルダの階層が10以上のファイルは認識されません。
- ホームネットワークサーバー一覧に表示されていても、ホームネットワークサーバー側の状態によっては再生できないことがあります。
- ホームネットワークサーバーは、同じネットワークに接続してください。
- ホームネットワークサーバーによって、再生時に使える機能や動作が異なります。
- ホームネットワークサーバーで記録した番組に字幕が含まれていれば、ホームネットワーク再生時に字幕の切り換えができます。
- 映像の画質などは、ネットワークの環境によって異なります。
- 再生中にファイルやフォルダを切り換えるときに、時間がかかることがあります。
- 東芝レグザサーバー（またはレコーダー）で以下の編集や操作をした番組を再生中に、早送りや早戻し、サーチ機能をつかうと停止することがあります。
  - おまかせプレイリスト作成
  - 偶数チャプタープレイリスト作成
  - 奇数チャプタープレイリスト作成
  - 手動選択プレイリスト作成
  - おまかせプレイ
  - チャプター削除
  - 番組結合
- ハイビジョン画質放送と標準画質放送（マルチチャンネル放送など）が混在した番組を再生中、早送りや早戻し、サーチ機能をつかうと停止することがあります。
- 5GHz帯に対応した無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯へ設定してご使用ください。（2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、再生時に映像が止まったりすることがあります。）

**ご注意**

- 以下の場合は、ホームネットワーク再生はできません。
  - ダビング中
  - ネットdeレック中
  - 複数番組同時録画中
  - タイムシフトマシン録画番組の保存中

# ネットdeナビの機能をつかう

「ネットdeナビ」とは、パソコンのWeb画面やスマートフォン・タブレットのアプリケーションで本機の操作や設定などができる機能です。
本機では、パソコンやスマートフォン・タブレットで、録画予約一覧から新規予約や、予約の確認ができます。録画リストからは、番組情報が見られるほか、本機で再生したり、タイムシフトマシン録画番組を本機に保存したりできます。フォルダ設定では、フォルダの作成、解体、変更ができます。
ブロードバンド常時接続の環境であれば外出先から、スマートフォン・タブレットのアプリケーションや、eメールで録画予約ができます。
ネットdeナビの詳細は、下記ホームページをご覧ください。
**http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/**

≫ 準備

- **本機をネットワークにつなぐ** 228
- **パソコンの動作環境を確認しておく** 228
- **ネットワークを設定しておく** 232

## ネットdeナビを設定する

ネットdeナビをつかうパソコン側の設定は、OSの種類によって異なりますので、詳しくはパソコンに付属の取扱説明書をお読みください。以下は、Windows® 7を例に説明しています。ネットdeナビからもメール録画予約機能の設定ができます。

- eメールで録画予約したいときは、ネットdeナビを設定したあとに、「メール録画予約機能」を設定してください。209、238

### パソコンの設定をする（ブロードバンド常時接続している場合）

ブロードバンド常時接続しているパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側の設定は必要ありません。次ページの「ネットdeナビの設定」に進みます。

### パソコンの設定をする（パソコンを直接接続している場合）

あらかじめ、パソコンで以下の設定をしてください。

1. **「コントロールパネル」➡「ネットワークとインターネット」➡「ネットワークと共有センター」➡「アダプターの設定の変更」➡「ローカルエリア接続」の「プロパティ」をクリックする**
2. **「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」をダブルクリックする**
   「次のIPアドレスを使う」を選んでIPアドレスとサブネットマスクを設定してください。（すでに値が設定されているときは、設定を戻せるようにその値をメモに残しておくことをおすすめします。）
   **IPアドレス**：
   「192.168.1.10」を入力してください。（本機のIPアドレスとは異なるアドレスを設定します。）
   **サブネットマスク**：
   「255.255.255.0」を入力してください。
3. **「OK」をクリックする**
4. **右記の「ネットdeナビの設定」に進む**



次ページへつづく

# ネットdeナビの機能をつかう・つづき

## ネットdeナビの設定

ネットdeナビの設定中にブラウザの「戻る」ボタンを押さないでください。「戻る」ボタンをつかうと、設定や表示が正しく行われない場合があります。

### 1 パソコンや携帯端末で、ネットdeナビ対応のブラウザを起動する

### 2 アドレスに「http://DBR-M3007」または「http://DBR-M1007」を入力して、パソコンの「Enter」を押す

- 「ネットワーク連携接続設定」236でユーザー名とパスワードを設定している場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。




- アドレスには、お使いの機器名を入力してください。
- 上記のアドレスを入力してもネットdeナビが起動しない場合は、設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【ネットワーク設定】➡【ネットワークステータス表示】で表示されている本機のIPアドレスを上記アドレスの代わりに入力してください。
- ネットdeナビが起動します。




この数値をブラウザのアドレスバー（http://）に続けて入力してください。

### デバイスネームを変更している場合

アドレスバー（http://）に続けてデバイスネームを入力してください。

- デバイスネームを確認するには、設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【ネットワーク設定】➡【ネットワーク連携設定】➡【利用する】を選択すると、デバイスネーム設定画面でデバイスネームが表示されます。

## ネットdeナビで録画予約する

❶ ネットdeナビ画面で、「録画予約一覧」をクリックする

- 録画予約を行うことができます。
- 録画予約の確認ができます。
- 録画予約を変更できます。
- 予約の削除ができます。

## ネットdeナビで録画リストを確認する

❶ ネットdeナビ画面で、「録画リスト」をクリックする

- 録画リストが表示されます。ドライブを選択してから、見たい番組の入ったフォルダを選んでクリックしてください。
- HDDや通常録画用USB-HDDに録画した番組の編集、削除が可能です。
- 本機側の番組の再生や停止の操作が可能です。本機の電源が「切」の場合は、操作できません。
- タイムシフトマシンの一覧が表示でき、番組の保存や再生ができます。

## ネットdeナビからフォルダ設定を変更する

❶ ネットdeナビ画面で、「フォルダ設定」をクリックする

- フォルダ設定画面が表示されます。
- フォルダの新規作成、フォルダ名の変更、フォルダの解体が可能です。

## ネットdeナビから番組表を確認する

❶ ネットdeナビ画面で、「番組表」をクリックする

- 番組表画面が表示されます。
- 番組の予約が可能です。
- 予約した番組は「録画予約一覧」から確認できます。

ご注意

- 録画先が通常録画用USB-HDDの場合は、「録画モード」を標準に設定できません。
- ネットdeナビでは【バックアップ設定】、【詳細設定】を設定できません。
- ネットdeナビでは「外部入力(L1)」の新規予約はできません。本機のみ設定できます。

お知らせ

- ネットdeナビの操作方法は、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

## 本機の情報

| | |
|---|---|
| 形名 | 形名を表示します。 |
| デバイスネーム | デバイスネームを表示します。 |
| MACアドレス | MACアドレスを表示します。 |

## メール録画予約機能の設定

| | |
|---|---|
| メール録画予約機能 | メール録画予約機能を利用するかどうかを設定します。 |
| メール予約パスワード | 予約メールとして判別するためのパスワードを設定します。 |
| POP3 サーバーアドレス | ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーアドレスを設定します。 |
| POP3 ユーザー名 | ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。 |
| POP3 パスワード | ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーにアクセスするときのパスワードを設定します。 |
| APOP | APOPをつかうかどうかを設定します。 |
| POP3アクセス間隔 | 5～120分の間で設定します。 |
| メール録画予約時アドレスフィルタリング | 予約メールのフィルタリングをするかしないかを設定します。 |
| フィルタアドレス | フィルタリングで受け付ける予約メールのアドレスを設定します。 |
| メール通知機能 | メール録画予約が完了したときの通知方法を設定します。<br>• 「指定アドレスへ通知」：「メール通知用の指定アドレス」で設定したアドレスへメールで通知します。<br>• 「送信元アドレスへ通知」：メール録画予約に使用したアドレスへメールで通知します。<br>• 「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」：両方のアドレスへメールで通知します。 |
| 失敗しそうな予約の通知 | 録画に失敗しそうな予約をメールで知らせるかどうかを設定します。（本機能は目安です。失敗しそうな予約をすべてお知らせするものではありません。） |
| おまかせ自動予約の通知 | 「おまかせ自動録画」の録画予約をメールで知らせるかどうかを設定します。 |
| SMTPサーバーアドレス | SMTPサーバーのアドレスを設定します。 |
| SMTPサーバーポート番号 | SMTPサーバーのポート番号を設定します。 |
| SMTP サーバー認証 | SMTPサーバーの認証方法を設定します。 |
| SMTP ユーザー名 | SMTPサーバーのユーザー名を設定します。<br>【SMTPサーバー認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。 |
| SMTP パスワード | SMTPサーバーのパスワードを設定します。<br>【SMTPサーバー認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。 |
| メールアドレス | プロバイダーのメールサービスのメールアドレスを設定します。 |
| メール通知用の指定アドレス | メール録画予約の完了をお知らせするメールアドレスを設定します。 |

お知らせ

- ご利用のプロバイダーによっては、メール予約ができない場合があります。
- ルーターによっては、DHCPによって割り振られるIPアドレスが頻繁に変わる場合があります。
- プロキシが設定されていると、アクセスできない場合があります。
- 本機側が動作中のときは、ネットdeナビが操作できても設定できない場合があります。
- メール予約設定は本機からも設定できます。詳しくは「メール予約設定」238をご覧ください。

# ネットdeナビの機能をつかう・つづき

## eメールで録画予約する

ネットdeナビ機能を使って、eメールで録画予約をすることができます。また、録画予約の設定をメールで確認することができます。

≫ 準備

- 「メール予約設定」238、または「ネットdeナビ設定」の「メール録画予約機能の設定」209をしておく
- メールソフトウェアの設定をテキスト形式に変更します。詳しくは、メールソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

### 1 eメールの送信先(To：)を入力する

- 「メール録画予約機能の設定」209で設定した「メールアドレス」を入力してください。

### 2 eメールの本文に、録画予約の内容を入力する

| open | password | prog | add | 20170317 | 1900 | 2000 | D011-1 | DR | H1 | EY | M2S |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |

- 文字はすべて半角で入力してください。また、それぞれの項目の間には、半角スペースを1つずつ入力してください。
- お使いのメールソフトウェアや携帯電話に、録画予約メールの定型文を登録しておくと便利です。

#### ① open

予約メールの先頭に入れてください。

#### ② メール予約パスワード

「メール録画予約機能の設定」209で設定したパスワードを入力してください。

#### ③ 固定文字

「prog」と入力してください。

#### ④ 本機の操作

**予約登録**：add
**予約削除**：del
**予約確認**：list
**残量確認**：remain

#### ⑤ 録画日

西暦4けた(年)　01～12(月)　01～31(日)

#### ⑥ 録画開始時刻(時)(分)

00～23(時)　00～59(分)

#### ⑦ 録画終了時刻(時)(分)

00～23(時)　00～59(分)

#### ⑧ 録画チャンネル

**地上デジタル**：DXXX-X
**BSデジタル**：BSXXX
**CSデジタル**：CSXXX

- 「XXX」はチャンネル番号です。地上デジタルの「-X」は枝番号です。枝番号があるときは、枝番号まで正しく指定してください。枝番号を指定しないと、意図しない放送が予約されることがあります。

#### ⑨ 録画モード

録画モードを入力してください。
DR／AF／AN／AS／AL／AE／XP／SP／LP／EP

- 通常録画用USB-HDDに録画する場合は、DR～AEを入力してください。

#### ⑩ 録画先

**HDD**：H1
**USB-HDD**：U1～U8
**ブルーレイディスク**：B1

#### ⑪ 予約方法

**番組表予約**：EY
**日時指定予約**：EN

- 番組表予約に設定すると、「⑥録画開始時刻(時)(分)」で入力した時刻に近い開始時刻の番組を録画予約します。
- 日時指定予約に設定すると、「⑥ 録画開始時刻(時)(分)」と「⑦ 録画終了時刻(時)(分)」の時刻で録画予約します。

#### ⑫ 毎週／毎日録画

**毎日**：EVERY
**火～土**：T2S
**月～土**：M2S
**月～金**：M2F
**毎週日**：SUN
**毎週月**：MON
**毎週火**：TUE
**毎週水**：WED
**毎週木**：THU
**毎週金**：FRI
**毎週土**：SAT

- 単体予約をするときは、入力しないでください。
- ⑨～⑫は省略可能です。省略した場合は、それぞれの設定は以下になります。
  - ⑨ 現在の録画機器の録画モード
  - ⑩ HDD
  - ⑪ EY
  - ⑫ 単体予約

## 3 eメールを送信する

お知らせ

- アルファベットは大文字、小文字のどちらも使えます。
- 改行して2行目に予約名を入れることができます。
- お使いのメールソフトウェアによっては、1行目が長いと改行されてしまい、予約内容が正しく認識されないことがあります。

### 予約メールの受信

本機は、一定時間(「メール予約設定」238の【POP3設定】➡【POP3アクセス間隔】、または「ネットdeナビ設定」207の「メール録画予約機能の設定」で設定した時間)の間隔で、POPサーバーから予約メールを受信します。

### 録画予約完了メール

本機が予約メールを受信すると、録画予約の完了または録画予約の失敗の通知をメールで受信できます。

#### 「メール予約設定」の【メール通知】の場合

- 【メール通知機能】を【指定アドレスへ通知】または【送信元アドレスへ通知】または【指定アドレスと送信元アドレスへ通知】に設定する。
- 【メール通知機能】を【指定アドレスへ通知】または【指定アドレスと送信元アドレスへ通知】に設定した場合は、【メール通知用の指定アドレス】に録画予約完了メールを受け取るメールアドレスを入力する。
- 【失敗しそうな予約の通知】を【通知する】に設定すると、予約を失敗しそうなときにメールを受信できます。
- 【おまかせ自動録画の通知】を【通知する】に設定すると、おまかせ自動録画122を設定している場合に、自動で録画予約が追加されたときにメールが受信できます。

#### 「ネットdeナビ設定」の場合

- 「メール通知機能」を「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」、「送信元アドレスへ通知」または「指定アドレスへ通知」に設定する。
- 「メール通知機能」を「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」または「指定アドレスへ通知」に設定した場合は、「メール通知用の指定アドレス」に録画予約完了メールを受け取るメールアドレスを入力する。
- 「失敗しそうな予約の通知」を設定しておくと、予約を失敗しそうなときにメールを受信できます。
- 「おまかせ自動録画の通知」を設定しておくと、おまかせ自動録画122を設定している場合に、自動で録画予約が追加されたときにメールが受信できます。

#### 録画予約ができたときは

次のようなメールで、録画予約の内容が通知されます。
以下は、DBR-M3007の例です。

**件名<SUBJECT>:**
DBR-M3007からのお知らせ

**本文<BODY>:**
メール予約を行いました。
◆ユーザー予約◆
録画日: 2017/3/17(金)
録画開始時刻: 19:00
録画終了時刻: 20:00
チャンネル: D011-1
録画モード: DR
予約ID 368
わくわく動物めぐり
mailto: メールアドレス(ネットde ナビ設定で設定したメールアドレス) ? subject =件名(○○○の予約を削除します。)& body =open%20 パスワード(ネットde ナビ設定で設定したパスワード)%20 prog%20del%20 予約ID(予約したID)

==========
HDD残量
現在設定:(DR) 18時間48分
==========

- mailtoとは、かんたんに予約を削除するメールが作成できる機能です。録画予約を削除したい場合は、受け取った録画予約完了メール内の「mailto」部分をクリックすることで、その録画予約を削除するメールが作成されるので、そのままメールを送信してください。ただし、mailto機能に対応した携帯電話またはメールソフトウェアであることが必要です。



次ページへつづく

# ネットdeナビの機能をつかう・つづき

### 録画予約に失敗したときは

録画予約ができなかった理由が通知されます。

お知らせ

- 以下の場合は、メールでの録画予約はできません。
  - 録画開始時刻が予約メールの受信時刻から15分以内のとき
  - 録画先がHDDまたは通常録画用USB-HDDで、15時間を超える録画時間に設定しているとき
  - 録画先がブルーレイディスクで、録画時間を8時間以上に設定しているとき
- 本機側でナビ画面などの表示中は、メールの送受信ができません。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときに、【タイムシフトマシン有効時間】を【全時間】に設定している場合は、録画予約できません。

## eメールで録画予約の設定を確認する

eメールの本文を以下のように入力すると、録画予約の設定を確認できます。

open password prog list l d e5

- e5：予約数
- d：詳細
- l：表示レイアウト（ロング）

お知らせ

- 末尾の「表示レイアウト」と「詳細」、「予約数」は省略できます。
- 「l」（エル）を入力した場合は、1行表示が長く表示され、省略すると改行された短いリストが表示されます。
- 「d」を入力した場合は、「録画予約」の詳細が表示され、省略すると簡略されたリストが表示されます。
- 「e」を入力した場合は、「e」に続けて数値を入力することで、1回のメールで受信可能な予約（録画情報）数を指定できます。指定可能な数値は1～9です。ただし、情報量が多いときには、指定された数値より少ない予約数しか得られないときがあります。

## eメールで残量を確認する

eメールの本文を以下のように入力すると、HDDの残量を確認できます。

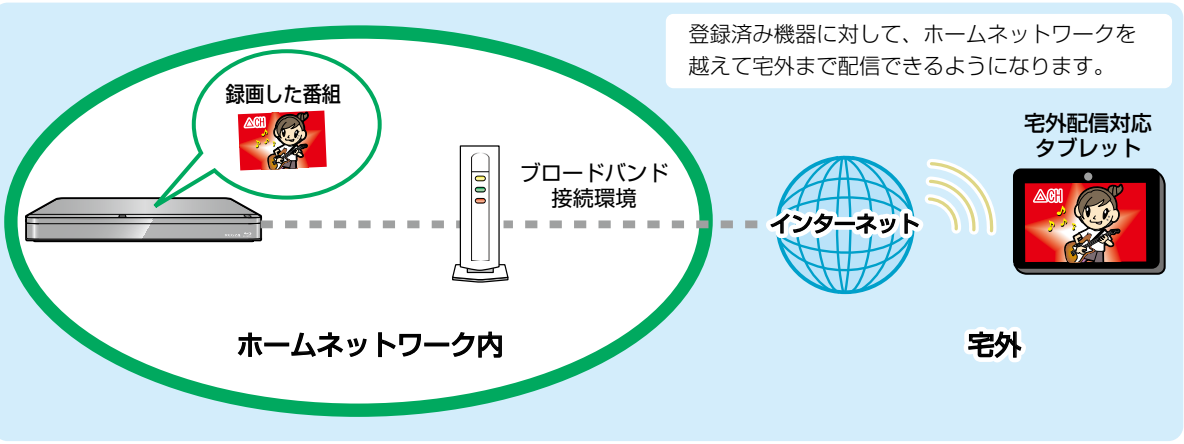
open password prog remain

- remain：残量

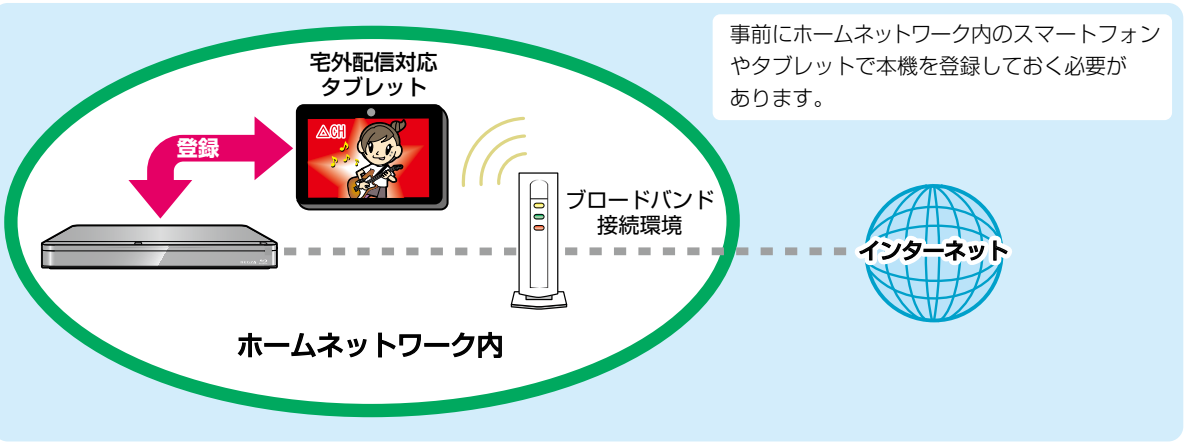
# 宅外配信をつかう

宅外配信とは、スマートフォンやタブレットの宅外配信対応アプリ（有料）を使用し、インターネットを経由して自宅の宅外配信対応機器で録画しておいた番組を外出先でも視聴できる機能のことです。
なお、本機で可能な宅外配信は通常配信、変換配信、ライブ配信となります。

## 宅外配信でできること




## 宅外配信する前に




ご注意
- 宅外からのスマホ持ち出し番組のダウンロードはできません。

# 宅外配信をつかう・つづき

## 外出先から番組を見る

≫ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく 228
- ネットワーク接続設定をしておく 232
- ネットワーク連携設定をしておく 236
- スマートフォンやタブレットなどに宅外配信対応アプリをダウンロードしてインストールしておく
- スマートフォンやタブレットなどから宅外配信用に本機を登録しておく 240

### 1 スマートフォンやタブレットなどで宅外配信対応アプリを起動する

### 2 宅外配信対応アプリの画面に従い、本機の番組を再生する

- 本機に対応した宅外配信対応アプリなどについて、詳しくは当社ホームページでご確認ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

ご注意

- 宅外配信は2台以上に同時配信できません。
- 以下の番組またはプレイリストは、宅外配信できません。
  - 標準画質で録画された番組
  - ディスクに録画された番組
  - チャプター編集を行った番組およびその番組から作成されたプレイリスト
  - 「おまかせプレイリスト」により作成されたプレイリスト
  - 他機で編集してから本機へダビングしてきた番組
- 以下の場合は、変換配信またはライブ配信を伴う宅外配信はできません。
  - 本機で録画モードを標準で録画中
- 以下の場合は、宅外配信はできません。
  - 本機でBD-Video、AVCHDディスク、写真を再生中

お知らせ

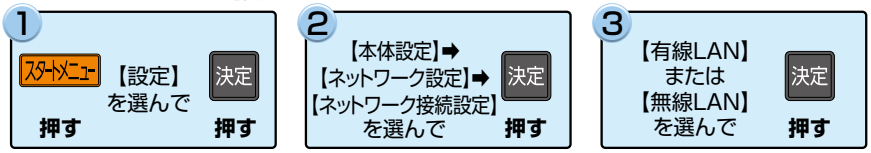
- 宅外配信はネットワーク回線状況が悪いと視聴しづらいことがあります。その際は、アプリ側で配信中の番組の画質を下げることで状況が改善されることがあります。

# 各種設定

本章では、USB-HDD やネットワークの接続・設定など、各種設定を説明しています。


タイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続・設定する ..... 216
通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDを接続・設定する..... 219
SeeQVault対応SDカードを挿入・接続する ..... 224
専用のTransferJet™転送対応機を接続する ..... 226
AVアンプとつなぐ ..... 227


## ネットワークを接続・設定する




詳しくは...228


レグザリンク機能について ..... 241
診断モードについて ..... 242
ソフトウェア情報と更新について ..... 245

# タイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続・設定する

## タイムシフトマシン録画用USB-HDD(外付けHDD)で何ができるのか？

タイムシフトマシン録画の録画先がHDDだけの場合に比べて、タイムシフトマシン録画用USB-HDDの容量の分だけタイムシフトマシン録画の容量を増やすことができます。

- タイムシフトマシン録画用USB-HDDは本機に2台まで登録できます。

ご注意

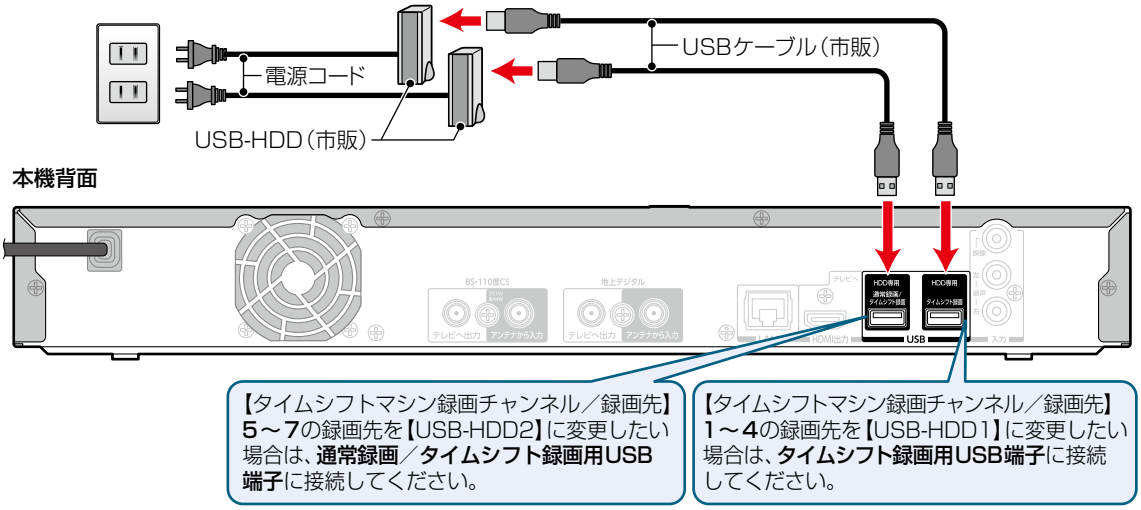
- タイムシフトマシン機能の設定を変更するとタイムシフトマシン録画された番組が削除される場合があります。66
- USBハブを使って接続しないでください。
- 本機への登録を解除したUSB-HDDはタイムシフトマシン録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDDを、もう一度本機に登録する場合も、本機専用のフォーマットで初期化しますので、番組は消去されます。消去されても問題ないデータであることを確認してから登録を解除してください。

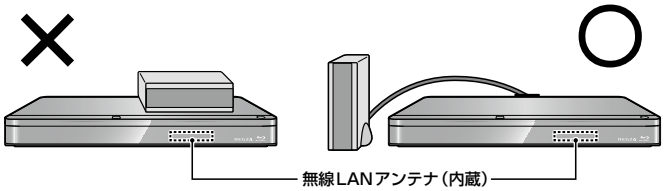
## タイムシフトマシン録画用USB-HDD(外付けHDD)をつなぐ前に

- 本機が対応するUSB-HDDについて
  本機に接続してタイムシフトマシン録画が可能なUSB-HDDの最新情報や詳細は、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続してタイムシフトマシン録画用USB-HDDとして登録すると、本機専用のフォーマットで初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。
- 本機で使用していたタイムシフトマシン録画用USB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、USB-HDDが故障したりする原因となります。
- 本機とUSB-HDDを接続するときは、本機とUSB-HDD(セルフパワー型のみ)の電源を必ず「切」にしてください。
  【瞬速起動】が設定されている場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。254
  (タイムシフトマシン録画中の場合は、あらかじめ【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してから電源を「切」にするか、リモコンの停止■を押しながら本機上面の電源を押して電源を「切」にしてください。)
  電源を「切」にしたあと、本機前面のランプがすべて消灯していることを確認してください。
- タイムシフトマシン録画用として登録したUSB-HDDに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の東芝レグザサーバー(同じ形名のレグザサーバーも含む)やパソコンなどに接続しても再生できません。
- USB-HDDに付属の取扱説明書もよくお読みください。
- USB-HDDを接続するタイムシフト録画用USB端子はUSB2.0、通常録画／タイムシフト録画用USB端子はUSB3.0準拠です。

## タイムシフトマシン録画用USB-HDDをつなぐ

- USB-HDDが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSB-HDDの電源を入れてください。
- タイムシフトマシン録画用USB-HDDをつなぐ場合は、USBハブを使用せず、下図のように1つの端子に対して1台のみつないでください。
- 通常録画用／タイムシフト録画用USB端子に接続したUSB-HDDをタイムシフトマシン録画用USB-HDD2として使用していると、通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDは使用できません。
  また、通常録画用／タイムシフト録画用USB端子に接続したUSB-HDDを通常録画用USB-HDDとして使用していると、タイムシフトマシン録画用USB-HDD2としては使用できません。




- 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDDおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機背面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。



次ページへつづく

# タイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続・設定する・つづき

### タイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続したあとは

- 本機にUSB-HDDを登録してください。（本機に登録されていないUSB-HDDはお使いになれません。）
- 未登録のUSB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
  - USB-HDDをタイムシフト録画用USB端子に接続したときは、▲·▼で【タイムシフトマシン録画用USB-HDD1として登録する】を選んで決定を押してください。そのあと、「タイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録する」の手順3に進んでください。
  - USB-HDDを通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続したときは、▲·▼で【タイムシフトマシン録画用USB-HDD2として登録する】を選んで決定を押してください。そのあと、「タイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録する」の手順3に進んでください。

### タイムシフトマシン録画用USB-HDDを取りはずすには

セルフパワー型のUSB-HDDを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源を「切」にしてからUSB-HDDの電源を「切」にして取りはずしてください。

お知らせ

- 本機背面にあるタイムシフト録画用または通常録画／タイムシフト録画用のUSB端子に、タブレットなどの本機で利用できないUSB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。

## タイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録する

本機に接続したUSB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDをタイムシフトマシン用として登録します。

- タイムシフトマシン録画中の場合は、あらかじめ【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してください。

**1** スタートメニューを押して、▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【USB-HDDメニュー】➡【タイムシフトマシン録画用】➡【USB-HDD登録設定】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【USB-HDD1（タイムシフト録画用USB端子）】または【USB-HDD2（通常録画／タイムシフト録画用USB端子）】を選んで、決定を押す

**4** ▲·▼で【USB-HDDを本機に登録する】を選んで決定を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 登録が完了すると放送画面に戻ります。

### 登録を解除するときは

USB-HDDの登録を解除すると、本機で記録した内容はすべて認識できなくなります。**認識できなくなっても問題ないデータであることを確認してから登録を解除してください。**

- タイムシフトマシン録画中は、登録を解除することができません。【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してから、登録を解除してください。

❶ **手順2のあと、登録を解除したいUSB-HDDを選び、決定を押す**

❷ **▲·▼で【USB-HDDの登録を解除する】を選んで決定を押す**

- 確認画面が2回表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

お知らせ

- タイムシフトマシン録画用USB-HDDが登録済みの状態で、別のタイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録する場合は、すでに登録済みのUSB-HDDの登録を解除してから、登録してください。

# 通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDを接続・設定する

## 通常録画用USB-HDDで何ができるのか？

HDDと同じように、受信した番組を録画したり再生したりすることができます。

ご注意

- 本機への登録を解除した通常録画用USB-HDDは、録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDDを、もう一度本機に登録する場合も、本機専用フォーマットで初期化しますので、番組はすべて消去されます。登録を解除するUSB-HDDは、間違えないように注意してください。

## SeeQVault対応USB-HDDで何ができるのか？

SeeQVault対応USB-HDDを使用すれば、本機で録画した番組をバックアップ用に記録できます。（バックアップ用に記録したダビング10番組はバックアップ先では1 回だけ録画可能（コピーワンス）番組になります。）

万一、本機が故障した場合は、本機に内蔵のHDDや通常録画用に登録したUSB-HDDに録画された番組は失われますが、SeeQVault対応USB-HDDへ記録した番組は本機の修理後でも再生やダビングが可能になります。

また、本機能に対応した東芝の他の機器でも再生やダビングができますので、番組の引っ越し用途にも利用できます。（本機でバックアップ用に記録した番組を他社のSeeQVault対応機器で再生やダビングをしたり、他社のSeeQVault対応機種で記録した番組を本機で動作させたりすることを保証するものではありません。）

初期化していないSeeQVault対応USB-HDDを本機に接続した場合は、接続後に表示される確認画面で【引越・バックアップ用として他機でも使用する】を選ぶ必要があります。221

## USB-HDD（外付けHDD）をつなぐ前に

- 本機が対応するUSB-HDDについて
  本機に接続して番組の録画／再生／引っ越し・バックアップが可能なUSB-HDDの最新情報や詳細は、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続して通常録画用USB-HDDとして登録すると、本機専用のフォーマットで初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。
- 本機で使用していた通常録画用USB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、USB-HDDが故障したりする原因となります。
- 本機とUSB-HDDまたはUSBハブを接続するときは、本機とUSB-HDD（セルフパワー型のみ）またはUSBハブの電源を必ず「切」にしてください。
  【瞬速起動】が設定されている場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。254
  （タイムシフトマシン録画中の場合は、あらかじめ【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してから電源を「切」にするか、リモコンの停止■を押しながら本機上面の電源◉を押して電源を「切」にしてください。）
  電源を「切」にしたあと、本機前面のランプがすべて消灯していることを確認してください。
  - USB-HDDの動作中に電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりすると、記録データが消えたり、本機およびHDDが故障したりする原因になります。
- 通常録画用として登録したUSB-HDDに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の東芝レコーダー（同じ形名のレコーダーも含む）やパソコンなどに接続しても再生できません。
- USB-HDDに付属の取扱説明書もよくお読みください。
- USB-HDDを接続する本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子は、USB3.0準拠です。

ご注意

- 通常録画用USB-HDDは、8台まで本機に登録できます。
- 通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDをつなぐ場合は、USBハブをつかうと4台まで同時に接続可能です。

# 通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDを接続・設定する・つづき

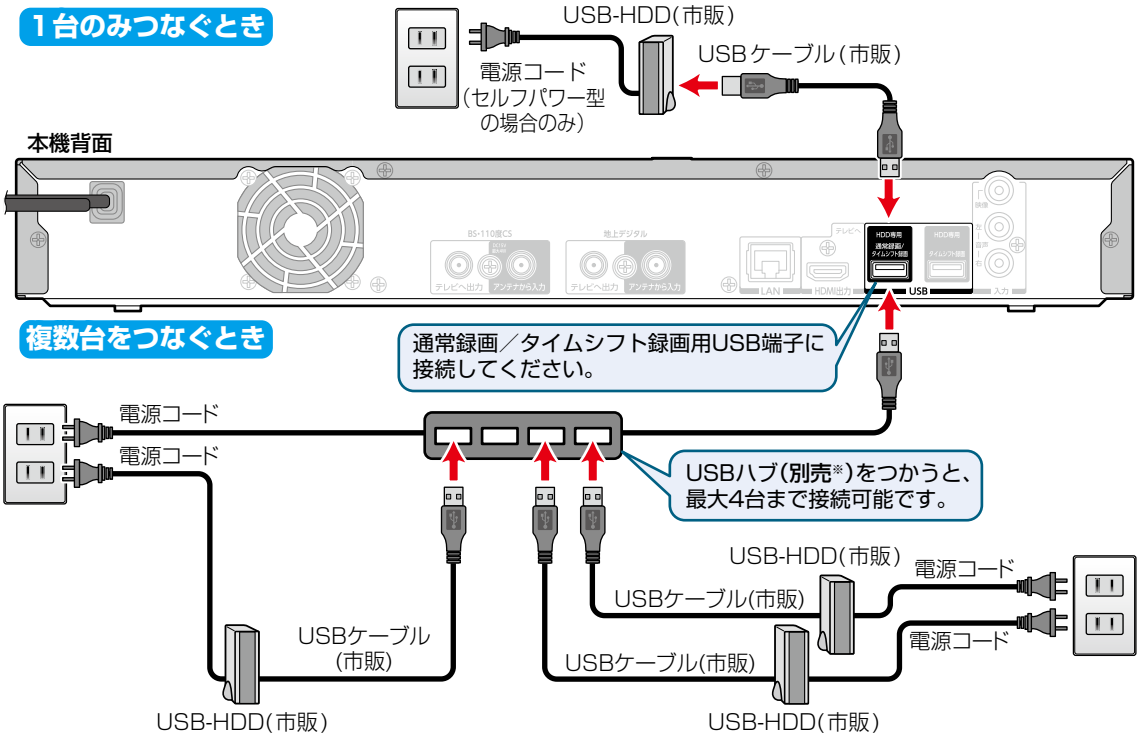
## USB-HDDをつなぐ

### USBハブをつかうときは

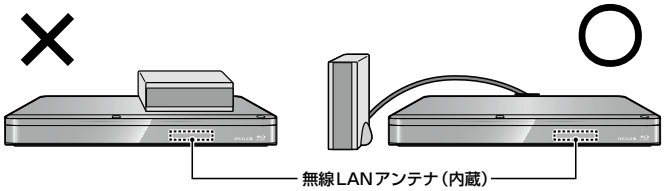
- USBハブをつかうときに接続するUSB-HDDは、ACアダプターを使用するセルフパワー型をお使いください。（バスパワー型USB-HDDをUSBハブに接続しても使用できません。）
- USBハブに使用するACアダプターは、専用のACアダプターをご使用ください。
- USB-HDD名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録や初期化の処理が終わったら、次のUSB-HDDを接続するようにしてください。
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSB-HDDを接続できません。
- 5ポート以上のUSBハブに5台以上のUSB-HDDを接続しても、本機が認識できるのは4台までです。
- USBハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのようなUSBハブで接続したときは、本機がUSB-HDDを認識しない場合があります。

## USB-HDDをつなぐ

- USB-HDDは必ず**本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子**に接続してください。
- USB-HDDが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSB-HDDの電源を入れてください。




※ セルフパワー型のUSBハブは、当社接続確認済み機器をご使用ください。接続確認済み機器については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/




- 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDDおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機背面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。

### 通常録画用USB-HDDを接続したあとは

- 本機にUSB-HDDを登録してください。(本機に登録されていないUSB-HDDはお使いになれません。)
- 未登録のUSB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
  - ▲·▼で【通常録画用として登録する】を選んで決定を押してください。そのあと、「USB-HDDを登録する」の手順 3 に進んでください。

### SeeQVault対応USB-HDDを接続したあとは

- 東芝のSeeQVault対応機器で、引っ越し・バックアップ用として登録するなど他機種での使用も想定して使用していたSeeQVault対応USB-HDDは、そのまま本機で使用できます。
- 他社のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVault対応USB-HDDは、本機で使用できない場合があります。
- 初期化していないSeeQVault対応USB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
  - 引っ越し・バックアップ用として使用する場合は、▲·▼で【引越・バックアップ用として他機でも使用する】を選んで決定を押してください。そのあと、「SeeQVault対応USB-HDDを初期化する」222の手順 3 に進んでください。
  - 通常録画用として使用する場合は、▲·▼で【通常録画用として登録する】を選んで決定を押してください。そのあと、「USB-HDDを登録する」の手順 3 に進んでください。
  - タイムシフトマシン録画用として使用する場合は、▲·▼で【タイムシフトマシン録画用USB-HDD2として登録する】を選んで決定を押してください。そのあと、「タイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録する」218の手順 3 に進んでください。

### USB-HDDまたはUSBハブを取りはずすには

セルフパワー型のUSB-HDDまたはUSBハブを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源を「切」にしてからUSB-HDDまたはUSBハブの電源を「切」にして取りはずしてください。

お知らせ

- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。

## USB-HDDを登録する

本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続したUSB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを通常録画用として登録します。

- タイムシフトマシン録画中の場合は、あらかじめ【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してください。

**1** スタートメニューを押して、▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【USB-HDDメニュー】➡【通常録画用】➡【USB-HDD登録設定】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【未登録】と表示されている行を選んで決定を押す

- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数の未登録USB-HDDを接続している場合は、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

**4** ▲·▼で【USB-HDDを本機に登録する】を選んで決定を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。

**5** ▲·▼で今すぐダビングするかしないかを選んで決定を押す

#### 【今すぐダビングする】を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」174手順 3 に進んでください。

#### 【今はダビングしない】を選んだ場合

登録を完了して放送画面に戻ります。

- 登録したUSB-HDDの名前を変更する場合は、「ディスク／USB-HDD／SeeQVault対応SDカードの名前を変更する」264をご覧ください。



次ページへつづく

# 通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDを接続・設定する・つづき

### 登録を解除するときは

USB-HDDの登録を解除すると、本機で記録した内容はすべて認識できなくなります。認識できなくなっても問題ないデータであることを確認してから登録を解除してください。

❶ 手順 *2* のあと、▲·▼で登録を解除したいUSB-HDDを選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼で【USB-HDDの登録を解除する】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ

- 以下の場合は、【HDD／ディスクの管理】を変更できません。
  - 通常録画中
  - ダビング中
  - タイムシフトマシン録画番組の保存中
  - ネットdeレック中

## SeeQVault対応USB-HDDを初期化する

本機に接続したSeeQVault対応USB-HDDを引っ越し・バックアップ用として初期化します。

**1** スタートメニュー を押して、▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで 決定 を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で、【USB-HDDメニュー】➡【引越・バックアップ用】➡【USB-HDD初期化】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で【未登録】または本機／他機で初期化済みのSeeQVault対応USB-HDDを選んで 決定 を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。
- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数の未登録USB-HDDを接続している場合は、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

**4** ▲·▼で今すぐダビングするかしないかを選んで 決定 を押す

#### 【今すぐダビングする】を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」174 の手順 *3* に進んでください。

#### 【今はダビングしない】を選んだ場合

初期化を完了して放送画面に戻ります。

- 初期化したUSB-HDDの名前を変更する場合は、「ディスク／USB-HDD／SeeQVault対応SDカードの名前を変更する」264 をご覧ください。

### 再度初期化するときは

SeeQVault対応USB-HDDを初期化すると、本機または他機で記録した番組がすべて初期化されます。消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。

❶ 手順 *1*～*4* を再度行う

ご注意

● 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にUSB-HDDを2台以上接続しているときは、USBを押すと、接続されているUSB-HDDが一覧で表示されるので、▲・▼で切り換えたいUSB-HDDを選んで決定を押す

- 通常録画用USB-HDDは、一覧上で「USB○:○○」と表示されます。
- SeeQVault対応USB-HDDは、一覧上で「SeeQVault○:○○」と表示されます。
- 録画リスト画面表示中にUSBを押しても切り換えることができます。
- 録画中の場合は、録画に使用している通常録画用USB-HDDのみ選ぶことができ、一覧上で「(使用中)」と表示されます。
- 引っ越し・バックアップ中またはダビング中の場合は、引っ越し・バックアップやダビングに使用しているUSB-HDDのみ選ぶことができ、一覧上で「(使用中)」と表示されます。また、通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDから通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDDへのダビング、SeeQVault対応USB-HDDに引っ越し・バックアップする場合は、ダビング元のUSB-HDDのみ選ぶことができます。

# SeeQVault対応SDカードを挿入・接続する

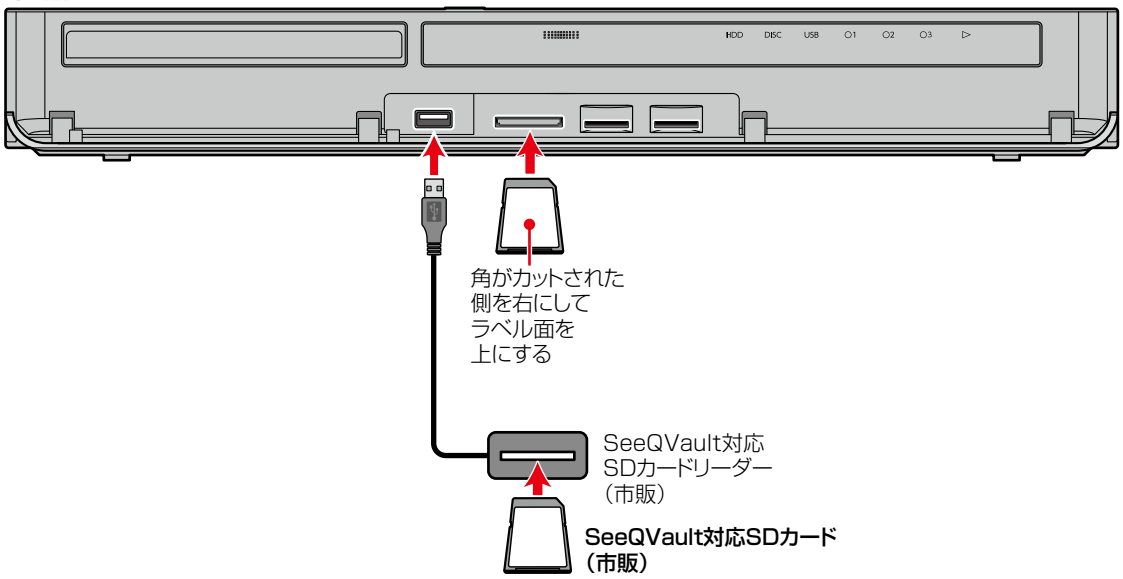
## SeeQVault対応SDカードで何ができるのか？

SeeQVault対応SDカードを使用すれば、本機で録画した番組をスマホ持ち出し番組として転送することができます。

## SeeQVault対応SDカードを挿入する／接続する

SDカードを挿入したり、SDカードリーダーを使ってSDカードをUSB接続したりすると、自動的に選択画面が表示されます。
SeeQVault対応SDカードリーダーは必ず**本機前面のメモリ専用USB端子**に接続してください。

**本機前面**






ご注意

- USBハブを使用して、SeeQVault対応SDカードをUSB接続することはできません。
- SeeQVault対応SDカードリーダーは、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- SDカードの認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。
  SDカードや本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
  - 本機またはSeeQVault対応SDカードリーダーからSDカードを抜く、またはUSBケーブルを抜く
- スマホ持ち出し用に記録したダビング10番組は、持ち出しした先では 1 回だけ録画可能（コピーワンス）番組になります。

## SeeQVault対応SDカードを初期化する

SeeQVault対応 SDカード　SeeQVault対応 SDカード(USB接続)

本機前面のSeeQVault対応SDカードまたは本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードで記録・再生ができない場合は、初期化(フォーマット)してからお使いください。

**1** スタートメニュー を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで 決定 を押す

- メディア選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼で【SDカードメニュー】または【USB(前面)メニュー】を選んで 決定 を押す

- 【スマホ持ち出し用】が選ばれているので 決定 を押してください。

**4** ▲·▼で【SDカード初期化】または【初期化】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が2回表示されるので、【はい】を選んで 決定 を押してください。SDカードが初期化されます。
- 初期化が始まると放送画面に戻ります。

**5** ▲·▼で今すぐダビングするかしないかを選んで 決定 を押す

### 【今すぐダビングする】を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」174の手順*3*に進んでください。

### 【今はダビングしない】を選んだ場合

初期化を完了して放送画面に戻ります。

- 初期化したSDカードの名前を変更する場合は、「ディスク／USB-HDD／SeeQVault対応SDカードの名前を変更する」264をご覧ください。

### 再度初期化するときは

SeeQVault対応SDカードを初期化すると、本機または他機で記録した番組がすべて初期化されます。消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。

❶ 手順*1*～*5*を再度行う

# 専用のTransferJet™転送対応機を接続する

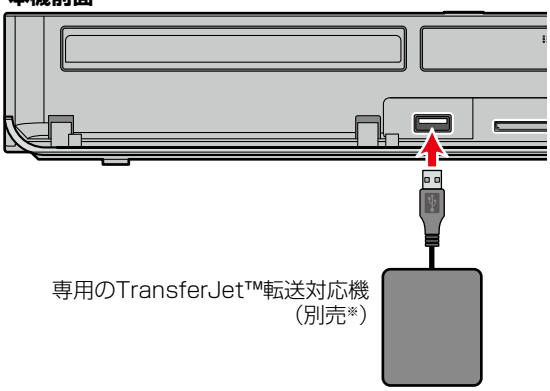
## 専用のTransferJet™転送対応機で何ができるのか？

専用のTransferJet™転送対応機はSeeQVault対応SDカードと同様に、本機で録画した番組をスマホ持ち出し番組として転送することができます。TransferJet™転送対応機に転送された番組は、持ち出し転送に対応した端末機器をTransferJet™転送対応機の上に置いて、端末機器側のアプリケーションでダウンロードすることで高速に転送することができます。

## 専用のTransferJet™転送対応機を本機と接続する

専用のTransferJet™転送対応機は必ず**本機前面のメモリ専用USB端子**に接続してください。

**本機前面**



専用のTransferJet™転送対応機（別売※）

※ 専用のTransferJet™転送対応機は、バッファロー「BSCRTQ01/V」をお使いください。（2017年2月現在）
「BSCRTQ01/V」に関する最新情報や詳細は、下記のホームページをご覧ください。
http://buffalo.jp/product/multimedia/transferjet/bscrtq01/

**ご注意**

- USBハブを使用して、専用のTransferJet™転送対応機を接続することはできません。
- 専用のTransferJet™転送対応機を利用する場合は、本機の待機設定を【通常待機】254に設定してご利用ください。
- 専用のTransferJet™転送対応機は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- 専用のTransferJet™転送対応機の認識中・書き込み中・読み込み中は、次のことを行わないでください。TransferJet™転送対応機や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。詳しくは、TransferJet™転送対応機に付属の取扱説明書をお読みください。
  - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
  - 本機からUSBケーブルを抜く
- スマホ持ち出し用に記録したダビング10番組は、持ち出しした先では1回だけ録画可能（コピーワンス）番組になります。

## 専用のTransferJet™転送対応機を初期化する

本機前面のメモリ専用USB端子と接続した専用のTransferJet™転送対応機に転送・記録できない場合は、初期化（フォーマット）してからお使いください。

**1** スタートメニューを押して、▲・▼・◀・▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す

**2** ▲・▼・◀・▶で、【USB（前面）メニュー】➡【スマホ持ち出し用】➡【初期化】を選んで決定を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 初期化が始まると放送画面に戻ります。本機前面のメモリ専用USB端子と接続した専用のTransferJet™転送対応機が初期化されます。

**3** ▲・▼で今すぐダビングするかしないかを選んで決定を押す

**【今すぐダビングする】を選んだ場合**

「複数の番組をまとめてダビングする」174の手順*3*に進んでください。

**【今はダビングしない】を選んだ場合**

初期化を完了して放送画面に戻ります。

- 初期化したTransferJet™転送対応機の名前を変更する場合は、「ディスク／USB-HDD／SeeQVault対応SDカードの名前を変更する」264をご覧ください。

### 再度初期化するときは

専用のTransferJet™転送対応機を初期化すると、本機または他機で記録した番組がすべて消去されます。消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。

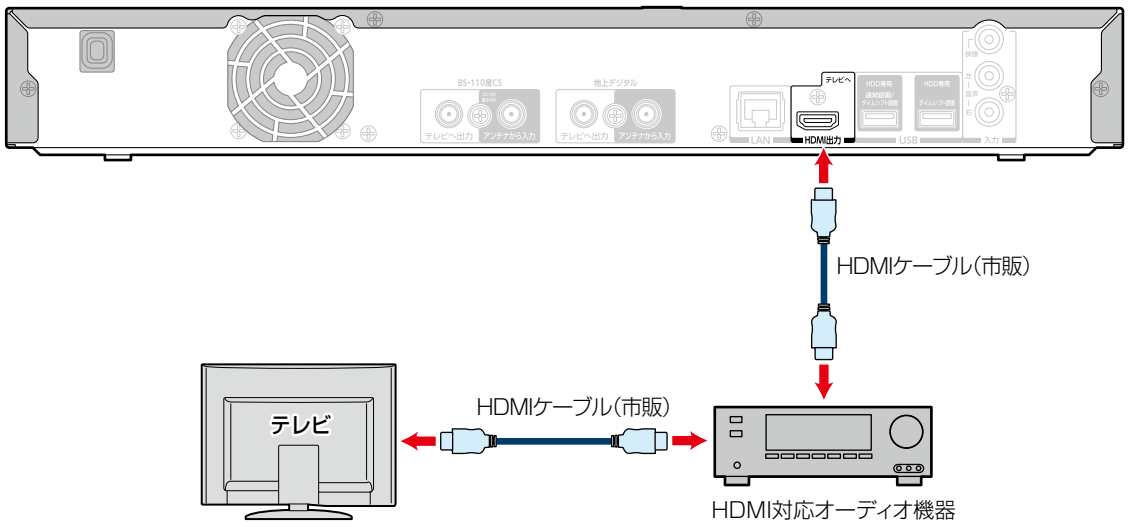
❶ 手順*1*～*3*を再度行う

# AVアンプとつなぐ

## HDMIケーブルを使って接続する

- PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BD-Videoの7.1ch音声を楽しむことができます。
  また、Dolby Audio – Dolby Digital Plus、Dolby Audio – Dolby TrueHD、DTS-HD®の各音声をデコードできるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。
- HDMIロゴのあるハイスピード対応HDMIケーブル(市販)をお使いください。

**本機背面**




ご注意

- HDMIケーブルを使って接続した場合は、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。詳しくは、AVアンプやテレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- HDMI対応オーディオ機器によっては、レグザリンク機能をご利用できないことがあります。
- 4K2K映像を視聴する場合は、4K対応のアンプをご使用ください。
- HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。
  (ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声が途切れてしまいます。)
  接続確認済みHDMIケーブルについては、以下になります。(2017年2月現在)
  - オーディオテクニカ HDMIケーブル AT-HMHシリーズ
  - JVCケンウッド HDMIケーブル Eシリーズ

※ 東芝のテレビとの接続動作を確認しておりますが、すべてのケーブルでの動作を保証するものではありません。
最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

# ネットワークを接続・設定する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

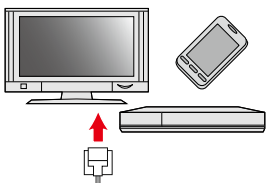
## LANケーブルを使って接続する

### 他機を使ってダビングしたい（ネットdeレック）

録画した番組をテレビから本機にダビングしたり、本機からスマートフォンやタブレットにダビングしたりできます。

**必要な設定**

「ネットワーク接続設定」232
「ネットワーク連携設定」236

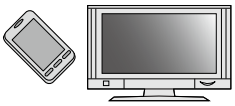


### 他機を使って再生したい（ネットdeサーバーHD）

本機で録画した番組をスマートフォンやタブレットなどで再生できます。

**必要な設定**

「ネットワーク接続設定」232
「ネットワーク連携設定」236



### パソコンを使って録画したい（ネットdeナビ）

パソコンで本機を操作し、番組を録画できます。

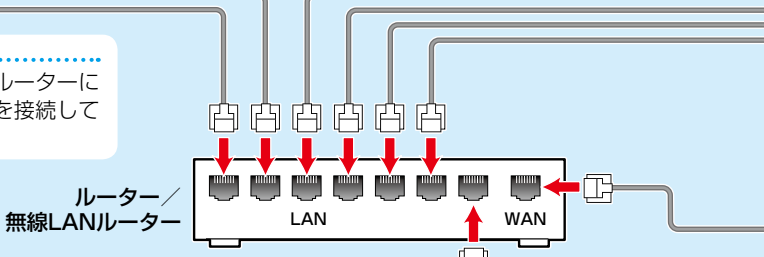
**必要な設定**

「ネットワーク接続設定」232
「ネットワーク連携設定」236
「ネットdeナビを設定する」207



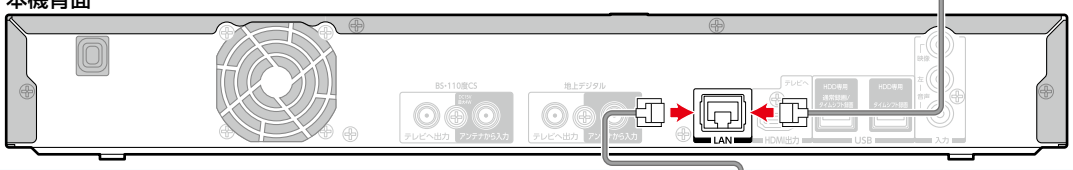
お知らせ

- 複数の他機を同時に接続する場合は、ルーターに他機を接続してから、本機とルーターを接続してください。




### ブロードバンド常時接続環境でつなぐとき

本機背面




### 本機と機器をLANケーブルで直接つなぐとき

ブロードバンド常時接続環境がない場合は、本機と機器をLANケーブルで直接つないでください。



**チューナーを使って録画したい（ネットdeレック）**



**他機の番組などを再生したい**



**パソコンを使って録画したい（ネットdeナビ）**



**他機を使ってダビングしたい（ネットdeレック）**



**他機を使って再生したい（ネットdeサーバーHD）**

ご注意

- ブロードバンド常時接続環境がないと、ネットdeナビの番組表機能、eメールでの予約録画および宅外配信はできません。

### チューナーを使って録画したい（ネットdeレック）

スカパー！プレミアムサービスチューナーまたはCATVチューナーからの映像をハイビジョンで録画やダビングできます。

**必要な設定**

「ネットワーク接続設定」232
「ネットワーク連携設定」236

### 他機の映像などを再生したい

DLNA対応機器の映像などを本機で再生できます。

**必要な設定**

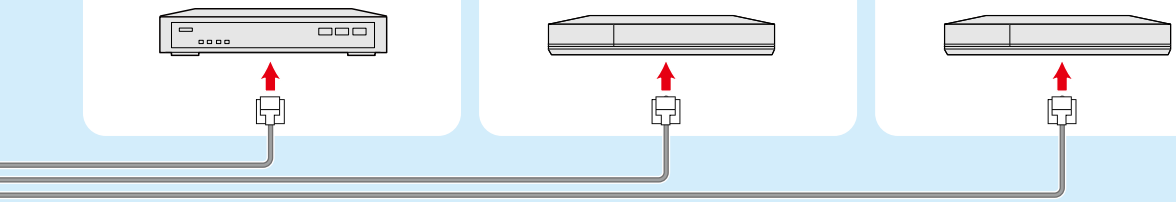
「ネットワーク接続設定」232
「ネットワーク連携設定」236

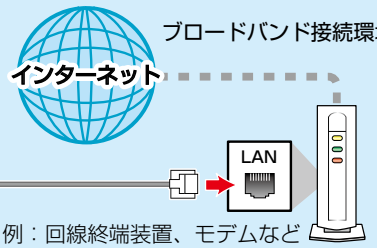
### 他機のタイムシフトマシン過去番組表を表示したい

タイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を、本機の過去番組と同時に表示できます。

**必要な設定**

「ネットワーク接続設定」232
「ネットワーク連携設定」236
「タイムシフトマシン連携設定」70






### eメールで録画予約したい

eメールで録画予約できます。

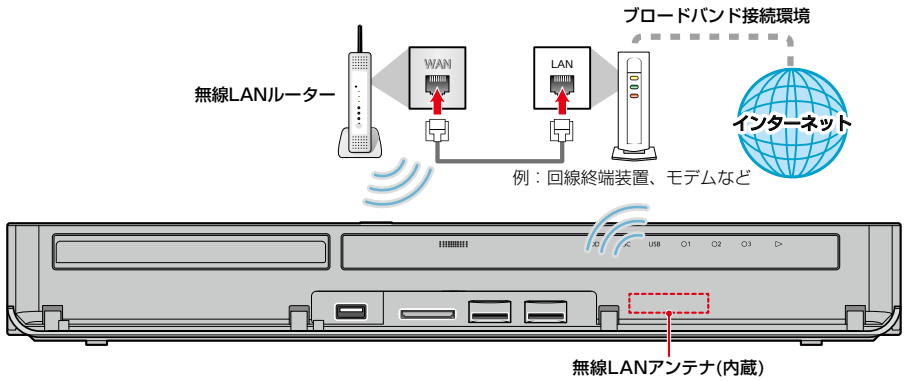
**必要な設定**

「ネットワーク接続設定」232
「ネットワーク連携設定」236
「ネットdeナビを設定する」207

## 無線LANを使って接続する

無線LANをつかうと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。

- ブロードバンド常時接続環境があれば上図のすべての機能をつかうことができます。




※ 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。

※ 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。217

※ 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

# ネットワークを接続・設定する・つづき

## ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。
  **http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/**
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。

| ネットdeナビ機能に必要な動作環境 |
|---|
| **パソコン**<br>DOS/V互換パソコン(LANコネクターが必要)<br>OS：Windows® 7／8／8.1／10(日本語版)<br>(上記のOS環境以外での動作を保証するものではありません。)<br>カラーモニター： 16ビットカラー以上、800×600ドット以上<br>必要なデバイス： LANポート(100Base-TX／10Base-T) |
| **スマートフォン・タブレット**<br>DiXiM Play Android版、DiXiM Play iOS版が動作するスマートフォン・タブレット(Android／iOS)※ |
| **WWWブラウザ**<br>Internet Explorer 11<br>Microsoft Edge<br>Google Chrome |

※ 動作環境に関しては、以下のホームページでご確認ください。
- DiXiM Play Android版
  http://www.digion.com/diximplay/android/
- DiXiM Play iOS版
  http://www.digion.com/diximplay/ios/

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。

ネットdeナビ機能の「番組表機能」、「メール録画予約機能」および宅外配信機能をご使用になる場合は、以下の環境が必要です。

- ブロードバンド常時接続環境
- 設置場所からパソコンで送受信可能なeメールアカウント(POPサーバーおよびSMTPサーバーを使用したサービス)(「メール録画予約機能」使用時)
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター(DHCP機能搭載を推奨)
- 無線LANルーター(無線LAN接続の場合)

## 用語と商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edgeは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 7...Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Windows® 8...Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Windows® 8.1...Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Windows® 10...Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Google Chrome、Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
- DLNA®およびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Alliance®の商標です。

## 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態、またはネットdeナビ機能での本機とパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に、100Base-TX／10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダーが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が 1 台に制限される場合は、すでに接続されているパソコンがあると、本機を 2 台目として接続することが認められていないことがあります。)
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ハブやルーターを利用してブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリー5(CAT5)と表示された規格以上のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販のLANケーブル(ストレートまたはクロス)をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- 「メール録画予約機能」をご利用になるには、POP3またはAPOPに対応したご家庭から接続可能なeメールのアカウントが別途必要です。携帯電話などのメールアドレスのように、ご家庭のパソコンからアクセスできないeメールのアカウントはご利用になれません。
- 本機がネットワーク経由でインターネットサービスプロバイダーのメールサーバーにアクセスできるよう、常時接続されている必要があります。

- 「メール録画予約機能」を利用する場合は、パソコンの電源を入れておく必要はありません。
- パソコンの設定は、メールのコピーを一定期間メールサーバーに保存する設定にしてください。メールを受信したときサーバーにコピーを残さず自動削除する設定ですと、本機で予約メールを受信できないことがあります。
- 携帯電話からのメール予約には、インターネットメールを使用してください。ショートメールのような携帯電話間だけのメール機能では使用できません。
- ポータルサイトのwebメール(POP3対応していない)はメール予約の設定には使用できません。(録画予約完了通知のアドレスには設定できます。)
- 宅外配信機能を利用する場合は、本機をFTTH(光ファイバー)回線などでブロードバンド常時接続環境につなぐ必要があります。ブロードバンド常時接続環境につなぐには、プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。(プロバイダーまたは回線事業者が採用している接続の方式や契約の約款などによっては、ご利用いただけない場合があります。)
- ネットdeナビで、番組一覧や番組詳細、フォルダ名などを表示すると、[ ]などの記号が類似記号で表示される場合があります。
- ネットdeナビで更新をすると、本体で[ ]などの類似記号で表示される場合があります。

## 免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書および本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - ―回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
  - ―必要な機器の準備
  - ―ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書も合わせてお読みください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
  パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
  - ―ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販)が必要です。
  - ―USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
  - ―プロバイダーや回事線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ―ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ―ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
  - ―接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

## ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

**ご注意**

- LANケーブルは、カテゴリー5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

**お知らせ**

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、設定ナビ(ふたの中)を押して、【本体設定】➡【ネットワーク設定】➡【ネットワークステータス表示】画面で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

# ネットワークを接続・設定する・つづき

## ネットワーク接続設定

ネットワーク機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダーなどとの契約と、ブロードバンド常時接続の環境に本機をつなぐことが必要です。

- 本機とDLNA対応機器などを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダーなどとの契約は不要です。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】➡【ネットワーク接続設定】を選んで 決定 を押す

**3** ▲・▼で【有線LAN】または【無線LAN】を選んで 決定 を押す

### 無線LANで接続しているときは

【無線LAN】を選んで、「【無線LAN】を設定する」234の手順 **3** に進んでください。

### LANケーブルで接続しているときは

【有線LAN】を選んで、▲・▼で【インターネットに接続する】または【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選んで 決定 を押してから、以下の設定を行ってください。

- 【インターネットに接続する】を選んだときは、ブロードバンド常時接続環境でつなぐ必要があります。詳しくは、228をご覧ください。
- 【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選んだときは、本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ必要があります。
  詳しくは、228をご覧ください。

**自動設定**：本ページ「【有線LAN】を自動で設定する」の手順 **1** に進んでください。

**手動設定**：【手動設定】を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。233

ご注意

- 【有線LAN】と【無線LAN】は同時に利用できません。
- LANケーブルで接続して【ネットワーク接続設定】の各設定を【手動設定】で変更した際は、必ず接続テストを行ってください。

## 【有線LAN】を自動で設定する

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。また、既に設定していた場合は、設定値が自動設定で取得した値に更新されます。（このときプロキシの設定はクリアされます。）

**1** ▲・▼で【自動設定】を選んで 決定 を押す

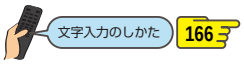



- 自動的に各項目が設定され、有線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、決定 を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

## 【有線LAN】を手動で設定する

### 1 ▲·▼で【手動設定】を選んで 決定 を押す

- 設定一覧が表示されるので、それぞれの項目を▲·▼で選んで 決定 を押してください。




#### IPアドレス取得方法

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

❶ ▲·▼で【IPアドレス取得方法】を選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼で設定方法を選んで 決定 を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、【手動】を選んで設定してください。

**【自動(DHCP)】を選んだときは**

DHCP機能を使って自動的にIPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを設定します。

**【手動】を選んだときは**

以下の項目に数値を入力してください。

**IPアドレス：** パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2けたを、お好みの数値に変更したものを入力してください。(3けたまで入力可能です。)

**サブネットマスク：** パソコンと同じ数値を入力してください。

**デフォルトゲートウェイ：** パソコンと同じ数値を入力してください。

#### DNS-IP取得方法

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

❶ ▲·▼で【DNS-IP取得方法】を選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼で設定方法を選んで 決定 を押す

**【自動(DHCP)】を選んだときは**

DHCP機能を使って自動的にプライマリDNS／セカンダリDNSを設定します。

**【手動】を選んだときは**

以下の項目に数値を入力してください。

**プライマリDNS：** パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

**セカンダリDNS：** パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

#### プロキシ設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

❶ ▲·▼で【プロキシ設定】を選んで 決定 を押す

❷ ▲·▼で設定方法を選んで 決定 を押す

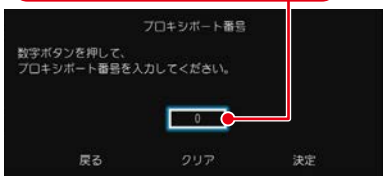
**【有効】を選んだときは**

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

プロキシアドレスを入力する




プロキシポート番号を入力する




- 設定が終わったら、手順 2 に進んでください。

**【無効】を選んだときは**

手順 2 に進んでください。

### 2 ▲·▼で【接続テスト】を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、 決定 を押してください。

### 3 【手動設定】ですべての設定が終わったら、▶で【決定】を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、 終了 を押してください。

**接続テストでエラーメッセージが表示されたときは**

画面の指示に従ってネットワークの設定をし直してください。

お知らせ

- パソコンに設定されている「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の確認方法について詳しくは、207 の❶～❷、またはご使用のパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

# ネットワークを接続・設定する・つづき

## 【無線LAN】を設定する

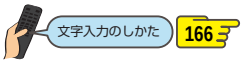
- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ情報漏えいの恐れがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、以下の機能はお使いになれません。
  - ネットdeナビ、eメールでの録画予約、ネットdeレック、ネットdeサーバーHD、ネットワーク連携
- 無線LANネットワークのセキュリティレベルが低い場合(WEP)、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで決定を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【ネットワーク設定】➡【ネットワーク接続設定】➡【無線LAN】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で設定方法を選んで決定を押す




### 【無線LAN自動検出】

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

❶ 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選んで決定を押す

❷ セキュリティキーを入力し、緑を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で【次へ】を選んで決定を押してください。

❸ 設定モードを選ぶ

**【自動設定】を選んだときは**

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので決定を押してください。

**【手動設定】を選んだときは**

IPアドレス、DNS－IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「【有線LAN】を手動で設定する」233をご覧ください。

### 【手動接続設定】

各項目を手動で設定します。

❶ SSIDを入力して、緑を押す

❷ ▲·▼でセキュリティを選んで決定を押す

❸ セキュリティキーを入力し、緑を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で【次へ】を選んで決定を押してください。

❹ 設定モードを選ぶ

**【自動設定】を選んだときは**

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので決定を押してください。

**【手動設定】を選んだときは**

IPアドレス、DNS－IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「【有線LAN】を手動で設定する」233をご覧ください。

ご注意

- インターネット環境が必要になります。

### 【かんたん接続設定(WPS)】

プッシュボタン方式またはPINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

**▲·▼で【プッシュボタン方式(PBC)】または【PINコード方式】を選んで 決定 を押す**

**【プッシュボタン方式(PBC)】を選んだときは**

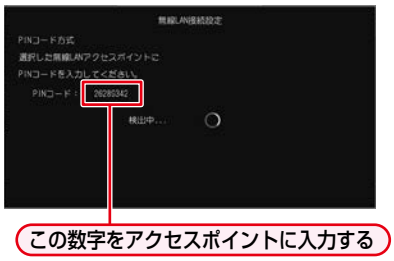
**画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す**

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。

**【PINコード方式】を選んだときは**

**❶ 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選んで 決定 を押す**

**❷ 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する**




この数字をアクセスポイントに入力する

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。

- 設定が終わったら、終了を押してください。

**お知らせ**

- 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 2.4GHz帯の無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。217
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター(アクセスポイント)での接続を保証するものではありません。

## LANケーブルで直接つなぐ

**1** **設定メニュー(ふたの中)を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す**

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** **▲·▼·◀·▶で【ネットワーク設定】➡【ネットワーク接続設定】➡【有線LAN】➡【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】➡【自動設定】を選んで 決定 を押す**

**3** **確認画面が表示されるので、決定を押す**

自動設定で接続に成功しなかった場合は、【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】➡【手動設定】を選んで【IPアドレス取得方法】と【DNS-IP取得方法】を【手動】にしてから、以下の項目を設定してください。

**本機のネットワーク設定**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| IPアドレス | 192.168.1.15 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ | 192.168.1.1 |
| プライマリDNS | 192.168.1.1 |

**接続する機器のネットワーク設定**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| IPアドレス | 192.168.1.20 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ | 192.168.1.1 |
| プライマリDNS | 192.168.1.1 |

上記の設定内容は一例です。
IPアドレスの一番右の値を1～254の値に設定し、本機と本機と接続する機器の値が同じ値にならないように設定してください。

**ご注意**

- LANケーブルは、カテゴリー5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

# ネットワークを接続・設定する・つづき

## ネットワーク連携設定

ネットワークを利用した連携機能をつかうための設定をします。

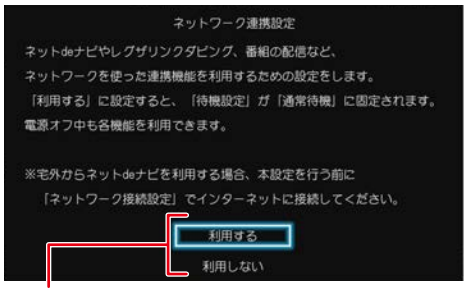
● これらの機能を利用するには、「ネットワーク接続設定」232を完了している必要があります。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】➡【ネットワーク連携設定】を選んで 決定 を押す

**3** ▲・▼で【利用する】または【利用しない】を選んで 決定 を押す




**利用する**： ネットdeナビ207やレグザリンク・ダビング192、番組の配信203などのネットワークを使った連携機能を利用できます。また、利用中に本機の電源を「切」にしても、連携機能を利用できます。

**利用しない**：ネットワーク連携機能を利用しません。

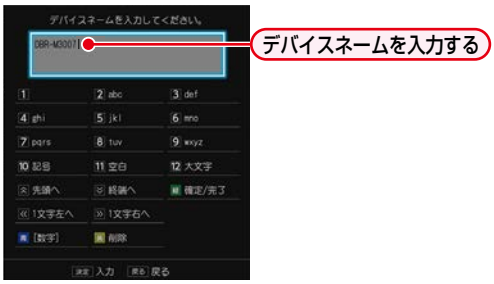
- 【利用する】を選んだ場合は、引き続き次の項目の設定を行います。

### デバイスネームを設定する

**4** ▲・▼で【はい】を選んで 決定 を押す

- 【いいえ】を選んだ場合は、「ネットワーク連携接続を設定する」に進んでください。

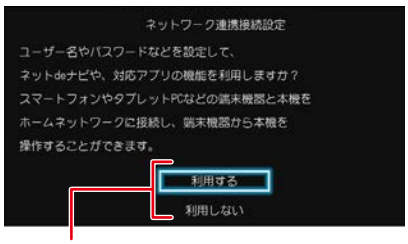
**5** デバイスネームを入力して、緑 を押す




文字入力のしかた 166

### ネットワーク連携接続を設定する

**6** ▲・▼で【利用する】を選んで 決定 を押す




ネットdeナビ機能や対応アプリを利用するか、しないかを設定します。

- 【利用する】を選んだ場合は、引き続き次の項目の設定を行います。



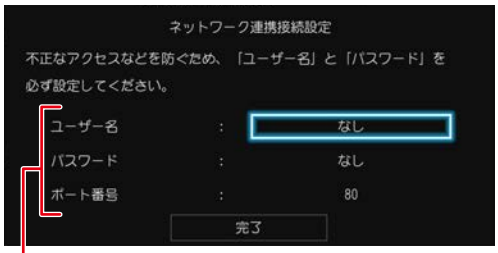
お知らせ

● ネットワーク連携設定を【利用する】に設定すると、【待機設定】が【通常待機】になります。

● パスワードは、半角で8～64文字で入力してください。

## 7 ▲·▼で各項目を選んで 決定 を押して、それぞれの項目を設定する

- スマートフォンやタブレット、ネットdeナビ機能で本機に接続し、本機を操作することができます。




**ユーザー名**：端末機器から本機にアクセスするためのIDを設定します。

**パスワード**：端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。

**ポート番号**：通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、「2000」～「10000」の間で変更してください。

文字入力のしかた 166

## 8 すべての設定が終わったら、【完了】を選んで 決定 を押す

## アクセス制限を設定する

本機にアクセスできる機器を制限するか、しないかを設定します。

## 1 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

## 2 ▲·▼で【ネットワーク設定】を選んで 決定 を押す

## 3 ▲·▼で【アクセス制限】を選んで 決定 を押す

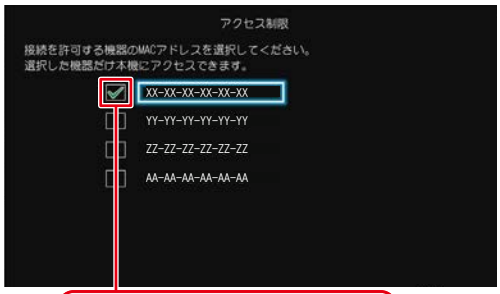
## 4 ▲·▼で制限するか、しないかを選んで 決定 を押す

**制限する**： 本機にアクセスできる機器を制限します。

**制限しない**： アクセスを制限しません。

### 【制限する】を選んだときは

本機にアクセスできる機器を選んで 決定 を押す




- 決定 を押すたびにチェックあり（☑）、なし（☐）が切り換わります。本機にアクセスできる機器を選択後、▲·▼·◀·▶ で【決定】を選んで 決定 を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

# ネットワークを接続・設定する・つづき

## メール予約設定

メールで録画予約を行うための設定をします。

- これらの機能を利用するには、「ネットワーク接続設定」232を完了している必要があります。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで決定を押す

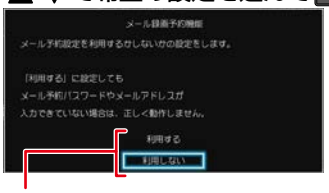
- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】➡【メール予約設定】を選んで決定を押す

### メール録画予約機能

メール録画予約機能を利用するか、しないかを設定します。

❶ ▲・▼で【メール録画予約機能】を選んで決定を押す
❷ ▲・▼で希望の設定を選んで決定を押す




**利用する**：　メール録画予約機能を利用します。
**利用しない**：　メール録画予約機能を利用しません。

### メール予約パスワード

予約メールとして判別するためのパスワードを設定します。6文字以上20文字以内の半角英数字で設定してください。

❶ ▲・▼で【メール予約パスワード】を選んで決定を押す
❷ パスワードを入力して緑を押す

文字入力のしかた 166

### POP3設定

POP3の設定をします。

❶ ▲・▼で【POP3設定】を選んで決定を押す
❷ ▲・▼で各項目を選んで決定を押す
❸ それぞれの項目を設定する

文字入力のしかた 166




**POP3サーバーアドレス**：
ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーアドレスを設定します。
**POP3ユーザー名**：
ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。
**POP3パスワード**：
ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーにアクセスするときのパスワードを設定します。
**APOP**：
APOPをつかうかどうかを設定します。
**POP3アクセス間隔**：
予約メールをチェックする時間の間隔（5分～120分）を設定します。

- 設定が終わったら、戻るを押してください。

### SMTP設定

SMTPの設定をします。

❶ ▲・▼で【SMTP設定】を選んで決定を押す
❷ ▲・▼で各項目を選んで決定を押す
❸ それぞれの項目を設定する

文字入力のしかた 166




**SMTPサーバーアドレス**：
SMTPサーバーのアドレスを設定します。
**SMTPサーバーポート番号**：
SMTPサーバーのポート番号を設定します。
**SMTPサーバー認証**：
SMTPサーバーの認証方法を設定します。
**SMTPユーザー名**：
SMTPサーバーのユーザー名を設定します。【SMTPサーバー認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。
**SMTPパスワード**：
SMTPサーバーのパスワードを設定します。【SMTPサーバー認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。

- 設定が終わったら、戻るを押してください。

## フィルタリング

受信するメールアドレスを指定します。

❶ ▲·▼で【フィルタリング】を選んで 決定 を押す
❷ ▲·▼で各項目を選んで 決定 を押す
❸ それぞれの項目を設定する

文字入力のしかた 166




**アドレスフィルタリング設定**：
予約メールのフィルタリングをするかしないかを設定します。

**フィルタアドレス**：
フィルタリングで受け付ける予約メールのアドレスを設定します。

- 設定が終わったら、戻る を押してください。

## メール通知

受信結果をメールで通知する設定をします。

❶ ▲·▼で【メール通知】を選んで 決定 を押す
❷ ▲·▼で各項目を選んで 決定 を押す
❸ それぞれの項目を設定する

文字入力のしかた 166




**メール通知機能**：
メール録画予約が完了したときの通知方法を設定します。

- 【指定アドレスへ通知】：
  【メール通知用の指定アドレス】で設定したアドレスへメールで通知します。
- 【送信元アドレスへ通知】：
  メール録画予約に使用したアドレスへメールで通知します。
- 【指定アドレスと送信元アドレスへ通知】：
  両方のアドレスへメールで通知します。

**失敗しそうな予約の通知**：
録画に失敗しそうな予約をメールで知らせるかどうかを設定します。（本機能は目安です。失敗しそうな予約をすべてお知らせするものではありません。）

**おまかせ自動録画の通知**：
「おまかせ自動録画」の録画予約をメールで知らせるかどうかを設定します。

**メール通知用の指定アドレス**：
メール録画予約の完了をお知らせするメールアドレスを設定します。

- 設定が終わったら、戻る を押してください。

## メールアドレス

メール予約する際の送信者のメールアドレスを設定します。

❶ ▲·▼で【メールアドレス】を選んで 決定 を押す
❷ アドレスを入力して 緑 を押す

文字入力のしかた 166

【メール予約設定】の設定が終わったら、終了 を押してください。

## ネットdeナビを設定する

ネットdeナビをつかうパソコン側の設定は、OSの種類によって異なりますので、詳しくはパソコンに付属の取扱説明書をお読みください。以下は、Windows® 7を例に説明しています。ネットdeナビからもメール録画予約機能の設定ができます。

- 詳しくは「ネットdeナビを設定する」207で設定してください。
- eメールで録画予約したいときは、ネットdeナビを設定したあとに、「メール録画予約機能」を設定してください。238、209

# ネットワークを接続・設定する・つづき

## 宅外配信の設定をする

### スマートフォンやタブレットなどを本機に登録する(ペアリング)

宅外配信機能をつかうには、本機とスマートフォンやタブレットを同じホームネットワークに接続しておき、本機に端末機器を登録(ペアリング)しておく必要があります

≫ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく 228
- ネットワークの接続設定をしておく 232
- ネットワーク連携設定をしておく 236
- スマートフォンやタブレットに宅外配信対応アプリをダウンロードしてインストールしておく
- スマートフォンやタブレットを本機と同じホームネットワークに接続しておく

**1** スマートフォンやタブレットなどで宅外配信対応アプリを起動する

**2** 宅外配信対応アプリの画面に従い、本機に登録する

- 本機に対応した宅外配信対応アプリなどについて、詳しくは当社ホームページでご確認ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- アプリ側から見た本機の表示名は、デバイスネームとなります。本機のデバイスネームは、設定メニュー(ふたの中)を押してから、【本体設定】➡【ネットワーク設定】➡【ネットワーク連携設定】➡【利用する】を選択すると、デバイスネーム設定画面でデバイスネームが表示されます。

お知らせ

- ペアリングは最大6台まで可能です。
- 再ペアリングせずに利用できる期間は3ヶ月となります。
- ペアリングした子機の登録台数とペアリング有効期間は、一般社団法人　電波産業会(ARIB)により公開された「地上デジタルテレビジョン放送運用規定ARIB TR-TR-B14(6.2改定版)」および「ＢＳ／広帯域ＣＳデジタル放送運用規定ARIB TR-B15(7.1改定版)」に記載の「デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件」に従っています。

### 宅外配信や宅外でネットdeナビができる端末機器を確認する

宅外配信や宅外でネットdeナビをつかうために本機に登録してあるスマートフォンやタブレットといった機器が宅外配信リストから確認できます。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで決定を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】➡【宅外配信リスト】を選んで決定を押す

- 宅外配信リストが表示されます。ただし、1台も登録されていない場合は確認画面が表示されますので【了解】を選んで決定を押してください。

#### 宅外配信リストから機器の登録を解除するには

❶ 宅外配信リストを表示中に、▲・▼で削除したい機器を選ぶ
❷ 【削除】で決定を押す
❸ 確認画面が表示されるので▲・▼で【はい】を選んで決定を押す

### すべての登録機器を削除する

宅外配信リストから登録機器をすべて削除することができます。

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで決定を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【その他】➡【初期化】➡【宅外配信設定初期化】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 登録してある機器がすべて削除されます。再度、宅外配信するには再登録が必要です。
- 機器が1台も登録されていなくても、【宅外配信設定初期化】は可能です。

# レグザリンク機能について

## レグザリンク機能とは？

レグザリンク機能とは、HDMI CECを使用したHDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能です。HDMI CEC規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作を行うことができますが、東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」シリーズ以外の機器については動作を保証するものではありません。

- HDMI CECは、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

以下のような連動動作ができます。（操作の手間が省けて便利です。）

- 本機の電源「切」のときに 電源、再生▶、トレイ開閉、スタートメニュー、録画リスト、過去番組表、番組表、時短 を押すと、本機の電源が「入」になり、テレビが自動的に本機の接続されているHDMI入力に切り換わります。
- 本機の電源を入れて以下のボタンを押すと、テレビが自動的に本機の接続されているHDMI入力に切り換わります。




- テレビの番組表を使って、本機に録画予約できます。
- 本機で再生視聴中にテレビのチャンネルを変更すると、再生は自動的に停止状態になります。ただし、再生が自動的に停止しない場合もありますので、本機前面の再生ランプで状態をご確認ください。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。ただし、HDD、通常録画用USB-HDD、ディスクのいずれかが、予約録画以外で通常録画中の場合や、本機が起動処理中の場合は電源が切れません。

### 東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」シリーズについて

対応機種については、当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/link/

- 他社のHDMI CEC対応機器で、本機と部分的に連動動作する場合もありますが、東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」シリーズ以外はその動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは【レグザリンク・コントローラ】を【切】にしてください。詳しくは、251をご覧ください。

## レグザリンク機能を設定する

レグザリンク機能をつかうには、以下の手順で【レグザリンク・コントローラ】の設定を【入】にしてください。

≫ 準備

- 本機と東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」をハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく 34
- テレビ側でレグザリンクの設定をしておく（詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。）

1. 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す
   - スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。
2. ▲・▼・◀・▶で【HDMI接続設定】➡【レグザリンク・コントローラ】を選んで 決定 を押す
3. ▲・▼で【入】を選んで 決定 を押す
   詳しくは、251をご覧ください。

お知らせ

- 【レグザリンク・コントローラ】はテレビではレグザリンク（HDMI連動）と呼んでいる場合があります。

## レグザリンク・ダビングとは？

本機能に対応している東芝のテレビで録画した番組を、ネットワークを使って本機に送り、ダビングするものです。対応機種については、当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/link/

- 操作について詳しくは、192をご覧ください。
- テレビの設定や操作について詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。

## LANケーブルで接続する

1. 本機とテレビをLANケーブルで接続する 228
2. 【ネットワーク接続設定】を設定する 232
3. 【ネットワーク連携設定】を設定する 236
4. テレビ側で必要な設定をする
   - 詳しくは、接続するテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

# 診断モードについて

本機の主な機能の動作確認は、【診断モード】メニューで確認することができます。

## 【診断モード】をつかう

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押す

- スタートメニューを押して、【設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼で【診断モード】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。

## 【診断モード】の項目と診断内容

本機の主な機能の診断をしたり、ディスク情報やUSB機器の情報を診断したりすることができます。

### 本体診断

本機の主な機能の診断を行います。

**1** ▲·▼で【本体診断】を選んで決定を押す

**2** ▲·▼·◀·▶で希望の診断項目を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、▲·▼で【はい】を選んで決定を押してください。
- 診断後、【診断結果】に【詳細を確認してください。】と表示された【診断項目】を確認する場合は、▲·▼·◀·▶で【診断項目】を選び、青を押すと表示される詳細画面で【診断項目】と【対処方法】をご確認ください。
- 診断が終わったら、終了を押してください。

#### 全機能診断

【本体診断】画面に表示されている【診断項目】すべての診断を行います。

- 診断が終わるまでしばらく時間がかかることがあります。

#### HDD

本機に内蔵されているHDDの診断を行います。

#### BD／DVDドライブ

ブルーレイディスク／DVDドライブの診断を行います。

≫ 準備

- **ディスクを取り出しておく**

- 本機にディスクが挿入されている場合は、正しく診断することができません。

#### チューナー（地デジ）

地上デジタル用チューナーの診断を行います。

≫ 準備

- **本機の地上デジタル入力端子と、壁などのアンテナ端子を同軸ケーブルでつないでおく** 34
- **miniB-CASカードを挿入しておく** 34

- 本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CASカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

#### チューナー（BS／CS）

BS／CS用チューナーの診断を行います。

≫ 準備

- **本機のBS・110度CS入力端子と、壁などのアンテナ端子をBS・110度CSデジタル放送対応同軸ケーブルでつないでおく** 32
- **miniB-CASカードを挿入しておく** 34

- 本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CASカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

#### ネットワーク

ネットワークの診断を行います。

≫ 準備

- **本機とネットワークを接続しておく** 228
- **ネットワークの接続設定をしておく** 232

- 【ネットワーク接続設定】が【使用しない】に設定されている場合は、正しく診断することができません。

#### HDMI CEC

HDMI CECの診断を行います。

≫ 準備

- **本機とHDMI CEC対応テレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく** 34
- **【本体設定】の【HDMI接続設定】から【レグザリンク・コントローラ】を【入】に設定しておく** 241

- 以下の場合は、正しく診断することができません。
  - テレビがHDMI CECに対応していない場合
  - 本機とテレビがHDMIケーブルで接続されていない場合
  - テレビ側のHDMI CEC設定が有効になっていない場合

ご注意

- HDMIケーブルは付属しておりません。市販のHDMIケーブルをご使用ください。

## USB-HDD(通常録画用)
## USB-HDD(タイムシフトマシン用)

通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDの診断を行います。

≫ 準備

- 本機背面のタイムシフト録画用USB端子にタイムシフトマシン録画用USB-HDDをつないでおく 217
- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDをつないでおく 217、220
- 通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDを本機に登録しておく 221

- 本機と通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDが接続されていない場合は、正しく診断することができません。
- 通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDが本機に登録されていない場合は、そのまま診断を行うと【診断結果】に【詳細を確認してください。】と表示されます。その結果が表示された【USB-HDD(通常録画用)】または【USB-HDD(タイムシフトマシン用)】を選んだまま青を押して、詳細画面で停止を押すと仮登録を行い、診断のみ行うことができます。
  (仮登録を行うと、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。)

## USB機器(前面)

USBメモリまたはUSB接続したSeeQVault対応SDカードの診断を行います。

≫ 準備

- 本機前面のメモリ専用USB端子にUSBメモリを接続しておく 58
- 本機前面のメモリ専用USB端子とSeeQVault対応SDカードをUSB接続しておく 224、226

- 本機とUSBメモリまたはUSB接続したSeeQVault対応SDカードが接続されていない場合は、正しく診断することができません。

## SDカード

SDカードの診断を行います。

≫ 準備

- 本機前面のSDカードスロットにSDカードを挿入しておく 58

- 本機にSDカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

## 受信チャンネル診断

現在の地上デジタル放送受信チャンネル状況を診断します。

≫ 準備

- 本機の地上デジタル入力端子と、壁などのアンテナ端子を同軸ケーブルでつないでおく 34
- miniB-CASカードを挿入しておく 34

**1** ▲·▼で【受信チャンネル診断】を選んで決定を押す

- スキャン完了後、チャンネル情報が検出されます。
- 【受信レベル】が低いチャンネルなど、個別に受信状態を確認したい場合は、▲·▼でチャンネルを選んで決定を押すと、【アンテナの設定】画面が表示されます。(アンテナの調整について詳しくは、53をご覧ください。)
- 診断が終わったら、終了を押してください。

## ディスク情報

ディスクの情報を表示します。

**1** ▲·▼で【ディスク情報】を選んで決定を押す

**2** 診断するディスクを挿入する

- 読み込み完了後、ディスク情報が表示されます。
- 診断が終わったら、終了を押してください。

## USB-HDD情報(通常録画用)
## USB-HDD情報(タイムシフトマシン用)

通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDの情報を表示します。

≫ 準備

- 本機背面のタイムシフト録画用USB端子にタイムシフトマシン録画用USB-HDDをつないでおく 217
- 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDをつないでおく 217、220
- 通常録画用USB-HDDまたはタイムシフトマシン録画用USB-HDDを本機で登録または初期化しておく 221
  (すでに東芝のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVault対応USB-HDDの情報を表示する場合は、初期化する必要はありません。)

**1** ▲·▼で【USB-HDD情報(通常録画用)】または【USB-HDD情報(タイムシフトマシン用)】を選んで決定を押す

**2** 【開始】が選ばれているので、決定を押す

- 読み込み完了後、USB-HDD情報が表示されます。
- 診断が終わったら、終了を押してください。

# 診断モードについて・つづき

## USB機器情報(前面)

本機前面のメモリ専用USB端子に接続しているUSB機器の情報を表示します。

≫ 準備

- 本機前面のメモリ専用USB端子にUSBメモリを接続しておく 58
- 本機前面のメモリ専用USB端子とSeeQVault対応SDカードをUSB接続しておく 224、226

**1** ▲・▼で【USB機器情報(前面)】を選んで 決定 を押す

**2** 【開始】が選ばれているので、決定を押す

- 読み込み完了後、USB機器情報が表示されます。
- 診断が終わったら、終了を押してください。

## SDカード情報

SDカードの情報を表示します。

≫ 準備

- 本機前面のSDカードスロットにSDカードを挿入しておく

● SDカードがロックされている場合は、ロックを解除してからSDカードスロットに挿入してください。

**1** ▲・▼で【SDカード情報】を選んで 決定 を押す

**2** 【開始】が選ばれているので、決定を押す

- 読み込み完了後、SDカード情報が表示されます。
- 診断が終わったら、終了を押してください。



お知らせ

● 【診断モード】では、すべての故障を診断できるわけではありません。

# ソフトウェア情報と更新について

お買い上げ後、本機をより快適な環境でお使いいただくために、当社が本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を改良版として公開する場合があります。ソフトウェアを更新するには、以下の方法があります。

- デジタル放送電波を使って更新する
- サーバーを使って更新する

**ソフトウェア更新中は、電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの書き込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる恐れがあります。動作しなくなったときは、「東芝DVDインフォメーションセンター」（裏表紙）にご連絡ください。**

## ソフトウェアのバージョンを確認する

現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

**1** スタートメニュー を押す

- スタートメニュー画面上部にバージョンとして、ソフトウェアバージョンが表示されます。

### 【本体設定】から確認する場合

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

❷ ▲・▼・◀・▶で【その他】➡【ソフトウェア情報と更新】➡【バージョン情報】を選んで 決定 を押す

- ソフトウェアバージョン情報が表示されます。
- 確認が終わったら、終了 を押してください。

## デジタル放送電波を使って更新する

本機の電源「切」のときにデジタル放送電波を使ってソフトウェアをダウンロードし、自動的に最新のソフトウェアに更新します。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【その他】➡【ソフトウェア情報と更新】➡【放送波による自動更新】を選んで 決定 を押す

**3** ▲・▼で【自動更新する】を選んで 決定 を押す

- ダウンロードが実施されると、【お知らせメール】が届きます。248
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

ご注意

- 以下の場合は、ソフトウェアを自動更新できません。
  - 電源プラグが抜けている
  - 悪天候などにより受信状態が悪い
  - 本機の電源が入っている
  - ダウンロード更新時刻と予約録画が重なっている
- 本機のソフトウェア更新は、本機の電源「切」時に行われます。
- ダウンロード更新中に本機を操作すると、ダウンロードは中止されます。
- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録している場合は、ソフトウェア更新時にタイムシフトマシン録画が一時停止することがあります。

# ソフトウェア情報と更新について・つづき

## サーバーを使って更新する

インターネットを使って東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新します。
（新しいソフトウェアが公開されていないときは、ダウンロードされません。）
地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送をご利用でない方は、サーバーを使って更新してください。

≫ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく 228
- ネットワークの接続設定をしておく 232

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲・▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲・▼・◀・▶で【その他】➡【ソフトウェア情報と更新】➡【ネットワークによる更新】を選んで 決定 を押す

- メッセージが2回表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。
- ダウンロード終了のメッセージが表示されたら、決定 を押してください。
- ソフトウェアが最新のときは確認画面が表示されるので、決定 を押してください。
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

### ソフトウェアが公開されているか自動で確認するには

❶ 手順 *2* で【自動更新確認】を選んで 決定 を押す
❷ ▲・▼で【更新確認する】を選んで 決定 を押す

- ソフトウェアの確認は、本機の電源「切」のときに行われます。
- 新しいソフトウェアが公開されている場合は、本機の電源を「入」にしたときにメッセージが表示されます。ダウンロードする場合は、▲・▼で【はい】を選んで 決定 を押してください。

ご注意

- 以下の場合は、ソフトウェアをダウンロードできません。
  - 録画中
  - ダビング中
- ソフトウェアを更新中は、他機への配信が停止されます。
- ソフトウェアのダウンロード中に予約録画が始まると、ダウンロードを中止します。

お知らせ

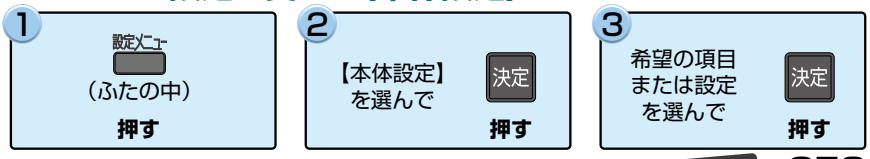
- ダウンロードを行い、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- ダウンロードしたソフトウェアは、システムメンテナンス時間に本機の電源が「切」になっているときに更新されます。（更新中は本機前面のHDDランプが点滅（青）します。）
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。

# さまざまな情報

本章では、各機能の設定や、メディアや記録時間などの情報、困ったときの解決法などを説明しています。


本機や放送局からのお知らせを確認する ..... 248
視聴制限を設定する ..... 249

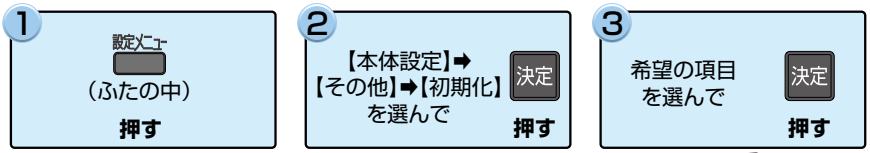

## いろいろな設定を変える(本体設定)




詳しくは ...250


放送関連の設定を変える(放送受信設定) ..... 256
本機で使えるメディアについて ..... 258


## 本機を初期化する




詳しくは ...261


ディスクを初期化する ..... 262
メディアを管理する ..... 264
同時にできること ..... 269
二カ国語・マルチ番組・字幕について ..... 280
本機で受信できる放送の種類 ..... 281
各メディアに関するその他のお知らせ ..... 282
記録時間一覧表 ..... 286
テレビ画面に表示されるメッセージ ..... 288
困ったときは ..... 291
症状に合わせて解決法を調べる ..... 295

# 本機や放送局からのお知らせを確認する

## お知らせメールについて

スタートメニュー画面の【お知らせメール】で、本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード(掲示板)を確認できます。

未読のお知らせがある状態で本機の電源を入れたり、番組視聴中に新規メールを受信したりすると、テレビ画面上に【スタートメニューからメールを確認してください】というメッセージが約20秒間表示されます。

- 本機ではパソコンや携帯電話などの電子メールは扱えません。

## 放送メール1／放送メール2

本機や放送局からメールが送られてきます。

### 本機から送られてくるメール

- 本機から以下の情報や連絡が送られてきます。
  - 【送信状況変更のお知らせ】
    地上デジタル放送のチャンネルの再スキャンなどが必要なとき
  - 【自動チャンネル再設定のお知らせ】
    本機が自動チャンネル再設定を行ったとき
  - 【ダウンロードのお知らせ】
    ダウンロード可能なソフトウェアがあるとき
  - 【FW更新のお知らせ】
    ソフトウェアの更新を行ったとき
- 最大39通まで保管できます。39通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが削除されます。

### 放送局から送られてくるメール

- 放送局からのお知らせが送られてきます。
- 1放送局につき、最大13通まで保管できます。13通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが削除されます。
- 保存期限は14日間です。

## CS1ボード／CS2ボード

### ボード(掲示板)

- 110度CSデジタル放送からの情報や案内が表示されます。
- 最大24件まで表示できます。

**1** スタートメニューを押す




**2** ▲·▼·◀·▶で【お知らせメール】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼で【放送メール1】、【放送メール2】、【CS1ボード】、【CS2ボード】を選んで決定を押す

- メールやボード(掲示板)の一覧が表示されます。
- 未読のメールは【✉】、既読のメールは【✉】で表示されます。

**4** ▲·▼で確認したいメールまたはボード(掲示板)を選んで、決定を押す

- 確認が終わったら、終了を押してください。

#### 【放送メール1】

放送局から送られてきた、miniB-CASカード挿入口2(視聴、予約録画、タイムシフト用)のB-CASカードについての放送メールや、本機からのメールを確認できます。

#### 【放送メール2】

放送局から送られてきた、miniB-CASカード挿入口1(タイムシフト用)のB-CASカードについての放送メールを確認できます。

#### 【CS1ボード】または【CS2ボード】

110度CSデジタル放送局の情報や案内をボード(掲示板)で確認できます。

- 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、ボード情報を取得できません。

# 視聴制限を設定する

パスワードを設定して、視聴を制限できます。制限できる機能は以下になります。
- 【インターネット接続制限】、【BD-Live接続設定】、【BD視聴制限レベル】、【DVD視聴制限レベル】

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す
- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼で【再生設定】または【ネットワーク設定】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で希望の項目を選んで 決定 を押す
- 【再生設定】を選んだ場合は、【BD視聴制限レベル】または【DVD視聴制限レベル】を選んでください。
- 【ネットワーク設定】を選んだ場合は、【インターネット接続制限】または【BD-Live接続設定】を選んでください。

**4** 1 ～ 10/0 でパスワード（4けた）を入力する
- 入力した数字は、「＊」で表示されます。
- パスワードが未登録の場合は、ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

**入力を間違えたときは**

◀で戻るか、▲·▼で【全てクリア】を選んで 決定 を押す

**パスワードを忘れたときは**

4、7、3、7を入力する。
- 新しいパスワードを登録できます。

**5** ▲·▼で希望の設定を選んで 決定 を押す
- 設定が終わったら、終了 を押してください。

お知らせ
- 本機に登録できるパスワードは1つです。

## 制限できる機能と内容

### インターネット接続制限

本機を使ってインターネットサービスをご利用になるご家庭では、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限するため、本機能のご利用をおすすめします。

以下の項目で【制限する】を選んでください。

**制限する：** インターネットアクセスを禁止します。（「BD-Live」機能が使えなくなります。）

**制限しない：** インターネットアクセスを許可します。

### BD-Live接続設定

BD-Live機能を制限します。

**有効：** BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを無制限に許可します。

**有効（制限つき）：** 証明書を持つBD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。

**無効：** BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。

### BD視聴制限レベル

ブルーレイディスクの視聴を制限します。

**無制限：** 制限なく、すべてのディスクが視聴できます。

**視聴可能年齢設定：** 年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢制限を超える内容が含まれるディスクは視聴できなくなります。

### DVD視聴制限レベル

DVDの視聴を制限します。

**無制限：** 制限なく、すべてのディスクが視聴できます。
**レベル8：** 年齢に関係なく視聴できます。
**レベル7：** 18歳未満の方は視聴できません。
**レベル6：** 保護者の指導のもとで18歳未満の方が視聴できます。
**レベル5：** 保護者同伴での視聴を推奨します。
**レベル4：** 13歳未満の方の視聴には不適切な表現があります。
**レベル3：** 保護者の方の判断による視聴を推奨します。
**レベル2：** 一般的に視聴できる内容です。
**レベル1：** お子様が視聴されても問題のない内容です。

お知らせ
- 市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクに視聴制限が設定されている場合は、パスワードを入力することで一時的に視聴制限を解除できます。（本機の電源を切るまでの間、ディスクを視聴できます。）
- ディスクによっては、ディスク制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

## パスワードを変更する

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す
- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【その他】➡【パスワード変更】を選んで 決定 を押す

**3** 1 ～ 10/0 を押して現在のパスワードを入力する
- 入力した数字は、「＊」で表示されます。
- 新しいパスワードの入力画面が表示されます。

**4** 1 ～ 10/0 を押して新しいパスワードを入力する
- 確認用の再入力画面が表示されるので、もう一度入力して 決定 を押してください。
- 変更が終わったら、終了 を押してください。

ご注意
- パスワードは忘れないようにご注意ください。

# いろいろな設定を変える(本体設定)

## 【本体設定】をつかう

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで決定を押す

- スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼で希望の項目または設定を選んで決定を押す

- この操作を繰り返し、希望の設定に変更します。
- 戻るを押すと、左側の設定項目に戻ります。

### 確認画面が表示されるときは

▲·▼で【はい】を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、終了を押してください。

ご注意

- 録画中は、設定画面の設定ができないことがあります。(設定できない場合は、その項目は選べません。)
- 再生中に設定メニュー画面を表示すると、再生が自動的に停止します。

## 【本体設定】の項目と設定内容

### 映像設定

#### TV画面選択

**4:3レターボックス**：4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。

**4:3パンスキャン**：4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のないDVD-Videoディスクはレターボックスで表示されます。

**16:9ワイド**：16:9ワイドテレビで見るときに選びます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。

**16:9シュリンク**：16:9ワイドテレビで、4:3映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ4:3映像を縮小して表示します。

- 4:3 / 16:9 LB / 16:9 PS のように、DVD-Video側で画面サイズが指定されているときは、本機で画面の種類を選んでも、違う種類で表示されることがあります。
- 正しい画面サイズ(画角、画面の縦横比)でプログレッシブ映像を見るにはテレビ側で画角を調整してください。

#### スチルモード

**自動**：表示する静止画の情報に応じて、【フィールド】または【フレーム】のどちらかで表示されます。

**フィールド**：【自動】に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。【フィールド】を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

**フレーム**：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。
【フレーム】を選択すると、画質は良くなりますが、2 枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。

### 音声設定

#### Dolby Audio

**PCM**：Dolby Audio - Dolby Digital/Dolby Audio - Dolby Digital Plus/Dolby Audio - Dolby TrueHDを2chダウンミックスに変換して出力します。

**自動**：HDMI端子から：
接続する機器がDolby Audio - Dolby Digital/Dolby Audio - Dolby Digital Plus/Dolby Audio - Dolby TrueHDに対応している場合は、ビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。)

#### DTS/DTS-HD

**PCM**：DTS®、DTS-HD®をLPCMに変換して出力します。(コアサブストリームのみをダウンミックスして2ch PCMで出力されます。)

**自動**：HDMI端子から：
接続する機器がDTS®、DTS-HD®に対応している場合は、ビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。)

#### AAC

**PCM**：AAC音声をLPCMに変換して出力します。

**自動**：HDMI端子から：
接続する機器がAACに対応している場合は、HDMI端子からビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。)

#### BD-HD音声設定

**複合音声**：BD-Videoのインタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。

**HD音声**：BD-Videoのプライマリ音声のみを高音質で出力します。

#### Dolby D レンジ

**自動**：Dolby Audio-Dolby TrueHDの再生中に、本機がディスクのDolby D レンジ情報を認識し、Dolby D レンジ設定を自動的に「入」、または「切」に設定します。音声がDolby Audio-Dolby TrueHD以外の場合は、「切」と同じ動作をします。

**入**：記録された音声の強弱の幅を調整します。

**切**：記録されたオリジナル音源で出力します。

- 効果は、番組によって異なります。

## HDMI接続設定

### HDMI解像度設定

**自動：** おすすめの設定です。接続したHDMI機器およびコンテンツに応じて自動で適切な解像度に設定します。
**480p：** 480プログレッシブで出力します。
**720p：** 720プログレッシブで出力します。
**1080i：** 1080インターレースで出力します。
**1080p：** 1080プログレッシブ60フレームで出力します。24p記録された映像を再生中に映像のうごきがなめらかではない場合は設定を「自動」に変更してください。
**1080p24：** 1080プログレッシブ24フレームで出力します。
**4K2K：** 4K対応テレビと接続時に1080p/24Hzのコンテンツを再生すると4K2K/24pに映像をアップコンバートして出力します。

※ 本機から4K2Kで出力する場合は、レグザコンビネーション高画質機能はオフとなります。この機能をオンにする場合は、本機能に対応したテレビと接続し、本機・テレビともに【レグザリンク・コントローラ】を「入」にして、テレビ側で4K2Kへアップコンバート動作するようにHDMI解像度の設定を“自動”にすることをおすすめします。レグザコンビネーション高画質機能がオンのときに、テレビの【レグザリンク・コントローラ】を「切」に設定しても、本機のHDMI出力解像度は、1080pから4K2Kへは切り換わりません。

### HDMIディープカラー

**自動：** 接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合は、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。
**切：** HDMI端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。

### プログレッシブモード

HDMI出力端子からプログレッシブで出力する際の適切な出力方法を設定します。

**自動：** 映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に適切な状態で出力します。
**ビデオ：** ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。【自動】設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。

### HDMI音声出力

HDMI出力端子から音声を出力するかどうかを設定します。
**入**／**切**

### レグザリンク・コントローラ

東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」でレグザリンク機能をつかうかどうかの設定をします。241ページ
**入**／**切**

- 【入】に設定すると、【待機設定】の設定も自動的に【通常待機】に設定されます
- 本機とHDMI CEC規格に準拠した東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」をHDMIケーブルでつなぐと、本機が対応しているレグザリンク連動機能を利用できます。詳しくは、レグザリンク対応機器側に付属の取扱説明書をお読みください。

## 3D設定

### 3D映像視聴設定

**自動(3D)：** 3D映像で出力します。
**2D：** 3D映像を2Dで出力します。

- ディスクによっては、2D出力できないものがあります。
- 3Dコンテンツを4Kアップコンバート出力する場合は、【2D】に設定してください。

### 3D奥行き設定

3D映像を出力するときの奥行き感を設定します。

### 3D画面表示

サイドバイサイド方式の3D映像を表示するときのメニューやメッセージ位置を設定します。

**入(サイドバイサイド)：** 3D映像の一部メニューやメッセージをサイドバイサイド方式で表示します。
**切(通常)：** 通常の方式で3D映像を表示します。

## 再生設定

- 言語設定はBD-Video／DVD-Video側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD-Video／DVD-Videoによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクに付属の取扱説明書をお読みください。
- BD-Video／DVD-Videoによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。

### 音声言語設定

BD-Video／DVD-Videoを再生するときの音声言語を設定します。
【その他の言語】を選ぶと、4けたの言語コード入力画面が表示されるので、255ページの言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。
**オリジナル**／**日本語**／**英語**／**その他の言語**

### 字幕言語設定

BD-Video／DVD-Videoを再生するときの字幕言語を設定します。
【その他の言語】を選ぶと、4けたの言語コード入力画面が表示されるので、255ページの言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。
**切**／**日本語**／**英語**／**その他の言語**

### ディスクメニュー言語設定

BD-Video／DVD-Videoを再生するときのディスクメニューの言語を設定します。
【その他の言語】を選ぶと、4けたの言語コード入力画面が表示されるので、255ページの言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。
**日本語**／**英語**／**その他の言語**

# いろいろな設定を変える(本体設定)・つづき

### BD視聴制限レベル

ブルーレイディスクの視聴を制限します。249

**無制限**／**視聴可能年齢設定**

### DVD視聴制限レベル

DVDの視聴を制限します。249

**無制限**／**レベル8**／**レベル7**／**レベル6**／**レベル5**／**レベル4**／**レベル3**／**レベル2**／**レベル1**

### ワンタッチスキップ

» を押したときに、何秒スキップするかを設定します。141

**5秒**／**10秒**／**30秒**／**1分**／**5分**

### ワンタッチリプレイ

« を押したときに、何秒スキップバックするかを設定します。141

**5秒**／**10秒**／**30秒**／**1分**／**5分**

### アングルアイコン

【入】に設定すると、再生中に、カメラアングル(映像)が切り換え可能な場面で、画面に【 】を表示します。145

**入**／**切**

### JPEGスライドショー

写真の表示時間を設定します。147

**5秒**／**10秒**

## 録画設定

### チャプター自動生成

通常録画する番組に、自動的にチャプターを分割するかどうかを設定します。時間を選ぶと、指定した時間間隔でチャプターを分割します。

**切**：　録画するときに自動的にチャプターを分割しません。

**マジックチャプター**：　おまかせプレイができるようにチャプターを分割します。

**5分間隔**／**10分間隔**／**15分間隔**／**20分間隔**／**30分間隔**／**60分間隔**

### 録画のりしろ

録画予約するときに、録画終了を約5秒間増やして録画する機能をつかうかどうかを設定します。

デジタル放送では、地域によっては最大4秒の映像の遅れが発生することがあります。この設定をすれば、映像の遅れが発生しても録画が欠けないように対応できます。

**する**／**しない**

### EPモード

**6時間**：　録画モードをEPにして録画するときに、通常のEPで録画します。

**8時間**：　通常のEPよりも長時間録画します。(画質は低下します。)

### 録画アスペクト(Video)

**4:3**：　DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)にダビングするときの画面の縦横比を4：3固定とします。

**16:9**：　DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)にダビングするときの画面の縦横比を16：9固定とします。

### 二カ国語音声

**主音声**：　二重音声(二カ国語)を録画するときの音声を主音声で録画します。

**副音声**：　二重音声(二カ国語)を録画するときの音声を副音声で録画します。

### 外部入力音声

**ステレオ**：外部入力(L1)から録画するときの音声をステレオで録画します。

**二カ国語**：外部入力(L1)から二カ国語音声放送を録画するときに、設定します。

(設定によって記録される音声について詳しくは、280 をご覧ください。)

### スマホ持ち出し用画質

録画するときのスマホ持ち出し用画質を設定します。

**1280×720(12Mbps)**／**1280×720(8Mbps)**／**1280×720(6Mbps)**／**1280×720(4Mbps)**／**1280×720(2.4Mbps)**／**640×360(1.5Mbps)**／**320×240(1.0Mbps)**／**320×240(0.6Mbps)**

### DVD持ち出し(VR)用画質

録画するときにDVD持ち出し(VR)用に作成するコンテンツの画質を設定します。

**自動**：　録画する番組の長さに合わせた録画モードで作成します。

**容量優先**：ディスクに長時間の番組を記録可能な画質で作成するため、低画質モードで作成します。

### バックアップ先設定

SeeQVault対応USB-HDDに自動バックアップするときのバックアップ先を設定します。

- 新規で購入されたSeeQVault対応USB-HDDの場合は、バックアップ先を設定する前に、引っ越し・バックアップ用USB-HDDとして接続・設定する必要があります。詳しくは、219をご覧ください。
- 自動バックアップは本機の電源「切」時に行われますので、バックアップ先に設定したSeeQVault対応USB-HDDの電源を切ったり、USB-HDDを抜き差ししないでください。

### 番組終了時の録画自動停止

デジタル放送を手動で録画するときに、番組終了に合わせて自動的に録画を停止するかどうかを設定します。
(外部入力の映像を録画しているときは、効果がありません。)

**する**：　録画している番組が終了すると自動的に録画を停止します。

**しない**：　録画している番組が終了しても録画を続けます。(HDDと通常録画用USB-HDDへの録画の場合は、最大15時間まで録画します。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。)

## タイムシフトマシン設定

タイムシフトマシン設定の各項目について詳しくは、40をご覧ください。

### タイムシフトマシン機能

タイムシフトマシン機能を利用するかどうかを設定します。

**利用する**／**利用しない**

### タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先

タイムシフトマシン録画をするチャンネルと録画先を設定します。

### タイムシフトマシン録画モード

タイムシフトマシン録画モードを設定します。

タイムシフトマシン録画モード(1～4)：

**AVC高画質**／**AVC中画質**／**AVC低画質**／**AVC最低画質**

タイムシフトマシン録画モード(5～7)：

**DR放送画質**／**AVC最高画質**／**AVC高画質**／**AVC中画質**／**AVC低画質**／**AVC最低画質**

### タイムシフトマシン有効時間

タイムシフトマシン録画をする時間と曜日を設定します。

### HDD容量設定

タイムシフトマシン録画に使用するHDDの容量を設定します。

0%／25%／50%／**75%**／87.5%

### BS・CS放送局名の取得

BS・CS110度デジタル放送の放送局名を取得します。

### タイムシフトマシン設定状況

タイムシフトマシン機能の設定状態を表示します。

**タイムシフトマシン録画チャンネル**／**録画先**／**タイムシフトマシン有効時間**

## ネットワーク設定

### ネットワーク接続設定

ネットワーク接続を設定します。232

**有線LAN**：　LANケーブルを使って接続します。

**無線LAN**：　無線LANを使って接続します。

**使用しない**：ネットワークを使用しません。

### ネットワーク連携設定

ネットdeナビやレグザリンクおよび対応アプリなど、ネットワークを利用した連携機能に関する設定をします。236

**ネットワーク連携設定**／**デバイスネーム設定**／**ネットワーク連携接続設定**

### アクセス制限

本機にアクセスできる機器を制限するか、しないかを設定します。

### タイムシフトマシン連携設定

タイムシフトマシン連携に関する設定をします。70

**タイムシフトマシン連携機能**／**タイムシフトマシン連携機器**／**過去番組表自動更新**

### メール予約設定

メールで録画予約を行うための設定をします。238

**メール録画予約機能**／**メール予約パスワード**／**POP3設定**／**SMTP設定**／**フィルタリング**／**メール通知**／**メールアドレス**

### 宅外配信リスト

ペアリングした子機の一覧画面を表示します。

- ペアリングは最大6台まで可能です。
- 再ペアリングせずに利用できる期間は3ヶ月となります。
- ペアリングした子機の登録台数とペアリング有効期間は、一般社団法人　電波産業会(ARIB)により公開された「地上デジタルテレビジョン放送運用規定ARIB TR-TR-B14(6.2改定版)」および「BS／広帯域CSデジタル放送運用規定ARIB TR-B15(7.1改定版)」に記載の「デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件」に従っています。

### インターネット接続制限

インターネットサービスのご利用で、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限します。249

**制限する**／**制限しない**

### BD-Live接続設定

インターネットサービスのご利用による追加映像や追加字幕のダウンロードや、インタラクティブ機能を制限します。249

**有効**／**有効(制限つき)**／**無効**

### ネットワークステータス表示

現在のネットワークの設定を表示します。

# いろいろな設定を変える(本体設定)・つづき

## その他

### 未使用時自動電源オフ

電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかどうかの設定をします。

**利用しない／30分／1時間／2時間／3時間／6時間**

### テレビ画面保護

スタートメニュー画面などを表示中に、操作をしない状態が約15分続いた場合は、自動的にテレビ放送画面に戻ります。(音楽用CDのトラックリストまたはJPEGの写真リスト画面表示中は、スクリーンセーバーが起動します。)

**入／切**

### 待機設定

電源「切」時に、消費電力を抑えるかどうかを設定します。

**通常待機：** 【省エネ待機】に設定したときよりも高速で起動しますが、電源「切」時の消費電力が増えます。

**省エネ待機：** 【通常待機】に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、電源「切」時の消費電力を抑えることができます。

- 専用のTransferJet™転送対応機をスマホ持ち出し番組の転送にお使いになる場合は、【通常待機】を選んでください。
- 以下の設定の場合は、【待機設定】は自動的に【通常待機】になります。
  - 【レグザリンク・コントローラ】が【入】のとき
  - 【ネットワーク連携設定】が【利用する】のとき
- 【通常待機】のときは内部の制御部が通電状態になるため、【省エネ待機】のときと比較して次のようなところが異なります。
  - 電源「切」時の消費電力が増えます。
  - 本機内部の温度上昇を防ぐため、本機背面の冷却用ファンが回ることがあります。

### 瞬速起動

ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を【待機設定】の【通常待機】設定時よりさらに短縮できます。

- 最大2つまで設定できます。
- タイムシフトマシン 録画の【システムメンテナンス】で設定している時間帯と重なる時間に設定できません。
- 設定している時間帯は内部の制御部が通電状態になるため、設定していないときと比較して次のようなところが異なります。
  - 電源「切」時の消費電力が増えます。
  - 本機内部の温度上昇を防ぐため、本機背面の冷却用ファンが回ります。
- 設定している時間帯は絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜く場合は、その時間帯の【瞬速起動】設定を解除して、本機の電源を切ってから抜いてください。

AM7:00～AM10:00／AM10:00～PM1:00／
PM1:00～PM4:00／PM4:00～PM7:00／
PM7:00～PM10:00／PM10:00～AM1:00／
AM1:00～AM4:00／AM4:00～AM7:00

### リモコン設定

本機のリモコンを設定します。

**本体リモコン設定：** 本機のリモコンが他の東芝レグザサーバー(またはレコーダー)を操作しないように、リモコンと本機のリモコンコードを設定します。
**リモコンコード1／リモコンコード2／リモコンコード3／リモコンコード4／リモコンコード5**

**テレビリモコン設定：** 本機のリモコンでテレビを操作できるように設定します。詳しくは、「テレビメーカーを設定する」50をご覧ください。

**リモコン不一致表示：** 本体リモコン設定と異なるリモコンコードを受信した場合に、リモコンコードが一致しないメッセージを表示するかどうかを設定します。
**表示する／表示しない**

### ランプ設定

本機のランプの明るさを設定します。

**明：** ランプは常に明るくなります。

**暗：** ランプは常に暗くなります。

**シアター：** ランプは常に暗くなります。また、再生中に1分間何も操作しなければ、再び操作をするまでランプは消灯します。

### 時刻設定

本機の日時を設定します。

- デジタル放送受信時は自動取得するため、現在の日時を表示するのみで、設定変更はできません。

### パスワード変更

画面の指示に従ってパスワードを変更できます。249

### ソフトウェア情報と更新

本機の電源「切」のときにデジタル放送電波を使用したダウンロード、または東芝サーバーからインターネットを使用したダウンロードによる最新ソフトウェアの更新をするかどうかの設定をします。245

### 初期化

本機で設定されたデータを、お好みに合わせて初期化します。261

## 言語コード一覧

| 言語名 | 画面上の表示 | 言語コード |
|---|---|---|
| Afar | aa | 4747 |
| Abkhazian | ab | 4748 |
| Afrikaans | af | 4752 |
| Amharic | am | 4759 |
| Arabic | ar | 4764 |
| Assamese | as | 4765 |
| Aymara | ay | 4771 |
| Azerbaijani | az | 4772 |
| Bashkir | ba | 4847 |
| Byelorussian | be | 4851 |
| Bulgarian | bg | 4853 |
| Bihari | bh | 4854 |
| Bislama | bi | 4855 |
| Bengali;Bangla | bn | 4860 |
| Tibetan | bo | 4861 |
| Breton | br | 4864 |
| Catalan | ca | 4947 |
| Corsican | co | 4961 |
| Czech | cs | 4965 |
| Welsh | cy | 4971 |
| Danish | da | 5047 |
| German | de | 5051 |
| Bhutani | dz | 5072 |
| Greek | el | 5158 |
| English | 英語 | 5160 |
| Esperanto | eo | 5161 |
| Spanish | es | 5165 |
| Estonian | et | 5166 |
| Basque | eu | 5167 |
| Persian | fa | 5247 |
| Finnish | fi | 5255 |
| Fiji | fj | 5256 |
| Faroese | fo | 5261 |
| French | fr | 5264 |
| Frisian | fy | 5271 |
| Irish | ga | 5347 |
| Scots Gaelic | gd | 5350 |
| Galician | gl | 5358 |
| Guarani | gn | 5360 |
| Gujarati | gu | 5367 |
| Hausa | ha | 5447 |
| Hebrew | he | 5451 |
| Hindi | hi | 5455 |
| Croatian | hr | 5464 |
| Hungarian | hu | 5467 |
| Armenian | hy | 5471 |
| Interlingua | ia | 5547 |
| Indonesian | id | 5550 |
| Interlingue | ie | 5551 |
| Inupiak | ik | 5557 |
| Icelandic | is | 5565 |
| Italian | it | 5566 |
| Japanese | 日本語 | 5647 |
| Javanese | jv | 5668 |

| 言語名 | 画面上の表示 | 言語コード |
|---|---|---|
| Georgian | ka | 5747 |
| Kazakh | kk | 5757 |
| Greenlandic | kl | 5758 |
| Cambodian | km | 5759 |
| Kannada | kn | 5760 |
| Korean | ko | 5761 |
| Kashmiri | ks | 5765 |
| Kurdish | ku | 5767 |
| Kirghiz | ky | 5771 |
| Latin | la | 5847 |
| Lingala | ln | 5860 |
| Laothian | lo | 5861 |
| Lithuanian | lt | 5866 |
| Latvian;Lettish | lv | 5868 |
| Malagasy | mg | 5953 |
| Maori | mi | 5955 |
| Macedonian | mk | 5957 |
| Malayalam | ml | 5958 |
| Mongolian | mn | 5960 |
| Moldavian | mo | 5961 |
| Marathi | mr | 5964 |
| Malay | ms | 5965 |
| Maltese | mt | 5966 |
| Burmese | my | 5971 |
| Nauru | na | 6047 |
| Nepali | ne | 6051 |
| Dutch | nl | 6058 |
| Norwegian | no | 6061 |
| Occitan | oc | 6149 |
| (Afan) Oromo | om | 6159 |
| Oriya | or | 6164 |
| Panjabi | pa | 6247 |
| Polish | pl | 6258 |
| Pashto;Pushto | ps | 6265 |
| Portuguese | pt | 6266 |
| Quechua | qu | 6367 |
| Rhaeto-Romance | rm | 6459 |
| Kirundi | rn | 6460 |
| Romanian | ro | 6461 |
| Russian | ru | 6467 |
| Kinyarwanda | rw | 6469 |
| Sanskrit | sa | 6547 |
| Sindhi | sd | 6550 |
| Sangho | sg | 6553 |
| Serbo-Croatian | sh | 6554 |
| Singhalese | si | 6555 |
| Slovak | sk | 6557 |
| Slovenian | sl | 6558 |
| Samoan | sm | 6559 |
| Shona | sn | 6560 |
| Somali | so | 6561 |
| Albanian | sq | 6563 |
| Serbian | sr | 6564 |
| Siswat | ss | 6565 |

| 言語名 | 画面上の表示 | 言語コード |
|---|---|---|
| Sesotho | st | 6566 |
| Sundanese | su | 6567 |
| Swedish | sv | 6568 |
| Swahili | sw | 6569 |
| Tamil | ta | 6647 |
| Telugu | te | 6651 |
| Tajik | tg | 6653 |
| Thai | th | 6654 |
| Tigrinya | ti | 6655 |
| Turkmen | tk | 6657 |
| Tagalog | tl | 6658 |
| Setswana | tn | 6660 |
| Tonga | to | 6661 |
| Turkish | tr | 6664 |
| Tsonga | ts | 6665 |
| Tatar | tt | 6666 |
| Twi | tw | 6669 |
| Ukrainian | uk | 6757 |
| Urdu | ur | 6764 |
| Uzbek | uz | 6772 |
| Vietnamese | vi | 6855 |
| Volapuk | vo | 6861 |
| Wolof | wo | 6961 |
| Xhosa | xh | 7054 |
| Yiddish | yi | 7155 |
| Yoruba | yo | 7161 |
| Chinese | zh | 7254 |
| Zulu | zu | 7267 |

# 放送関連の設定を変える(放送受信設定)

放送関連の設定は、【放送受信設定】メニューで変えることができます。

## 【放送受信設定】をつかう

**1** 設定メニュー(ふたの中)を押す

- スタートメニューを押して、【設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼で【放送受信設定】を選んで決定を押す

**3** ▲·▼·◀·▶で希望の項目または設定を選んで決定を押す

この操作を繰り返し、希望の設定に変更します。

- 設定が終わったら、終了を押してください。

## 【放送受信設定】の項目と設定内容

### 地上デジタル設定

#### チャンネル初期スキャン

お住まいの地域を選んでください。お住まいの地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。

引っ越しなどで、地上デジタル放送の受信地域が変わったときなどに、全チャンネルのスキャンをやり直します。

(【はじめての設定】の中で実行されるスキャンと同じです。)

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。

**通常**： 地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンします。

**CATV対応**：CATVのチャンネルを対象にスキャンします。

#### チャンネル再スキャン

地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンを行い、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。
- 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。

#### アンテナの設定

映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナの受信レベルを確認できます。

**アッテネーター【入】/【切】**：アンテナレベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。【アッテネーター】の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。53

**物理チャンネル**： リモコンの数字ボタンで、2けたの物理チャンネルを入力し、受信します。

#### チャンネルの設定

**チャンネルの割り当て設定**：リモコンの数字ボタンに地上デジタル放送用のチャンネルを登録します。

**チャンネルスキップ設定**： チャンネルで選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

詳しくは、52をご覧ください。

#### 自動チャンネルリパック

**入**： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。

**切**： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的には更新しません。視聴できないチャンネルが発生した場合は、【チャンネル再スキャン】を行ってください。

## BS・CSデジタル設定

● BS・110度CSチャンネルに関しては、チャンネルスキャンをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

### アンテナ電源

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。ここでは、本機からアンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。

**供給する（個別）**：　この機能は、おもに一戸建て住宅などで受信するときに設定します。本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。

**供給しない（共聴）**：　この機能は、おもにマンションなどの共聴受信時に設定します。以下の場合は、こちらを選択してください。

- 他の機器から電源を供給している場合
- CATVなどで受信している場合
- BS・110度CSアンテナを接続しない場合

### アンテナの設定

映りが悪いBS・110度CSデジタル放送チャンネルがあるとき、BS・110度CSアンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。
詳しくは、54ページをご覧ください。

### BSチャンネルの設定

**チャンネルの割り当て設定**：リモコンの数字ボタンにBS放送用のチャンネルを登録します。

**チャンネルスキップ設定**：　CH で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

詳しくは、52ページをご覧ください。

### CSチャンネルの設定

**チャンネルの割り当て設定**：リモコンの数字ボタンに110度CS放送用のチャンネルを登録します。

**チャンネルスキップ設定**：　CH で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

詳しくは、52ページをご覧ください。

## 一般設定

### 視聴年齢制限

デジタル放送の視聴可能年齢を設定します。
詳しくは、56ページをご覧ください。

● 設定／解除するにはパスワードの作成・入力が必要です。

**無制限**：　年齢制限しません。

**4歳 ～ 19歳**：制限したい年齢を選んでください。設定した年齢の制限を超える番組を視聴または録画予約するときは、パスワードの入力が必要になります。

### パスワード変更

【視聴年齢制限】のパスワードを変更します。
詳しくは、56ページをご覧ください。

### B-CASカードの確認

miniB-CASカードの状態やID番号を表示します。

### RMPメーカID表示

【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】4でタイムシフトマシン録画する際に使用されるRMPメーカIDを表示します。

### アンテナ出力

本機の電源「切」のとき、背面の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは【入】に設定してください。【切】に設定すると、本機の電源「切」のときにテレビで地上デジタル放送やBS・110度CS放送が受信できなくなる場合があります。

**入**：　電源「切」時でも地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力します。

**切**：　電源「切」時は地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力しません。

### 文字スーパー

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合は、表示される文字スーパーの言語を設定します。

● 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組（強制的に文字スーパーが表示されるものなど）によっては、設定どおりに表示されないことがあります。

● 【表示しない】に設定しても、緊急放送のような自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。

● 文字スーパーの対応言語は日本語、英語となります。

**日本語で表示**／**英語で表示**／**表示しない**

### 地域の設定

お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。
詳しくは、55ページをご覧ください。

### 郵便番号の設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。地域に密着したデータ放送をより正しく視聴するために、郵便番号を入力してください。
詳しくは、55ページをご覧ください。

# 本機で使えるメディアについて

## 録画できるメディア

| 録画先メディア | デジタル放送 | 外部入力 | 繰り返し録画 |
|---|---|---|---|
| HDD（内蔵ハードディスク） | ◎ | ○※2 | ○ |
| 通常録画用USB-HDD（外付けハードディスク） | ◎ | × | ○ |
| BD-RE SL（1層）／BD-RE DL（2層）／BD-RE TL（3層）<br>Ver. 2.1、3.0（高速記録2倍速ディスクまで） | ◎ | ○※2 | ○ |
| BD-R SL（1層）／BD-R DL（2層）<br>BD-R TL（3層）／BD-R QL（4層）※1<br>Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0（高速記録6倍速ディスクまで） | ◎ | ○※2 | × |

◎：ハイビジョン画質で録画できる　　○：録画できる　　×：録画できない

※1　2017年2月現在、BD-R QL（4層）は発売されていません。
※2　標準画質で録画されます。

## ダビングできるメディアと録画モード

デジタル放送をDVD-RW／DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。

| ダビング先メディア | | ダビングできる番組の画質 DR | AVC（HD画質） | 標準（標準画質） | SKP |
|---|---|---|---|---|---|
| HDD（内蔵ハードディスク） | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 通常録画用USB-HDD／SeeQVault対応USB-HDD（外付けハードディスク） | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SeeQVault対応SDカード | | ×※4 | ×※4 | ×※4 | ×※4 |
| USB接続したSeeQVault対応SDカード | | ×※4 | ×※4 | ×※4 | ×※4 |
| BD-RE SL（1層）／BD-RE DL（2層）／BD-RE TL（3層）<br>Ver. 2.1、3.0（高速記録2倍速ディスクまで） | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BD-R SL（1層）／BD-R DL（2層）<br>BD-R TL（3層）／BD-R QL（4層）※1<br>Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0（高速記録6倍速ディスクまで） | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| DVD-RW<br>Ver. 1.1、1.2（高速記録6倍速ディスクまで） | AVCフォーマット | × | ○ | × | × |
| | VRフォーマット | × | × | ○ | × |
| | Videoフォーマット | × | × | ○※3 | × |
| DVD-R（1層）／DVD-R DL（2層）※2<br>Ver. 2.0、2.1（高速記録16倍速ディスクまで）<br>Ver. 3.0（高速記録8倍速ディスクまで） | AVCフォーマット | × | ○ | × | × |
| | VRフォーマット | × | × | ○ | × |
| | Videoフォーマット | × | × | ○※3 | × |

○：ダビングできる　　×：ダビングできない

※1　2017年2月現在、BD-R QL（4層）は発売されていません。
※2　DVD-Rの2層ディスクの場合は、AVCREC™ 方式（AF～AE）でのみダビングできます。
※3　DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズが行われます。
（本書では、ファイナライズされたDVD-RW（Video）／DVD-R（Video）はDVD-Videoとして扱います。）
※4　SeeQVault対応SDカードには、スマホ持ち出し番組をダビングすることができます。

お知らせ

- デジタル放送をダビングするとき、「コピー」、「移動」のどちらになるかについて詳しくは、188をご覧ください。
  CATV（ケーブルテレビ）、スカパー！、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。
  ただし、ケーブルテレビのホームターミナル／セットトップボックス経由でダビング10（コピー9回＋移動1回）番組を録画する場合は、1回だけ録画可能（コピーワンス）番組として録画されます。
- 本機で対応しているDVD-RW／DVD-Rの録画方式は3種類（AVCREC™、VR、Video）です。262
- ファイナライズされたDVD-RW（AVCREC™）／DVD-RW（Video）に繰り返しダビングするには、初期化（再フォーマット）268を行ってください。（ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。）
- 録画／ダビング動作確認済みメディアについては、以下になります。（2017年2月現在）
  - DVD-R
    maxell : DRD120WPE、DRD120PWE
    Verbatim : VHR12JPP10
  - DVD-R DL
    maxell : DRD215WPE
    MITSUBISHI : VHR21HDSP10
  - DVD-RW
    maxell : DW120WPA
    Verbatim : VHW12NP10V1
  - BD-R
    Panasonic : LM-BR25LP10
  - BD-R DL
    Panasonic : LM-BR50LP10
  - BD-R TL
    Verbatim : VBR520YP5V1
  - BD-RE
    Panasonic : LM-BE25P10
  - BD-RE DL
    Panasonic : LM-BE50P10

※ メディアへの録画／ダビング動作を確認しておりますが、すべてのメディアでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
**http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/**

# 本機で使えるメディアについて・つづき

## 再生できるメディア

| 対応メディアとファイル | | 再生 | 録画リストから再生 | 追っかけ再生 |
|---|---|---|---|---|
| HDD（内蔵ハードディスク） | | ○ | ○ | ○ |
| 通常録画用USB-HDD（外付けハードディスク） | | ○ | ○ | ○ |
| SeeQVault対応USB-HDD（外付けハードディスク） | | ○ | ○ | × |
| SeeQVault対応SDカード | | ○ | ○ | × |
| USB接続したSeeQVault対応SDカード | | ○ | ○ | × |
| BD-RE SL（1層）／BD-RE DL（2層）／BD-RE TL（3層）<br>Ver. 2.1、3.0（高速記録2倍速ディスクまで） | | ○ | ○ | × |
| BD-R SL（1層）／BD-R DL（2層）<br>BD-R TL（3層）／BD-R QL（4層）※1<br>Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0（高速記録6倍速ディスクまで） | | ○ | ○ | × |
| DVD-RW<br>Ver. 1.1、1.2（高速記録6倍速ディスクまで） | AVCフォーマット | ○ | ○ | × |
| | VRフォーマット | ○ | ○ | × |
| | Videoフォーマット | ○ | × | × |
| DVD-R（1層）／DVD-R DL（2層）<br>Ver. 2.0、2.1（高速記録16倍速ディスクまで）<br>Ver. 3.0（高速記録8倍速ディスクまで） | AVCフォーマット | ○ | ○ | × |
| | VRフォーマット | ○ | ○ | × |
| | Videoフォーマット | ○ | × | × |
| BD-Video<br>リージョンコードに(A)が含まれるディスク | | ○ | × | × |
| DVD-Video<br>リージョンコードに(2)や(ALL)が含まれるディスク | | ○ | × | × |
| DVD-RAM（4.7／9.4GB）<br>Ver. 2.0、2.1、2.2<br>他のDVDレコーダーのVR方式で録画されて、カートリッジからディスクを取り出せるもの | | ○ | ○ | × |
| 音楽用CD（CD-DA）<br>音楽用CD形式で記録され、ファイナライズ済みのCD-RW／CD-R | | ○ | ○ | × |
| JPEG<br>デジタルカメラで撮影された写真などが記録されたもの | | ○ | ○<br>（JPEG専用） | × |
| AVCHD方式<br>デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画で記録されたもの※2 | | ○※3 | ×※3 | × |

○：再生できる　　×：再生できない

※1　2017年2月現在、BD-R QL（4層）は発売されていません。

※2　録画メディアは、ファイナライズされたDVD-RW／DVD-R／DVD-RAM（2層ディスクを含む）のみ対応しています。

※3　**ディスクの場合：** ディスクから直接再生できます。
**本機前面のSDカードやUSB機器の場合：** 本機に取り込み（ダビングし）、HDDの録画リスト画面から再生できます。194

ご注意

- HD Recの再生については、本機では対応していません。
- VCD／SVCDの再生については、本機では対応していません。
- HD DVDについては、本機では対応していません。
- ＋RW/＋Rについては、本機では対応していません。

# 本機を初期化する

本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合は、【すべての初期化】を行うことをおすすめします。

**1** 設定メニュー（ふたの中）を押して、▲·▼で【本体設定】を選んで 決定 を押す
- スタートメニュー を押して、【設定】➡【本体設定】を選んでも表示できます。

**2** ▲·▼·◀·▶で【その他】➡【初期化】を選んで 決定 を押す

**3** ▲·▼で希望の項目を選んで 決定 を押す
- 初期化が終わったら、 終了 を押してください。

## 初期化の項目と内容

### BDビデオデータ消去

以下の中から消去方法を選んでください。
（本機のディスクトレイにBD-Videoが入っている場合は、選ぶことができません。）
- 【全てのBDビデオデータ消去】：
  本機とUSBメモリに保存されたすべてのBDビデオデータを消去します。
- 【アプリケーションデータ消去】：
  本機に保存されたBDビデオデータの中で、アプリケーションデータ（BDビデオのゲームスコアなど）を消去します。
- 【バーチャルパッケージ消去】：
  USBメモリに保存されたBDビデオデータの中で、バーチャルパッケージ（ダウンロードしたBDビデオの特典映像・音声・字幕など）を消去します。

### USBメモリ初期化

USBメモリを初期化して、本機で使えるようにします。
- USBメモリにAVCHD方式の映像が入っている場合は、USBメモリを初期化できません。お持ちのデジタルビデオカメラやパソコンでUSBメモリのAVCHD方式の映像を削除してから、初期化してください。

### ネットワーク設定初期化

以下の項目をのぞき、【ネットワーク設定】で設定した内容を初期化します。
- 【宅外配信リスト】
- 【インターネット接続制限】
- 【BD-Live接続設定】

### タイムシフトマシン設定初期化

【タイムシフトマシン設定】で設定した内容を初期化します。（【HDD容量設定】をのぞく）
- タイムシフトマシン録画番組は削除されます。

### 宅外配信設定初期化

宅外配信に関する設定を初期化します。初期化すると本機に登録した子機のすべてが宅外配信リストから削除されるため、再登録が必要となります。

### おすすめ履歴の初期化

「時短で見る」のおすすめ履歴（「いつもの番組」や「あなたにおすすめ番組」に分類する条件）を初期化します。

### 本機設定初期化1

以下の項目をのぞき、【本体設定】を初期値に戻します。
- 【BD視聴制限レベル】
- 【DVD視聴制限レベル】
- 【ネットワーク設定】
- 【リモコン設定】
- 【タイムシフトマシン設定】
- 【インターネット接続制限】
- 【BD-Live接続設定】
- 視聴制限のパスワード

### 本機設定初期化2

以下の項目をのぞき、本機のすべての設定を初期値に戻し、電源が切れます。また、録画予約はすべて取り消されます。
- HDDの録画番組
- USB-HDD登録情報
- 【HDD容量設定】

タイムシフトマシン録画番組はすべて削除されます。（タイムシフトマシン録画以外の録画番組は削除されません。）また、予約もすべて取り消されます。

### すべての初期化

工場出荷状態に戻し、電源が切れます。（HDD初期化を含む）

ご注意
- 本機に記憶されたお客様の個人情報（メール、登録情報、ポイント情報など）の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# ディスクを初期化する

## 新品のブルーレイディスクを初期化(フォーマット)する

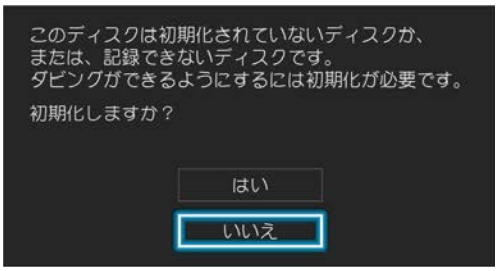
BD

新品(未使用)のディスクを入れると、初期化(フォーマット)画面が表示されるので、ディスクを初期化(フォーマット)してからお使いください。初期化(フォーマット)しないと、録画・ダビングができません。

| | |
|---|---|
| BD-RE | • お買い上げ時は初期化されていません。使用前に初期化してください。<br>• あとで初期化し直すことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。268) |
| BD-R | • お買い上げ時は初期化されていません。使用前に初期化してください。<br>• 一度初期化すると初期化し直すことはできません。 |

**1** ディスクを入れる

**2** メッセージが表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで 決定 を押す




- 初期化が始まると放送画面に戻ります。
- 初期化が終わるまで、数分かかります。

**3** ダビング実行画面が表示されるので、今すぐダビングするかしないかを選んで 決定 を押す

**【今すぐダビングする】を選んだ場合**

「複数の番組をまとめてディスクにダビングする」177の手順 **2** に進んでください。

**【今はダビングしない】を選んだ場合**

放送画面に戻ります。

## 新品のDVDを初期化(フォーマット)する

AVCフォーマット VRフォーマット Videoフォーマット

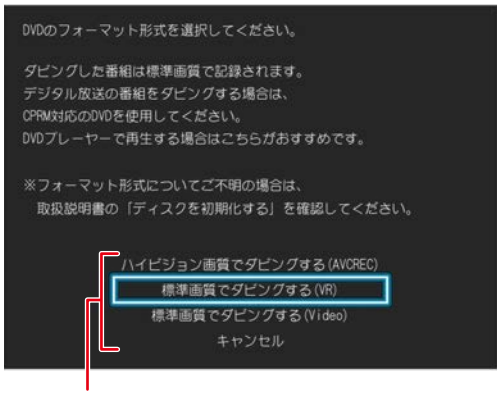
DVDは初期化(フォーマット)するときに、録画方式を選びます。初期化(フォーマット)しないとダビングできません。(DVDには直接録画できません。)

| | |
|---|---|
| DVD-RW | • お買い上げ時は初期化されていません。使用前に録画方式を選んで初期化してください。<br>• あとで初期化し直すことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。268) |
| DVD-R | • お買い上げ時は初期化されていません。初期化していない場合は、Video方式でのみ使用できます。<br>他の方式で使用する場合は、使用前に録画方式を選んで初期化してください。<br>• 一度初期化すると初期化し直すことはできません。 |

**1** ディスクを入れる

**2** メッセージが表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで 決定 を押す

**3** ▲・▼でお好みの録画方式を選んで 決定 を押す




**【AVCREC™フォーマット】**

- デジタル放送をハイビジョンで記録できます。

**【VRフォーマット】**

- 標準画質(SD)で記録できます。
- AVCREC™フォーマットより、長時間記録できます。
- 他の機器で再生するときは、本機でのファイナライズ266とVR方式に対応したプレーヤーなどが必要です。

**【Videoフォーマット】**

- デジタル放送は記録できません。
- ダビング終了後に自動でファイナライズが始まり、終了後は多くのプレーヤーで再生できます。

● 初期化が始まると放送画面に戻ります。

**4** ダビング実行画面が表示されるので、今すぐダビングするかしないかを選んで 決定 を押す

**【今すぐダビングする】を選んだ場合**

「複数の番組をまとめてディスクにダビングする」 177ページ の手順 **2** に進んでください。

**【今はダビングしない】を選んだ場合**

放送画面に戻ります。

### デジタル放送をダビングするときは

CPRM対応ディスクを使って、VRまたはAVCREC™方式で初期化してください。

### 本機で2層ディスク(DVD-R DL)をつかう場合は

AVCREC™方式でのみ、初期化できます。

### 初期化を中止するときは

【キャンセル】を選んで 決定 を押す

ご注意

- DVD-RAMディスクにはダビングできません。

ご注意

- ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。
- 初期化は、途中で中止できません。
- 予約録画開始 8 分前以降は初期化できません。
- 傷や汚れ等が多いディスクは、本来可能な記録時間よりも少なくなってしまう可能性があります。

# メディアを管理する

## ディスク／USB-HDD／SeeQVault対応SDカードの名前を変更する

通常録画用USB-HDD　SeeQVault対応USB-HDD　SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード(USB接続)　BD
AVCフォーマット　VRフォーマット

≫ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- SDカードを編集するときは、本機前面のSDカードスロットにSeeQVault対応SDカードをいれておく 224
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく 57
- USB接続したSeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

### 1 スタートメニューを押す

### 2 ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す

- メディア選択画面が表示されます。

### 3 ▲·▼で【BD／DVDメニュー】または【USB-HDDメニュー】、【USB(前面)メニュー】、【SDカードメニュー】を選んで決定を押す

- 【USB-HDDメニュー】を選んだときは、つづけて▲·▼·◀·▶で【通常録画用】または【引越・バックアップ用】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSDカードの名前を編集したいときは、【USB(前面)メニュー】を選び、つづけて【スマホ持ち出し用】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のSDカードスロットに挿入したSDカードの名前を編集したいときは、【SDカードメニュー】を選び、つづけて【スマホ持ち出し用】を選んで決定を押してください。

### 4 ▲·▼で【ディスク名変更】または【USB-HDD名変更】、【機器名変更】、【SDカード名変更】を選んで決定を押す

- 編集画面が表示されます。
- 通常録画用USB-HDDの場合は、USB-HDDの登録が完了していないと【USB-HDD名変更】の選択ができません。
- 引っ越し・バックアップ用SeeQVault対応USB-HDDの場合は、USB-HDDの初期化が完了していないと【USB-HDD名変更】の選択ができません。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したスマホ持ち出し用のSDカードの場合は、SDカードの初期化が完了していないと【機器名変更】の選択ができません。
- 本機前面のSDカードスロットに挿入したスマホ持ち出し用のSDカードの場合は、SDカードの初期化が完了していないと【SDカード名変更】の選択ができません。

#### USB-HDDの場合

本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続しているUSB-HDDの一覧で表示されるので、名前を変更したいUSB-HDDを選んで決定を押す

### 5 ディスク名、USB-HDD名またはSDカード名を入力する




- 入力を終えたら、決定を押してください。
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- ディスク名、USB-HDD名またはSDカード名が変更されます。
- 変更が終わったら、終了を押してください。

## ディスクを保護する・保護を解除する

BD　AVCフォーマット　VRフォーマット

≫ 準備

- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく 57

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す

- メディア選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼で【BD／DVDメニュー】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【ディスク保護】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- ディスクが保護（保護が解除）されます。
- 変更が終わったら、終了を押してください。

お知らせ

- 保護されたディスクは、以下の操作ができなくなります。
  - 番組の録画やダビング
  - 番組の編集、削除
  - 初期化
  - ファイナライズ、またはファイナライズの解除

# メディアを管理する・つづき

ファイナライズ後、録画や編集ができなくなります。録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。
(DVD-RW(VR)の場合のみ、ファイナライズを解除できます。)

## 本機で記録したディスクをファイナライズする

本機で録画した以下のディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応したほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生できます。

- BD-R
- DVD-RW(AVC)／DVD-R(AVC)
- DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)

≫ 準備

- ファイナライズするディスクを入れておく

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す
- メディア選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼で【BD／DVDメニュー】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【ファイナライズ】を選んで決定を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- ファイナライズが始まると放送画面に戻ります。
- ファイナライズは、途中で中止できません。
- ファイナライズの進捗表示は目安です。ディスクによっては90%以降の表示の進捗がかなり遅くなることがあります。
- ファイナライズは数分から数十分かかります。(録画時間が短い場合や番組数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります。)

### DVD-Videoの場合

ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。手動でのファイナライズできません。

ご注意

- ファイナライズ中は、テレビのチャンネル切換以外の操作はできません。また、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機が故障する原因となります。
- 他機で録画されたディスクは、本機でファイナライズができないことがあります。
- 予約録画開始2分前以降はファイナライズできません。(DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)は、予約録画開始45分前以降はファイナライズできません。)
- チャプターの情報は、ファイナライズ後も引き継がれます。
- プレーヤー／レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。
- BD-RやDVD-Rのファイナライズ中に停電したときは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

## ファイナライズを解除する

本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)の場合のみ、本機でファイナライズを解除できます。解除すると、再び録画や編集ができます。

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す
- メディア選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼で【BD／DVDメニュー】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【ファイナライズ解除】を選んで決定を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- ファイナライズの解除が始まると放送画面に戻ります。

消去された記録内容は、元に戻せません。 記録内容をよく確認してから初期化してください。

## HDD／USB-HDD／SDカードの記録内容を全部消去する

HDD　通常録画用USB-HDD　SeeQVault対応USB-HDD　SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード(USB接続)

≫ 準備

- USB-HDDを編集するときは、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に通常録画用USB-HDDまたはSeeQVault対応USB-HDDをつないでおく 220
- SDカードを編集するときは、本機前面のSDカードスロットにSeeQVault対応SDカードをいれておく 224
- USB接続したSeeQVault対応SDカードを編集するときは、SDカードを本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続しておく 224、226

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す
- メディア選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼で【HDDメニュー】または【USB-HDDメニュー】、【USB(前面)メニュー】、【SDカードメニュー】を選んで決定を押す
- 【USB-HDDメニュー】を選んだときは、つづけて▲·▼·◀·▶で【通常録画用】または【引越・バックアップ用】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSDカードの記録内容を消去したいときは、【USB(前面)メニュー】を選び、つづけて【スマホ持ち出し用】を選んで決定を押してください。
- 本機前面のSDカードスロットに挿入したSDカードの記録内容を消去したいときは、【SDカードメニュー】を選び、つづけて【スマホ持ち出し用】を選んで決定を押してください。

**4** 保護された番組も含めすべて消去したいときは【番組全消去】を▲·▼で選んで決定を押す
保護された番組は残してそれ以外をすべて消去したいときは【番組全消去(保護番組以外)】を▲·▼で選んで決定を押す
- USB-HDDの場合は、本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に接続しているUSB-HDDの一覧が表示されるので、番組を消去したいUSB-HDDを選んで決定を押してください。
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 番組の消去が実行されます。
- 番組の消去は、途中で中止できません。
- 番組の消去が始まると放送画面に戻ります。
- 【番組全消去】を選ぶと、【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダ以外のフォルダおよびすべての番組が削除されます。
- 【番組全消去(保護番組以外)】を選ぶと、【すべて】、【未分類】、【ジャンル】または保護された番組が保存されたフォルダ以外のフォルダおよび保護された番組以外のすべての番組が削除されます。

## HDDのスマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し(VR)番組を全部消去する

HDD

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す
- メディア選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼で【HDDメニュー】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【スマホ持ち出し番組全消去】または【DVD持ち出し(VR)番組全消去】を選んで決定を押す
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 番組の消去が実行されます。
- 番組の消去は、途中で中止できません。
- 番組の消去が始まると放送画面に戻ります。

## ディスクを初期化(フォーマット)し直す

≫ 準備

• フォーマットするディスクを入れておく

BD-REやDVD-RWの場合は、一度初期化されても、以下の手順で再度初期化できます。
ディスクを初期化するとデータはすべて消去されます。

**1** スタートメニューを押す

**2** ▲·▼·◀·▶で【HDD／ディスクの管理】を選んで決定を押す
- メディア選択画面が表示されます。

**3** ▲·▼で【BD／DVDメニュー】を選んで決定を押す

**4** ▲·▼で【初期化】を選んで決定を押す
- DVD-RWの場合は、続けて初期化するフォーマットを選んでください。262
- 確認画面が2回表示されるので、【はい】を選んで決定を押してください。
- 初期化が始まると放送画面に戻ります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- BD-REの初期化はBDAV方式で行われます。

**5** ダビング実行画面が表示されるので、今すぐダビングするかしないかを選んで決定を押す

**【今すぐダビングする】を選んだ場合**

「複数の番組をまとめてディスクにダビングする」177の手順 *2* に進んでください。

**【今はダビングしない】を選んだ場合**

放送画面に戻ります。

ご注意
- 初期化中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機が故障する原因となります。
- 予約録画開始８分前以降は初期化できません。
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

お知らせ
- 新品(未使用)で初期化されていないBD-RE／BD-RやDVD-RW／DVD-Rを初期化(フォーマット)するときは、262をご覧ください。

# 同時にできること

## 再生しているときの予約録画について

| 再生＼予約録画 | HDD | 通常録画用USB-HDD | BD |
|---|---|---|---|
| HDD 通常録画用USB-HDD / SeeQVault対応USB-HDD / SeeQVault対応SDカード / SeeQVault対応SDカード(USB接続) | ○ | △※1 | ○ |
| HDD タイムシフトマシン用USB-HDD1（タイムシフトマシン録画した番組の再生） | ○ | ○ | ○ |
| タイムシフトマシン用USB-HDD2（タイムシフトマシン録画した番組の再生） | ○ | △※2 | ○ |
| BD | ○ | ○ | ×※4 |
| DVD-Video / CD / AVCフォーマット / VRフォーマット | ○ | ○ | ×※5 |
| BD-Video / AVCHDフォーマット | △※3 | △※7 | ×※5 |
| JPEGフォーマット | ×※4 | ×※4 | ×※6 |

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、予約録画に使用する通常録画用USB-HDDのみ再生できます。
（予約録画に使用しないUSB-HDDの再生は停止します。）

※2 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子へ接続したUSB-HDDでタイムシフトマシン録画された番組を再生中の場合は、通常録画用USB-HDDへの予約録画はHDDに代理録画されます。

※3 下記の場合は、一時的に【DR】で録画されます。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。）
- 録画モードを【XP】～【EP】で予約している場合
- 持ち出し設定を【DVD持ち出し（VR）】に設定している場合
- 録画モード【AF】～【AE】での予約と持ち出し設定が【スマホ持ち出し】か【SeeQVault対応SDカード転送】に設定されている予約が2番組ある場合

※4 再生を停止し、予約録画を実行します。

※5 再生を停止し、ブルーレイディスクへの予約録画はHDDに代理録画されます。

※6 ディスクの場合： 再生を停止し、ブルーレイディスクへの予約録画はHDDに代理録画されます。
SDカードやUSB機器の場合： 再生を停止し、予約録画を実行します。

※7 下記の場合は、一時的に【DR】で録画されます。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。）
- 持ち出し設定を【DVD持ち出し（VR）】に設定している場合
- 持ち出し設定が【スマホ持ち出し】か【SeeQVault対応SDカード転送】に設定されている予約が2番組ある場合



次ページへつづく

# 同時にできること・つづき

## ダビングしているときの再生と予約録画について

### ダビングしているときの再生

- 高速ダビング中のみ、再生できます。(等速ダビング中は、再生できません。)
- ダビング中は、写真を再生できません。
- HDDから本機前面のSDカードスロットへ挿入したSeeQVault対応SDカードまたは本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードへのダビング中に、このSDカード内の番組を再生すると正常に再生できないことがあります。この場合は、ダビング終了後に再生するようにしてください。

| ダビング(高速) ＼ 再生 | HDD | 通常録画用 USB-HDD / SeeQVault対応 USB-HDD | SeeQVault対応 SDカード / SeeQVault対応 SDカード(USB接続) | タイムシフトマシン再生 HDD (タイムシフトマシン用 USB-HDD1) | タイムシフトマシン再生 タイムシフトマシン用 USB-HDD2 | ディスク |
|---|---|---|---|---|---|---|
| HDD / 通常録画用 USB-HDD / SeeQVault対応 USB-HDD ↔ 通常録画用 USB-HDD / SeeQVault対応 USB-HDD | ○ | △※2 | ○ | ○ | ×※3 | ○ |
| HDD ↔ SeeQVault対応 SDカード / SeeQVault対応 SDカード(USB接続) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| HDD ↔ ディスク | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 通常録画用 USB-HDD ↔ ディスク | ○ | △※2 | ○ | ○ | ×※3 | × |
| SeeQVault対応 USB-HDD → BD | ○ | △※2 | ○ | ○ | ×※3 | × |
| HDD → LAN | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △※4 |
| 通常録画用 USB-HDD → LAN | ○ | △※2 | ○ | ○ | ×※3 | △※4 |
| AVCHDフォーマット※1 → HDD | ○ | ○ | △※5 | ○ | ○ | × |

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 USB機器やSDカードからAVCHD方式の映像を取り込む(ダビングする)場合のみ。

※2 通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、ダビングに使用する機器のみ再生できます。また、USB-HDDからUSB-HDDにダビングする場合は、ダビング元のUSB-HDDのみ再生できます。

※3 通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDと、タイムシフトマシン録画用のUSB-HDD2は同時に使用できません。

※4 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。

※5 SDカードからのダビング中はSeeQVault対応SDカードは再生できません。
また、USB機器からのダビング中はSeeQVault対応SDカード(USB接続)は再生できません。

### ダビングしているときの予約録画

- 高速ダビング中のみ、予約録画できます。(等速ダビング中に予約録画が始まると、等速ダビングを中止します。)
- 通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続し、ダビングに使用するUSB-HDDと予約録画に使用するUSB-HDDが別々の場合は、予約録画はHDDに代理録画されます。
- ブルーレイディスクへの予約録画は、HDDに代理録画されます。

## ネットワーク機能の同時動作について

| | 通常配信 | 変換配信 | ライブ配信 | ネットdeダビングHD | ネットdeレック | ホームネットワーク再生 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 通常配信 | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| 変換配信 | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| ライブ配信 | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| ネットdeダビング | × | × | × | × | × | × |
| ネットdeレック | × | × | × | × | × | × |
| ホームネットワーク再生 | × | × | × | × | × | × |

○：できる　　×：できない

ご注意

- 3つ以上の同時動作はできません。

## 録画中の再生について

### 1番組のみ録画しているとき

| 録画メディア | | 再生するメディア | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画先 | 録画モード／持ち出し設定 | HDD<br>SeeQVault対応SDカード<br>SeeQVault対応SDカード(USB接続) | 通常録画用USB-HDD<br>SeeQVault対応USB-HDD | タイムシフトマシン再生<br>HDD<br>タイムシフトマシン用USB-HDD1 | タイムシフトマシン再生<br>タイムシフトマシン用USB-HDD2 | ディスク |
| HDD | 【DR】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ ※1 |
| 通常録画用USB-HDD | 【DR】 | ○ | △ ※2 | ○ | × ※3 | ○ |
| | 【スマホ持ち出し】 | ○ | △ ※2 | ○ | × ※3 | ○ |
| | 【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △ ※2 | ○ | × ※3 | △ ※1 |
| BD | 【DR】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【AVC】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【標準】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

○：できる　　△：一部できないものがある　　×：できない

※1　BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。

※2　通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、現在録画中の通常録画用USB-HDDのみ再生できます。

※3　通常録画用USB-HDDと、タイムシフトマシン録画用のUSB-HDD2は同時に使用できません。

ご注意

- 録画モードを【DR】以外に設定していても一時的に【DR】で録画される場合があります。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- 持ち出し設定の【スマホ持ち出し】は【SeeQVault対応SDカード転送】も含みます。

# 同時にできること・つづき

## 2番組同時録画しているとき

| 録画メディア | | | 再生するメディア | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画先 | 録画モード／持ち出し設定 | | HDD<br>SeeQVault対応SDカード<br>SeeQVault対応SDカード(USB接続) | 通常録画用USB-HDD<br>SeeQVault対応USB-HDD | タイムシフトマシン再生<br>HDD<br>タイムシフトマシン用USB-HDD1 | タイムシフトマシン再生<br>タイムシフトマシン用USB-HDD2 | ディスク |
| HDDのみ | 【DR】 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | ○ | ○ | ○ | △※2 |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※1 |
| 通常録画用USB-HDDのみ | 【DR】 | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | △※2 |
| | 【スマホ持ち出し】 | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○※1 |
| HDDと通常録画用USB-HDD | 【DR】 | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | △※2 |
| | 【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○※1 |
| HDDとBD | 【DR】 | | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【AVC】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 通常録画用USB-HDDとBD | 【DR】 | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【AVC】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 録画モードを【DR】以外に設定していても一時的に【DR】で録画される場合があります。
（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）

※2 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。

※3 通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、現在録画中の通常録画用USB-HDDのみ再生できます。

※4 通常録画用USB-HDDと、タイムシフトマシン録画用のUSB-HDD2は同時に使用できません。

ご注意

- 持ち出し設定の【スマホ持ち出し】は【SeeQVault対応SDカード転送】も含みます。

### 3番組を同時録画しているとき

| 録画メディア | | | | 再生するメディア | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画先 | 録画モード／持ち出し設定 | | | HDD<br>SeeQVault対応SDカード<br>SeeQVault対応SDカード(USB接続) | 通常録画用USB-HDD<br>SeeQVault対応USB-HDD | タイムシフトマシン再生<br>HDD<br>タイムシフトマシン用USB-HDD1 | タイムシフトマシン再生<br>タイムシフトマシン用USB-HDD2 | ディスク |
| HDDのみ | 【DR】 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※1 |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | | | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | ○ | ○ | ○ | △※2 |
| 通常録画用USB-HDDのみ | 【DR】 | | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【スマホ持ち出し】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○※1 |
| | 【スマホ持ち出し】 | | | ○※1 | △※1、※3 | ○※1 | ×※4 | ○※1 |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | △※2 |
| HDDと通常録画用USB-HDD | 【DR】 | | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | ○※1 |
| | 【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○※1 | △※1、※3 | ○※1 | ×※4 | ○※1 |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | △※2 |
| HDDとBD | 【DR】 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 【AVC】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | × |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 通常録画用USB-HDDとBD | 【DR】 | | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【AVC】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【AVC】 | 【スマホ持ち出し】 | 【スマホ持ち出し】 | ○※1 | △※1、※3 | ○※1 | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| HDDと通常録画用USB-HDDとBD | 【DR】 | | | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |
| | 【AVC】 | 【スマホ持ち出し】 | 【スマホ持ち出し】 | ○※1 | △※1、※3 | ○※1 | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※3 | ○ | ×※4 | × |

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない



次ページへつづく

# 同時にできること・つづき

※1 録画モードを【DR】以外に設定していても一時的に【DR】で録画される場合があります。
（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
※2 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。
※3 通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、現在録画中の通常録画用USB-HDDのみ再生できます。
※4 通常録画用USB-HDDと、タイムシフトマシン録画用のUSB-HDD2は同時に使用できません。

**ご注意**

- **録画中は、写真を再生できません。**
- **持ち出し設定の【スマホ持ち出し】は【SeeQVault対応SDカード転送】も含みます。**
- **持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。**

**お知らせ**

- 録画モードを【AF】～【AE】で録画中に、再生などを行うとメッセージが表示される場合があります。
- 持ち出し設定が【スマホ持ち出し】か【SeeQVault対応SDカード転送】に設定されている予約を録画中に、再生などを行うとメッセージが表示される場合があります。
- メッセージが表示された場合は、録画モードを【DR】に切り換えて録画します。録画が終わると、電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。録画モードの変換が終了しているか確認するには、168をご覧ください。
- 下記の場合は、3D映像は2Dで再生されます。
  - 持ち出し設定が【DVD持ち出し(VR)】に設定されている予約を録画中の場合
  - 録画モード【XP】～【EP】で録画中の場合
- 通常録画用USB-HDDに録画モード【XP】～【EP】で直接録画できません。

## 同時録画時の録画モードについて

録画モードや通常録画の組み合わせによっては、以下のような条件が発生します。

- 【DR】以外で設定された録画モードは一時的に【DR】で録画される場合があります。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- 【AVC】や【標準】を選んだ録画モードは【DR】固定に変更される場合があります。
- ●録画（ふたの中）を押しても録画できない場合があります。

その他、同時録画時に変更される録画モードや条件について詳しくは、以下をご覧ください。

### 2番組を同時録画の場合

| 1番組目の録画 | | 2番組目の録画 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画先 | 録画モード／持ち出し設定 | HDD | | | | | | | | | |
| | | 【DR】 | | 【AVC】 | | 【スマホ持ち出し】 | 【標準】 | | 【DVD持ち出し(VR)】 | | |
| | | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | | |
| HDD | 【DR】 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | | ○ | | ○ | △※1 | △※2 | △※1 | | |
| | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | | △※1 | △※2 | △※1 | △※1 | △※2 | △※1 | | |
| 通常録画用USB-HDD | 【DR】 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | 【スマホ持ち出し】 | ○ | | ○ | | ○ | △※1 | △※2 | △※1 | | |
| | 【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | | △※1 | △※2 | △※1 | △※1 | △※2 | △※1 | | |
| BD | 【DR】 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | 【AVC】 | ○ | | ○ | | ○ | △※1 | △※2 | △※1 | | |
| | 【標準】 | ○ | | △※1 | △※2 | △※1 | △※1 | △※2 | △※1 | | |

| 1番組目の録画 | | 2番組目の録画 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 通常録画用USB-HDD | | | BD | | | | | | |
| 録画先 | 録画モード／持ち出し設定 | 【DR】 | | 【スマホ持ち出し】 | 【DVD持ち出し(VR)】 | 【DR】 | | 【AVC】 | | 【標準】 | |
| | | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | 予約録画 | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | ●録画 |
| HDD | 【DR】 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | | ○ | △※1 | ○ | | ○ | | △※3 | △※2 |
| | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | | △※1 | △※1 | ○ | | ×※4 | △※2 | ×※4 | △※2 |
| 通常録画用USB-HDD | 【DR】 | △※6 | △※7 | △※6 | △※6 | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 【スマホ持ち出し】 | △※6 | △※7 | △※6 | △※1、6 | ○ | | ○ | | △※3 | △※2 |
| | 【DVD持ち出し(VR)】 | △※6 | △※7 | △※1、6 | △※1、6 | ○ | | ×※4 | △※2 | ×※4 | △※2 |
| BD | 【DR】 | ○ | | ○ | ○ | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※5 | × |
| | 【AVC】 | ○ | | ○ | △※1 | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※4 | × |
| | 【標準】 | ○ | | △※1 | △※1 | ×※5 | × | ×※4 | × | ×※4 | × |

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 録画モードは一時的に【DR】で録画されます。
※2 録画モードは【DR】固定になります。
※3 HDDに同時録画している【AVC】の録画モードおよびHDDや通常録画用USB-HDDに録画しているスマホ持ち出しの持ち出し設定は、一時的に【DR】で録画されます。
※4 HDDに代理録画され、録画モードは一時的に【DR】で録画されます。
※5 HDDに代理録画されます。
※6 通常録画用USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、1番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDを2番組目の録画先に指定するとHDDに代理録画されます。
※7 通常録画用USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、1番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDには切り換えできません。

ご注意
● 持ち出し設定の【スマホ持ち出し】は【SeeQVault対応SDカード転送】も含みます。

# 同時にできること・つづき

## 3番組同時録画の場合

| 1番組目の録画と2番組目の録画 | | | 3番組目の録画 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | HDD | | | | |
| 録画先 | 録画モード／持ち出し設定 | | 【DR】 | 【AVC】 | 【スマホ持ち出し】 | 【標準】 | 【DVD持ち出し(VR)】 |
| | | | 予約録画 / ●録画 | 予約録画 / ●録画 | 予約録画 | 予約録画 / ●録画 | 予約録画 |
| HDD のみ | 【DR】 | 【DR】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※1 / △※2 | △※1 | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| HDD と 通常録画用 USB-HDD | 【DR】 | 【DR】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※1 / △※2 | △※1 | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| 通常録画用 USB-HDD のみ | 【DR】 | 【DR】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【DR】 | 【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※1 / △※2 | △※1 | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【スマホ持ち出し】 | 【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| HDD と BD | 【DR】 | 【DR】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※1 / △※2 | △※1 | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【AVC】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| 通常録画用 USB-HDD と BD | 【DR】 | 【DR】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | △※1 / △※2 | △※1 | △※1 / △※2 | △※1 |
| | 【スマホ持ち出し】 | 【AVC】 | ○ | ○ | ○ | △※1 / △※2 | △※1 |

| 1番組目の録画と2番組目の録画 | | | 3番組目の録画 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 通常録画用USB-HDD | | | | BD | | | | | | | |
| 録画先 | 録画モード／持ち出し設定 | | 【DR】 | | 【スマホ持ち出し】 | 【DVD持ち出し(VR)】 | 【DR】 | | 【AVC】 | | 【標準】 | |
| | | | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | 予約録画 | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | ●録画 | 予約録画 | ●録画 |
| HDDのみ | 【DR】 | 【DR】 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | | ○ | △※1 | ○ | | ○ | | △※6 | △※2 |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | | △※1 | △※1 | ○ | | ×※4 | △※2 | ×※4 | △※2 |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | | ○ | △※1 | ○ | | ○ | | △※3 | △※2 |
| HDDと通常録画用USB-HDD | 【DR】 | 【DR】 | △※9 | △※10 | △※9 | △※9 | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | △※9 | △※10 | △※9 | △※1※9 | ○ | | ○ | | △※6 | △※2 |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | △※9 | △※10 | △※1※9 | △※1※9 | ○ | | ×※4 | △※2 | ×※4 | △※2 |
| | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【スマホ持ち出し】 | △※9 | △※10 | △※9 | △※1※9 | ○ | | ○ | | △※3 | △※2 |
| 通常録画用USB-HDDのみ | 【DR】 | 【DR】 | △※7※9 | △※8※10 | △※9 | △※9 | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 【DR】 | 【スマホ持ち出し】 | △※7※9 | △※8※10 | △※9 | △※1※9 | ○ | | ○ | | △※3 | △※2 |
| | 【DR】 | 【DVD持ち出し(VR)】 | △※7※9 | △※8※10 | △※1※9 | △※1※9 | ○ | | ×※4 | △※2 | ×※4 | △※2 |
| | 【スマホ持ち出し】 | 【スマホ持ち出し】 | △※7※9 | △※8※10 | △※9 | △※1※7※9 | ○ | | ○ | | △※3 | △※2 |
| HDDとBD | 【DR】 | 【DR】 | ○ | | ○ | ○ | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※5 | × |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | | ○ | △※1 | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | ○ | | △※1 | △※1 | ×※5 | × | ×※4 | × | ×※4 | × |
| | 【AVC】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | ○ | | ○ | △※1 | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※4 | × |
| 通常録画用USB-HDDとBD | 【DR】 | 【DR】 | △※9 | △※10 | △※9 | △※9 | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※5 | × |
| | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | △※9 | △※10 | △※9 | △※1※9 | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※4 | × |
| | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し(VR)】 | △※9 | △※10 | △※1※9 | △※1※9 | ×※5 | × | ×※4 | × | ×※4 | × |
| | 【スマホ持ち出し】 | 【AVC】 | △※9 | △※10 | △※9 | △※1※9 | ×※5 | × | ×※5 | × | ×※4 | × |

○：できる　△：一部できないものがある　×：できない

※1 録画モードは一時的に【DR】で録画されます。

※2 録画モードは【DR】固定になります。

※3 HDDに同時録画している【AVC】の録画モードおよびHDDや通常録画用USB-HDDに録画しているスマホ持ち出しの持ち出し設定は、一時的に【DR】で録画されます。

※4 HDDに代理録画され、録画モードは一時的に【DR】で録画されます。

※5 HDDに代理録画されます。

※6 HDDに同時録画している【AVC】の録画モードが一時的に【DR】で録画されるか、ブルーレイディスクへの録画がHDDに代理録画されます。

※7 USB2.0の場合は、3番組目はHDDに代理録画されます。

※8 USB2.0の場合は、録画できません。

※9 通常録画用USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、1番組目と2番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDを3番組目の録画先に指定するとHDDに代理録画されます。

※10 通常録画用USB-HDDを本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子に複数台接続している場合は、1番組目と2番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDには切り換えできません。

# 同時にできること・つづき

## 外部入力について

- 録画モード【AF】～【AE】または【XP】～【EP】と外部入力は同時に録画できません。

予約録画の場合：録画モード【AF】～【AE】または【XP】～【EP】で同時録画している番組を停止して、外部入力の予約録画を実行します。（同時録画している番組の録画先がHDDの場合のみ、一時的に録画モードを【DR】にして、外部入力の予約録画を実行できます。）

録画（ふたの中）を押して録画する場合：録画できません。

## 録画時の配信について

| 録画モード／持ち出し設定 | | | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 変換配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1番組目の録画 | 2番組目の録画 | 3番組目の録画 | — | — | — | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | ライブ配信※5 |
| 【DR】 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※3 | ○※3 | ○※2 |
| 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※3、4 | ○※3、4 | ○※2 |
| 【標準】または【DVD持ち出し（VR）】 | — | — | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × |
| 【外部入力】 | — | — | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × |
| 【DR】 | 【DR】 | — | ○ | ○※3 | ○※2 | ○ | ○※3 | ○※2 | ○※3 | ○※3 | × |
| 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | — | ○ | ○※3 | ○※2 | ○ | ○※3 | ○※2 | ○※3、4 | ○※3、4 | × |
| 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し（VR）】 | — | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × |
| 【DR】 | 【外部入力】 | — | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × |
| 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | — | ○ | ○※3、4 | ○※2、4 | ○ | ○※3、4 | ○※2、4 | × | × | × |
| 【DR】 | 【DR】 | 【DR】※6 | ○※1 | ○※3 | × | ○※1、4 | ○※3、4 | × | ○※3、4 | × | × |
| 【DR】 | 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】※6 | ○※1 | ○※3 | × | ○※1、4 | ○※3、4 | × | ○※3、4 | × | × |
| 【DR】 | 【DR】 | 【標準】または【DVD持ち出し（VR）】※6 | ○※1 | × | × | ○※1、4 | × | × | × | × | × |
| 【DR】 | 【DR】 | 【外部入力】※6 | ○※1 | × | × | ○※1、4 | × | × | × | × | × |
| 【DR】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】※6 | ○※1 | ○※3、4 | × | ○※1、4 | ○※3、4 | × | × | × | × |
| 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】 | 【AVC】または【スマホ持ち出し】※6 | ○※1 | × | × | ○※1、4 | × | × | × | × | × |

| 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】：【番号5】 | | | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 変換配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| タイムシフトマシン録画 | 1番組目の通常録画 | 2番組目の通常録画 | — | — | — | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | ライブ配信※5 |
| 5 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※3 | ○※3 | ○※2 |
| 5 | DR | — | ○ | ○※3 | ○※2 | ○ | ○※3 | ○※2 | ○※3 | ○※3 | × |
| 5 | AVC | — | ○ | ○※3 | ○※2 | ○ | ○※3 | ○※2 | ○※3,4 | ○※2,4 | × |
| 5 | 標準 | — | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × |
| 5 | 外部入力 | — | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × |
| 5 | DR | DR | ○※1 | ○※3 | × | ○※1 | ○※3 | × | ○※3 | × | × |
| 5 | DR | AVC | ○※1 | ○※3 | × | ○※1 | ○※3 | × | ○※3,4 | × | × |
| 5 | DR | 標準 | ○※1 | × | × | ○※1 | × | × | × | × | × |
| 5 | DR | 外部入力 | ○※1 | × | × | ○※1 | × | × | × | × | × |
| 5 | AVC | AVC | ○※1 | ○※1,4 | × | ○※1 | ○※1,4 | × | × | × | × |

| 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】：【番号5・6】 | | | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 変換配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| タイムシフトマシン録画 | | 1番組目の通常録画 | — | — | — | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | ライブ配信※5 |
| 5 | 6 | — | ○ | ○ | ○※2 | ○ | ○ | ○※2 | ○※3 | ○※2 | × |
| 5 | 6 | DR | ○※1 | ○※1 | × | ○※1 | ○※1 | × | ○※1 | × | × |
| 5 | 6 | AVC | ○※1 | ○※1 | × | ○※1 | ○※1 | × | ○※1,4 | × | × |
| 5 | 6 | 標準 | ○※1 | × | × | ○※1 | × | × | × | × | × |
| 5 | 6 | 外部入力 | ○※1 | × | × | ○※1 | × | × | × | × | × |

| 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】：【番号5～7】 | | | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 通常配信※5 | 変換配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| タイムシフトマシン録画 | | | — | — | — | 通常配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | 変換配信※5 | ライブ配信※5 | ライブ配信※5 |
| 5（DR） | 6（DR） | 7（DR） | ○※7 | ○※7 | × | ○※7 | ○※7 | × | ○※7 | × | × |
| 5（AVC） | 6（AVC） | 7（AVC） | ○※7 | ○※7 | × | ○※7 | ○※7 | × | ○※4,7 | × | × |

※1 録画中のチャンネルのみ視聴できます。
※2 録画中またはライブ配信中のチャンネルのみ視聴できます。
※3 本機の状態によっては、チャンネル切り換えできない場合があります。
※4 再生を開始すると、配信を停止します。
※5 BD-Video／AVCHDを再生すると、配信を停止します。
※6 3番組目の録画を開始するときに、本機の状態によっては配信を停止する場合があります。
※7 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】7に設定しているチャンネルのみ視聴できます。

ご注意
- 持ち出し設定の【スマホ持ち出し】は【SeeQVault対応SDカード転送】も含みます。
- スマホ持ち出し、DVD持ち出し（VR）では予約録画での持ち出し設定でのみ指定可能です。

# 二カ国語・マルチ番組・字幕について

| 録画メディア<br>（ ）はダビング | HDD 通常録画用USB-HDD BD | HDD 通常録画用USB-HDD BD（SeeQVault対応USB-HDD SeeQVault対応SDカード(USB接続) SeeQVault対応SDカード AVCフォーマット） | HDD BD（通常録画用USB-HDD SeeQVault対応USB-HDD SeeQVault対応SDカード(USB接続) SeeQVault対応SDカード VRフォーマット※1） |
|---|---|---|---|
| **録画モード** | **DR** | **AF～AE** | **XP～EP** |
| **二重音声** | 主音声／副音声の両方が記録されます。※2<br>• 再生時に音声切換で音声が選べます。※5 | | |
| **マルチ番組の映像・音声** | 1つの映像と複数の音声が記録されます。（再生時に音声切換で音声が選べます。） | **現在放送中の番組を録画するとき**<br>HDD 通常録画用USB-HDD BD<br>1つの映像と複数の音声が記録されます。<br>**番組表から録画するとき、かんたんダビング／おまかせダビングするとき**<br>HDD 通常録画用USB-HDD BD AVCフォーマット<br>1つの映像と複数の音声が記録されます。<br>映像：1つの映像が記録されます。<br>音声：音声1と【詳細設定】画面で選んだ音声の2つが記録されます。また、音声1を選んでいるときは音声1と音声2が記録されます。<br>**日時指定予約するとき**<br>HDD 通常録画用USB-HDD BD<br>1つの映像と複数の音声が記録されます。<br>**ダビングリストからダビングするとき**<br>高速ダビングであれば、複数の音声で記録された番組はそのままの音声数でダビングされます。<br>**自動で引っ越し・バックアップ・スマホ持ち出しするとき**<br>SeeQVault対応USB-HDD SeeQVault対応SDカード(USB接続) SeeQVault対応SDカード<br>複数の音声で記録された番組はそのままの音声数でダビングされます。 | 1つの映像・音声だけが記録されます。<br>**現在放送中の番組を録画するとき**<br>視聴中の映像・音声が記録されます。<br>**番組表から録画するとき、かんたんダビング／おまかせダビングするとき**<br>1つの映像と、【詳細設定】画面、【かんたんダビング】または【おまかせダビング】で選んだ音声が記録されます。<br>**日時指定予約するとき、ダビングリストからダビングするとき**<br>映像1・音声1が記録されます。<br>（再生時に映像や音声の切り換えはできません。） |
| **サラウンド音声** | 放送そのままのサラウンド音声で記録されます。 | | ステレオ音声で記録されます。 |
| **字幕** | 字幕の情報が記録されます。※3（再生時に字幕切換で字幕表示の入／切ができます。） | HDD BD 通常録画用USB-HDD SeeQVault対応USB-HDD AVCフォーマット<br>字幕の情報が記録されます。※3、4 | 字幕の情報は記録されません。 |

## 外部入力の二重音声を録画すると・・・

| 録画メディア<br>（ ）はダビング | HDD BD（通常録画用USB-HDD SeeQVault対応USB-HDD SeeQVault対応SDカード SeeQVault対応SDカード(USB接続) VRフォーマット※1） | （Videoフォーマット） |
|---|---|---|
| **録画モード** | **XP～EP** | **XP～EP** |
| **二重音声**※5 | 主音声／副音声の両方が記録されます。<br>（再生時に音声切換で音声が選べます。） | 【二カ国語音声】で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。 |

※1 DVD-RW／DVD-Rのみ。（DVD-RAMにはダビングできません。）

※2 DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）へのダビング時は、【二カ国語音声】で選択している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。

※3 ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングおよびAVC等速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※4 録画中は字幕の表示ができません。

※5 【音声設定】の【Dolby Audio】、【DTS／DTS-HD】または【AAC】を【自動】に設定してビットストリーム出力している場合は、音声を切り換えることができません。音声設定を【自動】から【PCM】に変更することで本機で音声切換できるようになります。

250

お知らせ

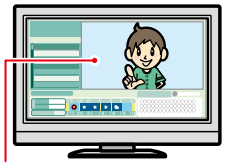
- 「外部入力の二重音声のどちらか一方だけを記録する場合は、必ず設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【録画設定】➡【外部入力音声】の設定を【二カ国語】にしてください。設定が【ステレオ】になっていると、再生時に主音声と副音声が重なって再生されます。

# 本機で受信できる放送の種類

## 各テレビ放送の主な特徴とサービスについて

| 放送の種類 | 特徴 | 本機で利用できる主なサービス |
|---|---|---|
| 地上デジタル放送 | ● 地上波のUHF放送の周波数帯域を使って行うデジタル放送です。また、本機はCATV(ケーブルテレビ)パススルー方式に対応しています。ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送も受信できます。<br>● 最新のデジタル技術を活用することで、高画質(ハイビジョン放送)5.1chサラウンド・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。<br>● 本機ではワンセグは受信できません。 | 番組表<br>データ放送<br>字幕放送 |
| BSデジタル放送 | ● ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行われる放送のため、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。 | 番組表<br>データ放送<br>字幕放送<br>ラジオ放送 |
| 110度CSデジタル放送 | ● 通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送です。ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあり、ほとんどの番組は有料です。「スカパー!」を視聴するには、加入申し込みと契約が必要です。 | 番組表<br>データ放送<br>字幕放送<br>ラジオ放送 |

## デジタル放送の「データ放送」「ラジオ放送」「双方向サービス」について

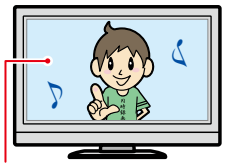


小画面ではほとんどの場合は、放送中の番組画面が表示されます。

● データ放送(地域設定：55)

データ放送には「番組連動データ放送」「独立データ放送」などがあり、番組連動データ放送は、例えば野球放送中の他球場の速報や、歌番組などでの勝敗投票といった、番組に関連したデータ放送です。(番組連動データ放送には、「双方向通信」機能をつかう番組があります。接続や設定が必要です。)独立データ放送は、天気予報、ショッピング情報(オンライン通販)などの、番組とは無関係の内容です。

※ データ放送は記録できません。



静止画などが表示されます。

● ラジオ放送

ラジオ放送は、BSデジタルおよび110度CSデジタル放送で行われています。放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によって音楽用CD並みの高音質を楽しむことができます。

※ ラジオ放送は記録できません。




(例)青、赤、緑、黄ボタンを使って、投票などができます。

● 双方向通信(接続と設定：228、232)

デジタル放送では、「双方向通信」機能を使って、クイズ番組に参加したり、買い物をしたりできます。双方向通信をするには、ブロードバンド常時接続環境が必要です。

※ 本機はインターネットを経由して利用する双方向通信サービスに対応していますが、電話回線を使用する双方向通信サービスには対応していません。

ご注意

● 双方向サービスをご利用になるには、インターネット環境が必要になります。

お知らせ

● 「WOWOW」や「スカパー!」などは加入申し込みと契約が必要です。受信契約については、各放送事業者にお問い合わせください。

# 各メディアに関するその他のお知らせ

## HDDについて

### HDD、ハードディスクとは？

大容量データ記録装置の１つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

**次のようなことは行わないでください。**

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気を付けください。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。（電源を切ったあと、２分以上経過してから行ってください。）
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDDは、振動や衝撃、周囲の環境（温度など）の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画（録音）内容が失われたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画（録音）内容が失われることがあります。

### HDDへの録画（録音）について

- HDDは機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。
- HDDを録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
- たいせつな録画（録音）内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。

### その他

- お客様ご自身で本機のHDDを交換した場合は、保証が無効となります。
- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。

ご注意

- **HDDに異常が発生した場合は、再生が不能になったり、録画（録音）内容が消えたりすることがあります。**

## USB-HDDについて

- 本機背面の通常録画／タイムシフトマシン録画用USB端子は、以下のUSB-HDDに対応しています。
  - 通常録画用USB-HDD
  - SeeQVault対応USB-HDD
  - タイムシフトマシン録画用USB-HDD
- 本機背面のタイムシフトマシン録画用USB端子は、以下のUSB-HDDに対応しています。
  - タイムシフトマシン録画用USB-HDD
- 本機背面のUSB端子には上記以外の機器は接続しないでください。接続した機器や本器の故障の原因となります。
- 本機と通常録画用USB-HDDを接続しているときは、USB-HDDに録画したり、USB-HDDの番組を、HDDにダビングしたりできます。
- 本機とSeeQVault対応USB-HDDを接続しているときは、東芝の他のSeeQVault対応機器でSeeQVault対応USB-HDDに記録した番組を本機で再生したり、HDDから全番組を引っ越し・バックアップしたりできます。
- 本機とタイムシフトマシン録画用USB-HDDを接続しているときは、タイムシフトマシン録画の録画先をUSB-HDDに設定することができます。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、USB-HDDおよび本機が故障したりする原因となることがあります。

### USB-HDDで使える機能

- 登録したUSB-HDDは、以下の点を除けばHDDと同じようにお使いいただけます。
  操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

### HDDと通常録画用USB-HDDの相違点

- USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で直接録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- USB-HDDに録画モード【XP】～【EP】で直接録画できません。

### HDDとSeeQVault対応USB-HDDの相違点

- ブルーレイディスクからSeeQVault対応USB-HDDへの【かんたんダビング】はできません。
- SeeQVault対応USB-HDDでは以下の操作はできません。
  - 直接録画
  - 【おまかせプレイリスト】
  - 【プレイリスト作成】
  - 【録画モード変換】
  - 【番組分割】
  - 【番組結合】
  - 【チャプター削除】

### HDDとタイムシフトマシン録画用USB-HDDの相違点

- タイムシフトマシン録画用USB-HDDは、タイムシフトマシン録画のみできます。（ダビング元やダビング先になりません。）
  HDDは、通常録画、タイムシフトマシン録画ができます。（ダビング元やダビング先になります。）
- タイムシフトマシン録画用USB-HDDのタイムシフトマシン録画番組は、タイムシフトマシン録画用USB-HDD（自身）には保存できません。
  HDDのタイムシフトマシン録画番組は、HDD（自身）に保存し、録画リストに表示できます。

# ディスクについて

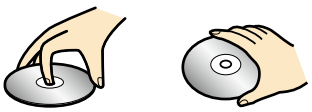
## ブルーレイディスク／DVD／CD全般

**以下の場合は、正常に録画・再生できません。**

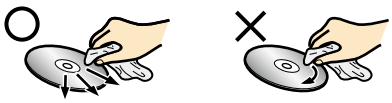
- 記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画／再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。
- 本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。
- パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、「おかしいな？と思ったときの調べかた」295をご覧になり、対処してください。
- PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
- 無許諾（海賊版など）のディスク。
- クローズド・キャプション（Closed Caption）の録画・再生。

### ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面（光っている面）には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたりしたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。
- シンナーやベンジン、アルコール、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。



### クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障の原因となります。

### ディスクの保管について

- 使用後、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置いたりすると、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

### 次のようなディスクは使わないでください

- ディスク自体の破損や本機の故障の原因となります。
  - 傷が付いているディスク。
  - ラベルやシールが貼られているディスク。
  - ラベルがはがれているディスク。
  - のりがはみ出しているディスク。
  - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
  - 六角形など、特殊な形状のディスク。

### 8cm盤のディスクを使用するときは

- 本機では再生だけができます。録画や編集はできません。
- ディスクはトレイの中央の溝に確実にはめてください。
- 8cmアダプターなしで使用できます。

## BD-RE／BD-R

- 他の機器で録画してファイナライズ（クローズ）していないBD-Rは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- BD-RE／BD-Rは、お買い上げ時には初期化（フォーマット）されていません。使用する前に初期化してください。（ディスクの初期化について詳しくは、262をご覧ください。）
- BD-RE Ver1.0（カートリッジタイプ）は、本機では使用できません。

## DVD-RW／DVD-R／DVD-RAM

- DVDには直接録画できません。
- 他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- DVD-RW（AVCREC™）／DVD-R（AVCREC™）は、AVCREC™方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW（VR）／DVD-R（VR）は、VR方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。（CPRMについて詳しくは、322をご覧ください。）
- DVD-RW（Video）／DVD-R（Video）は、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後、本機ではDVD-Videoと同様の扱いとなります。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。
- DVD-RAMについてはすべてのDVD-RAMの再生を保証するものではありません。

## BD-Video／DVD-Video

- ディスクによっては、ディスク制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。
  詳しくは、ディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

## 音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に COMPACT DISC DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD（コピーコントロール付きCDなど）やMP3ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できません。

**ご注意**

- **以下の場合は、実際に録画できる時間が短くなります。**
  - **ディスクに、傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき**
  - **映りの悪い（電波状態が悪い、弱い）番組など、画質が良くない映像を録画したとき**
- **高速記録対応のディスクを使用してダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。**

**お知らせ**

- 保護されたディスクは、初期化（フォーマット）や録画などができません。
- ディスクでは、【ディスク保護】や【ディスク保護解除】を行っても、ディスク残量を消費します。

# 各メディアに関するその他のお知らせ・つづき

## SDカードについて

- 本機は、SD規格に準拠した以下に対応しています。
  - exFAT形式でフォーマットされたSDXCカード
  - FAT32形式でフォーマットされたSDHCカード
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードとSDXCカードのみ使用できます。すべてのSDHCカードとSDXCカードの動作を保証するものではありません。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

SDカードの動作中は、接続ケーブルを抜いたり、SDカードを抜き差ししないでください。記録した内容が消えたり、SDカードが故障したりする原因となることがあります。

## USB機器について

- 本機前面のメモリ専用USB端子は、以下のようなUSBマスストレージクラス（大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBのデバイスタイプ）、またはUSB接続したSDカードに対応しています。
  - JPEG対応のデジタルカメラ
  - AVCHD方式対応のデジタルビデオカメラ
  - USBメモリ
  - USB接続したSDカード
  - USB接続したSeeQVault対応SDカード（TransferJet™転送機も含む）
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作を保証するものではありません。
- 本機前面のメモリ専用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本機の故障の原因となります。

ご注意

- SDカードやUSB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- SDカードやUSB機器の認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。SDカード、USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
  - SDカードやUSBケーブルを抜く
- SDカードに記録するデジタルカメラやデジタルビデオカメラのときに、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用して写真の再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。

## 本機で再生できるJPEGファイルについて

### 最大認識可能フォルダ／ファイル数

| | |
|---|---|
| CD-RW／CD-R | 255フォルダ、999ファイル |
| その他のメディア | 999フォルダ、9999ファイル |

### 画素数

| | |
|---|---|
| サブサンプリング（4：4：4の場合） | 32 × 32 ～ 8192×8192 |
| サブサンプリング（4：2：2または4：2：0の場合） | 32 × 32 ～ 8192×8192 |

- 1ファイルの再生可能容量は20MBまでです。
- 一覧のフォルダ名は、表示幅を超えるときにスクロール表示します。
- フォルダ表示できる階層は9までになります。（CDのみ、フォルダ表示できる階層は8になります。）
- 次のメディアまたは機器に記録されたJPEGに対応しています。
  - BD-RW／BD-R
  - DVD-RW／DVD-R
  - CD-RW／CD-R
  - SDカード
  - USB機器

ご注意

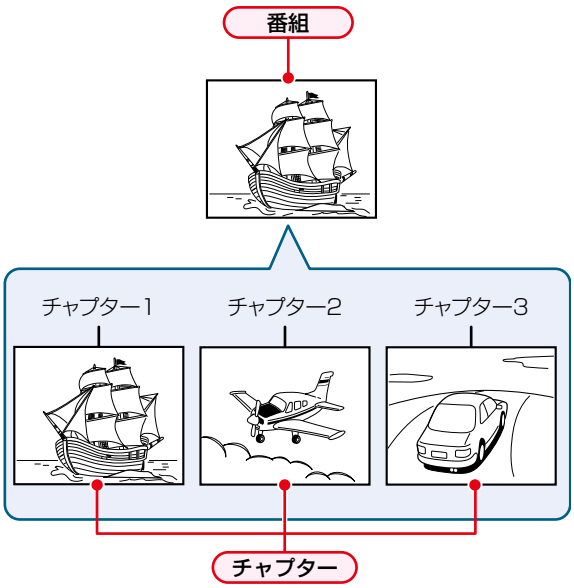
- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEG には対応していません。
- 記録状態などによっては、リストに表示されるファイルでも再生できないことがあります。

# 番組・チャプター・トラック・ファイル・フォルダについて

## 番組とチャプター

**番組：** HDDやUSB-HDD、ディスクなどの内容は、録画された番組ごとに区切られています。
短編集の「話」に相当します。

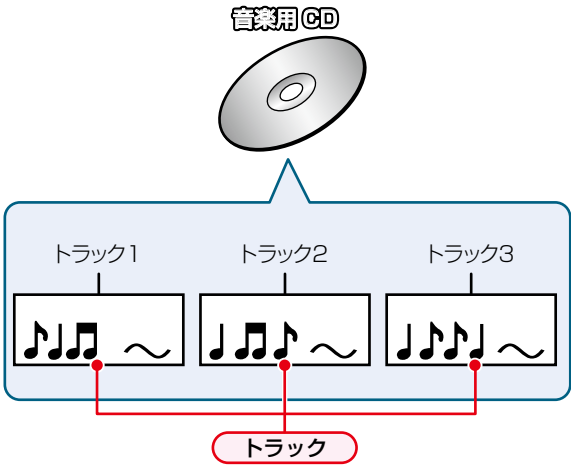
**チャプター：** 戻る/メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【録画設定】➡【チャプター自動生成】252で【切】以外に設定した番組の録画では、1つの番組の中で、場面ごとにさらに小さく区切られています。
本の「章」に相当します。




## トラック

音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

**トラック：** 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

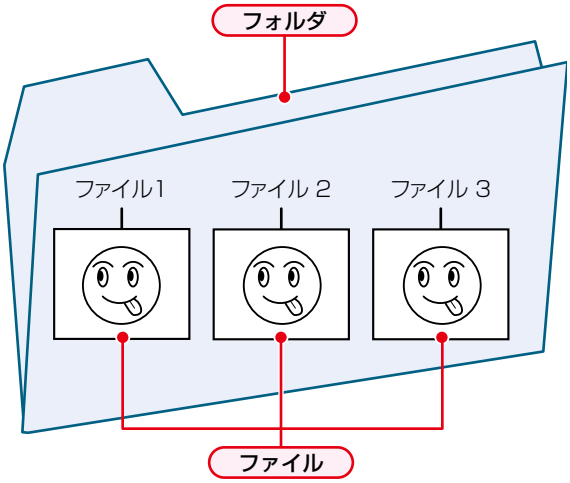



## ファイルとフォルダ

JPEG形式の写真などの画像が記録されたメディアは、「フォルダ」という大きな区切りと「ファイル」という小さな区切りで分かれています。パソコンなどでJPEG形式のファイルを作成する際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

**ファイル：** ひとつひとつのデータのことです。

**フォルダ：** ファイルやフォルダなどの集合を内包する階層のことです。



# 記録時間一覧表

記録時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。

- メディアの容量は、「1TB=1,000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- 番組によってビットレートが異なるため、番組により録画可能時間が変わります。
- 本機は、効率よく録画を行うためにVBR(可変ビットレート)方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大15時間です。(ブルーレイディスクへの録画の場合は、連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。)
- 「録画モード」について詳しくは、100をご覧ください。
- 録画モード【EP】は【EPモード】の設定によって、録画できる時間が変わります。252
- BS・110度CSデジタル放送のSD放送は、録画モードを【DR】または【AF】～【AE】に設定して録画しても標準画質で録画されます。

## HDD

- HDDに録画モードを【AF】～【AE】に設定して録画するときに、画面に表示される残量時間分録画できないことがあります。その場合は、録画モードを【DR】に切り換えて録画されます。(録画終了後、HDDに空き容量があるときの電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。168)

| 録画先メディア | | HDD (3TB) DBR-M3007 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画モード ＼ タイムシフトマシン録画用領域 | | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| DR | 地上デジタル(HD放送) | 約390時間24分 | 約292時間48分 | 約195時間12分 | 約97時間36分 | 約48時間47分 |
| | BSデジタル(HD放送) | 約276時間40分 | 約207時間30分 | 約138時間20分 | 約69時間10分 | 約34時間34分 |
| | BSデジタル(SD放送) | 約552時間42分 | 約414時間32分 | 約276時間21分 | 約138時間10分 | 約69時間 5分 |
| AVC | AF(2倍モード) | 約514時間 9分 | 約385時間37分 | 約257時間 4分 | 約128時間32分 | 約64時間15分 |
| | AN(3倍モード) | 約771時間24分 | 約578時間33分 | 約385時間42分 | 約192時間51分 | 約96時間25分 |
| | AS(4倍モード) | 約1102時間53分 | 約827時間 9分 | 約551時間27分 | 約275時間42分 | 約137時間50分 |
| | AL(5.5倍モード) | 約1514時間55分 | 約1136時間11分 | 約757時間27分 | 約378時間42分 | 約189時間21分 |
| | AE(12倍モード) | 約3278時間40分 | 約2459時間 3分 | 約1639時間18分 | 約819時間39分 | 約409時間48分 |
| 標準 | XP(1時間モード) | 約694時間44分 | 約521時間 4分 | 約347時間22分 | 約173時間41分 | 約86時間50分 |
| | SP(2時間モード) | 約1385時間30分 | 約1039時間 7分 | 約692時間44分 | 約346時間21分 | 約173時間11分 |
| | LP(4時間モード) | 約2783時間32分 | 約2087時間39分 | 約1391時間47分 | 約695時間51分 | 約347時間54分 |
| | EP(6時間モード) | 約4109時間19分 | 約3081時間58分 | 約2054時間41分 | 約1027時間17分 | 約513時間37分 |
| | EP(8時間モード) | 約5503時間34分 | 約4127時間37分 | 約2751時間45分 | 約1375時間52分 | 約687時間58分 |

| 録画先メディア | | HDD (1TB) DBR-M1007 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画モード ＼ タイムシフトマシン録画用領域 | | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| DR | 地上デジタル(HD放送) | 約129時間14分 | 約96時間56分 | 約64時間37分 | 約32時間18分 | 約16時間 8分 |
| | BSデジタル(HD放送) | 約91時間35分 | 約68時間41分 | 約45時間47分 | 約22時間53分 | 約11時間26分 |
| | BSデジタル(SD放送) | 約182時間58分 | 約137時間13分 | 約91時間28分 | 約45時間44分 | 約22時間52分 |
| AVC | AF(2倍モード) | 約170時間12分 | 約127時間39分 | 約85時間 6分 | 約42時間33分 | 約21時間16分 |
| | AN(3倍モード) | 約255時間21分 | 約191時間32分 | 約127時間41分 | 約63時間50分 | 約31時間54分 |
| | AS(4倍モード) | 約365時間 6分 | 約273時間49分 | 約182時間32分 | 約91時間16分 | 約45時間37分 |
| | AL(5.5倍モード) | 約501時間30分 | 約376時間 7分 | 約250時間45分 | 約125時間22分 | 約62時間40分 |
| | AE(12倍モード) | 約1085時間23分 | 約814時間 2分 | 約542時間40分 | 約271時間19分 | 約135時間37分 |
| 標準 | XP(1時間モード) | 約229時間59分 | 約172時間29分 | 約115時間 0分 | 約57時間30分 | 約28時間45分 |
| | SP(2時間モード) | 約458時間40分 | 約344時間 1分 | 約229時間19分 | 約114時間40分 | 約57時間20分 |
| | LP(4時間モード) | 約921時間29分 | 約691時間 5分 | 約460時間45分 | 約230時間21分 | 約115時間10分 |
| | EP(6時間モード) | 約1360時間24分 | 約1020時間14分 | 約680時間10分 | 約340時間 6分 | 約170時間 0分 |
| | EP(8時間モード) | 約1821時間56分 | 約1366時間24分 | 約911時間 0分 | 約455時間28分 | 約227時間39分 |

### タイムシフトマシン録画の記録時間について

- タイムシフトマシンの録画の記録時間について詳しくは、73をご覧ください。

### ネットdeレック機能での録画

- スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組内容によって記録時間が異なります。

| 録画先メディア | HDD(3TB)　DBR-M3007 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| タイムシフトマシン録画用領域 / コンテンツ内容 | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| AVC | 約720時間<br>(約390～900時間) | 約540時間<br>(約292～675時間) | 約360時間<br>(約195～450時間) | 約180時間<br>(約97～225時間) | 約90時間<br>(約48～112時間) |
| AVC(3Dコンテンツ) | 約450時間 | 約337時間 | 約225時間 | 約112時間 | 約56時間 |
| SKP | 約1230時間<br>(約780～2370時間) | 約922時間<br>(約585～1777時間) | 約615時間<br>(約390～1185時間) | 約307時間<br>(約195～592時間) | 約153時間<br>(約97～296時間) |

| 録画先メディア | HDD(1TB)　DBR-M1007 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| タイムシフトマシン録画用領域 / コンテンツ内容 | 0% | 25% | 50% | 75% | 87.5% |
| AVC | 約240時間<br>(約130～300時間) | 約180時間<br>(約97～225時間) | 約120時間<br>(約65～150時間) | 約60時間<br>(約32～75時間) | 約30時間<br>(約16～37時間) |
| AVC(3Dコンテンツ) | 約150時間 | 約112時間 | 約75時間 | 約37時間 | 約18時間 |
| SKP | 約410時間<br>(約260～790時間) | 約307時間<br>(約195～592時間) | 約205時間<br>(約130～395時間) | 約102時間<br>(約65～197時間) | 約51時間<br>(約32～98時間) |

- CATV(ケーブルテレビ)チューナーの番組は、「HDD」286のDR、AVCをご覧ください。(番組によって録画モードや記録時間は異なります。)

## ディスク

- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングする番組の合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が表示されている場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
- DVDの録画モードは、ディスクによって異なります。

AVCフォーマットの場合：　【AF】～【AE】

VRフォーマットまたはVideoフォーマットの場合：　【XP】～【EP】

| 録画先メディア / 録画モード | | ブルーレイディスク | | | DVD | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | SL(1層) 25GB | DL(2層) 50GB | TL(3層) 100GB | SL(1層) 4.7GB | DL(2層) 8.5GB |
| DR | 地上デジタル(HD放送) | 約3時間　4分 | 約6時間 14分 | 約12時間 27分 | 記録できません | |
| | BSデジタル(HD放送) | 約2時間 10分 | 約4時間 25分 | 約8時間 49分 | | |
| | BSデジタル(SD放送) | 約4時間 21分 | 約8時間 50分 | 約17時間 39分 | | |
| AVC | AF(2倍モード) | 約4時間　2分 | 約8時間 11分 | 約16時間 21分 | 約0時間 46分 | 約1時間 25分 |
| | AN(3倍モード) | 約6時間　3分 | 約12時間 17分 | 約24時間 31分 | 約1時間　9分 | 約2時間　7分 |
| | AS(4倍モード) | 約9時間　8分 | 約18時間 32分 | 約37時間　0分 | 約1時間 45分 | 約3時間 13分 |
| | AL(5.5倍モード) | 約12時間 11分 | 約24時間 45分 | 約49時間 24分 | 約2時間 20分 | 約4時間 17分 |
| | AE(12倍モード) | 約26時間 34分 | 約53時間 55分 | 約107時間 38分 | 約5時間　5分 | 約9時間 21分 |
| 標準 | XP(1時間モード) | 約5時間 27分 | 約11時間　4分 | 約22時間　6分 | 約1時間　3分 | 記録できません |
| | SP(2時間モード) | 約10時間 54分 | 約22時間　9分 | 約44時間 13分 | 約2時間　6分 | |
| | LP(4時間モード) | 約21時間 49分 | 約44時間 18分 | 約88時間 27分 | 約4時間 13分 | |
| | EP(6時間モード) | 約32時間 41分 | 約66時間 20分 | 約132時間 26分 | 約6時間 20分 | |
| | EP(8時間モード) | 約43時間 32分 | 約88時間 22分 | 約176時間 24分 | 約8時間 26分 | |

## USB-HDD

- USB-HDDの容量によって記録できる時間が異なります。
- 外部入力の映像は録画できません。
- 標準画質で録画できません。

# テレビ画面に表示されるメッセージ

メッセージの内容は、実際に画面に表示される文言とは一部異なる場合があります。

| | 表示されるメッセージ （例） | メッセージの意味と対応のしかた | ページ |
|---|---|---|---|
| 操作全般 |  | • 現在、その操作を行うことは禁止されています。 | − |
| | まもなくオートオフ機能により電源が切れます。 | • 【未使用時自動電源オフ】が設定されているため、まもなく電源が切れます。<br>➡ 何らかの操作をすると、電源は切れません。<br>• 【未使用時自動電源オフ】を無効に設定するときは、（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【その他】から【未使用時自動電源オフ】の設定を【利用しない】にしてください。 | 254<br>254 |
| | ダビング中にこの操作はできません。 | • 現在ダビング中のため、その操作を行うことは禁止されています。 | 270 |
| | まもなくディスクへの予約録画を開始します。<br>ディスクへ録画できない場合、録画先をHDDに変更します。 | • 録画可能なディスクが挿入されていません。<br>• 同時操作によってディスクに録画できません。<br>➡ HDDに空き容量がある場合は、代理録画されます。 | 258<br>269 |
| | まもなく、USB-HDDへの予約録画を開始します。<br>USB-HDDへ録画できない場合、録画先をHDDに変更します。 | • 録画可能な通常録画用USB-HDDが接続されていません。<br>• 同時操作によって通常録画用USB-HDDに録画できません。<br>➡ HDDに空き容量がある場合は、代理録画されます。 | 219<br>269 |
| メール | スタートメニューからメールを確認してください。 | • 新着のお知らせメールがあります。<br>➡ メールの内容を確認してください。 | 248 |
| ディスク・SDカード・USB | ディスクを取り出してください。<br>このディスクは再生することができません。 | • 本機で対応できないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。<br>➡ ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。 | − |
| | リージョンエラー。<br>この地域での再生は禁止されています。 | • 本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。<br>➡ ディスクを取り出してください。 | 260 |
| | USB機器を確認してください。<br>USB機器を取り外してください。 | • USB機器から写真の再生中または映像取り込み（ダビング）中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。<br>➡ USB機器の接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。 | 58 |
| | 通常録画用として登録したUSB-HDDが接続されていません。<br>登録設定した通常録画用USB-HDDを、本機背面のHDD専用USB端子に接続してください。 | • USB-HDDを認識できません。もしくは認識できないUSB-HDDが接続されています。USB-HDDを確認してください。<br>• 本機で登録できるUSB-HDDの容量は、32GB～8TBになります。 | 216、219<br>− |
| | タイムシフトマシン録画用として登録したUSB-HDDが接続されていません。<br>登録設定したタイムシフトマシン録画用USBHDDを、本機背面のHDD用USB端子に接続してください。 | • 登録設定したUSB-HDDが本機背面のHDD専用USB端子に接続されていない可能性があります。接続を確認してください。<br>• 保護装置がはたらいていませんか。 | 217、220<br>295 |

| | 表示されるメッセージ （例） | メッセージの意味と対応のしかた | ページ |
|---|---|---|---|
| SDカード・USB | **本機背面のUSB端子ではUSB接続されたSeeQVault対応SDカードやTransferJet(TM)機器を使用できません。本機前面のUSB端子に接続してください。** | • 本機背面のHDD専用USB端子にUSB接続されたSeeQVault対応SDカードや専用のTransferJet™機器を接続しています。本機前面のメモリ専用USB端子に接続してください。 | 224、226 |
| | **対応ファイルが存在しません。もしくは、対応していないフォーマットです。USB-HDDを使用したい場合は、本機背面のUSB端子に接続してください。** | • 通常録画用USB-HDD、タイムシフトマシン録画用USB-HDDやSeeQVault対応USB-HDDを本機前面のメモリ専用USB端子と接続しています。本機背面のHDD専用USB端子と接続してください。 | 220 |
| 録画 | **本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。**<br><br>**本機を安定させるため、タイムシフトマシン録画を一時停止しました。** | • 本機の動作を安定させるために、録画などの動作が停止された可能性があります。動作が改善されない場合は、295の手順 3 を試してください。(それでも動作が改善されない場合は、HDDの異常が原因の可能性があります。) | 282、295 |
| | **B-CASカードが正しく挿されてないか、録画、またはダビングが禁止された番組です。** | • miniB-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。正しく挿入できている場合は、「録画禁止」番組を録画しようとしています。 | 34、100 |
| | **録画容量不足により、録画を中止しました。** | • HDDや通常録画用USB-HDD、ディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。 | − |
| | **録画時間が15時間を超えたため、録画を停止しました。** | • HDD、通常録画用USB-HDDへの連続録画時間が15時間になったため、録画を停止しました。<br>• HDD、通常録画用USB-HDDへの1番組あたりの連続録画可能時間は最大15時間です。 | − |
| | **録画時間が8時間を超えたため、録画を停止しました。** | • ブルーレイディスクへの連続録画時間が8時間以上になったため、録画を停止しました。<br>• ブルーレイディスクへの1番組あたりの連続録画可能時間は8時間未満です。 | − |
| タイムシフトマシン録画 | **保存先の容量が不足しています。** | • 不要な番組を削除するか、別の保存先に保存してください。 | 150、152 |
| | **この番組は、番組内でタイムシフトマシン録画モードが変更されているため、この操作はできません。** | • タイムシフトマシン録画モードを変更した事によって、番組内でタイムシフトマシン録画モードが変更されたタイムシフトマシン録画番組は、保存できません。 | 66 |
| 予約 | **HDDの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、最後まで録画できません。**<br>**ディスクの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。**<br>**USB-HDDの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。** | • HDD、通常録画用USB-HDD、またはディスクの残量が不足しています。<br>➡ 決定 を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。 | 59 |
| | **予約登録数がいっぱいなので予約登録できません。** | • 予約登録数が上限に達したので、不要な予約を削除してください。 | 120 |
| | **番組情報が変更されました。** | • 予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。 | − |



次ページへつづく

# テレビ画面に表示されるメッセージ・つづき

メッセージの内容は、実際に画面に表示される文言とは一部異なる場合があります。

| | 表示されるメッセージ （例） | メッセージの意味と対応のしかた | ページ |
|---|---|---|---|
| 消去・編集・ダビング | **本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。** | • ディスクに傷や汚れがあると、編集が正常に完了しない場合があります。<br>➡ 決定を押して放送画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。 | － |
| | **この番組（またはディスク）は保護されているため、ダビングできません。** | • 「移動」になる番組やディスクが保護されているときは、ダビングができません。<br>➡ 番組やディスクの保護を解除してください。 | 161、265 |
| | **この番組はすでに登録しているため、選択できません。** | • 「移動」になる番組、またはダビング10番組は、ダビングリストに一度しか登録できません。 | － |
| | **最大登録数を超えるため、選択できません。** | • ダビングリストの一覧の登録番組数がいっぱいになっています。<br>• ダビングリストの一覧に登録できる番組数は最大36番組です。 | 176<br>－ |
| | **15時間を超える番組はダビングできません。** | • ダビング先がHDD、通常録画用USB-HDDのときに、15時間を超える番組は、ダビングできません。 | － |
| | **8時間以上の番組はダビングできません。** | • ダビング先がディスクのときに、8時間以上の番組は、ダビングできません。 | － |
| | **番組数が上限を超えています。ダビングする番組を減らしてください。** | • ダビング先の番組総数が、限界を超えます。<br>➡ 現在のダビング先にダビングする場合は、ダビングする番組を減らしてください。 | 176 |
| | **バックアップ先が設定されていません。また、バックアップ用の機器が接続されていません。** | • バックアップ可能なSeeQVault対応USB-HDDが接続されていません。<br>➡ バックアップ可能なSeeQVault対応USB-HDDを背面に接続後、設定メニュー（ふたの中）を押してから、【本体設定】➡【録画設定】の【バックアップ先設定】でバックアップ先のUSB-HDDを設定してください。 | 219、252 |

## よくあるご質問

| | 質問 | 回答 | ページ |
|---|---|---|---|
| 準備 | ヘッドホンやスピーカーを直接つなげますか？ | • 本機には直接つなぐことはできません。アンプなどを通して接続してください。 | 227 |
| | ハイビジョン映像を楽しむには、どんなテレビが必要ですか？ | • HDMI端子付きのテレビとHDMIケーブルでつないでください。 | 34 |
| メディア | 本機で使えるディスクは？本機で録画や再生が可能なディスクは？ | • 「本機で使えるメディアについて」をご覧ください。 | 258 |
| | 高速記録対応ディスクとは？ | • 通常よりも短時間でダビングできるディスクのことです。高速で録画ができるのは、高速ダビングのときだけです。 | 258 |
| | DVDの録画方式(AVCREC™方式、VR方式、Video方式)とは？ | • DVD-RW／DVD-Rに録画するときに選べる録画方式のことです。 | 262 |
| | AVCREC™方式、VR方式、Video方式はどのように使い分けるのですか? | • 「新品のDVDを初期化(フォーマット)する」をご覧ください。 | 262 |
| | 1枚のディスクにAVCREC™方式、VR方式、Video方式を混在させて録画できますか？ | • 本機では対応していません。ディスクごとに録画方式を選択してください。 | − |
| | HD Recの再生には対応していますか？ | • 本機では対応していません。 | − |
| | 市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクの2層ディスクの再生はできますか? | • 再生できます。 | − |
| | ＋RW/＋Rの録画・再生はできますか？ | • 本機では対応していません。 | 260 |
| | DVDオーディオ、CD-ROM、ビデオCDは再生できますか? | • 本機では対応していません。 | − |
| | パソコンで作ったDVD・音楽用CDは再生できますか? | • 本機では対応していません。 | 283 |
| | MP3形式で記録されたディスクは再生できますか？ | • 本機では対応していません。 | 283 |
| 時短機能 | 録画した番組が表示されない | • 設定時に選択したカテゴリーにあてはまる番組のみを表示します。(カテゴリーにあてはまらない番組は表示されません。)別のカテゴリーを表示するように条件を変更したり、カテゴリーを新規追加してください。<br>• 録画中の番組は「時短で見る」画面に表示されません。<br>• ネットdeレックで記録した番組、ダビングで記録した番組は、「時短で見る」画面に表示されません。 | 86、90<br>−<br>− |
| | 再生コースの切り換えができない | • らく見時の番組の長さが10分未満となる番組は、【飛ばし見】再生はできません。<br>• おまかせプレイができない通常録画番組は【らく見】に切り換えはできません。<br>➡ 選んだ再生コースに切り換えられない番組は【通常再生】になります。<br>• タイムシフト連携番組は、【らく早見】再生できません。 | −<br>−<br><br>− |



次ページへつづく

# 困ったときは・つづき

| | 質問 | 回答 | ページ |
|---|---|---|---|
| 番組表 | 番組表を使った予約には、どのような特徴がありますか? | • 番組表から簡単に録画予約をしたり、番組の詳細情報を表示したりすることができます。また、ジャンルから関連番組を探すこともできます。<br>• 自動追跡録画に対応しています。<br>• 録画リスト画面に番組名が自動的に入ります。<br>• 選んだ番組がタイムシフトマシン録画に登録しているチャンネルの番組の場合は、保存予約ができます。 | 107〜128<br>— |
| | 番組表は、何日分まで表示できますか? | • 最大8日分まで表示できます。 | 103 |
| | 番組表の利用料金はかかりますか？ | • 利用料金はかかりません。 | — |
| | 番組表は日本全国で利用できますか？ | • 番組データの内容は地域ごとに異なるため、利用するためにはそれぞれの地域で番組データを取得する必要があります。 | 103 |
| | 番組表をCATV(ケーブルテレビ)で利用できますか? | • できる場合とできない場合があります。詳しくはご利用のCATV(ケーブルテレビ)会社にご相談ください。 | 104 |
| | 番組表のサブメニューで設定した内容は、タイムシフトマシン過去番組表に反映されますか？ | • 番組表とタイムシフトマシン過去番組表で設定する内容は共通では保存されないため、番組表またはタイムシフトマシン過去番組表でそれぞれ【日付切り換え】、【表示チャンネル数切り換え】、【表示時間数切り換え】、【文字サイズ切り換え】、【ジャンル色分け】、【番組概要表示設定】の設定を行う必要があります。 | 79、105 |
| 録画 | 二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？ | • 「二カ国語・マルチ番組・字幕について」をご覧ください。 | 280 |
| | 字幕の録画はできますか？ | • できます。 | 280 |
| | デジタル放送は録画できますか? | • HDD、通常録画用USB-HDD、BD-RE／BD-Rは直接録画できます。<br>• DVD-RW／DVD-Rに記録する場合は、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW(VR)／DVD-R(VR)やDVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)にダビングしてください。 | 100、258 |
| | デジタル放送をハイビジョン画質(HD放送)で録画できますか？ | • HDD、通常録画用USB-HDD、BD-RE／BD-Rは直接録画できます。(録画モードを【DR】、【AF】〜【AE】に設定した場合のみ)<br>DVD-RW／DVD-Rに記録する場合は、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)にダビングしてください。 | 100、258 |
| | デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？ | • 本機では録画できません。 | 281 |
| | 同時録画はできますか？ | • できます。(ブルーレイディスクに2番組を同時録画できません。) | 100 |
| | ダビング10(コピー9回＋移動1回)番組の録画はできますか？ | • できます。 | 100 |
| 予約 | 予約が重なった場合は、どちらが優先されるのですか? | • 「予約が重なったときは」をご覧ください。 | 126 |
| | 電源を入れたまま予約時間になった場合は？ | • 電源の入／切にかかわらず、予約録画は始まります。 | 126 |

| | 質問 | 回答 | ページ |
|---|---|---|---|
| 再生 | ブルーレイ3D™ディスクが3D映像で再生されない | • 本機と3D映像対応テレビをHDMIケーブルで接続していますか。<br>• 【3D映像視聴設定】が【2D】になっていませんか。 | 34<br>251 |
| | 海外で買ったBD-Videoは再生できますか？ | • リージョンコードに「A」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外(PAL、SECAMなど)で記録されている場合は再生できません。 | 260 |
| | 海外で買ったDVD-Videoは再生できますか？ | • リージョンコードに「2」または「ALL」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外(PAL、SECAMなど)で記録されている場合は再生できません。 | 260 |
| | 本機で録画やダビングしたUSB-HDD、SeeQVault対応SDカードやディスクを、他の機器で再生できますか？ | • ディスクをファイナライズすると、対応しているプレーヤーなどで再生できます。記録状態によっては再生できないことがあります。<br>• 本機で引っ越し・バックアップ用として登録して、引っ越し・バックアップまたはダビングで記録したSeeQVault対応USB-HDD、またはスマホ持ち出し用として初期化して、自動転送またはダビングで記録したSeeQVault対応SDカードは、東芝の他のSeeQVault対応機器で再生できます。本機で記録した通常録画用USB-HDDは、他の機器では再生できません。 | 266<br>– |
| 編集 | どんな編集ができますか？ | • メディアによって、編集できる機能が異なります。「本機でできる編集について」をご覧ください。 | 154 |
| | ファイナライズを解除すると何ができますか？ | • すでに録画された内容を消さずに、追加で録画や消去・編集ができるようになります。(本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)のみ) | 266 |
| | 市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクやレンタルディスクからダビングできますか？ | • 市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクやレンタルディスクなど、著作権保護・違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされているディスクはダビングできません。 | 171 |
| ダビング | 本機でダビング中に録画や再生はできますか？ | • 高速ダビング時は以下の操作はできません。<br>– 写真の再生<br>– ディスクへのダビング中に、ディスクの再生<br>– 移動中に移動対象の番組の再生<br>– ●録画 (ふたの中)による録画(予約録画はできます。)<br>• 等速ダビング時は、録画や再生はできません。 | 270<br>– |
| | ネットdeダビングHDができない | • 本機やダビング先の機器にブルーレイディスクやDVD(AVCREC™フォーマットやVRフォーマット)が入っている場合は、ネットdeダビングHDができないことがあります。<br>• ダビング先の機器によっては、一部のドライブにダビングできない場合があります。<br>• 対応機器から本機にネットdeダビングHDをする場合は、本機のダビング先メディアからHDDしか選べません。 | –<br>–<br>– |
| | DVD持ち出し(VR)に設定した持ち出し用の番組がない | • 予約録画時の録画状況によっては録画と同時にはDVD持ち出し(VR)番組が作成されないことがあります。電源「切」時にDVD持ち出し(VR)番組作成を行いますので、本機の電源を「切」にしてください。該当する番組が作成できているか確認するには、スタートメニュー画面の【録画リスト】から【DVD持ち出し(VR)番組】を選んでください。 | – |
| | 番組予約時に持ち出し設定をSeeQVault対応SDカード転送に設定した予約録画番組がSeeQVault対応SDカードへ転送されない | • SeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組は、予約録画時の録画状況によっては録画と同時にはスマホ持ち出し番組が作成されないことがあります。電源「切」時にスマホ持ち出し番組への変換および転送を行いますので、本機の電源を「切」にしてください。<br>また、SeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組は転送を開始するまでにしばらく時間がかかることがあります。 | – |



次ページへつづく

# 困ったときは・つづき

| | 質問 | 回答 | ページ |
|---|---|---|---|
| ネットワーク連携接続 | **端末機器と接続できない** | • 端末機器と本機が、同じホームネットワークと接続されていますか。<br>➡ 同一サブネットに端末機器が接続されていないと、アプリケーションをつかうことができません。端末機器と本機の接続や設定をご確認ください。 | 228 |
| | | • お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。<br>➡ ブロードバンドルーターが無線LANに対応していない場合は、端末機器と接続できません。 | – |
| | **おまかせ自動録画で、持ち出し用に録画したい** | • おまかせ自動録画では、持ち出し番組を作ることができません。<br>➡ おまかせ自動録画された番組をスマホ持ち出し番組に変換してください。 | 204 |
| | **外部入力から録画した映像を持ち出したい** | • 外部入力からの映像は持ち出し番組に変換できません。 | – |
| | **ライブ配信中に、突然番組が見られなくなった** | • 本機で録画などが始まっていませんか。<br>➡ 録画中の録画モードが【標準】の場合や、3番組同時録画中の場合は、ライブ配信で番組を視聴できません。 | 203 |
| | **ライブ配信中でチャンネル切り換えに時間がかかる** | • 本機で録画した番組を端末機器に配信するため、ライブ配信中のチャンネル切り換えには時間がかかりますが、故障ではありません。 | – |
| | **ネットワーク再生や配信時に映像が止まったりすることがある** | • 2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。 | 217 |
| | | • 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがあります。USB-HDDおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。 | 217 |
| その他 | **日本全国どこでも使えますか？海外でも使えますか？** | • 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。 | 310 |
| | **VTRとの違いは？** | • HDDに録画すれば長時間番組も録画できます。 | – |
| | | • HDDやディスクに録画する場合は、ビデオテープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、削除することも可能です。 | – |
| | | • 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。（ビデオテープのように早送り／巻戻しをする必要はありません。） | – |
| | | • パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。 | – |

# 症状に合わせて解決法を調べる

## おかしいな？と思ったときの調べかた

あれ？おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- アンテナ、テレビ、AVアンプなど、接続している機器に付属の取扱説明書もよくお読みください。

### 1 診断モードで本機の主な機能に故障が無いかをご確認ください。242

問題がないときは ⋮

### 2 「こんなときは」（症状）と「ここをお調べください」（対処方法）をご覧ください。

296 ～ 307

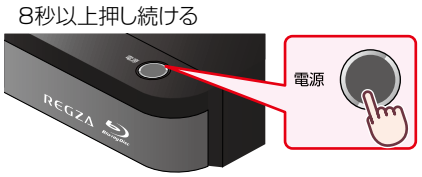
当てはまる症状がないときは ⋮

### 3 保護装置がはたらいていませんか？

- ディスクやSDカードが取り出せる場合は、あらかじめ取り出しておいてください。USB機器が取り外せる場合は、あらかじめ取り外しておいてください。
- 以下の方法で、保護装置を解除してください。

**❶本機の電源を切ることができる場合は、リモコンの停止ボタン を押しながら本機上面の電源ボタン を押して本機の電源を切る**

- 上記手順❶で電源が切れなかった場合は、電源ボタン を8秒間以上長押しすることにより、強制的に電源を切ることができます。




**❷本機の電源プラグをコンセントから抜いて、数分間待つ**

**❸本機の電源プラグをコンセントに差し込む（本機が通電状態になります。）**

**❹電源を入れて、動作を確認する**

保護装置を解除しても直らないときは ⋮

### 4 お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**ご注意**

- 手順3で保護装置の解除を行ったあとは、予約の設定など、必要な設定を行ってください。

**お知らせ**

- **保護装置とは？**
  本機では、機器内部に何らかの異常を検知した場合は、保護のために保護装置がはたらき、強制的に電源を切る仕組みになっています。

# 症状に合わせて解決法を調べる・つづき

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 電源 | **電源が入らない** | • 電源プラグがコンセントや本機から抜けていませんか。 | 35 |
| | | • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 | 35 |
| | | • 保護装置がはたらいている可能性があります。<br>➡「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3以降を行ってください。 | 295 |
| | **何も操作をしていないのに、勝手に電源が入る** | • 番組表の番組データを受信中（本機上面の電源ランプ（橙）が点灯）です。 | 22、103 |
| | | • ダウンロードしたソフトウェアの更新中（本機前面のHDDランプ（青）が点滅）です。 | 245 |
| | | • 予約録画の開始時刻約2分前になると録画ランプが点滅します。（録画が始まると録画ランプは点灯に変わります。） | 126 |
| | **電源を入れると、【はじめての設定】開始画面が表示される** | • 【はじめての設定】をしていないときは、電源を入れると【はじめての設定】開始画面が表示されます。 | 37 |
| | **テレビの電源を入／切すると、本機の電源も自動的に入／切する** | • 東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」と組み合わせてレグザリンク機能のテレビ電源オン連動機能やテレビ電源オフ連動機能を使っているときは、テレビの電源の入／切に連動して本機の電源が自動的に入／切します。（お使いのテレビによっては、自動的に電源が「入」にならないものもあります。） | 241 |
| | **勝手に電源が切れる** | • 【未使用時自動電源オフ】を設定していませんか。 | 254 |
| | | • 保護装置がはたらいている可能性があります。<br>➡「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3以降を行ってください。 | 295 |
| | | • 電源を「入」にした際に、本機上面の電源ランプ（橙）、本機前面のHDDランプ（青）／再生ランプ（緑）が同時に点滅しているのは、本機の高温保護機能により自動的に電源を「切」にしたことを示しています。<br>➡ コンセントから電源プラグを抜いて、本機の設置場所についてご確認ください。 | 22 |
| | **電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかったりする** | • システムの終了や情報の更新を行うため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。 | – |
| | **電源を切ったあと、2時間ほど冷却用ファンが回ったままになる** | • デジタル放送の有料放送と契約した場合は、しばらくの期間は放送局側からの制御により本機の内部の制御部が通電状態となり、ファンが回転し続けることがあります。 | – |
| 本機の操作全般・ディスク・USB | **本機が動かない<br>本機の操作ができない** | • その操作が禁止されているときは、【🚫】またはメッセージが表示されます。 | – |
| | | • リモコンのモード設定が“本機／テレビモード”になっていませんか。<br>➡ レコーダー を押してからリモコン操作するか、リモコンのモード設定を“本機優先モード”に切り換えてください。 | 50 |
| | | • 本機とリモコンのリモコンコードが合っていますか。 | 51 |
| | | • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 | 35 |
| | | • ご購入後に初めて電源を入れたときは【はじめての設定】開始画面が表示されます。 | 37 |
| | | • 【はじめての設定】実行中は、録画・再生などの操作はできません。 | – |
| | | • 保護装置がはたらいている可能性があります。<br>➡「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順3以降を行ってください。 | 295 |
| | | • HDDに記録されている番組数が多いと、その分、本機の電源プラグを差し直した際の起動に時間がかかります。 | – |

本機の操作全般・ディスク・USB

| こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|
| **HDDまたはUSB-HDDの操作ができない** | • 本機のHDDランプまたはUSBランプが点灯していますか。<br>➡ 操作するメディアを切り換える場合は、リモコンの HDD または USB を押してください。 | 22 |
| **ディスクの操作ができない** | • 本機のDISCランプが点灯していますか。<br>➡ DISCランプが点灯していない場合は、リモコンの DISC を押してください。 | 22 |
| | • ディスクを入れていますか。 | 57 |
| | • ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。 | – |
| **ディスクトレイの開閉ができない** | • ダビングリスト表示中などは、トレイの開閉ができない場合があります。 | – |
| | • 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。<br>➡ リモコンの停止ボタン 停止 を押しながら本機上面の◉を押して本機の電源を切ってから トレイ開閉 で電源を入れてください。それでも直らないときは、「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 3 の❷以降を行ってください。 | 295 |
| **ディスクトレイがしばらく出てこない、出てくるまで時間がかかる** | • 情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。 | – |
| **ディスクを入れてから、しばらく操作ができない** | • ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。 | – |
| **本機の設定画面やサブメニューが選べない** | • 現在操作ができない項目はグレー表示されます。 | 61 |
| | • テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 | – |
| **本機が正常に動作しない** | • 結露（露付き）が起こっていませんか。<br>➡ 電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。 | 313 |
| **本機前面のランプが正常に点灯、点滅しない** | • 保護装置がはたらいている可能性があります。<br>➡ 「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 3 以降を行ってください。 | 295 |
| **SDカードの操作ができない** | • 本機前面のSDカードスロットにSDカードを入れていますか？ | 58 |
| | • 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続できていますか。 | 224 |
| **SDカードの内容が読めない** | • SDカードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。 | 58、224 |
| **SeeQVault対応SDカードの操作ができない** | • 本機前面のSDカードスロットにSeeQVault対応SDカードを入れていますか。 | 224 |
| | • SDカードリーダーのUSBケーブルがしっかり差し込まれていますか。 | 224 |
| | • 本機で対応しているSeeQVault対応SDカードを接続していますか。 | 224 |



次ページへつづく

# 症状に合わせて解決法を調べる・つづき

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 本機の操作全般・ディスク・USB | **専用のTransferJet™転送対応機の操作ができない** | • USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。<br>• 本機で対応している専用のTransferJet™転送対応機を接続していますか。 | 226<br>226 |
| | **USB機器の操作ができない**<br>**USB機器の内容が読めない** | • 本機で対応しているUSB機器を接続していますか。<br>• USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。<br>• SDカードに記録するデジタルカメラ／デジタルビデオカメラのときに、USB接続で認識・読み込みができない場合は、SDカードを使用して写真の再生や映像取り込み(ダビング)を行ってください。<br>• 録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。 | 58<br>58<br>194<br>– |
| | **USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった** | • USB機器から写真の再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。<br>➡ USBケーブルの接続をはずして、再度つないでみてください。 | 58 |
| 視聴、チャンネル切換 | **テレビに本機の映像が映らない** | • アンテナ－本機－テレビを接続していますか。<br>• ケーブルやコードを違う端子(入力／出力も含む)につないでいませんか。<br>• ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか。<br>• 本機とテレビをHDMIケーブルで接続したときは、【HDMI解像度設定】の設定が合っていないと、正常に映りません。<br>➡ 再生▶を5秒以上押し続けてください。設定が【自動】になり、映るようになります。<br>• テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 | 30<br>〜<br>36<br>251<br>– |
| | **本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった** | • 分配器を使っていませんか。市販のブースターなどをつかうと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。<br>• 本機の電源プラグを、常にコンセントに差し込んで、通電状態にしておいてください。<br>• アンテナ線とHDMIケーブル、LANケーブルなどの距離を離してください。<br>• 【一般設定】の【アンテナ出力】が【切】になっていませんか。この設定が【切】になっていると、本機の電源が切れている間は、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送アンテナ信号を送ることができません。 | –<br>35<br>–<br>257 |
| | **地上デジタル放送が映らない、映りが悪い** | • アンテナ線を地上デジタル放送用の端子につないでいますか。また、UHFアンテナ、同軸ケーブルなどは、デジタル放送対応のものを使っていますか。<br>• 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンを行ってください。<br>• 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、【放送受信設定】の「信号品質」の数値が低くなります。信号品質の数値は、「20」以上を目安にしてください。<br>➡ 【診断モード】の【受信チャンネル診断】では信号品質を一覧で確認できます。<br>• 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、【放送受信設定】の【アッテネーター】を【入】に設定すると、映りが改善されることがあります。<br>• miniB-CASカードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか。<br>• 分配器を使っていませんか。市販のブースターなどをつかうと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 | 26<br>256<br>53<br>243<br>53<br>34<br>– |

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 視聴、チャンネル切換 | **BS・110度CSデジタル放送が映らない、映りが悪い、音声にノイズが出る** | • アンテナ線をBS・110度CSデジタル放送用の端子につないでいますか。また、BS・110度CSアンテナ、同軸ケーブル、分波器などは、BS・110度CSデジタル放送対応のものを使っていますか。<br>• 本機に付属の同軸ケーブルは地上デジタル放送専用ですので、BS・110度CSデジタル放送対応同軸ケーブル（市販）をご使用ください。 | 26 |
| | | • 設定（ふたの中）を押してから、【放送受信設定】➡【BS・CSデジタル設定】の【アンテナ電源】の設定は正しいですか。 | 257 |
| | | • 設定（ふたの中）を押してから、【放送受信設定】➡【BS・CSデジタル設定】の【アンテナ電源】の設定を【供給する（個別）】にしているときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。 | 257 |
| | | • BS・110度CSアンテナの方向や角度が強風などで少しでもずれると、放送を受信できません。 | – |
| | | • 以下の場合は、電波障害により一時的に映像・音声が乱れることがあります。<br>– 雨雲があるときや、強い降雨のとき、障害物があるときなど。<br>– 雪がBS・110度CSアンテナに付着しているとき。 | – |
| | | • miniB-CASカードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。 | 34 |
| | **放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない** | • 以下の場合は、録画中の放送以外のチャンネルに切り換えることはできません。<br>–【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべて通常録画用に登録して、3番組を同時録画中のとき。<br>–【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】6・7を通常録画用に登録して、2番組を同時録画中のとき。<br>–【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】7を通常録画用に登録して、1番組を録画中のとき。 | – |
| | | • 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、本機で現在放送中の番組を視聴できるチャンネルは番号7のチャンネルに固定され、チャンネルの切り換えはできません。 | 66 |
| | | • 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。 | – |
| | | • 録画モード【AF】～【AE】に設定して同時録画中のときは、外部入力に切り換えることはできません。 | – |
| | **チャンネルを切り換えられない** | • 【はじめての設定】（【チャンネル初期スキャン】）をしましたか。 | 49、256 |
| | **映像の左右の端が切れる** | • テレビによっては、左右や上下の映像が切れたり、色が薄くなったりします。 | – |
| | **デジタル放送の字幕や文字スーパーが出ない** | • 字幕の設定が【オフ】になっていないか確認してください。 | 96 |
| | | • 【文字スーパー】の設定が【表示しない】になっていないか確認してください。 | 257 |
| | **WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない** | • 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 | – |
| | | • お持ちの機器に付属のminiB-CASカードで有料放送を契約済みの場合は、本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のIDに変更してください。 | – |
| | **NHK BSデジタル放送を、視聴中またはタイムシフトマシン再生中に、受信確認メッセージが表示される** | • NHK BSデジタル放送のメッセージ消去の申し込みが完了していない場合があります。<br>なお、メッセージ消去の申し込みには、miniBCASカード挿入口2に挿入したminiB-CASカードのID番号を使用してください。 | – |



次ページへつづく

# 症状に合わせて解決法を調べる・つづき

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 番組表 | **番組表が表示されない<br>番組表が8日分<br>表示されない** | • お買い上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。 | 103 |
| | | • スキップ設定したチャンネルは表示されません。 | 52 |
| | | • 番組表で【CH毎表示】に設定すると、1つのチャンネルのみ表示されます。 | 105 |
| | | • 番組表で【1チャンネル表示】に設定されている放送局は、1つのチャンネルしか表示されません。 | 105 |
| | **番組データを受信<br>できない** | • 番組データは、本機の電源が「切」(通電状態)のときに受信します。 | 103 |
| | | • 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録した場合は、番組データやチャンネルロゴの取得に約10日かかる場合があります。その場合は、【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してから電源を「切」にしておくと、約1日で番組データやチャンネルロゴが取得できます。<br>ただし、システムメンテナンス時間に放送を休止しているチャンネルがあるときは、そのチャンネルの番組データやチャンネルロゴが取得できない場合があります。番組データやチャンネルロゴが取得できないチャンネルは、【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定してから、そのチャンネルを数十分視聴しておくと取得することができます。 | – |
| | **番組表に表示されない<br>放送局や番組がある<br>NHKが違う地域の<br>番組表で表示される** | • 地域設定やチャンネルが正しく設定されていない場合は、表示されません。<br>➡ 設定メニュー(ふたの中)を押してから、【放送受信設定】➡【地上デジタル放送】の【チャンネル初期スキャン】で地域設定とチャンネルを再度設定してください。 | 256 |
| | | • 深夜時間帯などで番組が表示されていない場合は、放送が予定されていない場合があります。 | – |
| | **予約した番組と<br>録画された番組が<br>合っていない** | • 番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。 | 103 |
| 録画 | **録画できない** | • 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていませんか。 | – |
| | | • 「録画禁止」番組を録画していませんか。 | 100 |
| | | • HDDや通常録画用USB-HDD、BD-RE／BD-Rの残量時間が不足していませんか。<br>➡ 不要な番組を削除するか、別の通常録画用USB-HDD、BD-RE／BD-Rに録画してください。 | 150 |
| | | • 番組数がいっぱいになっていませんか。<br>➡ 不要な番組を削除するか、別の通常録画用USB-HDD、BD-RE／BD-Rに録画してください。 | 150 |
| | | • アンテナを本機に接続していますか。 | 26 |
| | **ディスクに録画<br>できない** | • 録画可能なディスクを入れていますか。 | 258 |
| | | • 本機では、DVD-RW／DVD-Rには直接録画できません。(ダビングはできます。) | 100、258 |
| | | • 他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。 | – |
| | | • 他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。 | – |
| | | • ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。 | 283 |
| | | • ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか。 | 265、266 |

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 録画 | CATV(ケーブルテレビ)のセットトップボックスなど、他の機器の映像が録画できない | • 本機の入力切換を外部入力(L1)に切り換えていますか。 | 125 |
| | | • つないだ機器の電源が入っていますか。 | – |
| | | • ケーブルやコードを違う端子(入力／出力も含む)につないでいませんか。<br>コピー制限の有無にかかわらず、外部入力(L1)からHDDに録画された番組をDVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)にダビングできません。 | 36 |
| | | • HDD、ブルーレイディスク以外には外部入力(L1)の映像を直接録画できません。<br>(HDD、ブルーレイディスクからのダビングはできます。) | – |
| | 予約録画できない<br>録画予約した番組が録画されない | • 予約スキップをしていると、録画されません。 | 120 |
| | | • 停電があったときは、正しく録画されません。 | 127 |
| | | • ファイナライズ、初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 | – |
| | | • 録画予約した番組が、番組変更等により放送されなかった可能性があります。 | – |
| | 番組の最後まで録画できていない<br>予約で録画した最後の部分が録画できていない | • 予約が重なっていませんか。 | 126 |
| | | • 前の予約の終了日時とあとの予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。 | 126 |
| | 番組を同時に録画できない | • ブルーレイディスクに2番組を同時録画できません。 | – |
| | | • 2番組以上を録画モード【XP】～【EP】で同時録画できません。録画モード【AF】～【AE】の番組と録画モード【XP】～【EP】の番組の同時録画もできません。 | 274 |
| | | • タイムシフトマシン録画している場合は、設定しているチャンネル数によって同時録画できる番組数が減少します。 | 72 |
| | テレビ側での録画予約ができない<br>テレビ側で録画予約した番組が録画されない<br>テレビ側での設定どおりに録画されない | • 録画モードを【DR】、【TS】、【AF】～【AE】、【XP】～【EP】または【録画先の現在設定】以外にしていませんか。<br>➡ テレビ側で予約設定を行う場合は、録画モードは【DR】、【TS】、【AF】～【AE】、【XP】～【EP】または【録画先の現在設定】のいずれかを選んでください。 | – |
| | | • テレビ側の設定に関わらず、本機では以下のように録画されます。<br>- DVD互換： 切<br>- 音質モード： M1 | – |
| | | • 【レグザリンク・コントローラ】が【切】になっていませんか。 | 251 |
| | | • 予約の周期が【月～木】となっていませんか。<br>➡ 本機は【月～木】録画には対応していません。【月～木】予約を行う場合は【月～金】を選んでいただくか、各曜日を個別に登録してください。 | 116 |
| | 通常録画用USB-HDDやSeeQVault対応USB-HDDやSDカードに録画できない | • 録画可能な通常録画用USB-HDDを接続していますか。 | – |
| | | • 他機で初期化された通常録画用USB-HDDは、本機では録画できません。 | – |
| | | • 引っ越し・バックアップ用に初期化したSeeQVault対応USB-HDDや本機前面のSDカードスロットに挿入したSeeQVault対応SDカード、本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続したSeeQVault対応SDカードは、本機では直接録画できません。 | – |
| | | • 本機では、外部入力の映像を通常録画用USB-HDDには直接録画できません。<br>(HDDからダビングはできます。) | 125 |
| | | • 保護装置がはたらいていませんか。 | 295 |
| | 電源「切」時に標準画質やDVD持ち出し(VR)番組への変換ができない | • 【タイムシフトマシン録画チャンネル／録画先】5～7の3つをすべてタイムシフトマシン録画用に登録して、タイムシフトマシン機能利用中のときは、電源「切」時に標準画質とDVD持ち出し(VR)番組への変換が行われません。この場合は、電源「切」時でタイムシフトマシン機能を利用していないときに変換されます。ただし、HDDやUSB-HDDの残量不足や予約録画実行中などにより変換ができないこともありますので、録画モード変換のご注意を参照してください。 | 168 |



次ページへつづく

# 症状に合わせて解決法を調べる・つづき

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 録画 | **録画モード【DR】以外で録画・予約録画した番組が、録画モード【DR】で録画されている** | • 通常録画用USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で録画するときや、持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画するとき、また、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード【DR】で録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。 | 117、269 |
| タイムシフトマシン録画 | **タイムシフトマシン録画ができていない** | • 【タイムシフトマシン機能】を【利用しない】に設定されていませんか。<br>➡ タイムシフトマシン録画を行う場合は、【タイムシフトマシン機能】を【利用する】に設定してください。 | 253、66 |
| | **タイムシフトマシン録画用USB-HDDにタイムシフトマシン録画できていない** | • 録画可能なUSB-HDDを接続していますか。<br>• USB-HDDが正しく接続・設定されていますか。<br>➡ 「タイムシフトマシン録画用USB-HDDをつなぐ」で正しく接続・設定してください。<br>• 本機でUSB-HDDを登録しましたか。<br>➡ USB-HDDを使用するには、本機と接続したあと、「タイムシフトマシン録画用USB-HDDを登録する」で登録する必要があります。<br>• 他機で初期化されたUSB-HDDは、本機では録画できません。 | –<br>217<br>218<br>216 |
| | **タイムシフトマシン過去番組表から一部の番組が消えた** | • タイムシフトマシン録画番組は録画先の容量が少なくなると、番組の情報量によって自動的に削除されます。<br>• タイムシフトマシン過去番組表の番組説明画面には、自動削除アイコンが表示されます。自動削除される日数の目安値が表示されるので、それを参考に残しておきたい番組は自動削除される前に保存することをおすすめします。 | 72<br>76 |
| | **タイムシフトマシン過去番組表から番組が消えた** | • タイムシフトマシン録画番組は録画先の容量が少なくなると、番組の情報量によって自動的に削除されます。<br>• タイムシフトマシン設定を変更すると、これまでにタイムシフトマシン録画された内容が削除される場合があります。 | 72<br>– |
| | **保存予約したタイムシフトマシン録画番組が保存されていないことがある** | • タイムシフトマシン録画番組は、録画容量が不足すると古い番組から自動で削除されます。保存を実行する前に自動で削除されてしまった番組は保存されません。 | 72 |
| | **保存予約一覧に予約が残ったままになる** | • HDDの録画容量が足りない場合や番組数が最大数になっている場合は、保存予約が実行されません。<br>➡ HDDの不要な番組を削除してください。 | 150 |
| 再生 | **再生できない 再生画面が出ない** | • テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 | – |
| | **ディスクの再生ができない** | • 本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。<br>• ディスクの表裏を正しく入れていますか。<br>• 他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。<br>• 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video、AVCREC™)／DVD-R(Video、AVCREC™)は、本機では再生できません。<br>• 記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。<br>• ブルーレイディスク／DVDの視聴制限設定をしていませんか。<br>• 録画モードを【XP】～【EP】で録画している場合は、BD-VideoやAVCHDを再生できません。 | 260<br>57<br>283<br>283<br>283<br>249<br>– |

再生

| こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|
| **番組の最初から再生が始まらない** | • つづき再生（レジューム停止）になっていませんか。 | 131 |
| **映像や音声が一瞬止まる** | • 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。 | 148 |
| **画面サイズがおかしい** | • 【TV画面選択】をテレビの形状に合わせて選択していますか。 | 250 |
| | • 4:3 / 16:9 LB / 16:9 PS のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。 | – |
| **再生中の映像が乱れる**<br>**再生中の色がおかしくなる** | • 早送り／早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 | – |
| | • 本機とテレビを直接つないでいますか。VTRなどを経由して本機とテレビをつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。 | – |
| | • 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。 | – |
| **DVDの再生が途中で自動的に止まる** | • DVDによっては、オートポーズ信号によって、再生が自動的に止まる場合があります。 | – |
| **音声が出ない**<br>**字幕が出ない** | • AVアンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。<br>- つないだ機器の電源が入っていますか。<br>- つないだ機器の入力切換が合っていますか。<br>- ケーブルやコードを正しく（入力／出力も含む）つないでいますか。 | – |
| | • 【音声設定】が、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて、正しく設定されていますか。 | 250 |
| | • 字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。 | 144、280 |
| | • ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。 | – |
| **外部入力で録画した番組を再生すると、2つの音声が混ざって聞こえる** | • 【録画設定】の【外部入力音声】を【ステレオ】にして録画していませんか。<br>➡ 録画前に、設定を【二カ国語】にしてから録画してください。 | 252 |
| **二カ国語音声が切り換えできない**<br>**日本語と英語が切り換えできない** | • 【録画設定】の【二カ国語音声】と【外部入力音声】で設定されている音声で記録されます。<br>➡ 録画前に、これらの設定を確認してください。 | 252 |
| **ディスクやUSB-HDDに録画した番組が見つからない** | • HDDに代理録画されていませんか。 | 126 |
| **デジタル音声の二重音声が切り換えられない** | • 【音声設定】の【Dolby Audio】、【DTS／DTS-HD】または【AAC】を【自動】に設定してビットストリーム出力しているときは、本機で二重音声（主音声／副音声）を切り換える操作をしても、音声が切り換わりません。<br>➡ 設定を【PCM】にするか、テレビまたはアンプ側で音声を切り換えてください。 | 250 |
| **ディスクの音声言語や字幕言語が切り換えられない** | • ディスクに複数の言語が収録されていますか。 | – |
| | • ディスクによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクに付属の取扱説明書をお読みください。 | – |



次ページへつづく

# 症状に合わせて解決法を調べる・つづき

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 再生 | カメラアングル(映像)が切り換わらない | • カメラアングル(映像)が切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。 | − |
| | 録画モード【DR】以外で録画した番組が、録画リスト画面上では【DR→○○変換予定】(○○は録画モード)または【持ち出し変換予定】・【VR変換予定】と表示されている | • 通常録画用USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で録画するときや、持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画するとき、また、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード【DR】で録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。<br>• 録画予約時に持ち出し設定を「しない」以外に設定した番組を録画中に、同時動作制限でスマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組の作成が中断された場合は、持ち出し番組を後で変換する状態となり、録画リスト上で録画モードの箇所に【持ち出し変換予定】・【VR変換予定】と表示します。 | 117、269<br>111 |
| | 本機に録画した番組が、DLNA対応機器の番組一覧に表示されない | • ダビング中や通常録画中の場合は、番組数が多いと、番組一覧への更新に時間がかかり、番組が番組一覧に表示されないことがあります。<br>➡ ダビング中や通常録画中の場合は、動作終了すると、内部処理が行われたあとに番組一覧への更新が早くなります。 | − |
| 消去・編集・ダビング | 番組の編集・削除ができない | • 番組やメディアが保護されている場合は、消去や編集はできません。<br>➡ 番組やディスクの保護設定を解除してください。 | 161、265 |
| | ディスクの編集ができない | • ファイナライズ済みのディスクの消去や編集はできません。 | 266 |
| | チャプターの編集ができない | • 録画モード変換予定またはスマホ持ち出し用変換予定、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組は、番組の保護／分割／結合はできません。 | − |
| | チャプターを分割できない | • チャプター数がいっぱいになっていませんか。<br>➡ チャプターを結合するか、不要なチャプターを削除してください。 | 155 |
| | 番組を削除しても、ディスクの残量が増えない | • BD-R、DVD-R、DVD-RW(AVCREC™)は、番組を消去してもディスクの残量は増えません。 | 152 |
| | 削除した番組を元に戻せない | • 削除された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、削除してください。 | 150 |
| | 初期化した内容を元に戻せない | • 初期化して消去された内容は、元に戻すことはできません。内容をよく確認してから、初期化してください。 | 268 |
| | ファイナライズしても、他のDVDプレーヤーで再生できない | • DVDプレーヤーによっては、ファイナライズしても再生できないことがあります。 | − |
| | ファイナライズが解除できない | • 本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)だけです。 | 266 |
| | ダビングすると、元の番組が消える | • 1回だけ録画可能(コピーワンス)番組のダビングや、ダビング10(コピー9回＋移動1回)番組の10回目のダビングは、「移動」になり、ダビング元の番組は削除されます。 | 189 |
| | ダビングしても字幕がダビングされない | • 録画モードを【DR】、【AF】～【AE】にして録画された番組を高速ダビングしたとき、または【画質選択】で【AF】～【AE】を選び、等速ダビングした場合は、字幕の情報もダビングされます。(字幕がある場合のみ)<br>録画モードを【XP】～【EP】にして録画された番組をダビングしたとき、または【画質選択】で【XP】～【EP】を選んでダビングした場合は、字幕情報はダビングされません。 | 280 |

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| 消去・編集・ダビング | **ダビングできない** | • 市販のBD-Videoディスクまたは DVD-Videoディスクやレンタルディスクなど、著作権保護・違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされているディスクはダビングできません。 | 171 |
| | | • 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video)／DVD-R(Video)は、ダビングできません。 | – |
| | | • ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 | 283 |
| | | • 他機で記録したディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 | – |
| | | • 他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 | – |
| | | • 保護されたダビング10番組の10回目または1回だけ録画可能(コピーワンス)番組のダビング(移動)はできません。ダビング(移動)するには保護を解除してください。 | 161 |
| | | • 以下の場合は、正しくダビングできないことがあります。<br>・プレイリストの構造が複雑になっている<br>・プレイリストのパーツが多い<br>・プレイリストのパーツが短い | – |
| USB-HDD | **USB-HDDを使用できない** | • USB-HDDの電源が入っていますか。<br>➡ USB-HDDの電源を入れたあと、本機の電源を入れてください。 | – |
| | | • USB-HDDが正しく接続・設定されていますか。<br>➡ 正しく接続・設定してください。 | 219 |
| | | • 本機でUSB-HDDを登録しましたか。<br>➡ USB-HDDを使用するには、本機と接続したあと、登録する必要があります。 | 221 |
| | **通常録画用USB-HDDに録画できない** | • USB-HDDに十分な空き容量がありますか。<br>➡ 空き容量が少ない場合は、番組をHDDにダビングしたり、削除したりして空き容量を増やしてください。 | 59、150、174 |
| | **USB-HDDの番組が消えてしまった** | • USB-HDDを使用中に、雷などの瞬間的な停電、USB-HDDの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。<br>➡ このようなとき、記録されていた番組が消える場合があります。番組がすべて消えた場合や、USB-HDDが動作しない場合は、USB-HDDを登録し直してください。 | 219 |
| | **通常録画用USB-HDDに予約録画した番組が、HDDに録画されていた** | • USB-HDDが無効になっていませんか。<br>➡ USB-HDDを正しく接続しているか、またはUSB-HDDの電源が入っているかどうかをご確認ください。 | 220 |
| | | • 本機に登録されていないUSB-HDDを接続していませんか。<br>➡ USB-HDDを登録するか、本機に登録済みのUSB-HDDを接続してください。 | 221 |
| | | • USB-HDDへ予約録画中に停電があったとき、接続機器によっては停電復帰後の予約録画の続きは HDDへ代理録画します。 | 127 |
| | **USB-HDDの番組が再生できない** | • タイムシフトマシン録画や通常録画したあとでUSB-HDDの登録を解除していませんか。<br>➡ 登録を解除してしまうと、USB-HDDを接続しても番組を再生できなくなります。また、再登録する場合は、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。 | 221 |



次ページへつづく

# 症状に合わせて解決法を調べる・つづき

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| USB-HDD | **SeeQVault対応USB-HDDに自動バックアップできない** | • 本機背面のHDD専用通常録画／タイムシフト録画用USB端子にSeeQVault対応USB-HDDを接続していますか。 | 219 |
| | | • バックアップ先に設定したSeeQVault対応USB-HDDに十分な空き容量がありますか。<br>➡ 空き容量が少ない場合は、番組を削除して空き容量を増やしたり、別のバックアップ可能なUSB-HDDをバックアップ先に設定してください。 | 59、150、252 |
| | | • 録画モード変換予定の番組、スマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組やバックアップ予定の番組、SeeQVault対応SDカードに転送予定の番組が多くあると、新たにバックアップ設定できない場合があります。<br>➡ スマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組やバックアップ予定の番組を減らしてから、バックアップ設定してください。 | 135 |
| SDカード | **SeeQVault対応SDカードに自動転送されない。** | • 自動転送先のSDカードに十分な空き容量がありますか。<br>➡ 空き容量が少ない場合は、番組を削除して空き容量を増やしたり、別のSDカードを本機前面のSDカードスロットに挿入するか、本機前面のUSB端子とUSB接続してください。 | 59、150 |
| | | • SDカードが保護されていませんか。<br>➡ SDカードをいったん取り出し、保護設定を解除してから、再度挿入してください。 | – |
| | | • 本機の電源を「切」にしていても【瞬速起動】に設定した時間帯だけはSeeQVault対応SDカードへ転送予定の番組が転送されず、変換・転送待ち状態になります。 | – |
| | | • 専用のTransferJet™転送対応機を転送にお使いになる場合は、本機の待機設定を【通常待機】に設定してください。 | 254 |
| | | • SeeQVault対応SDカードを、本機前面のSDカードスロットに挿入し、かつ本機前面のメモリ専用USB端子にUSB接続している場合は、自動転送先としてSDカードスロットが優先されます。 | – |
| レグザリンク | **レグザリンク機能がはたらかない** | • レグザリンク機能は、本機と東芝テレビのレグザリンク対応「REGZA」を組み合わせて、必要な接続(HDMI接続)と設定を行っている場合だけ、使えます。 | 241 |
| | | • レグザリンク機能が有効な状態で、本機の電源プラグやHDMIケーブルを抜いた場合は、レグザリンク機能が無効となります。<br>➡ 電源プラグやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換える、または【HDMI接続設定】から【レグザリンク・コントローラ】の設定を一度【切】に変更して決定したあともう一度設定を【入】に変更して決定すると、再びレグザリンク機能が有効になります。 | – |

| | こんなときは | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|---|
| リモコン | **リモコンがはたらかない<br>本機だけ、テレビだけ、など一部のボタンを押しても動作しない** | • 本機とリモコンのリモコンコードが合っていますか。<br>• 乾電池が消耗していませんか。 | 51<br>35 |
| | **HDDの操作ができない** | • 操作先がHDD（本機のHDDランプが点灯）になっていますか。<br>➡ HDD を押して操作先をHDDに切り換えてください。 | 22 |
| | **ディスクの操作ができない** | • 操作先がディスク（本機のDISCランプが点灯）になっていますか。<br>➡ DISC を押して操作先をディスクに切り換えてください。 | 22 |
| | **USB-HDDの操作ができない** | • 操作先がUSB（本機のUSBランプが点灯）になっていますか。<br>➡ USB を押して操作先をUSBに切り換えてください。 | 22 |
| | **テレビの操作ができない** | • テレビメーカーの設定をしていますか。<br>• 乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、テレビの操作だけができないことがあります。<br>• 乾電池を交換したり乾電池が消耗したりした場合は、テレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定（東芝A）に戻ることがあります。電池を交換していない場合は、リモコンの電池をすべて新品に交換してください。電池を交換したあとは、テレビメーカー番号を再設定してください。 | 50<br>35<br>35、50 |
| その他 | **何も操作していないのに、本機の内部で音がする<br>本機の動作音が大きくなる** | • 番組データの受信中やダウンロード更新中は、動作音がすることがあります。<br>• 高速記録対応ディスクを使用してダビングしているとき動作音が大きくなります。<br>• 【タイムシフトマシン機能】を【利用する】に設定し、【タイムシフトマシン有効時間】で有効時間に指定している時間帯は、ファンが回ったままになり、動作音がします。 | –<br>–<br>– |
| | **【BD視聴制限レベル】、【DVD視聴制限レベル】、【視聴年齢制限】または【インターネット接続制限】のパスワードを忘れた** | • これらの設定画面でパスワード入力画面が表示されたときに、4737を入力してください。パスワードと制限設定値がクリアされます。新しいパスワードを作成し、設定し直してください。 | 56、249 |

# 使用上のお願い

## 免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

## インターネットの接続制限機能について

- 本機には、インターネットサービスを利用する際に、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限する機能を搭載しています。

  インターネット接続制限について詳しくは、249をご覧ください。

## HDD（内蔵ハードディスク）およびUSB-HDD（外付けハードディスク）についての重要なお願い

- 本機にはハードディスク（HDD）が内蔵されていますが、USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。
- HDDは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので、以下のことにお気をつけください。
  - 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
  - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
  - 本機は水平に置いてください。USB-HDDは、メーカーの指示に従って置いてください。
  - 背面の内部冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
  - 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
  - 電源を入れたままの状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。
  - 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ずリモコンの停止ボタン（停止）を押しながら本機上面の（電源）を押して、電源ボタンのランプが消灯したことを確認してから抜いてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
  - 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- HDDは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなる恐れも十分にあります。このためHDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとにディスクにダビングするまでの一時的な保管場所として使用してください。
  また、HDD内に壊れかけている部分がある状態で録画した場合は、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生したりすることがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合は、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
  こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に各ディスクにダビングしてください。パソコンと同様に、HDDは壊れやすい要因を多分に含んだ非常に精密な機器です。ディスクなどへのバックアップを前提のうえで使用してください。
- 引っ越し・バックアップ用として登録したSeeQVault対応USB-HDDに、録画番組などのデータを記録した場合でも、記録したデータが長期的に保管できることを保証するものではありません。

## 無線LANをつかう際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線LAN設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANをお使いになる際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANが使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

無線LANを使用する場合は、以下をお読みください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線LANの使用を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

**連絡先：　東芝DVD インフォメーションセンター**

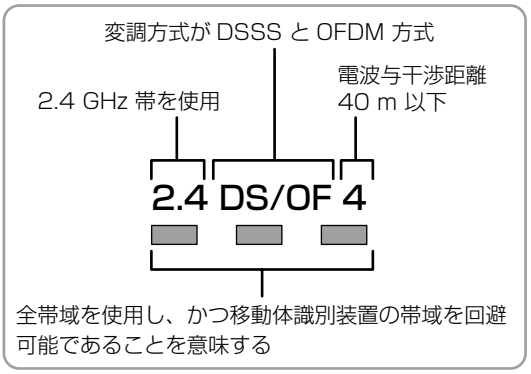
**0120-96-3755**

※ 間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

※ フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

- 5GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは、法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。

- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。




- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

**IEEE802.11b/g/n**

**IEEE802.11a/n**

| J52 | W52 | W53 | W56 |
|---|---|---|---|

| 規格 | | チャンネル | 周波数帯（中心周波数帯） |
|---|---|---|---|
| IEEE802.11 b/g/n | | 1～13 | 2.412～2.472GHz |
| IEEE802.11 a/n | W52 | 36,40,44,48 | 5.18～5.24GHz |
| | W53 | 52,56,60,64 | 5.26～5.32GHz |
| | W56 | 100,104,108, 112,116,120, 124,128,132, 136,140 | 5.50～5.70GHz |

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。
  - 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機はIEEE802.11a/b/g/nの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
  - 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
  - 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の上には設置せず、本機前面の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。217
  - 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

# 使用上のお願い・つづき

## 無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
  その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

  **通信内容を盗み見られる**
  - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

  **不正に侵入される**
  - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

### 日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
  This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

### 取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 【瞬速起動】を設定している時間帯は電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

### 使用しないときは

- ふだん使用しないとき
  ディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 長期間使用しないとき
  電源プラグを抜いてください。

### 置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

## お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機の汚れは柔らかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本機表面を変質させます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた弱い中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ったあとに拭き取ります。中性洗剤を使って拭いたあとは、温水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本体に水が入らないように、十分注意してください。
- 本機には内部で発生した熱を外部へ逃がすために冷却用ファンおよび通風孔が設けられています。通風孔がほこりなどで塞がれてしまうと放熱が不足し故障の原因となりますので、本機背面および底面の通風孔にほこりが溜まらないように本機の設置場所およびその周辺を定期的に掃除してください。

## クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

## アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続したとき、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をお読みください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合は改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

## 地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。（ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。）
- 地上デジタル放送の特長

  ①デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送

  ②高音質放送（MPEG-2 AAC方式）

  ③ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明

  ④データ放送や双方向通信サービス

  （通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。また、インターネット回線を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。）

  ⑤移動体受信・部分受信サービス

  （本機では部分受信サービスは受信できません。）

## 放送、通信サービスについて

- 放送や通信サービス（インターネットを利用した映像配信サービス、その他の放送・通信サービスなど）は、予告なしに放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断されたり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本機またはリモコンのボタン操作で行ってください。手で押して閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。また、ディスクトレイ上から押したり、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

## 音量について

- 市販のBD-VideoディスクまたはDVD-Videoディスクの中には、音量がテレビ放送や音楽CDなどよりも小さく感じられる場合があります。このようなディスクの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

## たいせつな録画・録音・編集について

- たいせつな録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめておいてください。本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、とんだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限（録画禁止など）があるものがあります。このときは、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、著作権保護のため1回だけ録画可能（コピーワンス）番組などの録画はバックアップをとることはできません。

# 使用上のお願い・つづき

## 停電について

- 本機の録画中に停電があったとき、その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。
- USB-HDDへの予約録画中に停電があったとき、接続機器によっては停電復帰後の予約録画の続きはHDDへ録画する場合があります。

## 本機上面の電源ランプ(橙)が点灯したときは

- デジタル放送用の番組表の番組情報を取得中、またはダウンロード更新中です。
- 番組情報や番組データを取得中以外にも、情報整理をするために点灯することがあります。
- 番組情報や番組データを取得中は、冷却用ファンが回るなどで動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

## メディア再生時の制限事項

- 本書では、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販のBD-VideoディスクやDVD-Videoディスクなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の取扱説明書もお読みください。
- ボタン操作中にテレビ画面に【⃠】が表示されることがあります。【⃠】が表示されたときは、現在本機もしくはディスクがその操作を行えないことを示します。

## 録画／録音／ダビング時の制限事項

- 本機では、DVDや引っ越し・バックアップ用に使用するSeeQVault対応USB-HDD、またはスマホ持ち出し用に使用するSeeQVault対応SDカードには直接録画できません。
- 市販されているコピーが禁止されたBD-VideoディスクやDVD-Videoディスク、音楽用CDは本機でコピーできません。
- 録画・録音が制限されていないものは、個人使用の範囲内でだけ、コピーや編集ができます。1回だけ録画可能(コピーワンス)番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組※1は、HDD、通常録画用USB-HDD(外付け)またはBD-RE／BD-Rに録画できますが、DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)への録画はできません。(CPRM※2対応のDVD-RW(VR、AVCREC™)／DVD-R(VR、AVCREC™)はダビングできます。)BD-Video／DVD-Videoにはダビング(移動やコピー)できません。
- HDDに録画した1回だけ録画可能(コピーワンス)番組は、通常録画用USB-HDD(外付け)やBD-RE／BD-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW(VR、AVCREC™) ／DVD-R(VR、AVCREC™)、引っ越し・バックアップ用に使用するSeeQVault対応USB-HDD、またはスマホ持ち出し用に使用するSeeQVault対応SDカードへのダビングは、移動は可能ですがコピーはできません。
  HDDに録画したダビング10番組は、通常録画用USB-HDD(外付け)やBD-RE/-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW(VR、AVCREC™)／DVD-R(VR、AVCREC™)、引っ越し・バックアップ用に使用するSeeQVault対応USB-HDD、またはスマホ持ち出し用に使用するSeeQVault対応SDカードへのダビング(移動やコピー)は、回数に制限があります。
- SeeQVault対応USB-HDDを引っ越し・バックアップ用に使用し、ダビング10番組を引っ越し・バックアップまたはダビングした場合は、1回分のダビングとなり、番組はコピーワンスになります。
- SeeQVault対応SDカードをスマホ持ち出し用に使用し、スマホ持ち出し番組をダビングした場合は、スマホ持ち出し番組は移動となります。
- コピーワンス、ダビング10ともにダビングの際やその他の編集制限があります。
  ※1 ダビング10および条件について詳しくは、315をご覧ください。
  ※2 CPRMや各ディスクについて詳しくは、189、258をご覧ください。

## ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本機内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合は、ユーザー登録をしていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本機の【放送波による自動更新】を【自動更新する】に設定しておくと、放送電波(地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信できる環境と設定が必要です。)の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアを更新させることができます。
  (お買い上げ時は、【自動更新する】に設定されています。)
- ソフトウェアの更新や【自動更新する】について詳しくは、245をご覧ください。ソフトウェアの更新中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

## HDMI連動機能(レグザリンク機能)について

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作を保証するものではありません。

## インターネット機能について

- インターネットの利用には、FTTH(光ファイバー)、ADSL、ケーブルテレビなどのインターネット回線事業者および接続業者(プロバイダー)との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店または接続業者などにご相談ください。
- 本機でインターネットが使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。

## 結露(露付き)について

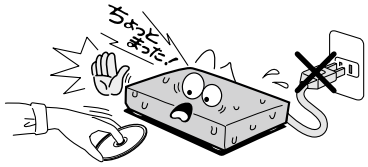
- "結露(露付き)"とは、例えば、よく冷えたビールをコップについだときのコップの表面につく水滴です。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。




- "結露(露付き)"は本機が下記の状態のときにおきやすくなります。
  - 寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
  - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
  - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
  - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき




- "結露(露付き)"がおきたとき、またはおきそうなときは本機のご使用を直ちにやめてください。または電源プラグをコンセントに挿入しないでください。
  "結露(露付き)"がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。




## 本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合は、各種「本機を初期化する」261を行い、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- miniB-CASカードの廃棄に関しては、付属のminiB-CASカードの台紙に記載の「B-CASカード使用許諾契約約款」に従ってください。

# 使用上のお願い・つづき

## 著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されている映画や番組は録画できません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audioおよびダブル D記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY AUDIO™

- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc.
© DTS, Inc. All Rights Reserved

dts 2.0+Digital Out

- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ)、Blu-ray 3D™(ブルーレイ3D)、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™および関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。

Blu-ray Disc™ Blu-ray 3D™ BD LIVE™ AVCREC™ BDXL™ BONUS VIEW™

- "DVD Logo" はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。

DVD VIDEO/RW/R

- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- Oracle と Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Java™ POWERED

- "AVCHD 3D/Progressive" および "AVCHD 3D/Progressive" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

AVCHD™ 3D / Progressive

- "x.v.Color" および "x.v.Color" ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

x.v.Color

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License およびVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格に準拠する動画を記録するとき
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC 規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生するとき
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生するとき

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
  © 1996-2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™

NetFront® Browser DTV Profile

この製品はVerance Corporation（ベランス･コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2017 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。
リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

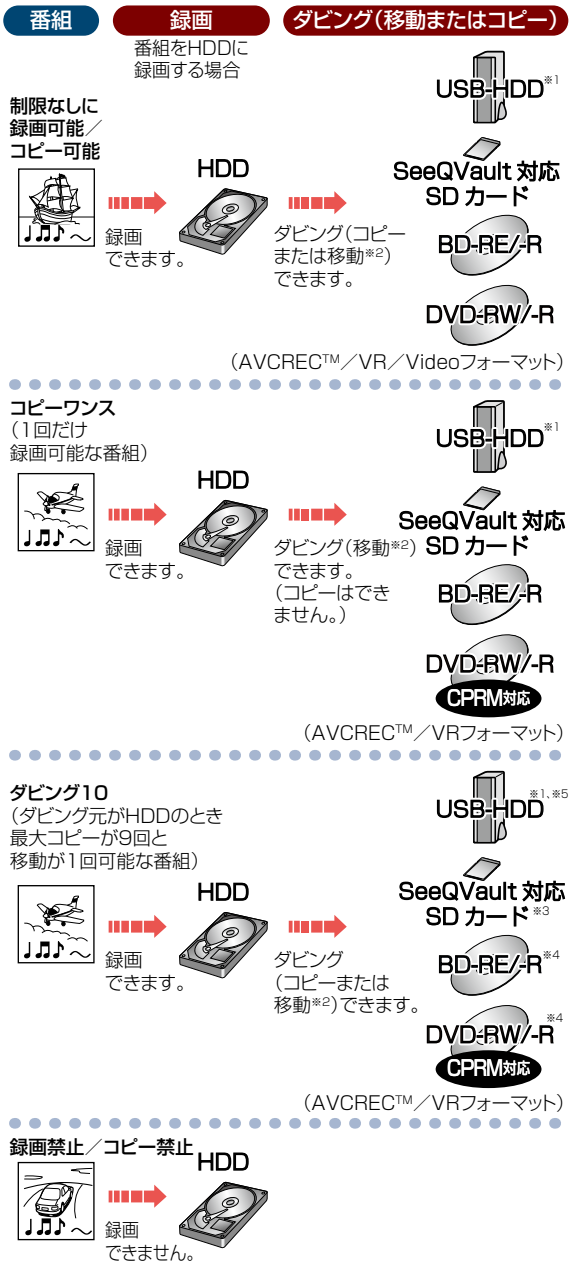
- SeeQVault text and logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.

SeeQVault™

- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

## デジタル放送の番組と録画制限について

デジタル放送には視聴が有料の番組となる場合があることに加え、録画やダビングを行う際にもご注意いただきたい制限事項などがあります。




- ダビングについて詳しくは、170 ～ 190 をご覧ください。

※1　上記説明内のUSB-HDDには、通常録画用USB-HDDとSeeQVault対応USB-HDDを含みます。

※2　移動したとき、ダビング元のHDDやメディアでは、その番組は再生できなくなります。

※3　SeeQVault対応SDカードをスマホ持ち出し用に使用し、ダビング10番組をダビングしたとき、番組はコピーワンスになります。

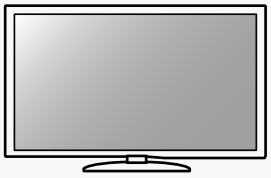
※4　ディスクにダビング10番組をダビングしたとき、番組はコピーワンスとなります。

※5　SeeQVault対応USB-HDDにダビング10番組をダビングしたとき、番組はコピーワンスとなります。

## アスペクト比(画面比)について

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比で、4：3放送とワイド(16：9)放送があります。
本機と接続するテレビに合わせて、設定(ふたの中)を押して、【本体設定】➡【映像設定】➡【TV画面選択】を設定してください。

250

| 接続するテレビ | 【TV画面選択】 | 画面の見えかた<br>(上：4：3放送の場合、下：ワイド放送の場合) | |
|---|---|---|---|
|  <br>16：9のテレビ | 【4:3レターボックス】 |  | 画面全体に表示します。 |
| | |  | 上下方向に黒い帯を表示します。 |
| | 【4:3パンスキャン】 |  | 画面全体に表示します。 |
| | |  | 左右を一部カットして表示します。 |
| | 【16:9ワイド】 |  | 画面全体に表示します。 |
| | |  | 正しく表示します。 |
| | 【16:9シュリンク】 |  | 4：3を維持して、縮小表示します。 |
| | |  | 正しく表示します。 |
|  <br>4：3のテレビ | 【4:3レターボックス】 |  | 正しく表示します。 |
| | |  | 上下方向に黒い帯を表示します。 |
| | 【4:3パンスキャン】 |  | 正しく表示します。 |
| | |  | 左右を一部カットして画面全体に表示します。 |
| | 【16:9ワイド】 |  | 正しく表示します。 |
| | |  | 16：9を4：3に縮小表示します。 |
| | 【16:9シュリンク】 |  | 縮小表示します。 |
| | |  | 16：9を4：3に縮小表示します。 |

- 16：9テレビに接続するときは、【16:9シュリンク】に設定することをおすすめします。
- 4：3テレビに接続するときは、【4:3レターボックス】に設定することをおすすめします。

お知らせ

- HDMI 端子から 720p／1080i／1080p／1080p24／4K2K で出力している場合は、【TV画面選択】の設定に関わらず、【16:9シュリンク】のみ有効になります。
- 再生できる画面形状があらかじめ決められている市販のBD-VideoディスクやDVD-Videoディスクなどの場合は、設定した画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 放送内容や再生する番組、外部入力の信号の種類などによっては、この表のとおりに映像が表示されない場合があります。

# 本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。
本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。
「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。
ホームページアドレス
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
また、本機のソフトウェアコンポーネントには、本機用に開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。
なお、「EULA」の適用を受けない本機用に作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。
ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合は、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合は、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます。(データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません。)当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

ソフトウェアコンポーネントの使用条件等の詳細につきましては、スタートメニューを押して、【設定】➡【本体設定】➡【その他】➡【ソフトウェア情報と更新】➡【ライセンス情報】に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。(東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。)

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。
なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。
本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文

| Program name | EULA |
|---|---|
| Linux | Exhibit A |
| busybox | Exhibit A |
| dhcpcd | Exhibit A |
| wpa_supplicant | Exhibit A |
| e2fsprogs | Exhibit A |
| ViXS AV driver | Exhibit A |
| libwebsockets | Exhibit A |
| libiconv | Exhibit A |
| util-linux | Exhibit A |
| mtd-utils | Exhibit A |
| mkdosfs | Exhibit A |
| exfat-utils | Exhibit A |
| DirectFB | Exhibit B |
| gmp | Exhibit B |
| eglibc | Exhibit B |
| xfsprogs | Exhibit B |
| libmbfl | Exhibit B |

| Program name | EULA |
|---|---|
| Oniguruma | Exhibit C |
| libevent | Exhibit C |
| dtoa | Exhibit C |
| picojson | Exhibit C |
| lighttpd | Exhibit C |
| jsSHA | Exhibit C |
| universalchardet | Exhibit D |
| expat | Exhibit E |
| libxml2 | Exhibit E |
| cURL | Exhibit E |
| JQuery | Exhibit E |
| JQuery-UI | Exhibit E |
| DataTables | Exhibit E |
| JQuery-timepicker | Exhibit E |
| Inline Form Validation Engine | Exhibit E |

| Program name | EULA |
|---|---|
| moment | Exhibit E |
| Remodal | Exhibit E |
| JQuery Alert Dialog Plugin | Exhibit E |
| JQuery MultiSelect UI Widget | Exhibit E |
| JQuery. customSelect() | Exhibit E |
| FreeType | Exhibit F |
| LibJPEG | Exhibit F |
| OpenSSL | Exhibit F |
| Vera Fonts | Exhibit F |
| SQLite | Exhibit F |
| zlib | Exhibit F |
| libcurl | Exhibit F |

| Program name | EULA |
|---|---|
| libpng | Exhibit F |
| boost | Exhibit F |
| dlmalloc | Exhibit F |
| php | Exhibit F |
| ChromePhp | Exhibit F |

- Reverse engineering, disassembling, decompiling, dismantling, or otherwise attempting to analyze or modify the software included in this product is prohibited.

# 商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください

## 保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

## 補修用性能部品について

- 当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用のときや特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは、製品に付属の保証書をご覧ください。

## 修理を依頼されるときは～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**保証期間中は**

**商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。**
**保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。**

| ご連絡していただきたい内容 | |
|---|---|
| 品　　名 | ブルーレイディスクレコーダー |
| 形　　名 | DBR-M3007またはDBR-M1007 |
| お買い上げ日 | 年　　月　　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご　住　所 | 付近の目印なども合わせてお知らせください。 |
| お　名　前 | |
| 電話番号 | |
| 便利メモ<br>お買い上げ店名 | ☎(　　)　　– |

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

**保証期間が過ぎているときは**

**商品を修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。**

**修理料金の仕組み**

| | |
|---|---|
| 技術料 | 故障した商品を正常に修復するための料金です。 |
| ＋ | |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |

- ■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ■ 修理の際、やむを得ずHDDのデータを初期化させていただく場合がございます。ご了承ください。
- ■ 新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については、本書の裏表紙をご覧ください。

# miniB-CASカードID番号記入欄

●下欄にminiB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

miniB-CASカード挿入口1（タイムシフト用）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

miniB-CASカード挿入口2（視聴、予約録画、タイムシフト用）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# 仕様

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 一般 | 電源 | AC 100 V 50／60 Hz | | |
| | 消費電力 | **DBR-M3007：** 43W（BSアンテナ電源・USB電源供給時 64W）<br>**DBR-M1007：** 42W（BSアンテナ電源・USB電源供給時 63W） | | |
| | 待機時消費電力※ | 瞬速起動：<br>設定した時間帯 | アンテナ出力設定：入<br>地上デジタルアッテネーター：切 | **DBR-M3007：** 約17.8W<br>**DBR-M1007：** 約17.0W |
| | | 待機設定：<br>通常待機 | アンテナ出力設定：入<br>地上デジタルアッテネーター：切 | **DBR-M3007：** 約8.3W<br>**DBR-M1007：** 約8.3W |
| | | 待機設定：<br>省エネ待機 | アンテナ出力設定：切<br>地上デジタルアッテネーター：入 | **DBR-M3007：** 約0.06W<br>**DBR-M1007：** 約0.06W |
| | 許容動作温度 | 5～40 ℃ | | |
| | 許容湿度 | 80%最大（結露なきこと） | | |
| | 外形寸法 | 430（幅）× 59（高さ）× 219（奥行）mm（突起部を含む）<br>430（幅）× 59（高さ）× 209（奥行）mm（突起部を含まず） | | |
| | 質量 | **DBR-M3007：** 3.0kg<br>**DBR-M1007：** 2.8kg | | |
| | リモコン | SE-R0468 | | |
| HDD／ブルーレイディスク部 | 録画方式（ブルーレイディスク） | Blu-ray Disc™ Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc™ Recordable Format準拠 | | |
| | 録画方式（DVD） | DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠、AVCREC™規格準拠 | | |
| | HDD容量 | **DBR-M3007：** 3TB（3,000GB）<br>**DBR-M1007：** 1TB（1,000GB） | | |
| | 録画圧縮方式 | MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264 | | |
| | 録音圧縮方式 | ドルビーデジタル、MPEG-2 AAC | | |
| | 録画可能ディスク | 「本機で使えるメディアについて」258をご覧ください。 | | |
| | 録画時間 | 「記録時間一覧表」286をご覧ください。 | | |
| | タイムシフトマシン録画時間（HDD） | 「タイムシフトマシン録画の視聴可能日数一覧表」73をご覧ください。 | | |
| | 再生可能ディスク | 「本機で使えるメディアについて」258をご覧ください。 | | |
| | リージョンコード | ブルーレイディスク：Region A　　DVD：Region 2、ALL | | |
| チューナー部 | 受信チャンネル | 地上デジタル　　：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63）<br>BSデジタル　　：BS000～BS999チャンネル<br>110度CSデジタル：CS000～CS999チャンネル | | |
| 端子部 | 映像入力 | ピンジャック　1.0 V（p-p）　75 Ω | | |
| | 音声入力 | ピンジャック　2 V（rms）　47 kΩ不平衡 | | |
| | HDMI出力 | HDMI端子　19 ピン　Type A | | |
| | SDカードスロット | SDカード、SDHCカード、SDXCカード、SeeQVault対応SDHCカード、SeeQVault対応SDXCカード対応（miniSDカード、microSDカードは、専用のアダプター装着で使用可能） | | |
| | USB（前面、背面） | USB（前面：メモリ専用）　USB2.0準拠　Type A　DC5 V　最大 500 mA<br>USB（背面：タイムシフト録画）　USB2.0準拠　Type A　DC5 V　最大 900 mA<br>USB（背面：通常録画／タイムシフト録画）　USB3.0準拠　Type A　DC5 V　最大 900 mA | | |
| | LAN（10／100） | 10 BASE-T／100 BASE-TX | | |
| | 地上デジタル入出力 | 75 Ω　F型コネクター | | |
| | BS・110度CS入出力 | 75 Ω　F型コネクター（最大DC15V、4W） | | |

| | | |
|---|---|---|
| 無線LAN | 規格 | IEEE 802.11 a/b/g/n<br>ARIB STD-T71（5GHz 帯）　J52 は非対応<br>ARIB STD-T66（2.4GHz 帯） |
| | 伝送方式 | IEEE 802.11b: DSSS（DBPSK、DQPSK、CCK）<br>IEEE 802.11a/g: OFDM（BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM）<br>IEEE 802.11n: OFDM（BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM） |
| | 周波数範囲 | 2.412 ～ 2.472GHz（Subject to Local Regulations）<br>5.180 ～ 5.700GHz（Subject to Local Regulations） |
| | 動作モード | インフラストラクチャーモード（アドホックモードは対応しておりません。） |
| | セキュリティ | WEP 64bit／128bit、WPA、WPA2 |

※ 待機時消費電力は、以下の設定で測定しております。設定を変更すると消費電力が大きくなります。
ネットワーク連携設定：利用しない／BSアンテナ電源：供給しない（共聴）／タイムシフトマシン機能：利用しない

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- HDD、BD-RE／BD-Rの容量は、「1TB=1,000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画するときの基準について
  地上デジタル（HD放送）：17Mbps・BSデジタル（HD放送）：24Mbps・BSデジタル（SD放送）：12Mbps
- **国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。**
  **(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this product in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)**

## 最大記録可能数／登録数／文字数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容等により、下記の数値より少なくなることがあります。

| 項目＼メディア | HDD　通常録画用USB-HDD | SeeQVault対応USB-HDD　SeeQVault対応SDカード　SeeQVault対応SDカード（USB接続） | BD | AVCフォーマット | VRフォーマット | Videoフォーマット |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 番組数 | 2,000 | 2,000 | 200 | 200 | 99 | 36 |
| チャプター数（1つの番組内） | 999 | 99 | 100 | 100 | 上限なし※1 | 99 |
| 作成できるフォルダ数 | 99 | 99 | （フォルダ作成できません。） | | | |
| チャプター数（メディア内） | 上限なし | 上限なし | 999 | 999 | 999 | 上限なし |
| メディア名の文字数 | 全角40文字※2 | 全角40文字 | 全角40文字 | 全角40文字 | 全角32文字 | 全角40文字 |
| 番組名の文字数 | 全角40文字 | 全角40文字 | 全角40文字 | 全角40文字 | 全角32文字 | 全角28文字 |

※1　ディスク内の最大チャプター数（999）まで、制限はありません。
※2　HDDのメディア名は変更できません。

- 録画予約数　200
- 保存予約数　100 83
- ダビングリストの番組登録数　36
- 1番組あたりの連続録画可能時間　15時間（HDD、通常録画用USB-HDD）／8時間未満（ブルーレイディスク）

お知らせ
- 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

# 総合さくいん・用語解説

## 数字・アルファベット順

**4K2K** 251

横4,000×縦2,000前後の高解像度の映像フォーマットのことです。単に「4K」、あるいは「4K解像度」と呼ばれることもあります。フルHD（1,920×1,080）の約4倍の解像度で、小さな文字もつぶれずに表示することができます。

**AAC**（エーエーシー）

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

**AACS**（エーエーシーエス）

Advanced Access Content Systemの略で、Blu-ray Disc™で採用されている著作権保護技術です。

**AF、AN、AS、AL、AE**（録画モード） 100

放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質の録画モードになります。

**APOP** 238

電子メールの受信に用いる通信規約であるPOP3において、パスワードの送信を暗号化して安全性を高める方式のことです。

**AVC**（録画モード） 100

Advanced Video Codecの略で、DVDなどにハイビジョン映像を録画するための規格です。

**AVCHD**（エーブイシーエイチディー）**方式**

ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに記録できるように開発された規格です。

**BD-HD音声設定** 250

Blu-ray Disc-High Definitionの略で、ブルーレイディスクの音声規格のことです。

**BD-J**

BD-VideoにはJavaアプリケーションを含むものがあり、これをBD-Jと呼びます。通常のビデオ操作に加えていろいろな双方向の機能を楽しむことができます。

**BD-Live™**

BD-Live™は、BD-Video（BD-ROM Profile 2.0）の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

**BD-Video**

BD-Videoとは、Blu-ray Disc™における映像記録用の標準的な規格のことです。市販されている映画などの記録に用いられています。

**BDAV**（ビーディーエーブイ）**方式**

デジタル放送の番組などを記録したブルーレイディスクの規格です。BD-R、BD-REにデジタル放送の番組を録画したり、ダビングすることができます。

**BS・110度CSアンテナ** 54

BS放送、110度CS放送を視聴するために必要なアンテナのことです。周囲に大きなビルなどの障害物があると受信できないことがあります。

**CD**（シーディー） 260

Compact Discの略で、デジタル化された音楽、画像、文字情報などを大容量で記録できる電子媒体／光ディスクのことです。

**CPRM**（シーピーアールエム） 189

Content Protection for Recordable Mediaの略で、1回だけ録画可能（コピーワンス）番組に対する著作権保護技術です。

**Deep Color**（ディープカラー）

従来の8ビットの色数を超える色調表現が可能な技術で、色じまのない、より自然に近い色を再現できます。

**DHCP機能** 43

Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する際に、機器にIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てる仕組みのことです。

**DLNA**（ディーエルエヌエー）

家電・モバイル・パソコンなどにおいて、機器やメーカーを問わず、ネットワーク経由での相互接続を容易にするためのガイドラインのことです。

DLNA対応機器同士をネットワーク接続すると、他機に保存してある動画などのデータがもう一方の機器から操作できます。

**DNS** 43

Domain Name Systemの略で、インターネットで通信を行うコンピュータにアクセスしやすくするため、ネットワークやコンピュータにドメインネーム（ドメイン名）と呼ばれる名前を付けて管理するシステムです。

**Dolby D**（ドルビーダイナミック）**レンジ**

Dolby Audio – Dolby Digitalで記録された番組の音声レベルの最小値と最大値の差のことで、夜間などに音量を下げて小さい音にしたときでも聞きやすい音質に調整して再生することができます。

**Dolby Digital**（ドルビーデジタル）

ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。

この技術をPCM記録の代わりに用いることで、記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度（ビットレート）の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

**Dolby Audio – Dolby Digital Plus**
（ドルビーオーディオ – ドルビーデジタルプラス）
**Dolby Audio – Dolby TrueHD**
（ドルビーオーディオ – ドルビートゥルーエイチディー）

Dolby Audio – Dolby Digital Plusは、Dolby Audio – Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。

Dolby Audio – Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。

両方式とも、ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

**DR**（録画モード） 100

放送そのままの画質になります。デジタル放送をそのままの画質で録画したいときにおすすめです。

**DTS®**（ディーティーエス）

DTS社が開発したデジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

**DTS-HD®**（ディーティーエス エイチディー）

DTS®をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTS®として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまでの音声出力に対応しています。

**DVD持ち出し(VR)番組** 179

VRフォーマットのDVDディスクに高速ダビングできる番組です。

予約録画の際に、VRフォーマットのDVD持ち出し番組を作成する事ができます。

**EP**（録画モード） 100

標準画質の長時間モードになります。

容量を節約して録画したいときにおすすめです。

**EPG**（イーピージー）

Electronic Program Guideの略で、番組表のことをいいます。

**GB**（ギガバイト）

HDD、USB-HDD、ブルーレイディスクやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。

**HDD**（ハードディスクドライブ）

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。

本機は、このHDDを内蔵しています。(お客様ご自身でHDDを交換できません。)


**HDDについて** 282
**残量時間表示** 59
**記録内容の全消去** 267


**HD放送**（ハイビジョン画質） 329

高精細度テレビジョン放送のことで、走査線数(画面を構成する絵素の輝度または色の数)を増やし、かつワイドアスペクト比(16：9)を採用することにより、鮮明な映像を実現したテレビジョン放送です。

**HDMI**（エイチディーエムアイ）

High Definition Multimedia Interfaceの略で、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。

映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送できます。


**HDMI接続設定** 251
**レグザリンク・コントローラ** 251


**HDMI CEC**（エイチディーエムアイシーイーシー）

HDMI CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

**IPアドレス**

ネットワーク上の機器を識別するために指定する番号のことです。

**JPEG**（ジェイペグ）

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。

ファイル容量を小さくでき、画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。


**形式(本機で再生できるJPEG)** 284
**写真の再生(スライドショー)** 147


**L1**（外部入力） 98

LはLineの略で、外部入力のことです。また、1は外部入力の端子が本機に1系統あることを指しています。

**LPCM**（エルピーシーエム） 250

LPCMはLinear Pulse Code Modulationの略で、信号を一定時間ごとに数値化(サンプリング)して記録するPCM方式の一種で、アナログ信号をそのまま圧縮せずにデジタル音声に変換された音声信号のことです。

リニアPCM(ピーシーエム)とも呼ばれます。

**LAN**（ラン） 43

ローカルエリアネットワークのことで、ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるネットワーク機器同士を接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

**LP**（録画モード） 100

標準画質の長時間モードでSPの約2倍の録画が可能です。

**miniB-CASカード** 34

デジタル放送用のICカードで、デジタル放送の有料放送の視聴や各種サービスを利用するための必要な情報が書き込まれます。


**有料放送の契約** 28


**MPEG**（エムペグ)、**MPEG-2**（エムペグツー)、**MPEG-4 AVC/H.264**（エムペグフォー エーブイシー エイチ）

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。

MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。

MPEG-4 AVC/H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

**NTSC**（エヌティーエスシー）

日本やアメリカなどで採用されているテレビ方式です。ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAM方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきたDVD-Videoは視聴できないことがあります。

**POP3** 238

Post Office Protocol Version3の略で、電子メールの受信に用いる通信規約のひとつです。




次ページへつづく

# 総合さくいん・用語解説・つづき

**PINコード**（ピンコード） 146

Personal Identification Numberの略で、個人の識別や認証に用いられる番号のことです。

**RMP**（アールエムピー） 4

Rights Management and Protectionの略で、地上放送RMP管理センターが運用・管理するコンテンツ権利保護方式のことです。デジタル著作権管理（DRM）の一種で、コンテンツの無制限な利用を防ぐための技術といわれています。

**SDカード**

SDメモリーカード（SD Memory Card）はフラッシュメモリーの一種で、本機では、SeeQVault対応SDカードをSDカードスロットへ挿入したり、SeeQVault対応SDカードリーダーまたは専用のTransferJet™転送対応機を本機前面のUSB端子に接続する事により、スマホ持ち出し番組を転送することができます。

- **SeeQVault対応SDカード** 200
- **接続・設定** 224
- **TransferJet™転送対応機（専用）との接続** 226
- **名前の変更** 264
- **USB接続について** 284

**SeeQVault**（シーキューボルト） 219

SeeQVault対応機器、またはSeeQVault対応メディアに記録したHDコンテンツを、別のSeeQVault対応機器で再生することができる新コンテンツ保護技術です。

**SKP**（録画モード） 100

スカパー！プレミアムサービスの録画モードのひとつです。

**SMTP**（エスエムティピー） 238

Simple Mail Transfer Protocolの略で、電子メールの送信に用いる通信規約のひとつです。

**SP**（録画モード） 100

標準画質の録画モードのことです。

**SSID**（エスエスアイディー） 45

Service Set IDentifierの略で、無線LANルーターと接続するためのアクセスポイントを識別するためのIDのことです。

**TransferJet™**（トランスファージェット）

近距離無線転送技術のことです。対応機器同士を直接かざすことでデータ転送を行います。

本機はこの技術に対応した専用のTransferJet™転送対応機を接続することで、持ち出し転送を実現しています。

**TV画面選択** 250

本機の映像をお持ちのテレビに表示させる際の画角、画面の縦横比（画面サイズ）を変更します。

**USB**（ユーエスビー）

Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、デジタルビデオカメラ／デジタルカメラなどを接続して、写真（JPEG）の再生やハイビジョン画質（AVCHD方式）動画のHDDへの取り込み（ダビング）ができます。

**USB-HDD**
（ユーエスビーハードディスクドライブ）

USB端子付きの外付けHDDです。USBケーブルを使って本機背面のUSB端子につなぐことができます。

- **USB-HDDについて** 282
- **USB-HDDの登録** 221
- **名前を変更** 264
- **記録内容の全消去** 267

**USB機器**

主に本機前面のメモリ専用USB端子に接続されたUSBメモリを指しますが、USB端子（USBケーブル）を介した、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、SDカードリーダーに挿入されたSDカードも含まれます。

メモリ専用USB端子では、お持ちの機器に保存されているAVCHDファイルの取り込み（ダビング）や、JPEGファイルの再生も可能です。

- **USB機器について** 284

**USBハブ** 220

USB機器を複数接続するためのハブのことでUSBハブをつかうとUSBポートを増やすことができます。

**セルフパワー型**

USBハブ自身がACコンセントを通して電源の供給を受けているものです。

**バスパワー型**

接続機器から電源供給を受けて動作するUSBハブのことです。

**VBR**（ブイビーアール）（可変ビットレート方式）

Variable Bit Rateの略で、映像の動きの多い／少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。

**VRフォーマット** 262

DVDに記録する際の記録方式のひとつで、デジタル放送を標準画質で記録するのに適しています。

**XDE**（エックスディイー） 97

eXtended Detail Enhancementの略で、映像をアップコンバートする際に精細感の高い画質に補正します。

**XP**（録画モード） 100

標準画質の高画質録画モードです。

## あ

**頭出し**

番組や音楽CDの再生中に、前または次のチャプターやトラックへとばす操作のことです。

- **サーチ** 141
- **スキップ** 141
- **ワンタッチスキップ** 141
- **ワンタッチリプレイ** 141

**アスペクト（比）** 252

アスペクト比とは、映像を構成する画面（映像）サイズの幅と高さの比のことです。

**アッテネーター** 53

信号を弱くする装置（減衰器）のことです。設定を【入】にすると強すぎる信号レベルが適正なレベルになり、信号品質が良くなるときがあります。

**アフターサービス** 318

製品販売後に、故障や修理、製品を維持するための補修用部品などに一定期間対応する保守サービスのことです。

**アングル**（カメラアングル：映像）

- **アングルアイコン** 252
- **再生中の切り換え** 145

**アンテナレベル** 53

地上／BS／110度CSデジタル放送の放送電波の受信強度をあらわしたもので、一定レベル以上の電波が受信できれば視聴が可能になります。

**1回だけ録画可能（コピーワンス）番組** 189

地上／BS／110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、HDDまたはCPRM 対応のBDいずれか一方に一度だけ録画することが許可されている番組のことを、1回だけ録画可能（コピーワンス）番組といいます。

1回だけ録画可能（コピーワンス）番組の録画は、ダビングすることはできません。（HDDまたはBD-REに録画した1回だけ録画可能（コピーワンス）番組は、ダビング先に移動（ムーブ）させることはできますが、ダビング元（オリジナル）の番組は消去されます。）

**イベントリレー** 128

野球放送など（イベント）録画中に放送時間が延長されたときに、引き続き（リレー）録画できる機能のことです。

**インターフェース**

二つのものが接続・接触する箇所や、両者の間で情報や信号などをやりとりするための手順や規約を定めたものを意味します。

**インターレース**（飛び越し走査）（480i）

テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、1つの画像（有効走査線数480本）を1本とばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒（30コマ／秒）で映します。

**お知らせメール**

本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード（掲示板）のことです。

- **放送メール1／放送メール2** 248

  放送メール1と放送メール2はそれぞれ受信されるメールが異なります。放送メール1は、miniB-CASカード挿入口2（視聴・予約録画・タイムシフト用）のB-CASカードについての放送局からのメールまたは、本機からのお知らせメールを受信します。放送メール2は、miniB-CASカード挿入口1（タイムシフト用）のB-CASカードについての放送局からのメールを受信します。放送局からのメールは、取得後14日を過ぎると自動的に古いものから削除されます。また、本機からのお知らせメールは、39通を超えた時点で自動的に古いものから削除されます。

- **CS1ボード／CS2ボード** 248

  110度CSデジタル放送局の情報や案内を最大24件まで表示できます。保存期間は放送局側で管理されています。

**おまかせプレイ機能** 134

本編のチャプターを本機が自動で選択し、「らく見再生」ができる機能です。

**音楽用CD** 283

一般に市販されている音楽用CDのことです。個人的に楽しむために、ダビングする場合の著作権料を含んだ料金で販売されているものです。音楽用CDのダビング（複製）は、著作権法上、個人で視聴を楽しむ目的以外に無断で複製することは禁じられており、無料で配布したり、営利目的で使用したりすると法律で処罰されます。

**音声・音声言語**

番組の視聴や再生、録画するときの音声や音声言語を設定できます。

- **音声言語設定** 251
- **再生中の切り換え** 144
- **視聴中の切り換え** 96
- **録画** 280

## か

**外部入力**

本機につないだビデオデッキやビデオカメラの映像を見たり、CATV（ケーブルテレビ）やスカパー！SD（標準画質）の映像を見たり、録画したりできます。

- **外部入力音声** 252
- **外部入力の切り換え** 98

**画質レート** 100

ビットレートともいいます。数値が高いほど高画質になります。

**画面表示** 59

視聴中や再生中の番組情報や、再生中や録画中などの本機が動作している状態が表示されます。



次ページへつづく

# 総合さくいん・用語解説・つづき

**簡単シーン検索** 136
任意で表示されたキーワードで録画番組内を検索して、そのキーワードが登場するシーンへの頭出しをすることができます。

**結露／露付き** 313
本機を温度差や湿度差の激しい場所に置いたり移動したりすると、本機内部のピックアップレンズや部品、部品の内部などに水滴がつくことがある現象を指します。

**言語コード一覧** 255
音声言語設定で【その他の言語】を選んだときに必要な、4けたのコード一覧です。

**コピーガード、コピー制御信号**
複製防止機能のことです。著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されている映画や番組は録画できません。

**コピーワンス**
著作権保護のため、デジタル放送の録画を1回限りに制御する方式のことです。録画したコピーワンス番組を他のメディアにダビングするとダビング先のメディアに記録後、ダビング元のメディアからは消去されます。

## さ

**再生**
お持ちのテレビで、本機に録画した番組や市販のBD／DVDのコンテンツ、デジタルビデオカメラから取り込んだ(ダビングした)AVCHDファイル(動画)などを視聴することです。また、本機では音楽用CDの音声を楽しんだり、JPEGファイルの画像を閲覧したりすることもできます。

- **一時停止** 140
- **追っかけ再生** 143
- **おまかせプレイ** 134
- **コマ戻し／コマ送り** 140
- **再生開始位置**(レジューム機能) 131
- **時短で見る**(らく早見／飛ばし見) 89
- **市販のディスクの再生** 137
- **写真**(JPEG) 147
- **スロー／逆スロー** 140
- **ハイビジョン画質の動画**(AVCHD) 138
- **早見早聞／ゆっくり再生** 140
- **早戻し／早送り** 140
- **リピート** 142
- **録画した番組の再生** 130
- **録画リスト画面** 133

**再生コース**
通常再生のほか、お好みの3つのコースで再生時間を短くすることにより、録画した番組を効率よく見ることができます。

**通常再生**
録画したそのままの時間で番組を再生します。

**らく見**
通常再生に比べて、再生時間が短くなります。

**らく早見**
早見／早聞(約1.3倍速)でらく見再生します。

**飛ばし見**
らく見再生をしながら1/20スキップを繰り返し行います。

**最大記録可能数／登録数／文字数** 321
録画できる番組やチャプターの記録、作成可能なフォルダの最大数および番組名やメディア名に制限される文字列数などの数値を指します。

**サブネットマスク** 43
IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値のことで、同じLAN(同じネットワーク)にいる相手なのかどうかを判断するために利用されます。

**サムネイル** 79
元画像を縮小した見本イメージを確認するために利用されます。

**時短機能**
録画／再生／ダビングを、簡単かつ効率よく行うための機能の総称です。

- **録る**
  - **お好みを追加／設定** 88
  - **初回設定** 86
- **残す** 92
- **見る**
  - **再生する** 90
  - **再生コース切換** 91
  - **視聴制限一時解除** 91
  - **条件を変更** 90
  - **並び順を変更** 90

**視聴**
現在放送されている番組の視聴や、録画した番組の再生および外部入力からの映像を見ることです。

- **外部入力** 98
- **チャンネルで選局** 94
- **番組表から選局** 94
- **本機で受信できる放送** 281

**視聴制限**(パレンタルレベル)
デジタル放送やディスク側で設定された視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように再生できます。

- **BD視聴制限レベル** 252
- **DVD視聴制限レベル** 252
- **デジタル放送の視聴制限** 56

**字幕放送**
デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示できる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する【文字スーパー】という機能もあります。
- **再生中の切り換え** 144
- **視聴中の切り換え** 96
- **字幕言語設定** 251
- **録画** 280

**瞬速起動** 254
電源「入」時から本機が使用できるまでの時間を短縮します。設定している時間帯に電源プラグをコンセントから抜く場合は、必ず設定を解除して、本機の電源を切ってから抜いてください。

**初期化**（フォーマット）
録画用ディスクを本機で記録できるように処理したり、録画方式を変更したりするときに行います。初期化（フォーマット）を行うと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。
- **BDビデオデータ消去** 261
- **USBメモリ** 261
- **すべての初期化** 261
- **宅外配信** 261
- **ディスクのフォーマット** 262
- **ネットワーク** 261
- **本体設定** 261

**診断モード** 242
本機の主な動作やチャンネル状況を診断したり、ディスク、USB-HDD、SDカードの情報を表示したりする機能です。

**スカパー！ SD（標準画質）の録画** 125
スカパー！の標準テレビジョン放送を外部入力で録画することです。標準テレビジョン放送の画素数は720×480、アスペクト比は16：9／4：3となります。

**スタートメニュー**
本機の主たる機能を一覧で表示させるメニュー画面のことです。表示中にサブメニューを押すと、「簡単モード」と「通常モード」の切り換えができます。
- **簡単モード** 62
- **スタートメニュー** 61

**スチルモード**（静止画） 250
録画番組などの再生中、一時停止したときに画像のブレを軽減させる機能のことです。

**スマホ持ち出し番組**
端末機器のアプリケーションで視聴したり、持ち出したりできるように、スマホ持ち出し用に録画したり、録画した番組を変換した番組のことです。
- **SeeQVault対応SDカードに自動転送** 200
- **SeeQVault対応SDカードに手動転送** 201
- **スマホ持ち出し番組の録画** 205
- **スマホ持ち出し番組への変換** 204
- **端末機器にダウンロード** 203

**スライドショー** 147
選択した一連の画像（写真）を順次表示する動作のことです。

**セカンダリ音声** 144
音声に複数の言語が記録されているBD-Videoの再生中に、音声を切り換えることができます。ピクチャー・イン・ピクチャー対応のBD-Videoでは、インタラクティブ音声やコメンタリー音声などのサブトラック音声を設定することができます。

**セカンダリビデオ** 145
ピクチャー・インピクチャー対応のBD-Videoの再生中に、子画面の設定や切り換えができます。

**接続**
本機とお持ちの機器をつなげることを指します。
- **HDMIケーブル** 34
- **SeeQVault対応SDカード** 200
- **TransferJet™転送対応機（専用）との接続** 226
- **USB-HDD** 219
- **USB機器** 58
- **アンテナ線** 34
- **映像・音声接続コード** 57
- **オーディオ機器** 227
- **ケーブルテレビ** 36
- **タイムシフトマシン録画用USB-HDD** 216
- **電源プラグ** 35

**双方向サービス、通信**
視聴者が自宅にいながら、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するためにはネットワークの接続と設定が必要です。

**ソフトウェア** 312
コンピュータを動作させる命令や処理手順のことです。

## た

**待機設定**（電源「切」時の消費電力設定） 254
電源「切」時に、消費電力を抑えるかどうかを設定します。

**タイムシフトマシン機能**
設定した曜日や時間帯の番組を自動的に録画し、お好きな時間に視聴が可能です。また、同一ホームネットワーク上に接続されたタイムシフトマシン対応レグザもしくはレグザサーバーで、タイムシフトマシン録画した番組を本機のタイムシフトマシン過去番組表と同時に表示し、再生することができます。
- **視聴可能日数** 73
- **タイムシフトマシン過去番組表** 75
- **タイムシフトマシン設定** 66
- **タイムシフトマシン連携設定** 70
- **タイムシフトマシン録画** 65

**ダウンロード** 245
現在のソフトウェアのバージョンの確認や、ソフトウェアをダウンロードして、自動的に最新のソフトウェアに更新します。
- **バージョンを確認** 245
- **デジタル放送電波で更新** 245
- **サーバーで更新** 246



次ページへつづく

# 総合さくいん・用語解説・つづき

**宅外配信**

スマートフォンやタブレットの宅外配信対応アプリを用いて、本機で録画した番組や放送中の番組を外出先でも視聴できる機能のことです。インターネットを経由して自宅の宅外配信対応機器で録画しておいた番組を外出先でも視聴できます。

**宅内配信**

本機と同一ホームネットワークに接続してある端末機器への配信のことです。

**ダビング**

HDD／USB-HDD／ディスクやSDカードなどに録画した番組を複製または移動することです。また、SeeQVault対応SDカードに録画した番組を本機に取り込むこともできます。


**移動** 188
**かんたんダビング／おまかせダビング** 92、172
**高速ダビング** 188
**コピー** 188
**ダビング制限** 181
**ダビングの種類** 170
**ダビング方向** 170
**等速ダビング** 188
**複数番組のダビング** 174


**ダビング10（コピー9回＋移動1回）番組** 189

地上／BS／110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、HDDまたはCPRM 対応のBDいずれか一方に9回までダビングすることが許可されている番組のことを、ダビング10（コピー9回＋移動1回）番組といいます。

ダビング10（コピー9回＋移動1回）番組の録画は、9回目までダビングすることができますが、10回目はダビング先に移動（ムーブ）され、ダビング元（オリジナル）の番組は消去されます。

**チャプター**

録画された映像に付与された区切りを「チャプター」といいます。本（小説など）でいう「章」にあたります。


**結合** 155
**削除** 156
**チャプター自動生成** 252
**チャプターとは** 285
**チャプターリピート** 142
**分割** 155
**マジックチャプター** 252


**チューナー** 26

放送電波を受信する装置のことです。

本機には地上デジタル用と衛星放送用の2種類が搭載されています。

**通常配信**

DLNA対応機器間で、配信先に対して元の番組の解像度のまま配信することです。

**ディスク**

大容量で記録できる円盤状の電子媒体／光ディスクのことで、Blu-ray／DVD／CD-ROMなどがあります。お好みの番組を長期間保存したいときなどはBlu-rayへの録画（またはダビング）をおすすめします。


**残量時間表示** 59
**ディスク情報** 139
**ディスクメニュー** 137
**名前の変更** 264
**ファイナライズ** 266
**保護・保護の解除** 265


**データ放送** 281

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様がお住まいの地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。
また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。

その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどがあります。

**デバイスネーム** 208

ネット上で接続している機器の名前のことです。

**デジタルハイビジョン**

デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。

有効走査線数1080本です。

**デフォルトゲートウェイ** 43

LANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行うときに、出入り口の役割を果たすためのネットワーク設定のことです。

**テレビ画面保護** 254

テレビ画面の焼き付きを保護する機能のことです。画面の表示中に操作をしない状態が約15分続いた場合は、自動的にテレビ放送画面に戻ります。トラックリストや写真リスト画面の表示中の無操作時はスクリーンセーバーが起動します。

**同軸ケーブル** 26

電気信号を転送するための電線の一種です。テレビのアンテナ用ケーブルによく用いられます。

**独立データ放送** 95

番組の内容と関係なく、ニュースや天気予報、株価といった情報を視聴することができる放送サービスのことです。

**トラック** 285

音楽用CDの曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

## な

**ネットdeダビングHD** 193

本機と同一ホームネットワークに接続した東芝レグザサーバー(またはレコーダー)に、ハイビジョン映像の画質を劣化させずにダビングできます。

**ネットdeナビ** 207

パソコンやスマートフォン・タブレットで、録画予約一覧から新規予約や予約の確認ができます。録画リストからは、番組情報が見られるほか、本機で再生したり、タイムシフトマシン録画番組を本機に保存したりできます。フォルダ設定では、フォルダの作成、解体、変更ができます。また、ブロードバンド常時接続の環境であれば外出先から、スマートフォン・タブレットのアプリケーションや、eメールで録画予約ができます。

**ネットdeレック** 124

同一ネットワークに接続されたスカパー! HD録画やCATVにハイビジョン画質で録画したり、ダビングしたりできます。

**ネットワーク連携設定** 236

ネットdeナビやレグザリンク・ダビング、番組の配信など、ネットワークを使った連携機能が利用できます。

**ノイズリダクション** 145

映像信号に含まれるノイズを軽減・抑制し、より見やすい映像に最適化する内部処理のことです。

## は

**バーチャル・パッケージ** 146

一部のBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。

データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

**ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送**

HDはHigh Definitionの略で、ハイビジョン画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。

SD放送(Standard Definition)と呼ばれる標準画質よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

**はじめての設定** 37

【スタートメニュー】➡【はじめての設定】で、以下の設定をやり直すことができます。

おまかせプレイ／地上デジタル放送のチャンネル／BS・CSデジタル放送受信／テレビリモコン設定／タイムシフトマシン設定／ネットワーク設定／レグザリンク設定／待機設定

**バックアップ設定**

バックアップを設定すると、番組を録画終了後の電源「切」時にその番組をSeeQVault対応USB-HDDに自動的にバックアップします。

**番組／チャプター**

HDDやブルーレイディスク／DVDの大きな区切りを「番組」、番組の中の小さな区切りを「チャプター」といいます。

- **削除** 150
- **番組一覧** 133
- **番組とチャプターについて** 285
- **番組名の変更** 161
- **保護** 161

**番組表**

放送を予定している番組を、各放送局と放送時間に分けて表形式でまとめている一覧です。個々の番組を選ぶと、詳細情報を見たり、録画予約したりすることができます。

- **受信** 103
- **日時指定予約** 121
- **番組の詳細内容** 94

**パンスキャン**

標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

**ピクチャー・イン・ピクチャー**(子画面) 145

対応しているBD-Videoの再生中に、子画面で本編とは異なるコンテンツを表示させることができます。

**引っ越し・バックアップ** 199

SeeQVault対応USB-HDDに、HDDから全番組の引っ越し・バックアップが可能です。引っ越し・バックアップした番組は、本機能に対応した東芝の他の機器でも再生やダビングができます。

**ビットストリーム**

圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

**ビットレート**

映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

**標準画質、SD(エスディー)放送**

SDはStandard Definitionの略で、標準画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は480本です。

**ファイナライズ**

本機で録画したBD-R／DVD-RW／DVD-Rを、他のブルーレイディスクレコーダーやプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

**フィルタリング** 239

フィルタリングは選別という意味で、本機ではメールの仕分のことをいいます。

**フォルダ** 162

録画した番組を分類・整理するための保管場所のことです。

- **フォルダの切り換え**(フォルダジャンプ) 136

**付属品** 4

リモコンや取扱説明書(本書)など、本体に同梱している各種部品のことです。



次ページへつづく

# 総合さくいん・用語解説・つづき


**プレイリスト**

録画した番組や、チャプターのお好みの場面だけをリストにしてまとめる機能のことです。

- **おまかせプレイリスト作成** 159
- **奇数チャプタープレイリスト作成** 159
- **偶数チャプタープレイリスト作成** 159
- **手動選択プレイリスト作成** 160

**ブロードバンド** 43

高速通信ができるインターネット接続サービスのことをいいます。

**プロキシ** 44

プロキシとは「代理」という意味があり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定する必要があります。

**プログレッシブ**（順次走査）(480p)

テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線数480本)を一度に表示し、1/60秒(60コマ／秒)で映します。

インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

**分波器** 33

アンテナ線からの信号を地上デジタルとBS・110 度CSデジタル信号に分ける機器のことです。

**変換配信** 203

DLNA対応機器間で、配信先からの再生解像度の要求に合わせて番組の解像度を変えて配信することです。

**編集** 154

録画した番組やフォルダをお好みの状態にすることです。

- **お好みのプレイリスト作成** 160
- **チャプターの結合** 155
- **チャプターの削除** 156
- **チャプターの分割** 155
- **チャプター表示からチャプター編集** 157
- **番組の結合** 158
- **番組の分割** 158
- **番組の保護** 161
- **番組名の変更** 161
- **フォルダ順の変更** 164
- **フォルダの解体** 165
- **フォルダの作成** 162
- **フォルダ名の変更** 163
- **プレイリストの自動作成** 159

**ホームネットワーク**

家庭内にある家電・モバイル・パソコンなどを相互につないだネットワークのことです。

**放送受信設定** 256

地上デジタル放送のチャンネルやアンテナなど、お住まいの地域に合わせて設定する機能を指します。

**放送の種類** 281

地上デジタル放送は、地上にあるデジタル方式の無線局から放送信号を受信するテレビ放送のことです。BS放送のBSとは、Broadcast Satelliteの略で、放送衛星を用いたテレビ放送のことです。また、110度CSデジタル放送のCSとは、Communication Satelliteの略で、通信衛星を用いたテレビ放送のことです。BS、CSいずれの放送信号も、東経110度にある衛星のアンテナから受信しています。

**ポップアップメニュー** 137

BD-Videoの再生中に、設定項目などが最前面に現れるメニュー画面のことです。

**本体**

ご購入されたレグザサーバーを指します。

- **前面** 22
- **背面** 23

**本体設定**

映像や音声、接続および本機を活用するためのいろいろな各種設定・変更ができます。

- **項目と設定内容** 250
- **設定のしかた** 250


## ま


**マルチ番組**（マルチビュー）

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

- **再生中の切り換え** 145
- **視聴中の切り換え** 96

**未使用時自動電源オフ** 254

電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかどうかの設定が行えます。

**メッセージ** 288

本機で処理された結果や注意を促したい場合に、それらの情報を画面に表示します。また、システムにエラーが発生した場合は、エラーメッセージが画面に表示されます。

**メディア**

番組の録画やAVCHD／JPEGファイルなど、データそのものや、詳細情報などの付加情報を記録・伝送する際に使われる物理的な装置や機器のことを指します。

- **本機で使えるメディア** 258
- **メディアの管理** 264

**文字スーパー** 257

設定された言語(日本語または英語)で表示される文字情報のことです。ニュース速報や気象警報発令時などでは強制的に表示される場合もあります。

**文字入力** 166

番組名またはフォルダ名の登録や変更および番組検索などに使用します。

**持ち出し設定**

録画予約時にスマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組の作成を予約したり、SeeQVault対応SDカード転送を予約したりすることができます。

## や

**有料放送事業者** 28

別途料金がかかる放送事業者のことです。WOWOWやスカパー！などがあります。

## ら

**ライブ配信** 203

DLNA対応機器間で、放送中の番組を配信することです。

**ラジオ放送** 281

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送で行われているラジオ放送のことです。番組によって音楽用CD並みの高音質なラジオ放送を楽しむことができます。

**リージョンコード**（再生可能地域番号）

BD-Video／DVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号が分けられており、これらをリージョンコードと呼びます。日本の場合は、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだ映画や番組のみ再生できます。

**リモコン**

本機と離れた場所から、遠隔で操作・制御できる小型の操作盤(ユニット)を指します。

- **乾電池の入れかた** 35
- **テレビ操作** 50
- **ボタン名と働き** 24
- **モードの切り換え** 50
- **リモコンコード** 51

**冷却用ファン** 23

本機と外部の空気を循環させるためのファンで、本機の内部が熱くなるのを防止する役割があります。

**レグザコンビネーション高画質機能** 251

対応する東芝テレビ「REGZA」シリーズとの組み合わせに適した高画質化処理を実施します。レグザ同士ならではの連携高画質システムにより、さらにきめ細やかで質感豊かな映像が楽しめます。

**レグザリンク**

HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を使用して、本機と東芝テレビ「REGZA」との連動操作を可能にする機能です。

- **レグザリンク・コントローラ** 241
- **レグザリンク・ダビング** 192

**レジューム機能**(つづき再生) 131

再生中に停止したときの再生停止位置(レジュームポイント)を記憶する機能のことです。このレジュームポイントから再生を開始することをつづき再生と呼びます。

**レターボックス**

標準テレビ(4：3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向が画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつきます。

**録画**

放送中の番組や外部入力からの映像･音声信号を記録することを指します。

- **一時停止** 121
- **一発予約** 107
- **イベントリレー**(野球放送などの自動延長録画) 128
- **eメールで録画予約** 210
- **おまかせ自動録画** 122
- **外部入力** 125
- **自動追跡** 128
- **代理録画** 126
- **日時指定予約** 116
- **バックアップ設定を解除** 135
- **番組検索** 108
- **番組表予約** 110
- **番組表からワンタッチで録画予約** 107
- **ぴったり録画** 112
- **毎週／毎日録画** 116
- **メディアについて** 100
- **予約が重なったとき** 126
- **予約スキップ** 120
- **予約の取り消し** 120
- **予約の内容を変更** 118
- **予約を確認** 118
- **録画制限** 100
- **録画の停止** 121
- **録画モード** 100
- **録画モード変換**(HDDの空き容量を増やす) 168
- **録画予約一覧** 118
- **ワンタッチタイマー** 102

# 商品のお問い合わせに関して

## リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作をお試しください。

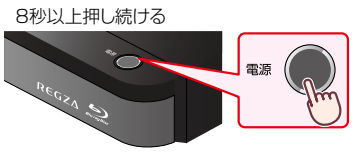
❶ リモコンの停止ボタン［停止］を押しながら本機上面の電源を押して、電源を切る。しばらくたっても電源が切れない場合は、本機の電源を８秒間以上押し続けて、電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜き、数分間待つ

❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

❹ 電源を入れて、動作を確認する

※この操作をしても正常に動作しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。




## 基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

**東芝ブルーレイ／ DVD <レグザ> お客様サポートページをご覧ください。**
**http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html**

## 商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝DVD インフォメーションセンター』

**0120-96-3755**

※ 間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

※ フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

| | | |
|---|---|---|
| 携帯電話からのご利用は | ナビダイヤル（通話料：有料） | 0570-00-3755 |
| PHSやIP電話からのご利用は | （通話料：有料） | 03-6830-1855 |
| FAX | （有料） | 03-3258-0470 |

- 「東芝 DVD インフォメーションセンター」は東芝映像ソリューション株式会社が運営しております。
- お客様の個人情報は、当社の「個人情報保護規程」に従い適切な保護を実施しています。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する株式会社東芝を含む東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

## 東芝ブルーレイディスクレコーダー／ DVDレコーダー訪問サポート（有償）

以下のURLから有償訪問サポートの内容をご確認いただけます。お気軽にご連絡ください。

**http://www.qac.jp/toshiba/**

訪問サポートは委託協力会社のキューアンドエー株式会社がお伺いします。

愛情点検

**長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検をぜひ！**

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

| ご使用の際このような症状はありませんか？ | ご使用中止 |
|---|---|
| • 再生しても音や映像が出ない。<br>• 煙が出たり、異常なにおいや音がする。<br>• 水や異物がはいった。<br>• ディスクが傷ついたり、取り出しができない。<br>• 電源コード、プラグが異常に熱くなる。<br>• その他の異常や故障がある。 | このような場合は、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。<br>ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。 |

©2017 Toshiba Visual Solutions Corporation
無断複製および転載を禁ず

**東芝映像ソリューション株式会社**

〒 210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町 25 － 1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

EAZ10JL/EAZ11JL
2VMN00339A ★★★★
Printed in China